五十年誌

栃木県バドミントン協会



平成５年度 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技開会式における増山道保市長のご挨拶（平成5年8月1日 宇都宮総合文化センター）





女子団体１回戦　対広島祇園北高校　小山城南高校　町田智恵子・福田あさみ組バックハンドでのレシーブが決まる



バドミントン日本リーグ2000宇都宮大会開会式　(財)宇都宮市体育文化振興公社理事長　阿部将樹氏挨拶
左から今井茂満委員長、宮永武司運営委員長、遠井稔男県協会長、森田 昇県協会理事長



熱戦のひとコマ ―― ダブルス、ドロップショット

目　　次

グラビア

挨　　拶　(県協会長　遠井稔男)…… 1
刊行によせて　(日本協会長　櫻内義雄氏)…… 2
祝　　辞　(関東連盟会長　高橋重夫氏)…… 3
創立50年に寄せて　(県体育協会長　福田昭夫氏)…… 4
祝　　辞　(県教育委員会教育長　岩崎　修氏)…… 5

栃木県バドミントン協会概史…… 6

栃木県バドミントン協会年譜…… 20

支部協会の活動
　宇都宮市協会…… 36
　鹿沼市協会…… 40
　上三川町協会…… 42
　小山市協会…… 43
　足利市協会…… 45
　真岡市協会…… 49
　上河内町スポ少クラブ…… 50

各連盟の現況
　実業団連盟…… 51
　レディース連盟…… 63
　教職員連盟…… 71
　高等学校体育連盟専門部…… 73
　中学校体育連盟専門部…… 75
　小学校連盟…… 76

大会を顧みる
　昭和61年度全国中学校大会の思い出…… 78
　全国小学生ＡＢＣ大会を顧みて…… 79
　全国中学校大会に参加して…… 81

記　録

本県関係　表彰者…… 84
栃木県総合選手権大会…… 85
国民体育大会栃木県出場選手一覧…… 89
栃木県オープン選手権大会…… 93
県下高校学年別大会…… 94
県混合ダブルス選手権大会…… 97
栃木県実業団選手権大会兼全日本実業団大会県予選会…… 98
栃木県社会人選手権大会兼全日本社会人大会県予選会…… 103
栃木県シニア選手権大会…… 106
栃木県社会人リーグ…… 107
全日本社会人選手権大会派遣結果…… 112
全日本シニア選手権大会派遣結果…… 113
関東シニア選手権大会派遣結果…… 115
県レディース大会…… 117
全日本教職員選手権大会入賞者一覧…… 131
関東高校選手権大会県予選会…… 132
全国高校総合体育大会県予選会…… 135
全国高等学校総合体育大会　県予選会・本大会結果…… 139
県下高校新人大会成績…… 144
関東中学校大会県予選会…… 147
全国中学校総合体育大会　予選会…… 148
全国中学校総合体育大会　関東・全国大会の成績…… 149
新人中学校大会…… 150
若葉カップ全国小学生大会県予選会…… 151
県小学生大会…… 151
県スポーツ少年団交流大会兼関東地区スポーツ少年団交流大会県予選会…… 152
県小学生選抜ＡＢＣ大会…… 153

参考資料

県協会規約…… 154
役員一覧（平成12～13年度）…… 156
加盟団体一覧…… 157
被表彰者一覧　○10周年　＋当時の役員…… 161
○30周年　＋当時の役員…… 162
○50周年…… 164

編集後記　奥付け

挨　　拶



栃木県バドミントン協会
会長　遠　井　稔　男

栃木県バドミントン協会は平成14年７月、50周年を迎えることになりました。おかげさまで5000人の会員、また、各市町村協会、県高体連専門部、県中体連専門部、県小学生連盟、県レディス連盟、県実業団連盟、県教職員連盟等の加盟団体を有し県内におけるバドミントン界を統括する団体として発展しております。これもひとえに会員各位はもとより関係諸団体の皆様の温かいご支援とご協力の賜であり、心よりお礼申し上げます。さて、皆様すでにご存じのとおり栃木県バドミントン協会は1952年、昭和27年７月21日を協会創立日としております。当時は３チーム２高校と数名の役員でのスタートであり、会場の確保は言うに及ばずシャトル・ラケットなど満足に入手できずに大変苦労しました。10年をメドに指導陣が一致協力のもと競技力の向上に精進した結果、昭和38年、第18回山口国体で少年女子の部に真岡女子高が夢の実現を果たし「初優勝」を飾ることができました。それ以来、ジュニアは全国上位の競技力を維持し現在にいたっております。今後は栃木県からオリンピック選手を育成したいものだと念願いたしております。現役選手の世代交代のはやいなかで過去の歴史にふさわしい強い選手の育成には、ジュニアの一貫した指導体制の強化が重要施策であります。そのために本県協会としてその環境整備に特に力をおいて運営したい所存であります。21世紀を視野に入れて栃木のバドミントンを更に普及・発展させるために選手の指導強化、育成は云うにおよばずマスコミの皆さんのご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。

本県選手は過去７回の全国制覇を果たしております。また、かって日本は1966，69，72年のユーバー杯三連覇を含め合計５回の優勝、また、第７回トマス杯三位入賞、第67回全英選手権女子単で湯木選手が四度の優勝をするなど日本の選手が活躍をした時代に思いを馳せ「世界制覇再現」を合い言葉に関係各位の深い理解と強い声援をお願い申し上げます。

創立50周年を新たな機会に、より一層バドミントン競技の発展のために全力を尽くしてまいります。関係各位の、より倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後にこのたびの五十年誌発刊にあたりまして編纂の労にあたられた皆様方に心からなる謝意を表します。

刊行によせて



財団法人日本バドミントン協会
会長　櫻　内　義　雄

栃木県バドミントン協会が、この度、設立50周年を迎えられるに当たり、その記念事業の一環として、記念誌を刊行されることになりましたことを心からお慶び申し上げます。

いまだに残る第二次大戦後の混乱から、立ち直りつつあった昭和27年、将来のバドミントン競技の発展を予測して、大沢 渉 氏を中心に数人の方々が、大変なご努力のすえに設立の運びとなったと聞き及んでおります。

以来貴協会は、故松本 弘充理事長＝富川 昇事務局長時代に基礎がつくられ遠井稔男理事長（現本協会専務理事）＝近藤 満事務局長時代に大発展を遂げられ、バドミントン栃木の名をほしいままにしたのでした。その間、「栃の葉国体」の前後から全国的な大会を次々に主管・運営され、日本リーグや国際親善大会などの運営にも努力されて、本競技の啓蒙と普及に当たられ、その結果、ジュニアからレディースまで、幅広く数多くの選手を育成されました。この協会あげてのたゆまぬご努力に対し、深甚な敬意を表するものであります。

しかし、残念なことに、我が国バドミントン界が、やや停滞気味であることは皆様ご承知のことと存じます。此のような時こそ、各地区毎に総力を結集して、有能な選手の発掘と育成が強く望まれるのであります。そして、貴協会の新たな発展こそ、我が国バドミントン界の発展につながるものと期待するところであります。

50周年を節目として、更なる組織の充実に努められまして、日本バドミントン界のリーダーとして、益々発展されますことを祈念致しまして、お祝いの言葉と致します。

祝　　辞



関東バドミントン連盟
会長　高　橋　重　夫

このたび、栃木県バドミントン協会におかれましては、創立50周年を迎えられ、ここに記念誌を発刊されますことは、貴協会の振興、発展のため誠に意義深く、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、昭和27年に設立以来、役員各位と会員が一丸となって多くの困難を乗り越え、今日の確固たる基礎を築かれ、全国有数の協会に成長されました。半世紀にわたるこの間、営々として協会発展のためにご尽力いただいた歴代の会長・理事長さんを中心とした役員各位のご努力に深く敬意を表する次第であります。

競技力の面におきましても、全国水準にあり、国体、全国高校総体の優勝を始めとする各種の大会で好成績をあげ、県民に明るい話題と活力を提供してきたことは誠に意義深いことであります。

さて、21世紀を迎え、スポーツを取り巻く環境も大きく変化しております。我が国の競技スポーツを長年支えてきた企業のスポーツ活動が、経済の低迷とともに衰退しつつあり、さらにもう一つの基盤である学校の運動部活動においても、少子化や教員の高年齢化の影響を受けて加入率が低下するなど新たな課題が生じております。

こうした状況の中で、貴協会におかれましては、創立50周年を契機として、より一層組織の充実を図られ、競技人口の増大、競技力の向上等にさらなるご尽力をされ、活力ある規範的な競技団体として、今後ますますのご発展を遂げられますよう心からお祈りし、お祝いのことばといたします。

創立50年に寄せて



財団法人栃木県体育協会
会長　福　田　昭　夫

栃木県バドミントン協会が、長年にわたる関係者の御尽力により充実発展され、この度創立50周年を迎えられますことは、誠に喜ばしく心からお祝いを申し上げます。

貴協会は、昭和27年に発足して以来、バドミントン競技の普及・発展と組織の拡充強化に尽力し、国民体育大会や全国高等学校総合体育大会において数々の全国制覇を遂げられるなど、本県の体育・スポーツの振興と競技力の向上に多大な貢献をされ、本県競技団体の模範として年々着実な成果を挙げてこられました。

今日、バドミントン競技は、各年齢層に応じて楽しめるスポーツとして広く県民に親しまれており、競技人口も年々増加の一途をたどっております。貴協会の組織的な発展をみましても、普及振興の中心を担ってこられた高体連・中体連専門部はもとより、実業団・レディース・小学生の各連盟が結成され、各団体が年々充実発展してきておりますことは、誠に喜ばしいことです。

御承知のように、近年、余暇時間の増加や生活様式の多様化、並びに少子・高齢化社会の進展に伴い、県民のスポーツへの関心は一段と高まっており、これらのニーズに応えるために、本県の体育・スポーツに携わる関係者の果たす役割は、より一層重要性を増してきております。

本協会におきましては、関係機関・団体の御指導と御協力をいただき、「みんなでスポーツ明るい郷土」の実現を目指して、「県民ひとり１スポーツ」をスローガンとした県民総スポーツ推進に関する諸事業を実施するとともに、競技力の向上に努めております。

貴協会がこの一翼を担われ、21世紀という新たな世紀において、本県スポーツ界の発展のために一層充実した活動を展開されますことを心から期待する次第であります。

終わりに、貴協会の歴代関係者のこれまでの御尽力に改めて敬意と感謝を申し上げ、貴協会創立50周年の祝辞といたします。

祝　　辞



栃木県教育委員会
教育長　岩　崎　　修

栃木県バドミントン協会が、創設以来50周年を迎えられましたことに対し、心からお祝い申し上げます。

この節目の年に記念誌を発刊されますことは、これまでの実績を振り返り、21世紀を展望する面からも誠に意義深く、関係者の皆様の御努力に対し敬意を表するものであります。

貴協会は、昭和27年創設以来、半世紀にわたりバドミントンを通して本県スポーツの振興に大きな役割を果たされるとともに、青少年の健全育成にも多大な貢献をしてまいりました。

特に、本県のバドミントンの競技水準は高く、国民体育大会や全国教職員選手権等の各種大会におきまして優秀な成績を収め、数多く日本のトップレベルの選手を輩出するなど、本県の競技スポーツの歴史に大きな足跡を残された貴協会の御尽力に対し、あらためて敬意を表するものであります。

御承知のように、現在、次世紀を展望した教育改革が進められておりますが、この中で、これからの子どもたちに求められているものは「生きる力」であると言われております。子どもたちが成長していく時期にあって、スポーツに情熱を燃やし、仲間と共に競い合い、励まし合いながら心身の鍛錬を図ることは、この「生きる力」をはぐくむうえで、極めて重要なことであり、貴協会に寄せる期待も大きいものがあります。

最後になりますが、これまで御尽力された関係各位に対して、深く感謝申し上げるとともに、50年の歴史の上に一層の努力を重ねられ、栃木県バドミントン協会がさらに大きく飛躍・発展されますことを祈念し、祝辞といたします。

栃木県バドミントン協会概史

本県にバドミントンの種子をまいたのは大澤渉氏（本県協会初代理事長・故人）である。昭和22年10月、大澤氏の努力で県庁職員組合が主催して第１回の実技講習会を県庁中庭で開いたのがバドミントンの始まりだという。講師には東京から宮沢宏之氏（当時日本バドミントン協会理事長）をはじめ、相馬、秋元、大谷の各選手を招いた。テニスのラケットを小さくし、追羽根の羽根を大きくしたシャトルを見て「なんだ、これがバドミントンというものか。日本古来の追羽根のようなものではないか」という印象が受講者には多かったという。中庭で始めた講習会も、途中風がでてきたので会場を県会議事堂に移動して行うエピソードもあった。「受講者はラケットを持って羽根を打っているうちに打球感や飛びゆく羽根の曲線美に、いつの間にかすっかりとりこになってしまった」と、当時を懐かしむのは松本弘充氏（本県協会２代目理事長・故人）１人ではなかった。以後も実技講習会は続いて開かれた。第２回目は24年５月、県社会教育課が主催して宇女高体育館で、第３回目が27年７月学校体育連盟が主催して松原高体育館（現宇中女）で広田兼敏氏（当時日本バドミントン協会副会長）、村上忠治氏を招いて開催された。しかし当時、バドミントンという名称は体育教材にその名を出す程度で、認識の薄いスポーツであり、普及の波に乗れず非常に苦しい時代であった。だが、６年間、大澤氏の家業そっちのけのバドミントンに傾けた情熱と努力が本県バドミントン界の夜明けとなった。そして県バドミントン協会は昭和27年７月21日に誕生したのである。

県協会設立総会は松原高会議室で広田兼敏氏を招いて開き満場一致で承認された。これも今は亡き、阿部鎮、相原豊次、長安寿夫、池田喜重各氏をはじめ黒後梅男氏など長い間の支援と指導のたまものであった。会長の選出に当たっては大澤氏が第２回全日本選手権大会（横浜）に出場した際、山田文雄日本バドミントン協会会長から「栃木県副知事の堤武雄氏はジャワで一緒にバドミントンをやった仲間だ。堤氏の力添えを得て協会を設立してほしい」と励まされた関係から堤副知事に無理を言って初代会長に就任してもらい、副会長に長安寿夫氏、理事に松本、加藤、黒後、相原、紅一点の森各氏らが選任された。設立当時は松原と宇商（定）の２高校、東電、貯金局、県庁の５団体と大澤、片山、古宮、仲野、斎藤、森富子、倉田好子と個人登録７人であったことを思えば今は隔世の感がある。昭和29年４月、県庁第２控室で協会総会を開き堤会長に代わって滝沢テル氏（滝沢病院長）が２代目会長に、副会長は小柴貢氏（当時宇中女校長）後藤喜一郎氏がそれぞれ就任した。30年から50年まで小柴貢会長をはじめ松本弘充理事長、富川舜事務局長・理事長１期（当時宇中女－宇女事務長）三役で協会の運営をはかった。この時代に組織と競技の普及に英知がつくされ、現在の協会の原型を形成したのである。51年からは岩崎純三会長（真岡市長－参議院議員）、遠井稔男理事長（真女－小山城南）近藤満事務局長（作新）へとバトンがタッチされた。同副会長には別井保男氏（宇都宮市議）冨永静吾氏（実業団会長）小林茂氏（真岡市教育長）松原亨氏（高体連部長）松本弘充氏など最高の陣容で栃の葉国体を無事乗りきったことは言うまでもない。昭和57年現在、150団体加盟、5,000人を超す登録人口を擁する大所帯となり発展しつつある。

栃木県高体連バドミントン専門部の発足

それに先んじて、県高校体育連盟バドミントン専門部は、協会設立より１年早く26年に発足。当時松原と宇商（定）の２校の加盟であった。初代部長には長安松原校長が就任、その後は順調に小柴貢氏（28－40）小林茂氏（41－46）川田勇氏（47－48）下泉春徳氏（49－50）中山桓一氏（51－52）松

原亨氏（53－55）徳田有基氏（小山城南高校長）と引き継がれた。発足時の委員は松本、富川、加藤治、池山栄、川俣正男各氏であった。57年度は遠井、近藤、別井晃、舘野政男、武井祥子、篠崎一夫、森田昇、大島喜代子、小室恵吾各氏であった。

加藤治と池田喜重（故人・宇工）の両教諭は一緒に松原高校に着任し、その秋に手塚尚作同校体育主任の肝入りで池田氏を中心に村田氏（石川スポーツ勤務）を交えてバレーボール、ハンドボール、ソフトボールなど各部に所属していた森、倉田、大島、円羽、小林らの選手を誘ってバドミントンのラケットを握りシャトルを打ったのが本県高校界へのスタートであった。26年には生徒総会で承認、ここに正式に部が発足した。池田氏を顧問に森主将、倉田、小森、大澤（大澤氏の長女）船戸といずれもその後しばらくの間、県下バドミントン界で名をはせた。当時関係された先生方の苦労は大変なものだったと思う。特に既成のクラブが群居している中に新クラブをつくることの難しさはだれもが経験するところだ。松原高は数多くのスポーツクラブを生み育てて、戦後の本県高校スポーツの先導的役割を果しているすばらしい校風をもつ学校であった。

県協会として、県内最初の大会は27年11月23日に開いた第１回総合選手権大会である。総合運動場内にあった木造の体育館（当時の建物は取り壊された）で、天井が低く梁（はり）が出ていて４コートを取るのがやっと。コート間は50センチくらいしかなく、サーブやハイクリヤーなど梁と梁の間をくぐってくる始末で、選手や審判を幾度泣かせたことか。協会はできても、貧乏でマイク一つなく試合のたびに選手兼役員が、こわれたメガホンで場内にどなるから夕方までにはすっかり声がつぶれる始末だった。シャトルも壊れた羽根をのばしては何度も使うなどしたが、選手は不平一ついわなかった。「堤会長も長安副会長も観戦され試合後バスがなくなってしまって夜道をトボトボと西川田駅まで歩いたのも懐かしい限り」と当時を松本弘充氏は振り返る。この記念すべき大会の優勝者は男子単は富沢、複は加藤・富沢組、女子単は大澤、複は森・大澤組であった。この大会後県選手権は11月23日に定着し、本年で50回を迎える伝統的な大会となっている。

本県選手が県外に出場して試合をしたのは第７回国体関東ブロック予選会である。27年９月千葉市で行われた予選に本県から高校男女が出場した。選手は会場の天井が高いのに驚き、シャトルの速いのにまた驚き、すっかりあがってしまって自分でサーブをしないうちにアッという間に終わってしまったという。シャトルがラケットにさわらなかったというから今でも語り草になっているようなお粗末な試合だった。しかしこの時、大沢真佐代選手が、群馬、千葉から得たシングルの１勝づつはその後の高校女子の礎となり、真女の制覇という偉業を生んだキッカケをつくった。関東高校大会に本県チームが参加したのは31年の第２回大会から。真女の参加は第５回宇都宮大会からで、第７回東京大会の初優勝以来、10年連続優勝の大金字塔を樹立した。その後、第17回に真農が第25回に小山城南がそれぞれ初優勝を飾った。また27回にも小山城南が優勝を飾っている。２位は今市が２度あるなど関東大会27回中、本県チームが15回も優勝するなど本県女子の確固たる実力は他県の恐れるところである。特に真女の10連勝を破ることは今後、関東では至難の業であろう。



昭36年　真岡女子高関東大会初優勝

一方、男子チームは第12回大会で宇工が、第16回で真工、第24回で今市が第２位の成績を残し、第24回、25回で真農、今市が待望の

初優勝をもたらし女子初優勝から18年後のすばらしい記録である。また26回で今市が連覇をした。特に２ヵ年連続アベック優勝は過去の記録になく特筆に価するものである。第７回大会は真女が初優勝したが、その時のキャプテン河崎和子選手（真岡市田町・電器商）はこんな手記を寄せてくれた。「初優勝。今思い出しただけでも胸の中がいっぱいになりあの時の感激は忘れることができない。１試合勝つごとにみんなで手をとり合って喜び、準決勝では強敵湯田（山梨）に大接戦の末勝った時のいい表せない気持ち。そして決勝で十文字（東京）に勝ったときは私も先輩も遠井先生も涙、涙、涙……でくしゃくしゃの顔を、その手を私は忘れられない」と。

全国高校大会は25年（横浜）から始まり、本県が初出場したのは28年の第４回山形大会からである。宇商（定）と松原（現宇中女）が未知の世界に勇敢に挑戦したが１ゲームすらとることができなかった。その後、男子は宇工、宇工（定）、作新、石橋、真工、真農、今市、また女子は作新、宇女商と幾多の選手が２、３回戦に勝ち進んだが、全国の壁は厚く打ち砕くことができなかった。当時は、本県から全国制覇など夢のまた夢に過ぎなかった。しかし、真女はその夢の実現に敢然と立ち上がった。第１のステップは34年の第10回会津若松大会に始まった。大会出発前に監督であった私（遠井）はこんな約束を選手とした。「試合は最悪コンディションで臨む。１試合も勝てなかったら最後の試合が終わった会場から直ちに帰校する」と。そして、オール２年生のチームを連れて参加した。堀内主将（現宇都宮エースクラブ・主婦）国崎、上野、田谷、大島（国学栃木－日体大・主婦）永井（久下田中－日体大－久下田中教員）などの選手を高野辺正男教頭（茂木高校長－氏家）と私で引率して試合前日出発した。大会では団体が１回戦０－３で簡単に敗れ、個人戦複も同様に負け続くなか単の田谷好子がファイナルゲームのセッティングでやっと待望の１回戦を勝った。この時の全員の喜びようは、言葉では表せないすばらしい雰囲気であった。選手はその晩泊まるのが何よりうれしかったという。この１勝で得たすばらしい雰囲気と団結力が常勝真女へのスタートになったことはいうまでもない。しかし翌年の11回大会から５、３、６位と常に制覇射程距離に進出しながら勝利の女神は舞い降りなかった。

40年第16回熊本大会で夢にまで見た高松宮妃賜杯を上野明美主将（トヨタ自工全国実業団大会・社会人大会数回優勝、現姓蜷川）が手にした。この時のチームは最強メンバーであった。上野明美、石崎喜代子（日体大－真岡女子高校教）大関洋子（昭和女大－愛知淑徳高監督）吉田サト子（東京大丸－大森商店主婦）上野京子（トヨタ自工で活躍、現真岡在住）らである。彼女らは中学時代、ソフトボール、バレーボール、バスケットボール、陸上などの選手でバドミントンの経験は全くなかった。

“狂気じみた猛練習”私（遠井）はこの選手をそれは狂気じみた毎日の練習で鍛えた。合宿も年に16回におよび敬愛（秋田）平商（福井）新庄南（山形）昭和学院（千葉）富田（岐阜）布施（大阪）など全国の強豪を相手に練習試合を行った。このように学校、選手、父兄、監督が一体となり、優勝するための厳しい練習が続いた。勝つんだという意気込みが選手から感じとれたから指導も苦にならなかった。倒れても倒れても起きあがってくるし、泣きながらシャトルに向かってくるし、早打ちの時には最後は私のところに倒れて這



昭40年　第16回インターハイ優勝報告　知事室にて（横川知事）


昭40年　第16回インターハイ初優勝報告
市内パレード

(は)ってもきた。この練習の成果が５連勝の善通寺一(香川)との準々決勝で開花した。この一戦こそ世紀の一戦だった。ダブル、シングル１－１、最後のシングル吉田サト子が粘りに粘り抜いて勝つ死闘４時間におよぶ長い試合であった。

「絶対に勝てる」準決勝は対布施高（大阪)。これこそ実力校同士の対戦。前年負けており、しかも布施のメンバーは昨年と同じで左の近藤、強打の才脇、長身の池田などをそろえていた。オーダーの交換の一瞬「これなら勝てる」と私がいえば選手は口をそろえて「絶対に勝ってみせるから先生はベンチから立たないで。またどならないで」と目をギラギラさせながらいった。ゲームは善通寺戦と同じ展開で最後までもつれ込み、上野が才脇主将を２－０で破って決勝へ。いよいよ全国制覇を争う決勝戦。相手は京都の成安女。決して弱い相手ではないが、３試合とも完全に押しまくって自分のペースで試合を進めて、ついに永年の念願であった全国高校選手権大会初優勝をものにした。

忘れえぬ感激の涙「あの時は、優勝したなんて思えなかった。ただ苦しい戦いが終わったのだナー。しかし表彰式であの妃杯を手にしたときの感激の涙は一生忘れられない。そしてバドミントンが私の青春であったことを今も誇りに生きている」と蜷川（旧姓上野）は話す。この優勝のあいさつに県庁へ出向いたとき、当時の横川知事は「体育館もなくてよくがんばった。それでは優勝祝いに早く体育館を作ってやろう」と約束、41年に現在の真女の体育館が落成した。この体育館で力のバドミントンから、じっくりと時間をかけて技のバドミントンへ指導を変えて５年。21回名古屋大会で２度目の優勝をした。小林敏枝、藤井幸子、池田静枝、大貫緑、岡本晴美らは粘っこい地味な高い技を持つ選手たちだった。真女で育った選手はこれと前後して飛躍的に全国で活躍し現在にきている。県内の技術も一段と高くなったことはいうまでもない。

真女を追って今市も、好成績を挙げて来た。一方、男子は女子にリードされた形だったが、54年の第30回大会で今市高が初優勝を遂げた。別井監督のもと馬場良浩主将、小野口正、高橋安典、坂本幸夫、大島正志、大堀円らで３年がかりの計画的な優勝であった。特に大島、大堀両選手はその後の本県男子のバドミントンを長年に亘ってリードしてくれた。

中体連専門部の発足

本県では高校女子が先に走り、高校男子と中学校がこれを追ってきたが、中体連には昭和57年現在塚原（真岡東中）斎藤（落合中）永井（久下田）佐伯（栃木西）田中（寺尾）川又（上三川）高橋（市貝）石原（陽西）など若く優秀な指導者がいる。中学校は46年の第１回大会から全国大会に出場しているが、過去、３、６回大会に男子チームが第２位の成績を残している。これは塚原、斎藤両教諭の抜群の指導力の結果であり、中学－高校と斎藤、別井両教諭の呼吸の合った指導による成果であるといえよう。

教職員連盟の発足

本県の教員連盟の設立は早く昭和36年である。遠井氏、近藤氏が中心となって今では40人を超す。37年第１回大会が東京で開かれてから昭和57年で早や20回を迎える。この間、本県選手の活躍はすばらしいものがあった。第２回では大島・永井組が一般女複で第２位、単で池間が第３位。混合では遠井・池間組が３位。第３回では一般女複で小勝・武井組が３位、単に小勝（現姓塚原）が３位。そして混合で遠井・武井組が２位。このとき小勝は混合で優勝するなど大活躍をした。



全日本教職員大会　混合複第二位（武井・遠井会長）

年々競技力が向上、第５回大会では永井・前沢組が２位、単で前沢（現姓川又）が３位。第６回大会では団体で女子が第２位、複で松本・前沢組が２位、30歳単で遠井が３位。第８回大会では団体女子で３位、大島・松本組が２位。第10回大会では一般男子複で別井・森田組が３位となった。第11回大会では一般男子単で待望の優勝者森田昇が出た。年々競技力が向上しての優勝なので立派であった。複でも別井と組んで２位となり本県男子の道を開いた勝利であった。ここしばらく停滞していたが三たび女子が第18回大会で好成績を残した。複で金田（大沢小）大嶌（星が丘中）組が見事優勝を飾り、単でも大嶌が２位となった。第19回では大嶌が単に、第20回では混合複で工藤（今市高）と大嶌（星が丘中）が見事初優勝をとげた。

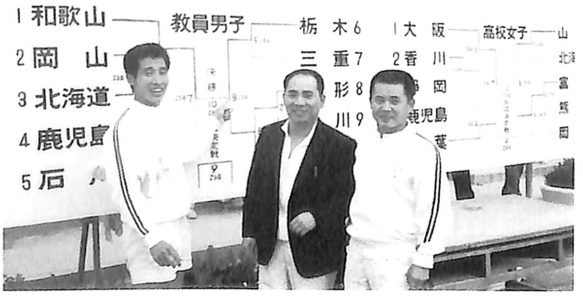
実業団連盟の発足

本県での事業所のバドミントン活動は協会設立からであり、昭和33年前後に関東バスの保坂俊一氏（協会副会長）を中心に連盟設立の動きがあったが、結成の運びに至らなかった。昭和48年に至り旭光学益子工場の冨永常務、小塙宏人、霜山　哲（富士重工）氏らが中心となって本県実業団連盟が正式に発足し、現在では20団体を超すまでに充実、日本実業団連盟でもその活動を高く評価している。

一方、競技力も旭光学女子チームは昭和50年代に全国実業団大会で上位の成績を残している。特に藤井由美子・沼能久子組はその成績が認められて52年の全日本代表としてカナダオープンに出場し、見事に３位の成績を残すなど活躍も著しいものがあった。引き続き日山・日向野が中心となり山沢・上野・海賀などががんばった。

国体への参加

第１回国体は21年に開催されバドミントン競技は24年の４回東京大会から正式種目となった。本県は第７回の宮城国体に一般男子が大沢監督、富沢、加藤守、片山、松本各選手で、一般女子が森、倉田、小森、高田各選手らのメンバーで出場し、青森と秋田にストレート負けし初陣を飾れなかった。これ以後48年の28回大会まで一般男子は松本監督のもとに片山篤、保田誠一、中沢悦三、森



第27回国体成年男子準優勝



第18回国体少年女子初優勝
（左から前沢、松本、小出、遠井監督）



第19回国体少年女子連続優勝　市内パレード



第40回国体少年女子第４位

田利一、遠山雅己、平野満喜男、久野行雄などが、最近では大島清、粕谷武、工藤吉彦など数多くの選手が３回戦を目指したが実現できず涙をのんでいる。

教員男子は27回鹿児島国体で遠井監督のもと別井、斎藤、森田で第２位になったのが、男子初めてのことである。続いて高校男子が32回青森国体で別井監督以下、角田、久郷、関根で２位と男子の力が安定したことは心強い限りだ。一方女子は第８回に出場の後は、高校女子が36年の第16回秋田国体に遠井監督以下、河崎、小勝、石井、第17回大会とともにベスト８、第18回山口国体では松本、前沢、小出が出場し、準決勝で山形を、決勝で新潟を破って初優勝をした。

続いて第19回新潟国体では植木、大島、武田が出場、準決勝はインターハイ優勝の秋田敬愛に勝ち、決勝は地元新潟青陵に大接戦の末勝って国体２連勝を飾った。40年の20回岐阜国体では３連覇をかけたが、本当に接戦の末１点に泣いたという忘れられない試合であった。そして第22回大会は第３位、24回大会は第３位、第25回岩手国体では高校女子が関東予選で勝って10年連続出場を果たし遠井監督、小林、藤井、池田らがインタハイ優勝についで２冠を目指したが決勝で敗れ惜しくも準優勝。一般女子は柳田監督以下、松本、石崎、望月らが強豪相手によく健闘して第３位入賞、皇后杯優勝をとり本県総合得点に例年になく大きく貢献した。

第33回長野国体では森田監督以下、上野、高田、海賀らが十分力を出しきって２位。一般女子も小塙監督、沼能、日山、日向野らががんばって３位、皇后杯３位の成績を得る。そして第34回宮崎国体では成年女子が待望の大阪を下して初優勝を成し遂げた。高校女子２連勝から15年目の快挙であった。ここにきて男女いずれか入賞できる安定した力をつけてきたことは栃の葉国体にも大きな励みとなっていた。

レディース連盟の発足

高校時代に活躍した経験者が結婚し、家庭的にも育児にも余裕ができて、ふと昔のバドミントンをやってみようとスタートする例が多いが、どうも本県は異なるようだ。しかし県体や市教、県体育協会などで催したバドミントン教室の出身者でグループを結成したのが多く、社会体育活動の本道を

行っている模範的な活動グループは多い。特に速水朝子氏を中心とする県体エースクラブ、山本藍子氏を中心とするふたばクラブ、栃の葉レディス、真岡の砂利っ子クラブ、団地クラブ、小山、足利、鹿沼、大田原などは規則正しい計画的な練習をしている。この種のクラブのますます盛んになることを期待する。

大会の主管・運営・参加



昭和40年　初国際大会(県体)

本県でこれまで開催した大会は48、50年と国際大会を宇都宮で2500人の観衆を集めて開いた。日韓高校交流大会も40、45、53、54年と交歓競技会を開いている。特に54年は今市高チームが全日本代表として遠井団長、別井監督、馬場、小野口、高橋、大島ら総勢17人で訪韓し１勝１敗の成績をあげた。46年には第３回全国中学生、50年には第14回全日本教職員、52年は第20回全日本社会人大会を開いた。実施した大会は一つの汚点を残すことなく好評のうちに終了できたのも関係各位の努力のたまものであった。又、56年３月８日～25日まで第１回北欧ジュニア遠征が遠井副団長のもとに村上男子コーチ、斎藤女子コーチ、男子選手大島、大堀（今市）女子は高橋、湯沢、平間（小山城南）等18名の選手団はイギリス、デンマーク、スウェーデンなどと転戦し大きな成果をおさめて帰国した。57年４月１日から６日まで遠井団長以下三沢、岡崎、根本、須藤（小山城南）等14名がアジアジュニア招待大会に招待され小山城南チームは第４位の成績を残し無事帰国した。



アジアジュニア大会
本県女子チーム初出場　第３位

本県協会の良さは設立当時から現在まで中、高体連、実業団、支部、教員など組織が一体となって相互理解を図り

ながら和の精神で貫き通してきた点だろう。その努力の結果、日本バドミントン協会から全国でも数少ない模範的な支部協会であるとして37年に表彰を受けた。個人的には40年小柴貢会長をはじめ37年松本弘充氏、51年富川舜氏、53年遠井稔男氏らが永年にわたる県内日本バドミントン協会役員などの功績により日本バドミントン協会から功労賞を受賞した。54年には小林茂、別井保男両副会長が顕讃賞を受けるなど地方協会としては異例である。本県は中央での活躍が多い。松本弘充氏は日本バドミントン協会理事を２期。用具委員長や関東連盟会長を歴任するなどその功績は大きい。小林茂氏42年から、川田勇氏46年、遠井稔男氏は49年から平成７年まで全国高等学校体育連盟バドミントン専門部長をつとめた。尚、遠井氏は日本バドミントン協会常務理事として４期に亘り指導委員長、競技力向上委員長などを歴任。日韓高校、日・中大会、全英、デンマーク大会、第10回世界男子バドミントン選手権大会などの団長や監督をつとめるなどその活躍は目ざましい。平成12年からは日本バドミントン協会の専務理事として日本のために活躍している。保坂俊一氏は日本バドミントン協会総務副委員長として長く活動された。

第35回栃の葉国体は、県協会と地元の真岡市実行委員会が強力な体制のもとに万全を期して大会運営に当たり無事成功裡に終了したことを皆さんと共によろこびたい。過去30回も本県選手がお世話になったのであるから、関係者は訪県する選手を真心をもって迎えることを第１主義と考えて準備にあたった。また選手強化が１番の悩みであったことは言うまでもない。成年男子は森田、舘野両氏をコーチに工藤（県体）高橋（大内中教）大石（日体大）村上（作新教）三村（神戸製鋼）などのメンバーだが森田氏の指導力に期待するところが非常に大きいものであった。女子は小塙、羽石両氏をコーチに日山、日向野、上野、海賀（以上旭光学）大嶌（今市青少年スポーツセンター）、山沢（旭光学）など全国クラスの優秀選手をどう使い、戦うか。全都道府県出場のため、スタミナの勝負だけに体力づくりが優勝（２連勝）への第一条件だった。少年男子は別井･篠崎コーチに大島、大堀（今市）戸村（宇南）大塚（宇東）である。技より力で押し切る選手を目指していた。そして少年女子は斎藤、三富、塚原コーチに高橋、湯沢、平間、荒川、稲川ら。いずれも新生小山城南高の単独チームに期待した。しかし、結果は成年男・女と少年女子が共にベスト８、連覇が期待された成年女子の番狂わせは関係者を落胆させた。反面、少年男子の決勝進出は観衆を熱狂させた。この一戦に総合優勝がかかり最後の最後まで体育館はわきにわいた。しかし、本県に勝利の女神は舞いおりることはなかった。本当に無情な敗戦を経験したのであった。やるだけやっての結果であるから敗戦の痛手は感じなかったが淋しくのしかかる空虚感を人一倍味わったのを忘れることができない。総合３位成績は数えきれない多くの方々のご協力ご支援のおかげであり、第35回国体が無事に終了したことにただただ感謝する次第である。本当にありがとうございました。

昭和58年１月、栃木県バドミントン協会創立30周年記念式典を挙行し、節目を刻み、更なる躍進を誓った。その後、20年の歩みを追ってみたい。

栃木県バドミントン協会では、昭和52年に栃の葉国民体育大会誘致が決定したので、日本バドミントン協会（全国各連盟・関係連盟など）の主催する大会を積極的に主管することにした。北関東教育系学生、東日本学生、全日本教職員、全日本中学生、全国高校選抜、全国高校選手権など宇都宮中心ばかりでなく真岡市、足利市、



第35回栃の葉国体　テントで打ち合せ
右から遠井理事長、故松本副会長、近藤事務局長（当時）

小山市などで開催できたことは誠に嬉ばしい限りであった。特に昭和53年に全国高校選抜、54年に全日本社会人、55年には栃の葉国体をそれぞれ真岡市で実施した。59年には全国高校選抜を足利市、全日本教職員を小山市で、また、平成元年には全国高校選抜、平成５年には全国高校総合体育大会バドミントン競技を宇都宮市で開催するなど、市民に、そしてバドミントン愛好者に大きな感動を与え成功裡に終了したことはまだ記憶に新しいが、これらの大会開催ができたおかげでジュニアの競技力の著しい向上と競技の普及に大きな飛躍がみられた。特に手不足であった運営面・指導面の人材を確保することができたことは大きなプラスとなった。また、審判技術の進歩も著しく、こうした関係者の皆さんの努力の結果は小学生・中学生の競技力の向上につながり、その後の全国的大会での優秀な結果からもよくうかがうことができる。そしてまた、各市町村の行政面や社会体育面でのバドミントンの取組みが非常に活発になり、広地域大会等に発展し、新聞による報道や各市町村の広報紙などに載る機会が多くなり、楽しみがふえている。近い将来、本県からバドミントン競技のオリンピック選手が出現することを夢見てこれからも頑張る覚悟である。

以上　文責　遠井

私はこの記念誌原稿を依頼された時、20年前に30周年の記念誌を作成した時のことを思いだしました。私が担当したのは30年間の記録を整理する係でした。記録の部分は、記念誌の中ではその時代に関係した選手が必ず開く箇所であり、間違いのないよう気を配って、県立図書館に何回も足を運び、新聞縮小版のマイクロフィルムを専用のスコープで年度別に調べて、試合結果を見つけ出すという作業を繰り返した思い出があります。しかし近年は、各連盟の組織が細分化し充実しているので、その点では資料の提供が容易ではないかと思われます。

さて、私の理事長時代を振り返ってみると、平成８年度と９年度の僅か２年間でした。遠井稔男理事長（現会長）から引き継ぎ、２年後に森田高体連委員長（現理事長）へとバトンを渡すことになりました。それも転勤の関係で、競技団体でのポストは無理であるということで、副理事長として残していただいた経緯がありました。

バドミントン協会の事業としては、理事会・総会から始まって各種大会を企画・運営することであり県内の各種大会等は例年通り実施しました。各大会の実施については、協会で割り振った担当者が責任をもって実施することが数年前から行われており、それぞれの事業については、２年間スムースに終了することができ、ここでは、それ以外の事業について、年度別に記載しておくことにします。

平成８年度

この年は２つの関東大会が本県で開催されました。それは、第34回関東総合選手権大会と関東中学校選手権大会でありました。関東総合選手権大会は９月14日～16日に県体育館と総合運動公園トレーニングセンターを会場に、１都７県の高校、一般男女150名により盛大に開催することができました。県協会の役員と実業団連盟の協力を得て、大会企画・運営がスムースにできた大会でした。

もう一つの関東中学校選手権大会は、真岡市総合体育館を会場に８月の９日～11日の３日間開催され、当時中体連専門委員長をしていた高橋正義先生を中心に、顧問の先生方の協力のもと、綿密な計画とそれに伴う会議が繰り返し開催されました。この大会も大成功であったと言えます。

他に県協会として指導者育成や小学生連盟の発足と育成対策、或いは選手強化など多くの課題がある中、とりあえずできる範囲内でいくつかの事業を実施してきました。

その１つとして、前年度の調整会議で日本リーグ宇都宮大会実施の方向で会場を確保していたのですが、８年度に入って最終的に会場が他県に変更され、その会場の行事振替として講習会を実施する

ことになりました。本県の指導者の現状を考慮して、小・中・高・一般の指導者を対象に、11月16日と17日の２日間、栃木県体育館を会場として筑波大学の阿部一佳教授を講師に（他学生４名）迎え、バドミントンの基礎から実技指導まで講義をしていただきました。２日間とも寒い中での講習会でしたが、阿部先生独自の理論を展開され、受講生もいつの間にか引き込まれていくような講習会でした。

平成９年度

理事長２年目として、少しずつ協会全体の見直しをしながら各種事業を実施した年でした。特に本県の競技力が低迷している現状を考えた時、小学生からの育成強化は長期的にみて避けられないことであり、そこに中学・高校・社会人それぞれの選手強化が必要であり、４月当初の年間行事計画以外にも積極的に事業を実施してきました。

この年の関東以上の大会は、第６回全日本小学生関東地区予選会が宇都宮市体育館を会場に10月12日に開催されました。本県では初めての関東小学生大会ということで、前大会の資料をもとに、各スポーツ少年団の代表を招集し、大会全般に関して説明して共通理解を得、その後は小学生連盟の赤羽右次と戸村正樹の両氏を中心に大会運営面等をお願いし、実施した大会でした。

また、第１回の関東スポーツ少年団交流大会が開催されることに伴い、本県では初めて予選会を５月に実施しました。（体協主催で平成12年度に本県で関東大会が開催されました。）

県内事業については、大会、練習会、合宿等、各連盟の担当者により予定通り実施してそれなりの成果を収めることができました。更に長期的にみた選手強化ということで、年度内の事業計画の合間を見つけ実施したことについて記してみます。

社会人の特別強化練習会として、県内上位の選手を集め、作新学院体育館で８月に２回したことや、中学生・高校生・社会人選手強化合同練習会と称し、12月に120名の選手を一同集めて河内町総合体育館で実施しました。ここでは中学校の指導者と高校の指導者との連携が図られ、選手も各年代を越えて互いに研修され、それなりの効果はあったのではないかと考えています。

また、小学生指導者講習会として、スポーツ少年団の指導者を対象に、大森誠一先生を講師として、運動公園トレーニングセンターに約20名の指導者と各学校のトップとなる生徒約30名により行いまして、バドミントンのルールから基礎練習の指導について熱の入った内容でありました。

橋渡しの２年間

私の理事長時代は、特に実業団連盟の三上隆康（故人）さん、湯沢雄一（当時実業団理事長）さん、家庭婦人連盟の坂口千代子さんや小学生連盟、中・高体連の協力を戴き、各種事業の展開は勿論、バドミントン協会年間大会要項の冊子を作成したりして前向きに進めてきたつもりであります。

協会事務局としては、大島喜代子先生（真岡女子高）が殆どの事業に関わり多忙であることから、個人登録の分担制をとり、負担の軽減化を図るなど能率的な運営へと変わった時でもありました。

本県は現在、遠井稔男会長が日本バドミントン協会専務理事として活躍しているなかで、地元の足固めとして、各連盟それぞれの努力と、協会全体の結集を強め、組織の拡充と競技力を向上させ、関東・全国の栃木として21世紀を迎えたい気持ちでおります。

終わりに、50年の節目を迎えるにあたり協会発展のために御尽力をいただきました関係の皆さんと、記念事業として企画・運営されております委員の方々に御礼を申し上げ、２年間の雑感とさせていただきます。

以上　文責　別井　晃

平成10年度

別井　晃理事長が教育委員会転出のため、第６代理事長として森田にバトンタッチされました。前理事長の残した業績は多大であり、短期間内で小学生バドミントン連盟の発足や競技力向上のため手腕を発揮され、本県バドミントン協会のために御尽力いただき、誠にありがとうございました。私共前理事長の意志を受け継いでいく覚悟ですので、今後ともよろしく御指導の程お願いします。

本年度は８月下旬に、第53回国民体育大会関東ブロック大会バドミントン競技会を宇都宮市で開催することになっており、準備･予算等は前理事長が万全を期してくれており、本番を迎えるだけになっています。非常にありがたい思いをしました。重ねて御礼申し上げます。

数回の実行委員会を開き、県との連絡調整・競技運営・審判団の確保・補助員の要請など各係チーフの努力で本番を迎えることが出来ました。７月中旬に各都県の代表者による組合せ会議も無事終了し、関東代表２枚の切符はどの県に渡るかで話題は集中しました。

８月29日(土) 30日(日) の２日間、会場を宇都宮市体育館にして熱戦の火蓋が切りおとされました。

栃木県選手団は、成男監督に大島正志先生、選手が斉藤・江連（ヨネックス）に郷間（富士重工)、成女が監督に原　利浩氏（県庁)、選手は塚原（国分寺養護）市村（栃木養護）岩崎（宇大)、少男は監督が村上幸一先生、選手は垣内・岡野・黄倉（作新）の12名の構成でありました。

８月28日（金）の公式練習後、監督会議が開かれ細部にいたるまで話合いが行われました。

試合当日､関東バドミントン連盟会長を迎えての開始式から始まり､その後試合がスタートしました。

各都県のメンバーは、日本リーグに加盟し全日本で活躍する選手がおり、ナショナルチームに入っている選手も数名いました。本県にとって苦戦は免れませんでした。しかし地元開催でもあり温かい応援の中、選手は全力でプレーをし観衆を魅了しました。結果は付いてこなかったのですが地元開催に恥じぬ戦いでありました。選手の皆さん、本当にご苦労様でした。

競技運営にしても早朝から夜遅くまで、自分の与えられた職務を責任をもって遂行していただいたスタッフに感謝いたします。

またこの時期に那須方面において、豪雨のためたくさんの被害があり心からお見舞い申し上げます。

第53回の国民体育大会秋季大会バドミントン競技は、神奈川県大和市で開催されました。本県からは少女が参加しました。監督大島喜代子先生、選手は羽石・新井（真女）に伊沢（小城南）が出場しました。民泊の温かいもてなしを受け、忘れられない思い出多い大会となりました。２回戦で敗退しましたが、バドミントン会場に天皇陛下が御来場になったことも感動したひとつでありました。

栃木県総合選手権は、男子シングルスで作新の黄倉が郷間（富士重工）を破って優勝、高校生チャンピオンになりました。ダブルスは、垣内・岡野（作新）が郷間・武田（バスターズ）を下して、これまた高校生がチャンピオンになりました。

女子は、シングルスが真女の小林、２位には同じく真女の山口が入賞しました。

ダブルスは、優勝が岩崎・谷（真女ＯＧ）が制し、２位には入江・五十嵐（日産）が入賞しましたが、高校生の活躍が目立った大会でした。

１年目を振り返ると、団体ブロックも皆様のご協力で無事終了し、各種大会においても新しい芽が出てきており、来年の選手の活躍が期待されます。

又審判部の指導のもと、高校生から一般のバドミントン愛好者が資格取得の講習及び検定を受験し、数多くの合格を出しました。さらに上級資格をめざして頑張ってもらいたいと思います。

小学生連盟もようやく軌道にのり、選手強化が実を結び、各種関東大会、全国大会で上位進出した選手が増えており、明るい展望となってきています。

今後とも協会会員一丸となって、協会発展のため御尽力下さるよう、よろしくお願い致します

平成11年度

栃木県バドミントン協会長・遠井稔男氏が日本バドミントン協会役員改選に伴い、専務理事に推挙され、日本バドミントン協会の重鎮として日本の為、世界のバドミントン界の発展のために仕事をなされるようになり、本協会にとっても大きな喜びとなりました。先生におかれては、健康に留意され頑張っていただきたいと思います。特に専務は競技力の向上に力を注いでおります。ジュニア育成にも積極的であり、その手腕は高く評価されています。これからの日本選手の活躍が楽しみになってきました。将来オリンピックでメダルを取れる選手の誕生も間近に思えます。栃木県協会一同応援しておりますので、心残りなく活躍されるよう希望しております。

第54回国民体育大会はバドミントンの聖地熊本県八代市で開催されました。残念ながら関東ブロックの壁は厚く、今年もストレート種目の成年男子のみの出場となりました。監督は森田、選手はヨネックスの江連・斉藤と初出場の日光市役所の荻原の３選手が参加しましたが、残念ながら初戦で敗けてしまい悔しい思いをしました。やはり若返りが必要な時期になっているのも事実でありました。各都県は現役バリバリの大学生などが参加しており、パワーの違いを痛感させられました。県協会としても2000年からストレート種目が２種目になり、今後の対策が急務となった大会でありました。

春の全国選抜で作新の垣内・岡野組がダブルスで準優勝する吉報から、平成11年度が始まり各種大会の活躍が期待されたが、たいした記録は残せませんでした。垣内・岡野組はインターハイではベスト８にとどまってしまいました。

国体ブロック予選（埼玉県久喜市）には、成女岩崎（宇大)、谷（日体大)、倉持（小城ＯＧ）の３名、少男は、垣内・岡野・黄倉の作新のトリオ、少女は、真女の山口・中田・小林の３選手、監督は、原（県庁)、村上（作新)、大島（真女）の計12名での選手団でのぞんだのですが、善戦むなしく、特に少男は本出場に後一歩までせまったが切符は取れませんでした。本大会出場はストレート種目のみとなってしまいました。

第48回の栃木県総合選手権は11月11日・14日に実施されました。男子シングルスは作新の黄倉が同校決戦となり下級生の関野に競り勝ち、頂点に立ちました。３位も岡野と垣内が入り作新勢が上位を独占しました。同ダブルスもやはり作新同士の対戦となり、関野・斉藤組が上級生の垣内・岡野組を破り頂点に立ちました。３位には、作新の黄倉・高宮組が、そして社会人で唯一、山田・郷間（バスターズ）組が残りました。女子シングルスは真女の広瀬が宇南の吉田に競り勝ち優勝、３位には真女の手塚、小城南の森山が入りました。女子ダブルスは宇南の吉田・西口組が真女の広瀬・渡辺に勝ち初優勝をかざりました。３位には宇南の池田・松本組と小城南の松本・伊沢組が入賞しました。この大会の上位は全て高校生で占めており、今後の一般男女の強化に本腰を入れなければならない状況です。特に女子は総合大会に出場する選手も少なく、あまりにも課題が大きすぎます。明るい材料としては、高校で活躍した選手が大学での続行を決めており各選手にかける期待は大きいものがあります。

平成12年度

今年から国体のストレート種目が１種目から２種目になり、関東ブロック予選突破が難しいのですが、本県にとっては明るい材料となりました。関東ブロックには、少年男子・成年女子が出場し、少男が東京を破る大金星を上げ、関東１位の代表になりました。対東京戦は近年にない好試合となり、関野・斉藤(作新)の活躍でインターハイ優勝校に勝ちました。

本大会は富山県高岡市で開催され、栃木県勢久しぶりの３種目出場となったが、残念ながら結果はあまり良くありませんでした。少女は真女・成男は大学生主体のチームであり、初戦から強豪との対戦となり、結果は出せませんでした。メンバーは少男が関野・斉藤そして宇南の田村、少女広瀬・黒子・

手塚（真女）であり、成男は垣内（日大）岡野（金沢学院大）黄倉（淑徳大）で、監督には村上・遠藤・大島先生があたり、栃木県選手団を結成しました。

夏休み最後の週末に第１回の全国小学生ＡＢＣバドミントン大会が８月26日～27日の２日間、栃木県体育館を主会場、宇都宮市体、清原、県トレセンをサブ会場に全国からチビッ子プレーヤーが参加してにぎやかに実施されました。Ａは小学５・６年生、Ｂは３・４年、Ｃは１・２年生という年令基準に従い、男子Ａ－41人、Ｂ－39人、Ｃ－27人、女子Ａ－40人、Ｂ－37人、Ｃ－34人の参加があり、リーグ戦トーナメント方式の形式がとられ、熱戦がくりひろげられました。又、選手に負けず父兄の皆様の応援にも熱が入り、第１回としてはまずまずの大会でありました。日本バドミントン協会のジュニア育成の一環としてこの大会が生まれ、将来この参加者の中からたくさんのオリンピック選手が生まれ育つことを目標にした大会でした。今後も数を重ねていただきたいと思います。日本バドミントン協会から遠井専務理事・鈴木理事、小学生連盟から会長はじめ、多数の役員が出席され、大会に協力いただき感謝いたします。また地元も数ヶ月前から準備にとりかかり、夜遅くまでこの大会の成功のためご尽力いただきました。小学生連盟の皆さん、事務局を担当した赤羽さんに謝意を表したいと思います。本県勢の活躍は男子の部、Ｃクラスで上野浩平君（益子）が３位に入賞しました。おめでとうございます。最後になりますが、この大会の準備期間中に急逝された三上隆康氏に謹んで哀悼の意を表したいと思います。

バドミントン・日本リーグ2000、宇都宮大会が11月25日（土）～26日（日）の２日間、宇都宮市体育館で開催されました。この大会は、宇都宮体育文化振興公社の20周年の記念事業として２年前から誘致し、実現しました。日本バドミントン協会、日本リーグ実行委員会の皆様には、多面的に御招導いただきありがとうございました。本県では単独の日本リーグを開いた事が数回ありましたが、男・女８チーム、計16チーム参加での大会は全く何も判らない状態からのスタートで、先進県の富山・新潟両県の理事長さんのご指導をいただき、実行委員長の今井茂満氏には大変お世話になりました。

参加チームは男子が、ＹＫＫ九州・トナミ運輸・ＮＴＴ東日本・ＮＴＴ西日本・日本ユニシス・ＮＴＴ東日本宮城・ＮＴＴ北海道・ベスト電器の８チーム、女子が、三洋電機・三協アルミ・東北電力新潟・ＮＥＣ相模原・ベスト電器・ヨネックス・ＮＥＣ九州・ＮＴＴ北海道の８チームでした。そのなかには本県出身の選手が数名参加していました。ＮＴＴ東日本の町田・青木選手、三洋電機の関本選手、ＮＥＣ相模原の関選手、ヨネックスの高岩選手などであり、大会に花をそえてくれました。。

開会式は日本バドミントン協会から遠井専務理事に出席いただき、地元選手の紹介などがあり、なごやかに開催されました。



日本リーグ2000開会式

ゲームは複・単・複の２複１単の形式であり、午前10時からと午後１時から、４コートを使っての２交替制を取り、多くの観客の中、各コートで熱戦がくりひろげられました。ゲームの間には、バドミントングッズが当たる抽選があり、観客を喜ばせました。

大会に先立って、ニューイタヤホテルでレセプションがあり、本県の名誉会長である参議院議員の岩崎純三先生、宇都宮市長・福田富一氏など多数の来賓を迎え盛大に行われました。和気あいあいのなか緊張感あるパーティでした。



優勝旗返還　宮永運営委員長



熱戦の１コマ

大会は２日間行われ、県内外から多数のバドミントンファンが宇都宮会場に足を運んでいただき、心配だった動員数もなんとかクリアーでき、皆様方に協力していただき、協会一同感謝しております。特に中・高校生には、連日たくさん観戦いただき、ありがとうございました。

大会も何のトラブルもなく無事終了することができました。また反省点も多く、特に審判団の編成が困難でした。日本リーグを担当できる者が少なく、今後の課題であります。上級審判資格を取得させなければいけないと思いますし、協会一丸となって取り組みたいと思います。

素晴らしい大会を目の前で観た本県の小中高生に良い刺激になったのも確かです。自分もあのコート上で大観衆の中、試合をやってみたいと思う人もいたと思います。今後の活躍が期待されます。栃木のジュニアは着々と実力を付けてきています。オリンピックに出場する選手が出るのも夢ではありません。きっと実現してくれることでしょう。

本年度を振りかえってみますと、関東高校で作新学院が３位に入賞し、全国中学校大会で黄倉（鬼怒中）がベスト８に入り、全日本ジュニア大会中学部で３位入賞したのは傑出できる成績です。特に黄倉は、冬のヨーロッパ遠征にも参加しておりまして、将来楽しみな選手であります。

又、男子団体では旭中がベスト８に、個人戦・ダブルスで旭中の福井・斉藤組が３位に入賞しました。女子では南河内中が団体で全国大会に出場しました。

高校においては作新学院の関野選手がインターハイでベスト16、全日本ジュニアでベスト８に進出しました。又小学生も関東大会・全国大会等で活躍し将来性のある選手が多いのは心強い限りであります。唯、女子の活躍は今一歩でした。今後に期待したいと思います。

県内の総合選手権では、男子シングルスで関野（作新）が同じ作新の斉藤を下しての優勝、ダブルスも江連・関野（作新ＯＢ）組が山田・郷間（バスターズ）を下して優勝しました。女子シングルスは、真女の手塚が文星の永井を敗り優勝、ダブルスは大塚・中広（栃木クラブ）組が古橋・岩崎（バスターズ）組を下して優勝しました。特に女子においては、一般の選手層が薄く今後の課題でもあります。

平成12年度は、数多くの大会があり、特に全国小学生ＡＢＣ大会、日本リーグ開幕戦などがあり、無事終了したのも会員の皆様の協力のお陰だと思っております。

又最後になりますが、本協会会長である遠井稔男氏が長年のバドミントンの普及・功績がみとめられ藍綬褒章を受けられました。本当におめでとうございました。又先生におかれては、シドニーオリンピックの日本チームの監督として参加されたことは、本協会にとって名誉なことでありました。御疲れ様でした。

以上　文責　森田　　昇

栃木県バドミントン協会年譜

協会発足当時

昭和22年10月　栃木県の空に初めてシャトルが舞う。大澤渉氏の奔走により東京より宮沢宏之氏はじめ相馬、秋元、井上、大谷の各選手を招き栃木県最初の講習会を県庁中庭及び県会議事堂に於て開く（主催　栃木県庁職員組合）

昭和24年５月　宮沢宏之氏を講師として宇女高体育館において３日間講習会開催（主催　県社会教育課）

昭和26年４月　県立松原高校にバドミントンクラブ誕生

昭和27年４月　県立宇都宮商業高校定時制にバドミントン部生まる

27年度	７／21	栃木県バドミントン協会設立	
	９／４	第７回国体高校男女予選会	
	９／７	第７回国体関東地区大会	千葉市（高校男女出場）
	９／14	第７回国体県予選会	附中・宇工
	10／19	第７回国体（出場）	仙台市
	11／23	**第１回県総合選手権大会**	県総合運動場
28年度	５／１	第６回全日本選手権（出場）	新潟市
	６／21	第４回全日本高校選手権大会県予選	宇女高
	７／25～26	技術講習会	附中
	７／29～30	第８回国体県予選会	県総合運動場
	８／３～７	第４回全日本高校選手権大会（出場）	山形市
	９／６	第８回国体関東地区大会	
	10／22～26	第８回国体（出場）	善通寺市
	11／21～23	第２回県総合選手権大会	県総合運動場
	11／23	**第１回県下高校選手権大会**	県総合運動場
29年度	５／22～23	第９回国体県予選会	県総合運動場
	５／29	技術・普及講習会	小山城南高
	６／６	第５回全日本高校選手権大会県予選会	県総合運動場
	６／10	第７回全日本選手権大会（出場）	東京都
	６／20	技術・普及講習会	日光高
	６／27	第９回国体関東地区予選会	横浜市
	７／４	第９回国体県予選会（一般男子）	県総合運動場
	７／10	技術・普及講習会	真岡高
	８／１～５	第５回全日本高校選手権大会（出場）	金沢市
	８／22～26	第９回国体（出場）	札幌市
	９／５	第２回県下高校選手権大会	県総合運動場
	９／12	技術・普及講習会	足利高
	11／20～21	第３回県総合選手権大会	県総合運動場
	１／21	**第１回高校新人大会**	〃
30年度	５／３	**第１回関東高校選手権県予選会**	県総合運動場
	５／21	公認審判講習会	〃
	５／22	公認審判審査会	〃
	５／23	第１回関東高校選手権県予選会	〃

	6／5	**第１回県社会人大会**	県総合運動場
	6／11～12	**第１回関東高校選手権大会**（参加）	桐生市
	6／25～26	第６回全日本高校選手権大会県予選会	県総合運動場
	7／3	指導者講習会	
	8／1～5	第６回全日本高校選手権大会	神戸市
	9／3～4	第10回国体県予選会	県総合運動場
	9／11～12	関東甲信越大学体育大会（主管）	宇スポーツセンター
	9／17～18	第10回国体関東地区大会（主管）	〃
	10／8～9	第３回県下高校選手権大会	県総合運動場
	10／30	第10回国体（出場）	横浜市
	11／20・23	第４回県総合選手権大会	宇スポーツセンター
	1／13	**第１回県下中学校大会**	作新学院体育館
	1／21	第２回高校新人大会	
31年度	4／22	技術講習会	
	5／5	栃木県体協主催技術講習会	宇女高
	〃	日光市体協主催技術講習会	日光高
	5／12～13	第２回関東高校選手権県予選会	宇スポーツセンター
	6／3	第２回県社会人大会	県総合運動場
	6／8～9	第２回関東高校選手権大会	甲府市
	6／17･23･24	第７回全国高等学校選手権大会県予選会	県総合運動場
	8／1～5	第７回全国高等学校選手権大会（名称変更）	仙台市
	8／26	第11回国体県予選会	宇スポーツセンター
	9／16	第11回国体関東地区予選	浦和市
	10／7･13･14	第４回県下高校選手権大会	宇スポーツセンター
	10／12	第11回国体	神戸市
	11／18･21･23	第５回県総合選手権大会	宇スポーツセンター
	1／20	第３回県下高校新人大会	〃
	2／9	第３回県下高校新人大会	〃
32年度	5／4～5	宇都宮市民バドミントン講習会	
	5／11～12	第３回関東高校選手権県予選会	宇スポーツセンター
	6／7・8・9	第３回関東高校選手権大会	千葉市
	6／22～23	第８回全国高等学校選手権県予選会	宇スポーツセンター
	8／20～25	第８回全国高等学校選手権大会	松江市
	8／17～18･9／8	第12回国体県予選会	宇スポーツセンター
	8／31・9／1	第12回国体関東地区予選会	東京都
	10／12	第12回国体	富士市
	10／5～6	第５回県下高等学校選手権大会	宇スポーツセンター
	11／23	第６回県総合選手権大会	スポーツセンター
33年度	5／4	市内バドミントン大会	宇高体育館
	5／11	第４回関東高校選手権県予選会	スポーツセンター
	6／14～15	第４回関東高校選手権大会	横須賀市
	6／21～22	第９回全国高校選手権大会県予選会	スポーツセンター
	7／6	第４回社会人大会	県総合体育館
	8／1～6	第９回全国高校選手権大会	新潟市
	8／22～23	第13回国体県予選会	スポーツセンター

	8／27・31	第11回全日本選手権大会	東京都
	9／14	第13回国体ブロック予選会	甲府市
	10／19～23	第13回国体	高岡市
	11／23・30	第７回県総合選手権大会	県総合運動場
	12／11～12	第６回県下高校選手権大会	〃
	2／7	第５回中部地区新人大会	スポーツセンター
	2／8	第５回県下高校新人大会	〃
34年度	4／25～26	第５回関東高校選手権県予選会	中央女子高
	5／2～5	第12回全日本選手権大会	長野市
	6／6～7	**第５回関東高校選手権大会（主管）**	宇都宮市
	6／27～28	第10回全国高校選手権県予選会	作新学院
	8／8～12	第10回全国高校選手権大会	会津若松市
	8／12～13	第14回国体県予選	スポーツセンター
	9／6	第14回国体ブロック予選	桐生市
	10／12～15	第14回国体	東京都
	12／5～6	第８回県総合選手権大会	スポーツセンター
	2／6	第６回県下高校新人大会	〃
	2／7	第６回中部地区新人大会	〃
	2／21	**第１回群馬栃木親善試合**	群大工学部体育館
35年度	4／24	第６回関東高校選手権県予選会	県総合運動場
	6／4～5	第６回関東高校選手権大会	大宮市
	6／18～19	第１回高校総合体育大会	宇大体育館
		兼第11回全国高校選手権県予選会	〃
	7／9～10	バドミントン公認審判講習会	渋川女子高体育館
	7／30～31	第15回国体予選	スポーツセンター
	8／23～26	第13回全日本選手権大会（出場）	
	8／26	第５回全日本青壮年大会	横浜市
	9／4	第15回国体ブロック予選会	千葉市
	9／18	第２回群馬栃木親善試合	スポーツセンター
	10／15～16	第８回県下高校大会	〃
	10／24～27	第15回国体	熊本県菊地市
	11／23	第９回県総合選手権大会	スポーツセンター
	2／4	第７回中部地区新人大会	〃
	2／5	第７回県下高校新人大会	〃
36年度	4／23	第７回関東高校選手権県予選会	〃
	5／7	第５回県社会人大会	県総合運動場
	6／3～4	第７回関東高校選手権大会	東京都
	6／18～19	第２回高校総合体育大会	スポーツセンター
		兼第12回全国高校選手権県予選会	〃
	7／2	第７回県下中学校大会	〃
	7／29～30	第16回国体県予選会	〃
	8／3～9	第12回全国高校選手権大会	青森市
	9／3	第16回国体ブロック予選会	横浜市
	10／8	第16回国体	秋田県象潟町
	10／15・22	第10回県総合選手権大会	スポーツセンター

	11／11～12	第８回県下高校新人大会	スポーツセンター
37年度	４／29	第８回関東高校選手権県予選会	〃
	６／２	第８回関東高校選手権大会	水戸市
	５／13	第８回県社会人大会	県総合グランド体育館
	６／24・25	第３回県下高校総合大会	
		兼第13回全国高校選手権県予選会	スポーツセンター
	７／８	第８回県下中学校大会	〃
	７／22・23	第17回国体県予選会	〃
	８／４～９	第13回全国高校選手権大会	高岡市
	８／10・11	**第１回全日本教職員大会（参加）**	東京都
	８／12～14	全国学校体育指導者バドミントン講習会	東京都
	８／24～27	強化合宿	上三川中学
	９／９	第17回国体関東地区予選会	スポーツセンター
	10／12～16	第17回国体	倉敷市
	11／11	第11回県総合選手権大会	スポーツセンター
	11／25	第４回栃木対群馬親善試合・市民スポーツ教室	〃
38年度	５／５	第９回関東高校選手権県予選会	〃
	５／12	第９回県社会人大会	県総合グランド体育館
	６／１～２	第９回関東高校選手権大会	前橋市
	６／23～24	第４回県高校総合大会	
		兼第14回全国高校選手権県予選会	スポーツセンター
	７／14	第９回県下中学校大会	〃
	10／31～11／４	第18回国体　少年女子優勝	下関市
	10／19～20	第10回県高校新人大会	スポーツセンター
	11／17・23	第12回県総合選手権大会	〃
	月／不明	第18回国体県予選会	〃
	〃	第18回国体関東ブロック大会	
	２／15	第19回国体県予選会	スポーツセンター
	２／27	県スポーツ賞受賞	県公館
	３／27～28	第19回国体関東地区予選会	
39年度	５／24	第10回関東高校選手権県予選会	スポーツセンター
	６／20～21	第15回全国高校選手権県予選会	
	７／22	第10回関東高校選手権大会	甲府市
	８／３～８	第15会全国高校選手権大会	京都市
	９／６	第10回県下中学校大会	上三川中
	９／27・10／４	第13回県総合選手権大会	県体
	10／７～８	第11回県高校新人大会	スポーツセンター
	10／15～18	第19回国体　少年女子優勝	三条市
	12／６	第10回県社会人大会	県体
	２／21	第５回栃木対群馬対抗試合	桐生市
40年度	４／25	第６回高校総体兼第16回全国高校選手権県予選会	スポーツセンター
	４／28	第11回関東高校選手権県予選会	〃
	５／27	**日韓親善試合**	県体
	５／30	第11回県中学生大会	上三川中
	６／５～６	第11回関東高校選手権大会	千葉市

	6／20～21	第16回全国高校選手権県予選会	県体
	7／3～4	第20回国体県予選会	〃
	8／27～28	第20回国体関東ブロック大会	〃
	10／17～22	第20回国体	岐阜市
	10／30～31	第12回県高校新人大会	スポーツセンター
	11／21・23	第14回県総合選手権大会	県体
	12／5	第11回県社会人大会	スポーツセンター
	12／26	審判講習会	真女高
41年度	4／24	第12回関東高校選手権県予選会	県体
	5／22	第12回県中学生大会	県体
	6／4～5	第12回関東高校選手権大会	川越市
	6／26～27	第7回県高校総体兼17回全国高校県予選会	県体
	7／17	第21回国体県予選会	県体
	8／27～28	第21回国体関東ブロック大会	
	10／15～19	第21回国体	日田市
	10／29～30	第13回県高校新人大会	県体
	11／20・23	第15回県総合選手権大会	県体
	12／4	第12回県社会人大会	県体
	12／27～28	審判講習会	宇女高
42年度	5／28	第13回県中学生大会	
	6／3～4	第13回関東高校選手権県予選	県体
		第13回関東高校選手権大会	県体
	6／18～19	第8回県高校総体兼第18回全国高校県予選会	県体
	7／7	小林茂真女高校長全国体連バドミントン部長就任	
	7／15～16	第22回国体県予選会	県体
	8／27	第22回国体関東ブロック大会	
	10／18～24	第22回国体	越谷市
	10／29	第14回県高校新人大会	県体
	11／22～23	第16回県総合選手権大会	県体
	12／5	第13回県社会人大会	
	1／15	高校選抜合宿	県体
	2／10	バドミントン審判講習会	真女高
	3／28	県協会理事会	宇女高
43年度	4／21	第14回関東高校選手権県予選会	県体
	5／26	第14回県中学生大会	〃
	6／1～2	第14回関東高校選手権大会	横浜市
	6／16～17	第9回県高校総体兼第19回全国高校選手権県予選会	県体
	7／20～21	第23回国体県予選会	〃
	8／28・29	第23回国体関東ブロック大会	
	10／18～23	第23回国体	勝山市
	10／26～27	第15回県高校新人大会	県体
	11／23～24	第17回県総合選手権大会	〃
	12／8	第14回県社会人大会	〃
	12／21～22	バドミントン審判講習会	宇女高
	1／12～14	全国高校バドミントン合宿	東京都

	1／25	県協会総会	宇女高
44年度	4／20	第15回関東高校選手権県予選会	真女高
	6／7～8	第15回関東高校選手権大会	東京都
	6／15～16	第20回全国高校選手権県予選会	兼総合グランド体育館
	7／19～20	第24回国体県予選会	県体
	8／27～28	第24回国体関東ブロック大会	〃
	10／15～19	第24回国体	諫早市
	11／16・23	第18回県総合選手権大会	県体
	12／7	第16回県高校新人大会	〃
	1／24～25	県審判講習会	〃
	2／1	県審判講習会	宇都宮市
	3／20～27	訪韓真女高バドミントン部	馬山・ソウル市
45年度	4／29	第16回関東高校選手権県予選会	県体
	5／24	第16回県中学生大会	〃
		第16回関東高校選手権大会	水戸市
	6／20	県協会総会	栃木会館
	6／21～22	第21回全国高校選手権県予選会	県体
	7／4～5	第25回国体県予選会	県体
		第25回国体関東ブロック大会	
	10／12～15	第25回国体　皇后杯優勝	釜石市
	11／22～23	第19回県総合選手権大会	県体
	1／10	第17回県社会人大会	県体
	1／14～17	全国高校選抜合宿	
	2／28	**県スポーツ賞受賞　真岡女子高バドミントン部**	くろかみ荘
	2／28	バドミントン講習会	上三川中
	3／26	バドミントン審判講習会	真女高
	3／28	県協会総会	宇女高
46年度	4／15	第17回県中学生大会	
	4／29	第17回関東高校選手権県予選会	県体
	5／15	第17回県中学生大会	県体
	6／5～6	第17回関東高校選手権大会	県体（宇都宮）
	6／25～26	第22回全国高校選手権県予選会	県体
	7／17～18	第26回国体県予選会	〃
	8／27～28	第26回国体関東ブロック大会	
	9／25	県民体育祭	県体
	10／16～19	第26回国体	湯浅町
	11／21～22	第20回県総合大会	県体
	12／18～19	第18回県高校新人大会	〃
	1／5～6	全国高校選抜関東予選	木更津市
	1／30	国際大会	宇都宮市
	3／12	バドミントン講習会	真岡市
	3／18～20	全国高校選抜大会	新庄市
47年度	4／29～30	県高校総体兼第18回関東高校選手権県予選会	県体
	6／3～4	第18回関東高校選手権大会	木更津市
	6／18～19	第23回全国高校選手権県予選会	県体

	7／15	県協会総会	宇女高
	7／18	第27回国体県予選会	県体
	8／27～28	第27回国体関東ブロック大会	
	9／12	スポーツ指導員（バドミントン）講習会	県体
	9／24	県民体育祭バドミントン競技	県体
	9／26～30	第27回国体	鹿児島市
	11／23・26	第21回県総合選手権大会	県体
	12／3	第18回社会人大会	県体
	12／18	第19回県高校新人大会	県体
	1／5～6	第1回関東高校選抜合宿　秋山、鈴木優勝	甲府市
	2／4	第2回国際大会栃木大会	県体
	3／9～10	審判講習会	真女高
	3／18	県実業団大会	旭光学
	3／25	県協会総会	宇女高
	3／27～28	**第1回全国高校選抜合宿**	真岡市
48年度	4／28～29	第19回関東高校選手権県予選会	県体
	5／3～6	沖縄国体	石垣島
	6／9～10	第19回関東高校大会	甲府市
	6／22～23	第24回全国高校選手権県予選会	県体
	7／7	第19回県中学生大会	県体
	7／21～22	第28回国体県予選会	県体
	8／28	第28回国体関東ブロック大会	
	10／17～20	第28回国体	茂原市
	11／13	**第1回日中大会**	訪中
	11／23	第22回県総合選手権大会	県体
	12／21～22	第20回県高校新人大会	〃
	1／5～6	第2回関東高校選抜合宿	大宮市
	2／17	県協会総会	宇女高
	3／8～29	第64回全英大会　遠井氏日本チーム監督	
49年度	4／20	第20回関東高校選手権県予選会	県体
	5／19	県協会総会	作新学院
	6／1～2	第20回関東高校選手権大会	上尾市
	6／15～16	第25回全国高校選手権県予選	県体
	7／18	第29回国体県予選	県体
	8／26～27	第29回国体関東ブロック大会 兼関東選手権大会関東中学生大会	
	9／8	県民体育祭	県体
	10／16～19	第29回国体	石岡市
	11／23～24	第23回県総合選手権大会	県体
	12／1・7	バドミントン講習会	県体
	12／21～22	第21回県高校新人大会	県体
	1／11	バドミントン講習会	県体
	1／15	第4回国際大会	宇都宮市
	1／20	バドミントン講習会	県体
	2／8	バドミントン講習会	〃

	3／27～28	第3回全国高校選抜合宿	
50年度	4／27～28	第21回関東高校選手権県予選会	県体
	5／31・6／1	第21回関東高校選手権大会	高崎市
	6／12～13	第26回全国高校選手権県予選会	県体
	10／	第30回国体	松坂市
	11／9	講習会	真女高
	12／7	講習会	〃
		第24回県総合選手権大会	県体
	月日不明	第30回国体県予選	県体
	〃	第30回国体関東ブロック大会	
	1／5～6	第4回全国高校選抜大会関東予選会	逗子市
	1／17～22	第10回ト杯第6次強化合宿 遠井 日本代表チーム	小山市
	2／25～29	第10回ト杯第7次強化合宿 〃	今市青少年センター
	2／29	県実業団大会	旭光学
	3／8～14	第10回ト杯第8次強化合宿	旭光学
	3／25～4／7	第10回ト杯アジア決勝マレーシア（4／2）遠井氏日本チーム監督	
51年度	6／5～6	第22回関東高校選手権大会	藤沢市
	6／19～20	第27回全国高校選手権県予選会	県体
	7／3	第31回国体県予選会	〃
	8／27～30	第31回国体関東ブロック大会	県体
	9／12	**第1回学年別大会**	真女・真農
	10／	第31回国体	牛津町
	10／2	**第1回県家庭婦人大会**	県体
	10／9・11	第25回県総合選手権大会	県体
	12／18～19	第23回県高校新人大会	県体
	1／17	国体事業バドミントン指定依頼巡回	旭光学・神戸製鋼
	3／9～4／10	第66回全英・ヨーロッパ遠征 遠井副団長	
52年度	4／23～24	県高校総体兼第23回関東高校選手権県予選会	真岡市
	6／18～19	第28回全国高校選手権県予選会	真岡市
	7／19	第32回国体県予選会	県体
	8／20～22	第32回国体関東ブロック大会	藤沢市
	9／15～18	**第20回全日本社会人大会（主管）**	真岡市
	9／23	第2回学年別1・2年大会	真岡市
	10／	第32回国体	浪岡町
	11／20・23	第26回県総合選手権大会	県体
	12／24～25	第24回県高校新人大会	〃
	3／5	県審判講習会	作新
	3／10	バドミントン指導者講習会	県体
53年度	4／30・5／1	県高校総体兼第24回関東高校選手権県予選会	県体
	6／10～11	第24回関東高校選手権大会	東京都
	6／17～18	第29回全国高校県予選会	県体
	7／1～2	第33回国体県予選会	真岡市
	8／19～20	第33回国体関東ブロック大会	県体
	9／2	第3回学年別大会	真農・真女
	9／10	第3回県家庭婦人大会	真岡市

	10／8	第29回県民体育祭	県体
	10／7・10	第27回県総合選手権大会	〃
	10／21～25	第33回国体	塩尻市
	11／25～26	第25回県高校新人大会	県体
	2／11	講習会	足利市
54年度	4／21～22	県高校総体兼第25回関東高校選手権県予選会	真岡市
	6／9～10	第25回関東高校選手権大会	〃
	6／16～17	第30回全国高校選手権県予選	〃
	6／22	第25回県中学生大会	〃
	6／30～7／1	第34回国体県予選兼国体審判講習会	〃
	8／25～27	第34回国体関東地区大会兼国体リハーサル大会	真岡市
	9／10	第4回学年別大会	県体・真岡市
	10／7	県民体育祭バドミントン競技	県体
	10／	第34回国体	西都市
	11／20～21	第26回県高校新人大会	県体
	11／22～23	第28回県総合選手権大会	県体
	1／5～6	第8回全国高校選抜関東予選会	千葉市
	3／24～25	**第8回全国高校選抜競技会（主管）**	真岡市
55年度	4／19	県高校総体兼第26回関東高校選手権県予選会	真岡市
	4／20	県協会総会	県体
	6／1～2	第26回関東高校選手権大会	千葉市
	6／14～15	第31回全国高校選手権県予選会	真岡市
	7／13	県民体育祭バドミントン競技	県体
	8／22～26	**第13回日韓高校大会（主管）**	真岡市
	8／29	第35回国体関東ブロック大会	
	9／2	第5回県学年別大会	県トレセン
	9／	第5回県婦人大会	県トレセン
	10／13～16	**第35回栃の葉国体（主管）**	真岡市
	11／12～13	第27回県高校新人大会	県体
	11／24・30	第29回県総合選手権大会	県体
	12／7	第26回県社会人大会	真岡市
	1／6～7	第9回全国高校選抜関東予選会	甲府市
	3／4～18	**第1回北欧ジュニア遠征　遠井氏副団長**	
		村上・斎藤・大島・大堀・高橋・湯沢・平間	
	3／27～28	第9回全国高校選抜競技会	大津市
56年度	4／12	県協会総会	作新
	4／25～26	第27回関東高校選手権予選会	県体
	6／6～7	第27回関東高校選手権大会	甲府市
	6／12～13	第32回全国高校選手権県予選会	県体
	7／18～19	第36回国体県予選会	〃
	8／20～25	**第14回日韓高校　遠井氏団長・別井監督・大島・大堀**	ソウル
	8／27	第36回国体関東ブロック大会	県体
	9／12～13	第6回高校学年別大会	県トレセン
	10／14～17	第36回国体	大津市
	10／25	第6回県婦人大会	県トレセン

	11／2 ～ 3	第28回県高校新人大会	県トレセン県体
	11／22～23	第30回県総合選手権大会	県体
	12／6	第27回県社会人大会	県体
	1／6 ～ 7	第10回全国高校選抜関東予選会	上尾市
	3／27～28	第10回全国高校選抜大会	桐生市
57年度	4／1 ～ 6	アジアジュニア招待大会　遠井氏団長　小山城南・上尾	台北市
	4／17	定時総会	作新学院会議室
	4／24・25	第28回関東高校県予選会	トレセン
	6／12～14	第33回全国高校総体県予選会	真岡市体・トレセン
	6／26・27	第37回国体県予選会	真岡市体
	8／1 ～ 6	第33回全国高校総体　団体2位　小山城南高	鹿児島県加世田市
	8／20～23	第37回国体関東地区予選会	真岡市体
	9／11～13	第7回県高校学年別大会	県体　トレセン
	11／6 ・ 7	第22回県高校新人大会	真岡市体
	11／21・23	第31回県総合選手権大会	トレセン
	12／5	県社会人大会	真岡市体
	58. 1／23	**県協会30周年記念式典**	県教育会館
	1／30	**第1回県オープン大会**	トレセン
58年度	4／23・24	第29回関東高校県予選会	県体育館
	5／14	定時総会	宇都宮市体
	6／15・16	第34回全国高校総体県予選会	県体　トレセン
	6／22・23	第38回国体県予選会	県体
	7／24～28	第26回東日本学生選手権大会	真岡市体
	9／3 ～ 5	第8回県高校学年別大会	真岡市体
	11／5 ～ 7	第23回県高校新人大会	県体
	11／20・23	第32回県総合選手権大会	トレセン
	1／10	県協会主催ゴルフ大会	小山ゴルフクラブ
	1／28	第2回県オープン大会	県体
	3／24～28	**第12回全国高校選抜大会（主管）**	足利市体
59年度	4／12	定時総会	県体育館
	5／12・13	第30回関東高校県予選会	県体育館
	5／20	県社会人大会	県体育館
	6／13～15	第35回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	6／30，7／1	第39回国体県予選会	県体
	8／8	県小学生大会	県体
	8／21～23	第8回県高校学年別大会	真岡市体
	10／7	県学生選手権大会	県体
	10／21	県家庭婦人大会	トレセン
	11／10～13	第24回県高校新人大会	県体
	11／23～25	第33回県総合選手権大会	トレセン
	12／10	第3回県家庭婦人大会	宇都宮市体
	1／29	第3回県オープン大会	県体
	2／10	県実業団大会	トレセン
60年度	4／20・21	第31回関東高校県予選会	県体・トレセン
	4／28	定時総会	県体

	6／29・30	第36回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	7／2，3	第40回国体県予選会	県体・トレセン
	7／10	県家庭婦人大会	県体
	8／19	県小学生大会	トレセン
	8／31，9／1	第9回県高校学年別大会	県体・トレセン
	10／6	県民スポーツ大会（主管）	県体
	11／8，9	第25回県高校新人大会	県体
	11／23，24	第34回県総合選手権大会	県体
	12／8	第4回県オープン大会	トレセン
	12／30	県協会主催ゴルフ大会	小山ゴルフクラブ
	1／19	審判講習会	小山園芸高校
61年度	4／12	定時総会	県武道館会議室
	4／19	第32回関東高校県予選会	県体
	6／7～10	第37回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	6／28	第41回国体県予選会	県体
	7／10	第6回県家庭婦人大会	市体
	8／21～24	**第16回全国中学校大会（主管）**	真岡市体
	9／11～13	第10回県高校学年別大会	県体・トレセン
	10／5	県民スポーツ大会	県体
	11／1～4	第26回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／22，23	第35回県総合選手権大会	県体
	1／28	第5回県オープン大会	県体
62年度	4／11	定時総会	県体
	4／25・26	第33回関東高校県予選会	県体・トレセン
	5／24・31	第30回全日本社会人大会県予選会	県体
	6／5～7	**第33回関東高校大会（主管）**	県体
	6／13	第42回国体県予選会	県体・トレセン
	6／14～16	第38回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	8／8	県小学生大会	県体
	8／16～18	県中学生バドミントン教室	県体
	9／12～14	第11回県高校学年別大会	県体・トレセン
	10／4	県民スポーツ大会（主管）	県体
	10／30	県家庭婦人大会	県体
	11／2～6	第27回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／22・23	第36回県総合選手権大会	トレセン　明保野
	1／31	第6回県オープン大会	県体
	3／24～27	第16回全国高校選抜大会　3位	宝塚市
63年度	4／10	定時総会	県体
	4／23・24	第34回関東高校県予選会	県体・トレセン
	5／22	第31回全日本社会人大会県予選会	県体
	6／11・12	第39回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	6／25	第43回国体県予選会	トレセン
	8／7	県小学生大会	トレセン
	9／2～4	第12回県高校学年別大会	トレセン
	9／30	県家庭婦人大会	トレセン

	10／24～30	**第39回全日本学生選手権大会（主管）**	県体・市体・トレセン
	11／4・5	第28回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／20	**日本リーグ（主管）**	県体
	11／23・25	第37回県総合選手権大会	県体・トレセン
	1／22	第7回県オープン大会	トレセン
	3／26～28	**第17回全国高校選抜宇都宮大会（主管）**	県体
平成元年度	4／22	定時総会	県体育館大会議室
	4／29・30	県下高校総体兼第35回関東高校県予選会	県体・トレセン
	5／21	第32回全日本社会人大会県予選会	日産栃木体育館
	6／9～12	元年度全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	6／14～18	第39回全日本実業団大会（団体）	岡山市
	6／24・25	第44回国体県予選会	トレセン・日産
	8／1～5	第40回全国高校総体	高知市
	8／10	第7回県小学生大会	トレセン
	8／18～22	第44回国体関東地区予選兼関東選手権大会	真岡市体育館
	8／31～9／2	第14回県高校学年別大会	県体
	9／9～9／10	〃	トレセン
	9／1～4	第32回全日本社会人大会	福岡市
	9／7～9	北関東5大学大会（主管）	県体
	9／15～19	第44回国民体育大会	登別市
	9／30	県家庭婦人大会	トレセン
	10／1	第5回県民スポーツ大会	県体
	11／3・4・5	第29回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／23・26	第38回県総合選手権大会	県体
	2. 1／5～8	県ジュニア強化練習会	トレセン
	1／28	第8回県オープン大会	県体
	3／11	審判員養成講習会	県体
	3／18	第40回全日本実業団大会県予選会	市体
2年度	4／21	定時総会	県武道館会議室
	4／28～30	県下高校総体兼第36回関東高校県予選会	県体・トレセン・県体
	5／27，6／3	第33回全日本社会人大会県予選会	県体・日産体
	6／13～17	第40回全日本実業団大会	神戸市
	6／15,17,18,23	第41回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	6／24	県高校定時制通信制大会	県体
	6／30，7／29	第45回国体県予選会	トレセン・県体
	8／10	第8回県小学生大会	県体
	8／23～25,9／1	第15回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／30	県家庭婦人大会	トレセン
	10／7	第6回県民スポーツ大会	県体
	11／2～4	第30回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／23・25	第39回県総合選手権大会	県体
	1／4～7	県ジュニア強化練習会	トレセン
	1／27	第9回県オープン大会	県体
	3／16	審判員養成講習会	県体
	3／23	第41回全日本実業団大会県予選会	県体

3年度	4／13	定時総会	コンセーレ
	4／27・28	県高校総体兼第37回関東高校県予選会	県体・トレセン
	5／23・24	**関東家庭婦人大会（主管）**	宇都宮市体
	5／26	第34回全日本社会人大会県予選会	県体
	6／15～17	第42回全国高校総体県予選会	清原・県体・トレセン
	6／21～23	同上	
	6／23	県高校定時制通信制大会	県体
	6／29	第46回国体県予選会	トレセン・県体
	8／10	第９回県小学生大会	県体
	8／24～27	第16回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／6	県家庭婦人大会	トレセン
	10／6	第７回県民スポーツ大会	県体
	11／1～7	第31回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／24，12／1	第40回県総合選手権大会	県体
	12／7～9	関東教育系大学大会	県体
	1／5～8	県ジュニア強化練習会	トレセン
	1／26	第10回県オープン大会	県体
	3／14	審判員養成講習会	県体
	3／21	第42回全日本実業団大会県予選会	県体
	3／26～28	**第20回記念全国高校選抜大会（主管）**	県体･トレセン･市体･清原
4年度	4／12	第35回全日本社会人大会県予選会	市体
	4／18	定時総会	県武道館会議室
	4／24・25	県高校総体兼第38回関東高校県予選会	県体・市体
	6／19～22	第43回全国高校総体県予選会	市体・トレセン
	6／27	第47回国体県予選会	市体
	6／28	県高校定時制通信制大会	県体
	8／9	第10回県小学生大会	県体
	9／2～5	第17回県学年別大会（単複を実施）	市体・トレセン
	10／4	第８回県民スポーツ大会	県体
	10／30～11／3	第32回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／5	４年度県学生選手権大会	県体
	11／22・23	第41回県総合選手権大会	県体
	1／4～7	県ジュニア合宿	トレセン
	1／31	第11回県オープン大会	トレセン
	3／17	審判員養成講習会	県体
5年度	4／10	定時総会	県武道館会議室
	4／11	第43回全日本実業団大会県予選会	県体
	4／23・24	県高校総体兼第39回関東高校県予選会	県体・トレセン
	5／14	第36回全日本社会人大会県予選会	市体
	5／14～16	平成５年度全国高校総体バド競技	県体・トレセン
	6／11～13	兼第44回全国高校大会県予選会	市体・県体
	6／26	第48回国体県予選会	市体
	7／3	第44回全国高校プログラム編成会議	市体
	8／1～6	**第44回全国高校大会（主管）**	県体・市体・清原
	8／10	第11回県小学生大会	トレセン

	8／22	**第１回県混合ダブルス大会**	県体
	8／26～29	第18回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／17	県家庭婦人大会	真岡市体
	10／31	５年度県学生選手権大会	県体
	11／５～８	第33回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／21・23	第42回県総合選手権大会	トレセン
	12／28	第12回県オープン大会	県体
	１／４～７	県ジュニア合宿	県体
	１／28～30	**関東シニアバドミントン選手権大会（主管）**	県体・市体
	３／14	審判員養成講習会	県体
	３／20・21	第44回全日本実業団大会県予選会	県体
６年度	４／10・17	第44回全日本実業団大会県予選会	日産体
	４／16	定時総会	県武道館会議室
	５／６～８	県高校総体兼第40回関東高校県予選会	県体・トレセン
	５／22・29	第37回全日本社会人大会県予選会	日産体
	６／15～19	第45回全国高校総体県予選会	市体・トレセン
	６／25	第49回国体県予選会	清原体・トレセン
	８／11	第12回県小学生大会	県体
	８／21	第２回県混合ダブルス大会	県体
	９／2，3，4	第19回県学年別大会（単複を実施）	県体・市体・雀宮体
	10／２	第９回県民スポーツ大会	県体
	10／23	６年度県学生選手権大会	県体
	11／3，4，5	第34回県高校新人大会	県体・清原・トレセン
	11／19，23	第43回県総合選手権大会	市体トレセン
	12／23	第13回県オープン大会	県体
	１／5，6，7	第23回全国高校選抜大会関東地区予選会	県体育館
７年度	４／15	定時総会	県武道館会議室
	４／16	第45回全日本実業団大会県予選会	日産体育館
	５／１・２・３	県高校総体兼第41回関東高校県予選会	県体
	５／21	第38回全日本社会人大会県予選会	県体
	６／９～11	**第41回関東高校バドミントン選手権大会（主管）**	県体
	６／18～21	第46回全国高校総体県予選会	県体・トレセン・市体
	６／25	県高校定時制通信制大会	トレセン
	７／15・16	第50回国体県予選会	県体
	８／12	第13回県小学生大会	県体
	８／20	第３回県混合ダブルス大会	県体
	８／28～30	第20回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	10／１	第11回県民スポーツ大会	県体
	10／22	７年度県学生選手権大会	トレセン
	11／１～４	第35回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／25・26	第44回県総合選手権大会	トレセン
	11／26	**日本リーグ栃木大会（主管）**	県南体育館
	２／７・９	県家庭婦人大会	市体
	２／17	第14回県オープン大会	トレセン
８年度	４／13	定時総会	コンセーレ

	4／14	第46回全日本実業団大会県予選会	県体
	5／1～3	県高校総体兼第42回関東高校県予選会	県体
	5／26，6／2	第39回全日本社会人大会県予選会	トレセン
	6／19～22	第47回全国高校総体県予選会	県体・トレセン
	7／13・14	第51回国体県予選会	県体
	8／9・10・11	**第27回関東中学校バドミントン大会（主管）**	真岡市体育館
	8／10	第14回県小学生大会	県体
	8／18	第4回県混合ダブルス大会	県体
	8／27～30	第21回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／13	県家庭婦人大会	真岡市体
	9／14～16	**第34回関東総合バドミントン選手権大会（主管）**	県体・トレセン
	10／6	第12回県民スポーツ大会	県体
	10／26	8年度県学生選手権大会	トレセン
	11／5～8	第36回県高校新人大会	県体・トレセン
	11／16・17	**日本リーグ栃木大会（主管）**	県体
	11／23・24	第45回県総合選手権大会	トレセン
	1／4～6	ジュニア強化	トレセン
	2／16	第15回県オープン大会	県体
9年度	4／19	定時総会	県武道館
	4／20	第47回全日本実業団大会県予選会	トレセン
	5／25，6／1	第40回全日本社会人大会県予選会	トレセン
	7／12・13	第52回国体県予選会	県体
	8／9	第15回県小学生大会	県体
	8／17	第5回県混合ダブルス大会	県体
	8／25～28	第22回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／18・19	県家庭婦人大会	真岡市体
	10／4	9年度県学生選手権大会	県体
	10／6	第13回県民スポーツ大会	県体
	10／12	第6回全国小学生大会関東地区予選会	市体
	11／23・24	第46回県総合選手権大会	トレセン・県体
	10．2／15	第16回県オープン大会	県体
	2／22	**第1回県シニアバドミントン大会**	県体
	3／25～27	東日本高校バドミントン大会	県体・トレセン
10年度	4／18	定時総会	コンセーレ
	4／19	第48回全日本実業団大会県予選会	県体
	5／24・31	第41回全日本社会人大会県予選会	県体・トレセン
	7／11・12	県小学生バドミントン講習会	トレセン
	7／19・20	第53回国体県予選会	県体・トレセン
	8／8	第16回県小学生大会	県体
	8／9	第6回県混合ダブルス大会	県体
	8／24～27	第23回県学年別大会（単複を実施）	県体　トレセン
	8／28～30	**第53回国体バド競技関東地区大会（主管）**	宇都宮市体育館
	9／17・18	県家庭婦人大会	真岡市体
	10／4	第14回県民スポーツ大会	県体
	10／18	10年度県学生選手権大会	県体

	11／22・23	第47回県総合選手権大会	県体
	12／12・20	**第１回県中学校バドミントン選手権大会**	宇都宮市体育館
	11．2／14	第17回県オープン大会	県体
	2／27・28	第２回県シニアバドミントン大会	県体
11年度	4／11	第49回全日本実業団大会県予選会	トレセン
	4／17	定時総会	コンセーレ
	5／16	全国スポレク大会県予選会	東勤労者センター
	5／30，6／6	第42回全日本社会人大会県予選会	清原体・トレセン
	7／18・25	第54回国体県予選会	トレセン
	8／8	第７回県混合ダブルス大会	トレセン
	8／23～25	第24回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／5	第17回県小学生大会	県体
	9／16・17	県家庭婦人大会	真岡市体
	10／3	第15回県民スポーツ大会（主管）	県体
	11／14・21	第48回県総合選手権大会	県体
	11／24	11年度県学生選手権大会	県体
	12／12	第２回県中学校バドミントン選手権大会	宇都宮市体育館
	2／13	第18回県オープン大会	県体
	2／27，3／5	第３回県シニアバドミントン大会	県体
12年度	4／15	定時総会	県武道館会議室
	4／16	第50回全日本実業団大会県予選会	県体
	5／28	全国スポレク大会県予選会	真岡市武道館
	5／28，6／4	第43回全日本社会人大会県予選会	トレセン
	6／11，25	第55回国体県予選会	トレセン
	7／8，15	第55回国体県予選会	雀宮体育館
	8／1	第12回全日本ジュニア県予選会	真岡市体
	8／20	第８回県混合ダブルス大会	トレセン
	8／26，27	**第１回全国小学生ＡＢＣ大会（主管）**	県体・市体・清原体
	9／12～15	第25回県学年別大会（単複を実施）	県体・トレセン
	9／13，14	県家庭婦人大会	真岡市体他
	9／15	第１回秋季県中学校バドミントン大会	真岡市体
	10／1	第16回県民スポーツ大会	県体
	10／22	12年度県学生選手権大会	県体
	11／11，12	第49回県総合選手権大会	雀宮体・トレセン
	11／24～26	**日本リーグ開幕戦（16チーム）（主管）**	宇都宮市体育館
	12／9	第３回冬季中学校バドミントン大会	真岡市体
	2／11	第19回県オープン大会	トレセン
	2／25，3／4	第４回県シニアバドミントン大会	県体・トレセン

支部協会の活動



宇都宮市バドミントン協会

会長　保田誠一

1　バドミントンのはじまり

戦後の傷跡消えやまぬ昭和22年10月、県庁内中庭で、バドミントンの実技講習会が開かれた。

当時、バドミントンという名称は、体育の教材にその名を見い出すに過ぎないテニス型のスポーツであるぐらいにしか認識されていない競技であった。むしろスポーツの一つであると思わぬ人の方が多かったかもしれない。

早速同僚を誘い県庁に出かけた。テニスを小型にしたようなラケット。追羽根のそれを大型にしたような羽根。「なるほど、これがバドミントンというものか、追羽根の親玉のようなものだな」と一方がっかりした感じを持ったのは、偽らざる告白である。

風が出てきたので、会場を県議会議事堂に移して講習会は継続された。受講者は、ラケットを持って羽根を打っているうちに、打球感や飛びゆく羽根の曲線美に、いつの間にかすっかり虜になってしまった。と宇都宮市バドミントン協会創立時の副会長で、県協会２代目の理事長松本弘充氏は、栃木県バドミントン協会10周年記念誌に創設当時の回顧を、こう記している。

バドミントンが、県内で最初に行われたのが、この講習会であった。

松本弘充氏は、当時宇都宮市立簗瀬小学校に奉職していたが、第１回の講習会に参加したのを機会に、無理を承知で用具一式を学校で買ってもらい、放課後、校舎と校舎の間にネットを張って、シャトルを追い続けた。

昭和27年県立宇都宮商業高校に赴任し、その年にクラブを結成、数多くの優秀な選手を育てた情熱と努力が、本県バドミントン界の夜明けとなった。

昭和27年７月、県協会が誕生した。この時の加盟団体は、松原高校（現宇都宮中央女子高校）・宇都宮商業高校・東京電力・貯金局とすべて宇都宮市内の関係機関であり、役員も提武雄副知事を会長に、全員宇都宮市内に在住の人達であった。

2　市協会誕生

このようにして宇都宮市内で、バドミントンが普及し、いろいろの職場でプレーを楽しむ姿が見られるようになった。

昭和32年５月、松本弘充氏を講師に、宇都宮市民バドミントン講習会が開かれ、多数の参加者があった。

その後、講習会の受講者や会社の愛好者達が、夜になるとスポーツセンター（現市庁舎）に集まり、互いに汗を流し、交流を深め日を追うごとにバドミントン熱が盛り上がってきた。

昭和33年５月、宇都宮高校体育館で、職場対抗バドミントン大会を開催した。参加チームは、東京電力・貯金局・県庁・宇都宮市役所・法務局・裁判所の６チームで、参加人数も50人弱、コートのラインも朝早く集まり、ルールブックを片手にテープを引いたり、得点板も更紙に数字を書いた手作りのもので試合をした。

その後、高校や大学での経験者が各職場に就職、職場チームやクラブチームが増えてきた。

このように愛好者が多くなってきたのを機会に、正式に協会を組織し、大会を開催して技術の向上を図ろうと、小林正和氏（宇都宮市役所）・保田誠一氏（宇都宮市役所）・金子武氏（富士重工）・村岡欽也氏（県庁）らが中心となって、昭和39年11月、別井保男氏（宇都宮市議会議員）に会長をお願いして、宇都宮市バドミントン協会が誕生した。

昭和40年５月、宇都宮市体育協会に加盟し、スポーツ団体の仲間入りをした。

3　第１回大会開催

昭和41年７月、スポーツセンターにおいて、第１回宇都宮市民バドミントン選手権大会を開催した。

この大会は団体戦で、２複３単の試合方式で行い、参加者も150名程度で、ゆっくり大会は運営できたが、現在は別記のとおり、登録の団体数も25団体、会員数も500余名と膨れ上がってきた。

ここ迄に発展してきたのは、役員諸氏の献身的な協力があったわけであるが、特に保田誠一氏（現会長）は、国民体育大会に選手として６回（静岡・富山・東京・熊本・岡山・新潟）、審判員として２回（埼玉・千葉）、監督として１回（三重）出場。

静岡大会では初出場ながら、これまで一般男子が５回出場して成し得なかった１勝をあげるなど、その活躍は特筆すべきものがあった。１回戦徳島に３対０で快勝、２回戦は前年の国体準優勝の大阪の立役者武村選手を２対１の大接戦の末破ったが、団体戦のため涙を飲んだ。しかし、この１勝が以後の本県のレベルアップの踏み台になった様に思える。

現役を退いてからは、これまでの貴重な体験を後輩の指導に情熱を傾注する傍ら、各公民館行事のバドミントン教室やクラブチームを指導、これらの中には、現在クラブなどで指導者として活躍している人が沢山いる。

平成９年３月には、本県の体育・スポーツの振興に貢献し、その功績が顕著なものに贈られる県民スポーツ賞（財団法人栃木県体育協会）を、本県バドミントン関係者として初めて受賞したことは、本協会にとって誠に名誉なことである。

また、創立以来事務局を担当している村岡欽也氏は、大会などの企画、運営、会計に携わり、その事務処理に優れた手腕を発揮しながらクラブ（ＵＤＣ）を主宰し、協会のジム、クラブ員の指導と余暇のすべてをバドミントンにかけ、数多くの優秀なプレーヤーを育てている様子は、正に「バドキチ」である。

近年、家庭婦人の競技人口が急激に増えてきた。これは市体育館や雀宮体育館などで開催された、バドミントン教室の修了者が中心となって、バドミントンの楽しさがわかった気持を続けたいとクラブを結成し、プレーを楽しみ力をつけた練習の成果を大会で試そうと、参加するようになってきたからである。

これらのクラブの指導にあたっては、各種全国大会などに幾度となく出場し、経験豊富な福田シズエ氏（ＹＹＣ）・荒井美恵子氏（県体エースクラブ）・石川澄子氏（栃の葉レディス）・鈴木芳枝氏（ふたばクラブ）などの懇切丁寧なる指導力の賜である。

4　県民スポーツ大会で12年連続優勝

毎年10月に開催されている、県民スポーツ大会市対抗の部で、第１回大会から第12回大会まで12年連続優勝し、平成８年度宇都宮市体育協会の総会の席上で、優秀団体として表彰された

5　協会役員（平成12年度）

会長　保田誠一

副会長　小林正和・遠山雅巳

理事長　田崎真光

副理事長　斉藤茂夫・星野裕則
常任理事　村岡欽也・千野根タカ
　　小川民生・福田シズエ
　　青木利夫・吉口千恵
　　朝妻　清・鈴木哲男
　　郷間大任・小沼典行
　　斉藤修一
理事　各加盟団体より１名
監事　青井将雄・入江紀久子

6　加盟団体（平成12年度）

番号	団　体　名	代表者
1	宇都宮市役所	元橋　涉
2	あじさいくらぶ	玉川　君江
3	宇都宮文星女子高	上野　憲示
4	ミディークラブ	杉本　光子
5	県体エースクラブ	中原　幸子
6	ＹＹＣ	福田シズエ
7	栃の葉レディース	石川　澄子
8	県庁クラブ	小島　秀雄
9	ＵＳＥＣ	山口　耕平
10	トライ東	大谷　修一
11	明保野クラブ	宇賀神享子
12	ミツトヨクラブ	川村　淳平
13	バスターズ	星野　裕則
14	フェニックスクラブ	岡田　正
15	瑞穂野クラブ	岩本　悦子
16	グリップ	富橋　末治
17	東シャトルズ	重山　透
18	環境整備㈱	高橋　正良
19	ＮＴＣ	藤田　靖夫
20	雀羽朋クラブ	戸嶋　和男
21	日本信号	中島　英夫
22	西原クラブ	高嶋　悦夫
23	ＭＢＣ	青木　利夫
24	ＵＳＢＣ	朝妻　清
25	富士重工	高橋　秀行

7　年間行事

（1）主催事業

協会が創立されてから37年になる。この間初代会長の別井保男氏、副会長の小林正和氏の指導のもと、協会役員の協力で、主催大会は年々参加者が多くなり、順調に開催している。

特に近年は、健康保持を目的に、社会人（家庭婦人も含む）になってからバドミントンを始めた参加者が多くなってきている。

この人達は各地域のクラブや、職場以外の愛好者で組織しているクラブで、週２回程度の練習で汗を流しながら、熱心にプレーをしている。

このため、主催大会はバドミントン愛好者が１人でも多く参加できるよう、レベルに合せA・B・C・Dの４クラスに分け開催している。

６月　市民選手権大会（個人戦ダブルス）
９月　混合ダブルス大会（個人戦）
11月　シニア大会（個人戦ダブルス）
１月　小学生大会（個人戦ダブルス）
３月　会長杯大会（個人戦ダブルス）
３月　優勝選手表彰

（2）関連事業

県民スポーツ大会、市民体育大会、スポーツ教室講師派遣、事業所大会審判員派遣などを行っている。

8　むすび

当協会としては、今後とも生涯スポーツに徹し、１人でも多くの市民がバドミントンを楽しみ、健康で明るい社会生活が送れるよう、役員一丸となって努力してまいりたいと思います。



鹿沼市バドミントン協会の活動

理事長　文　挟　　寛

我々の年間行事を通して、活動状況を見ていただきたいと思う。

年間行事は９～11回、内会議は２回で、10月初旬の県民スポーツ大会を除けば、残りは自主運営の大会である。その中で特筆すべきは、９月上旬に行っている指導者講習会である。各加盟クラブの指導的立場にある人に参加いただいて、新しい技術や改正された規則、新しく導入されたトレーニング法などの伝達講習をするため、朝から夕方まで熱心に行われるのある。途中色々な質問が飛び交い、各クラブのリーダーは、可成り疲労して散会する。未だ未だ宇都宮や栃木市、小山市のようには行かないが、少しずつクラブ数、会員数も増え、幾つかの施設で白球を追う姿が多くなって来たのは嬉しい限りである。

次に本協会の行事を記す。

平成12年度行事予定

鹿沼バドミントン協会関係

H.12	4.30	会長杯　フォレスト
	6.25	鹿沼ゴーセン杯　フォレスト
	8.20	県民スポーツ選考会　鹿沼市体
	8.26	小学生バドミントン大会　フォレスト
	9. 3	鹿沼市バドミントン指導者講習会　フォレスト
	10. 1	県民スポーツ大会　栃木県体
	10.29	鹿沼市長杯　鹿沼市体
H.13	1.21	フォレストアリーナ杯　フォレスト
	3.11	鹿沼市民バドミントン大会　鹿沼市体

実業団・その他

H.12	4.16	栃木県実業団選手権大会(団体戦)
	5. 7	全日本シニア県予選会
	5.28	栃木県社会人選手権大会
	6. 4	栃木県社会人選手権大会
	7.23	栃木県社会人リーグ戦
H.13	1.28	栃木県実業団選手権大会(個人戦)
	2. 4	栃木県実業団選手権大会(個人戦)
	2.18	栃木県社会人リーグ戦
	2.25	栃木県シニアバドミントン大会
	3. 4	栃木県シニアバドミントン大会

また、本協会の役員構成は次の表の通りである。一つの組織として、更に細分化した委員会が必要なのかも知れないが、現在は困ることもなく機能しているので、変えなくてもよいと考えている。

平成12年度役員

会　長　　小林幹夫
副会長　　多田和雄、星野一夫
理事長　　古場一生
総務部　　部　長　　文挟　寛
　　副部長　　多田敬子
　　理　事　　池沢敏行
　　理　事　　簑輪まさえ
　　会計監査　米山　仁
　　会計監査　野中正子
大会等運営部
　　部　長　　古場一生
　　副部長　　高橋良一
　　理　事　　鈴木利行
　　理　事　　前原紀子
　　理　事　　村上トモ子
審判部　　部　長　　岡田　正
　　副部長　　山越幸男
　　理　事　　塩田孝男
　　理　事　　金子孝之
　　理　事　　川井敏男
　　理　事　　黒浜義則

最後に、本年度本協会に加盟している団体の名簿を掲げて、鹿沼市協会の活動状況の紹介に変える。

平成12年度　組織団体名簿

団　体　名	代 表 者	ＴＥＬ	住　　所	曜	時間	施設
鹿沼クラブ	古場　一生	64－9876	上野町290－３	土	17：00	東　部
加蘇Ｂ・Ｃ	金子　孝之	62－6034	加園1320－１	火	17：00	加蘇中
コスモスクラブ	多田　敬子	76－0072	松原３－43	水 土	9:00	東　部
インプレスクラブ	村上トモ子	64－5082	府所町138	木	19：00	東　部
アクセスクラブ	前原　紀子	0286－ 53－2198	宇都宮市雀宮6-3-75	月 金	19：00	市　体
ミッキーズ	小林　幹夫	65－5551	仲町1290			
ＮＴＴ	山越　幸男	63－3535	茂呂2209－3555	火	19：00	東　部
フェニックスＢ・Ｃ	岡田　　正	62－0099	茂呂2273－８	水	18：00	市　体
東大芦Ｂ・Ｃ	塩田　孝男	64－5283	上日向38－４	木	19：00	西　小
福田シャトルクラブ	川井　敏男	64－6698	緑町１－５－５	火	19：00	緑が丘

上三川町バドミントン協会の活動状況

理事長　福　田　哲　夫

栃木県バドミントン協会設立50周年を迎えるに当たり、心からお祝い申し上げます。早いものですね。

私もバドミントンに親しみ始めて35年以上の月日が流れました。バドミントンを通じて色々な人生勉強をさせて頂きました。有り難うございました。

始めに上三川町のバドミントン歴史を簡単に紹介致しますと、現協会長の遠井稔男先生と大島嘉一先生（故人）がバドミントンの元祖です。

遠井先生が大学時代に上三川中学校の大島先生にバドミントンを紹介し、大島先生が中学校のクラブ活動に取り入れたことから歴史が始まったと先輩諸兄から聞かされております。後に遠井先生が真岡女子高で輝かしいバドミントンの歴史を刻み始めた時期に上三川中学校を練習会場としたことから急速に町内のバドミントン熱も高まり、技術的にも著しく向上したと伝えられています。

大島先生と遠井先生に指導を受けてバドミントン界に名を残した人達も沢山居ります。

現在も両先生の指導を受けた多くの人達が町内の指導者として活躍しています。

さて、上三川町協会の活動状況に触れてみたいと思います。

当方が選手時代は社会人を対象に国民体育大会出場を目指した活動でありました。現在は小学生・中学生・家庭婦人を対象としたバドミントン教室を中心に活動が発展されている状況です。

教室開設当時は、指導者達の練習の合間に小学生・中学生・家庭婦人を指導する程度のものであったのですが、15年程前に底辺拡大を最大目標として方向転換を行いました。

底辺拡大をした理由は、町内バドミントン愛好者の減少是正と小学生・中学生のレベルアップを図り、伝統あるバドミントン王国上三川の再構築をしたい為でした。

方向転換当初は、指導者確保に苦慮しました。練習相手程度の人材はありましたが、バドミントンの基本的指導となると尻込みする者が多いのでした。従って、当初は、限られた指導者に頼った教室開催となりました。しかし、この数年間で活動が良い方向に変化し始めてきました。若い指導者が増加し、指導方法の意見交換等も積極的に行われるようになり、指導力も向上しつつあります。

最近はバドミントン教室開催はもとより、参加対象者を町外に広げた大会開催にと意欲的に活動が展開されています。当然、県主催等の大会にも積極的に参加しています。

［今後の活動の展望としては］

1）バドミントン王国上三川の復活のための底辺拡大

2）愛好者の親睦を図る大会の実施

3）指導者の発掘と育成

…が考えられます。

最後に栃木県バドミントン協会のさらなる充実と益々の発展を切望し、上三川町バドミントン協会の活動の状況報告と致します。

以　上



小山市バドミントン協会その後の歩み

理事長　神　林　忠　一

今日私達が小山市バドミントン協会の役員を引き受けることになったのは、昭和49年６月小山市体育課と小山バドミントンクラブがうまく行かなかったことにある。当時のクラブ責任者は、小山市バドミントン協会の理事長をしていたことから小山市体育課と小山市バドミントン協会がこじれることになってしまった。10月には、小山市体育課から嫌がらせともおもわれる暴言が二度にわたりあったとか、そのため当協会は小山市体育協会専門部会より脱退することを決意した。11月退部。この年より小山市から予算等の裏付けが途絶えた。当時クラブが関係していた大会（①北関東バドミントン大会　②小山市長杯争奪小山市バドミントン協会加盟団体秋季リーグ大会　③メーカー杯争奪小山市オープンバドミントン大会）の運営は、自前で行ってきた。市主催の大会愛好者に迷惑はかけられなかったので、第１回小山市民バドミントン大会を「カワサキラケット工業」の協賛を仰ぎ開催した。この頃から市との関係を断ち切り独自の大会運営を余儀なくされていった。

バドミントン愛好者は大勢いるが、一つにまとめるところもなく、その後市内の大会は、小山市・クラブ・ＰＴＡ・企業と各自主催で開催される状態が数年間続いた。平成４年２月これではいけないと小山市体育課田中指導係長・神戸主任・町田体育協会専門部長とで「現在の専門部及び体育協会との矛盾について」協議がなされた。小山市体育協会の他の部と比較して見ると三つの組織で運営している種目は一つも無かった。そこで町田専門部長より体育課に「組織改善」の依頼があって、新組織の検討が始められた。経過は次のとおり忙しい毎日であった。

５月11日（月）「小山市体育協会バドミントン部組織改善打ち合わせ会議」が行われた。

このとき通知文の発送先は、学校開放の利用団体28団体・企業３団体・クラブ１団体の計32団体であった。会議内容は、現在の組織についての説明があって、組織の改善について意思の確認がなされた。もちろん「改善賛成」であった。それでは、ということで設立準備委員「千島・神林・小川・海老沼・足立・松沼・鳴瀬・野口・田中）９名が選出された。

５月14日に学校関係の会議が開かれ準備委員として篠原・黒野・松井・斉藤・滝田が選出された。

５月21日（木）第１回バドミントン協会設立準備委員会が開催され、組織については四部編成に分け学校・一般・家庭婦人（企業含）・ＰＴＡの柱が決まった。

６月２日（火）第２回準備委員会を開催。新規約について検討され骨子が決まった。年間開催大会は、①小山市総合選手権大会（一般・中学生）②小山市オープン大会（会長杯）③家庭婦人交流会④小学校ＰＴＡ大会⑤小学校ＰＴＡＯＢ大会⑥小松オープン大会の６大会を開催することにして、今まで実施してきた「小山市民バドミントン大会」「北関東バドミントン大会」「小山市長杯争奪小山市バドミントン協会加盟団体秋季リーグ大会」は、今回は見送ることにしておいおい検討することになった。長年続いた北関東大会を引き継げなかったのは非常に残念であった。今思えばクラブ代表として残ってもらい継続して欲しかった。

６月16日（火）第３回準備委員会を開催。組織・規約・大会開催について見直した。

６月30日（火）第４回準備委員会を開催。新役員が次のように選出された。会長１名手塚茂利　副会長２名中堀雅臣・田中文夫　常任理事12名神林忠一・海老沼雅彦・千島明光・松浦みつ・足立サカエ・南知世子・鳴瀬和男・金子康法・藤沼勝則・田中克巳・篠原隆・藤崎武司　会計監査２名橋本哲雄・山本楊子　役員が出そろったところで協会設立準備に入った。

７月13日（月）第５回準備委員会を開催。この日、会則の実施時期を平成４年８月５日に決定、ま

た、登録料は、チーム登録料「中学校・高校1，000円」「一般1，000円」・個人登録料500円に決めた。

以上、短期間に５回の会議を開き７月13日を最後に、小山市内でばらばらに実施していた大会も一つにまとめられ、新しい小山市バドミントン協会並びに小山市体育協会専門部が誕生し、新組織・新役員でスタートすることになった。

－現在の組織－

競技部・指導部・審判部の三つの柱からなっている。

－登録状況－

現在協会の登録状況は、団体登録を廃止し個人登録だけに変更した。登録料は一人200円と非常に低額であるが、平成12年度の登録人数は約600名（一般）と横ばい状態にある。中学生・高校生は登録してもらっていない。

－大会開催状況－

平成11年度協会が実施した大会

①第10回レットソンカップ小山ＰＴＡバドミントン大会（団体戦）
②第17回コマツオープンバドミントン大会（個人戦）
③第７回小山市会長杯オープンバドミントン大会（年齢別個人戦）
④第36回小山市総合競技選手権大会（一般の部）（個人戦）
⑤第36回小山市総合競技選手権大会（中学生の部）
⑥第５回Ｍｉｘダブルスバドミントン大会（個人戦）
⑦第８回小山市ビギナーバドミントンダブルス大会（個人戦）
⑧第19回小山市小学校ＰＴＡバドミントン大会（団体戦）
⑨第10回小山市会長杯争奪バドミントン大会（中学生の部）（団体・個人戦）
○第１回小山市小学生ダブルスバドミントン大会（個人戦）

〈協会外大会〉

①小山市中学校ＰＴＡバドミントン大会（団体戦）
②のらくろバドミントン大会（個人戦）
③七夕バドミントン大会（個人戦）

－ジュニアの育成－

平成９年５月25日栃木県体育館で第１回栃木県スポーツ少年団競技別交流大会（バドミントン）が開催されたのに刺激され、指導部を中心に平成10年11月14日から10回にわたり４・５・６年生を対象にジュニアバドミントン教室を初めて開いた。指導者は協会役員が全員でこれに当たった。平成11年度は、２回ジュニアバドミントン教室を開催。平成11年12月25日に、第１回小学生ダブルスバドミントン大会を開催したところ、多くの参加が得られ大成功に終わった。これもジュニアを育ててくれるクラブがあるからこそ、大会が開けるのであり感謝している。

－今後の課題－

今後小山市バドミントン協会に課せられた課題は、学校の週休二日制に対応出来るかどうか、また、シニアのための大会も検討しなければならない時期に来ている。スポーツを生活の一部に取り込むことが出来るよう、まだまだ沢山やらなければならないことがある。一つ一つハードルを越えて行きたい。学生・実業団時代は競技スポーツでよいが、心のケアーにコミュニケーションの一部にバドミントンが役に立てばと思う。

小山市バドミントン協会も平成12年４月９日で満34歳になった。もうひとふん張りして充実した協会になるよう役員の皆さんと頑張りたい。

最後に栃木県バドミントン協会の50周年を祝し、心から御祝い申し上げます。



足利バドミントン協会の活動について

理事長　初　谷　幸　子

我が足利バドミントン協会の沿革について述べさせていただきます。足利におけるバドミントンの歴史は比較的浅く、昭和30年代初期より足利市役所において外園氏（現宇都宮市在住）の指導で県税事務所などと交流試合は行われていましたが、大会等はありませんでした。その後、足利商業高校（当初女子高）に武井祥子教諭（現宇南）が赴任し、競技としてのバドミントンを指導され、40年には関東大会に出場するまでになりました。その頃、足利女子高でも、篠田教諭（現佐高）により部が設立され県大会等で活躍しています。昭和40年足利商業高校が共学となり、男子の部が誕生し、そのＯＢ達は現協会の中核となっています。翌41年足利学園高校にも部が創設され競技人口も増えました。昭和44年足商男子１回卒の菊地英雄氏（足利市役所勤務）らが中心となり、足利市役所の岡ノ谷常雄氏（のちの初代協会長）を部長、武井、篠田氏を副部長として足利市体育協会に加盟しまして、同年秋第１回目の市民選手権を行いました。この大会の参加人員23名、今思えばよく大会を開催したものだと思います。昭和45年教育委員会とタイアップしてバドミントン教室を開催しましたが、参加者はわずか13名でした。この頃よりバドミントン人口もふえはじめ小俣地区では町内対抗の競技種目に加えらました。昭和50年４月体協バドミントン部の役員を中心に足利バドミントン協会を設立、有名選手を招聘し、何度も指導者講習会を行いました。昭和51年第１回目の家庭婦人バドミントン教室を開催し、修了後、有志がクラブを組織して現在の足利ファイターズとなりました。今では会員40余名で週２回の練習に汗を流しています。昭和52年に県協会の会則を参考に理事制度を採用し協会運営の充実を図りました。初代理事長は武井祥子教諭でした。またこの年の秋、第１回目の中学生バドミントン教室を開催し、以後毎年行って底辺の拡大に努めています。昭和55年４月、協会に尽力された武井教諭の宇農への転出、また栃の葉国体の目前に体協加盟、協会設立の中心であり初代会長の岡ノ谷常雄氏の死去と相つぎ柱を失いました。しかし、昭和56年、新会長に岡部功氏を迎え、新たに国際障害者年にちなみ、身障者バドミントン教室の開催、遠井稔男県理事長による講習会等底辺の拡大、強化に意欲的に取り組んでいます。現在会員約650名、中学生、高校、一般の強化練習数回、中学生、高校・一般、身障者、家庭婦人バドミントン教室延35日、各種大会延11日、これが本年度の予定である。今後とも県協会の力添えをいただき、組織の充実を図ろうと努力している。

昭和56年11月

文責　斎　藤　修一郎

（当時理事長）

50年記念誌の発刊おめでとうございます。

足利バドミントン協会は発足して25年目となり、発足当初の沿革につきましては県協会30年記念誌に記録させていただきましたので、その後の20年間の活動について述べさせていただきます。

57年７月に第８回日中バドミントン競技大会が宇都宮市で開催された際に、県バドミントン協会、足利市体育協会、市日中友好協会等に協力をいただき足利市に日中バドミントン選手団を招き、選手団による模範試合と中・高校生を対象にした技術講習会、歓迎レセプション、観劇などを行い日中友好の輪を広げることができました。

そして、この催しが縁となり59年３月に足利市で第12回全国高校選抜バドミントン大会を開催することが決定され、初の全国大会開催に向けての準備が始まりました。

同７月、県南地区の足利・佐野・栃木・小山・真岡の代表チームによる県南５市親善大会は足利市が準優勝、10月の県民体育祭は３位に入賞することができました。

当時、市内の中学校は第三・山辺・毛野・西・協和・北郷の６校で約400名が活動しており、58年度に毛野中男子が初めて県中学団体戦で３位に入賞しました。同年の県南五市大会は３度目の優勝、県民体育祭では昨年に続いて３位に入賞しています。

翌年の59年３月24日から26日まで足利市民体育館で第12回全国高校選抜大会が開催され、地区予選を勝ち抜いた男女32校500余名の選手役員が集まり３日間にわたり熱戦が繰り広げられました。大会の運営には足利バドミントン協会関係者70余名と市内高校生があたり、栃木県バドミントン協会、足利市教育委員会、足利市体育協会の指導と協力をいただき成功させることができました。

家庭婦人は昭和50年に足利ファイターズが誕生してから多くのクラブができて愛好者の数は当時県内で宇都宮に続いて２番目となっていました。60年には初谷幸子氏、木村美津子氏、源田幸代氏らが中心になり足利市家庭婦人連盟を設立して普及と技術の向上に努め、62年４月に第１回会長杯争奪家庭婦人大会を132名の参加を得て開催しました。同年７月には初谷幸子、木村美津子が京都府長岡京市で開催された第６回全日本家庭婦人大会に県代表として出場しています。

また、60年８月には市内外のバドミントン愛好者が一堂に会しての交流を目的にして第１回足利市オープン大会を122名の参加を得て開催しました。

高校では当時、足学・足南・足女・足工・足商・足高の６校が活動しており、61年４月に足南に平間真由美教諭が赴任して市内高校生の選手育成に努められました。特に高橋安典顧問の指導のもと部活動に力を入れている足利学園（現白鴎足利高校）は62年６月の関東大会出場した他、同年の高校総体県予選団体戦、新人戦団体戦で３位に入賞しています。翌年63年６月にも足利学園が山梨県で開催された関東大会に男・女揃って出場を果たしました。同年８月には足利南高校の平間教諭が全日本教職員大会で３位に入賞、９月には高校学年別大会２年生の部で足利南高校の田嶋正一が準優勝、山辺中学校卒業後に小山城南高校に進んだ木村和子が同女子の部で優勝しています。

平成元年５月には中学生・高校生の競技力向上を目的に足利ジュニアＢＣを発足させ、週一回の練習を開始しました。現在も、小中学生を主体に選手の育成に努めています。

一般では平成元年７月に開催された第43回県南五市大会で優勝しました。

平成２年６月には足利学園男子が関東大会（埼玉県）に出場をはたした他、一般では、10月の第６回の県民スポーツ大会で３位に入賞しています。

同年７月28日・29日に足利市体育協会に加盟20周年を記念し、足利市体育協会長、栃木県バドミントン協会長等をお迎えして、記念式典を開催した他、記念事業として、市内の児童福祉施設の子供たちに呼び掛け、バドミントンやゲームをとおしての子供たちと協会員との交流事業を実施しました。

一方、昭和63年３月に山辺中から小山城南高校に進んだ木村和子は平成２年６月の高校総体県予選、国体県予選でもシングルスに優勝して全国大会に出場し、日体大に進んでからも全日本学生選手権大会でダブルスで３位に入賞するなど活躍をしました。

平成３年７月の第46回県南五市競技大会で優勝。平成３年９月には壮年の愛好者の拡大と生涯スポーツの振興を目的に第１回シニア大会を92名の参加を得て開催しました。

平成４年７月の第47回県南五市大会は昨年に続いて優勝、10月の第８回県民スポーツ大会では準優勝しました。

同年８月と翌年３月に小学生の子供たちにバドミントンを楽しんでもらい底辺拡大を目的に第１回小学生バドミントン大会（夏季・冬季）を100名を超える子供たちの参加を得て開催しました。10月には、姉妹都市である鎌倉市バドミントン協会（37名）を足利市に迎えて姉妹都市交流を開催しました。

一方、平成２年３月に山辺中から小山城南高校に進んだ木村葉子は、平成４年６月の高校総体県予選と国体県予選でシングルスに優勝して全国大会に出場、11月に開催された県総合では単複に優勝を果たしています。

また、足利学園は男子が平成５年度（群馬大会）・６年度（東京大会）７年度（栃木大会）に３年連

続で関東高校大会に出場するなど非常に活躍をしていました。

一般では、平成５年７月の第48回県南五市大会では優勝、同年10月の第10回県民スポーツ大会では第３位に入賞をしています。同じ10月には足利協会員34名が鎌倉市を訪問して姉妹都市交流を図っています。

平成７年８月には、太田市運動公園体育館で東毛広域圏バドミントン連盟の招きで交流試合が開催され一般男女、高校男女の代表選手が参加して交流を図り、翌年から両毛都市交流バドミントン大会として現在も継続されています。

平成８年２月にはチーム対抗の団体戦として第１回会長杯団体戦を173名の参加を得て開催した他、バドミントンを愛好する団体の相互親睦と技術力の向上を図るため同年２月から３月末にかけて夜間リーグを開催しました。

平成８年６月には宇都宮市で関東大会が開催され、足利工業高校が初出場しています。

７月に開催された第50回県南五市競技大会では２年振りの優勝、11月には群馬県太田市で開催された第９回全国スポレク祭に県代表として石井真一監督他７名が参加して、バドミントン愛好者と親睦を図ってきました。

平成９年４月、16年間協会の発展に尽力された岡部会長、竹内、石井、斎藤副会長が勇退され、新たに、初谷会長、大竹、木村、山口副会長が就任しました。

平成９年12月の第１回県シニア大会では原正一・相場初男組が３位、第２回大会で原正一が県庁クラブの湯沢氏と組んで３位、第３回大会ではシングルスで山田博幸が見事優勝、ダブルスで原正一・山田博幸組が３位に入賞、全日本シニア大会へも出場しています。

平成10年５月には全日本社会人県予選で田嶋正一がダブルスで３位、梅沢麻衣・木村悦子がダブルスで準優勝し、９月に熊本県八代市で開催された全日本社会人大会に出場しました。

同年10月には足利バドミントンクラブ（代表　渡辺保正氏）が長期にわたる市民への積極的な生涯学習活動が評価され足利市生涯学習奨励賞を受賞し、現在も多くのクラブ員が生涯スポーツとして楽しんでいます。

平成11年６月には第26回県社会人バドミントン大会でアグレスィオンの田嶋正一・上岡利至組が３位、梅沢麻衣・木村悦子組が優勝、森津代・倉持芙美子組が３位に入賞し、９月に富山市で開催された第42回全日本社会人大会に出場しています。また、７月に開催された県南五市大会では優勝することができました。平成12年５月には第27回県社会人大会ダブルスでアグレスィオンの田嶋正一が２位、木村悦子・倉持芙美子組が優勝して９月に宮城県塩竈市で開催された第42回全日本社会人大会に出場しました。

中学校からは暫く県大会で活躍する選手が現れませんでしたが、平成12年11月の県中学新人戦で西中男子が団体戦で３位、シングルスでも西中の須藤郷史が３位に入賞しました。

平成12年度の主な行事

４／20　第14回会長杯争奪家庭婦人大会
５／４　第25回シングルス大会（中学）
５／21　第25回シングルス大会（一般・高校）
５／28　第10回シニア大会
６／18　第28回ダブルス大会（中学）
７／２　第９回夏季小学生大会
７／16　第28回ダブルス大会（一般・高校）
９／28～10／15　第38回市民選手権大会
11／11　第20回市長杯家庭婦人大会
１／21　第17回中学生学年別大会
１／28　第６回会長杯団体戦
２／11　第16回オープン大会

2／25　第９回冬季小学生大会
3／18　第24回レクリエーション大会
10月～13年３月　夜間リーグの開催

以上、活動を述べましたが、本市では現在、1，000人を超える愛好者がいますが、残念ながら少しづつ減少する傾向にありますので、県協会の力添えをいただき指導者、若い選手の育成、生涯スポーツとして長く続けられる環境づくりなど組織の充実を図ろうと思っています。



日韓親善バドミントン選手団　1965年７月24日
日光　東照宮で陽明門をバックに両国選手団

真岡市バドミントン協会の活動状況

理事長　羽　石　武　士

栃木県バドミントン協会設立50周年、誠におめでとうございます。多方面にわたり御世話になり感謝いしたしております。

真岡市バドミントン協会も設立して今年で丁度、20周年を迎えました。現在、当協会に登録されているチーム数は51チームとなっています。熱心なバドミントン愛好者に支えられてここまで発展して来ました事、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、当協会の主な行事を紹介しますと、年間、次の４つの大会を運営しております。

1. 春季真岡市バドミントン協会長杯大会
   個人戦（男女別、及び混合ダブルス）
   クラス（Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄクラス）
2. 真岡市市長杯バドミントン大会
   団体戦（Ａ・Ｂ・Ｃクラス）
   チーム編成（３複）女子、男子、混合
3. 秋季真岡市バドミントン協会長杯大会
   内容は1. の大会と同様です。
4. 真岡市体育協会長杯バドミントン大会
   内容は2. の大会と同様です。

以上ですが、4. の大会を除いてはいずれも中学生の部を設けており、真岡市内６中学生にも参加いただいております。この様な内容において各大会共、200名を超える参加者によりバドミントンを楽しむ事が出来ます事、当協会スタッフ一同大変光栄に感じている所です。そしてスタッフ一同「バドミントンの技術向上と親睦」を基本柱とし常に参加しやすく、又魅力あふれる大会を目指し日々奮闘しております。どうぞ皆様も気軽に参加し楽しんでいただきたいと存じます。

しかしながら、真岡市バドミントン協会としても当面の問題として、

①　より一層のバドミントン技術の向上
②　人材の育成（特に新人の育成と確保）

が有り、スタートした21世紀、真岡市のバドミントンを発展させて行くためには不可欠な要素であると考えます。その対策として

①については、 各クラブ間での交流や合同練習を設け、又、情報の交換等、企画、実施しております。県南五市対抗戦、郡市民スポーツ大会そして県民スポーツ大会等におけるの成績に充分反影させている所です。

②については、 市内各クラブチーム共、積極的に新人を確保していただき、練習等において技術向上を計りながら底辺を拡大していかなければなりません。中学生においては、指導を実施している分野もありますがその一層充実を、又、小学生についての指導もその動きが活発化しており現在計画中ですが早期の実現が望まれている所です。

以上の様に市協会として問題点に取り組んでおりますが、まだまだ問題点はたくさん有ると思われます。そこでスタッフ一同、市協会の基本柱の理念とし、それらの問題点に対し積極的に改善を進め、真岡市のバドミントン競技がより一層発展していく事と同時に栃木県バドミントン協会が増々発展していくために努力していく所存でありますので、皆様御指導の程宜しくお願い申し上げます。

上河内町スポ少バドミントンクラブ

監督　佐　藤　武　男

代表　高瀬和男
部長　小林利行
監督　佐藤武男
　練習　火・金曜日（ＰＭ６：30～８：30）
　　土・日曜日（ＡＭ９：00～12：00）月２回
　場所　上河内町体育館
　部員数　現在55名（小学生43人、中学生12人）



上河内町バドミントンクラブは平成９年から、10人前後の小学生を対象に、遊び感覚で週１回行っていました。

最初はバドミントンのルール及び各ストロークの名称もわからなく、ただ羽根を打って楽しむ程度でした。

次年度の平成10年に正式にスポーツ少年団として発足をし、県の小学生連盟にも登録をし、試合にも参加出来る様になりました。

試合に参加するにはまずルール及び技術もある程度知っておく必要があると思い週２回（火・金）２時間の練習を入れる様にしました。

初めて試合に参加した時などは、選手である子供達は勿論のこと、監督である私も緊張して何をアドバイスしていいか、わからなくなってしまいました。

当然の事ながらほとんどがまともな試合をやらしてもらえずに帰宅しました。

しかし、大会に参加したことで全員が少しづつですがバドミントンのむずかしさや楽しさが分かってきた様です。

平成11年には、中学生になってもバドミントンを続けてやりたいとの要望もあり、中学生６人、小学生39人計45人という大多数になってきました。

人数が増えるに伴い、練習時間や練習内容なども今まで通りにやっていたんでは、とても技術の向上は望めないので、練習がなるべく多く出来る様な場所と時間帯などの環境作りに頭をいためました。

出来るかぎり土・日曜日を利用して、中学生及び小学生の上級クラスを練習に誘い、ノック練習やゲームなどを多く出来る様にしました。

そうした練習の成果が試合にも表れ、１回戦、２回戦と勝つ事が出来る様になりました。そうすると勝つよろこびと負けた時のくやしさが、増々練習に身が入る様になりました。

平成12年度は中学生12人、小学生43人計55人となっています。

中学生などは中体連主催の大会に参加し、小学生の時とは違って勝負のきびしさが、わかって来た様です。

小学生なども多数の選手が大会に参加出来る様になったのでこれからが楽しみです。

まだ、発足して３年たらずのクラブなのでどの様な方法で進めてよいか分からない状態ですが、地域に根差したチーム作りと１人でも多くの選手たちが、１年でも長く生涯スポーツとして、バドミントンをとらえて、将来は良い指導者として活躍してもらえたらよいと思っています。

各連盟の現況

栃木県実業団バドミントン連盟



栃木県バドミントン協会が50周年を迎えられたことに対しまして、心からお祝いを申しあげます。

栃木県実業団バドミントン連盟は発足以来、今年で29年目を迎えることができました。これも県協会を始め各関係機関及び各バドミントン関係者のご指導とご支援のおかげと感謝申しあげます。

栃木県実業団バドミントン連盟は、その名のとおり、栃木県における企業等職域のバドミントンクラブを総括する組織として、昭和47年に発足いたしました。また、全日本実業団連盟には発足より１年早い昭和46年に加盟をしております。

しかし、実業団連盟と称しておりますが、全日本実業団連盟に加盟している職域クラブに加え、県内各地域の社会人クラブも統括しております。

また、県協会と連携し栃木県社会人バドミントン選手権大会兼全日本予選会及び栃木県シニアバドミントン大会兼全日本・関東シニア大会選手選考会等の運営も行っております。すなわち実業団連盟の事業には、レディース連盟や教職員連盟にまたがった幅広い事業も含まれております。

実業団連盟の発足から約10年間の歩みにつきましては、県協会30周年記念誌に詳しく記載されておりますので、本誌には、昭和57年以降の実業団連盟の歩みを中心に述べさせていただきます。また、より実業団連盟の歩みをわかりやすくするため、『組織の変遷について』『各種事業の推移について』『各種大会の実績等について』『課題・その他について』に分けて掲載いたしました。

【組織の変遷について】

実業団連盟は、社会人の間にはまだバドミントンが充分に浸透していない昭和47年に関係者の方々の熱意とご努力のおかげで発足をいたしました。初代会長には旭光学㈱の富永静吾氏、理事長には富士重工㈱の永山隆氏、事務局長には旭光学㈱の小塙宏人氏が就任しました。

当時の実業団連盟は小塙事務局長を中心に運営され、年々事業内容も充実してきました。特に、昭和55年の栃の葉国体開催を契機に社会人のバドミントン愛好者も増加し、実業団連盟の組織も充実し、事業内容も充実してまいりました。

昭和58年に役員改選がなされ、会長に保坂俊一氏、副会長に保田誠一氏、理事長に永山隆氏、事務局長に三上隆康氏がそれぞれ就任いたしましたが、新理事長及び新事務局長が富士重工㈱の所属であったことから、その後、富士重工バドミントンクラブが実業団連盟をリードしてきました。

また、昭和59年度頃から、各種大会及び強化練習会等の開催に際しては、事務局の指導を受けながら、たとえば社会人リーグは栃木県庁、実業団個人戦は松下電器㈱、初中級者講習会は日産自動車㈱等、各加盟クラブが協力して事業の運営の一部を担うようになりました。

しかし、県内の全国大会・関東大会等の開催に際し、運営の支援及び審判員の派遣等の要請に充分に応えられないなど、各クラブ分担システムの新たな課題も生じてきました。

そこで、平成７年度に事務局が栃木県庁に移ったのを契機に、役員と各加盟クラブが一緒になって課題の検討を重ねた結果、実業団連盟の組織を大きく改編し対応していくこととしました。新たに改編された組織の概要は次の通りです。

①常務理事制を創設し、常務理事会において重要事項の審議・決定を行う。
②執行機関として、総務部、大会等運営部、強化部、審判部の４部制を設け、それぞれの部の役割分担を明確にし、責任を持って業務を遂行する。
③新設した各部の役員は広く加盟クラブから募り、部長・副部長等の役職には年功序列にこだわらず実質的に活動できる者とする。
④各クラブへの迅速な情報提供と各クラブの意向が伝わるようにする。
平成７年度の新たな役員として、会長には保坂俊一氏、副会長は保田誠一氏、理事長は三上隆康氏、事務局長は湯沢雄一氏がそれぞれ就任いたしました。

平成10年には役員の一部改選を行い、事務局長に松下電器㈱の岡室利彦氏が就任いたしました。
その後、試行錯誤しながらも着実に組織が機能しだし、組織全体が活性化をしてまいりました。役員及び各加盟クラブの意識の変化も見られ、県協会からの大会の運営協力要請や審判員の派遣要請等にも少しずつ応えられるようになってきました。
実業団連盟の組織については、発足以来、社会情勢の変化、時代のニーズ・課題に応えるべく状況に応じた改革を経て今日の組織になりました。今後とも、加盟クラブの意向や選手の要望が速やかに実業団連盟の運営に反映できるような組織造りに努め、より適正な実業団連盟の運営に寄与して行きたいと考えております。

【各種事業等の推移について】
次に、実業団連盟が担ってきた事業等の歩みについて述べたいと思います。
１．全日本実業団バドミントン選手権大会栃木県予選会兼栃木県大会
昭和49年に第１回が開催されてから、毎年２複３単の団体戦として開催しております。また、栃木県大会につきましては、社会人クラブ及び中級者にも参加できるよう二部大会を同時に開催しております。
また、以前は全日本実業団バドミントン選手権大会は個人戦も開催されていたため、栃木県においても個人戦の予選会を春季に開催してまいりました。しかし、昭和58年に全日本実業団大会における個人戦が廃止されたため、栃木県の個人戦大会については、比較的試合が少ない二月頃に開催時期を変更し、現在に至っております。
２．栃木県社会人バドミントン選手権大会栃木県予選会兼栃木県大会
毎年六月頃に一部、二部、三部の各クラス毎に開催しております。また、大会終了後直ちに常務理事会を開催し、出場選手の選考を行い、県協会に文書により出場選手の推薦を行っております。
３．栃木県社会人バドミントンリーグ戦
昭和60年当時の実業団連盟の抱えていた課題は、加盟クラブの減少、大会出場選手の減少、選手の競技力の低下等であり、特に、全国との競技力の差は年々開いており緊急課題でありました。
また、各加盟クラブからは、①強化練習は疲れるから参加したくない。②連盟主催の各種大会は一人数試合ができるよう配慮して欲しい。③加盟しているメリットが感じられなくなりつつある。等の意見が出されました。
そこで、各加盟クラブのリーダーと意見交換を重ねた結果、現在抱えている課題に対応できる方策として考え出されたのが『栃木県社会人バドミントンリーグ戦』であります。
昭和61年に第１回社会人リーグが開催されましたが、その概要は次のとおりです。
1 １ブロック４チームの２複３単のリーグ戦とし、年２回開催する。
2 チームの編成は競技力を優先し、レベルが均衡した選手が多くの試合を行う事により競技力の向上を図る。
3 当初は実業団連盟が主催するが、将来参加チームの代表者が構成する実行委員会が自主的に運営することを目指す。

④参加費用は、体育館使用料、プログラム作成費用等とし、シャトルは対戦チーム同士で出し合う。

その後、各参加チームの代表者から成る実行委員会が適正に機能するようになり、欠場チームの取り扱い、クラス毎の入れ替戦の対応、中級者等のためのクラス増設、女子についても男子チームへの参加を認める等の課題を自ら解決できるようになりました。

栃木県社会人リーグ戦も回を重ねて10回を経過した頃から、所属チーム毎の対抗戦として欲しいとの要望が出されました。早速、実行委員会で検討した結果、平成７年に実業団連盟に強化部が新設され、選手の強化が適正に行われるようになったのを契機に、平成９年度から男子についてはチーム毎のランキング制といたしました。栃木県社会人リーグ戦は多くの方々の御協力・御支援を受けて定着し、現在に至っております。

4．栃木県シニアバドミントン選手権大会

昭和59年に全日本社会人バドミントン選手権大会30才以上の部が廃止され、代わりに第１回全日本シニアバドミントン選手権大会が開催されました。続いて昭和60年に第１回の関東シニアバドミントン選手権大会が開催されました。栃木県においても多くの選手がこれらの大会に出場しておりましたが、選手の中から自然発生的に実業団連盟においてもシニア大会を開催して欲しいとの要望が出されました。

しかし、栃木県シニア大会はレディース連盟、教職員連盟、更にはバドミントンを愛好している高齢者まで含めた大会となるため、県協会へ当該大会の開催を強く要望してまいりました。県協会との協議の結果、大会の必要性は認識するが、現時点では県協会が開催することは難しいので、当分の間、試行的に実業団連盟で開催して欲しいとの回答がありました。この様な経過を経て、県協会主催、大会の運営は実業団連盟で平成９年に第１回栃木県シニアバドミントン選手権大会が開催され、現在に至っております。

5．選手強化

選手の強化練習会及び初・中級者講習会等は発足当時から実施しておりますが、紹介は割愛させていただきます。

【各種大会等の実績等について】

各種大会の特に顕著な実績は、全日本実業団団体戦において昭和50年、昭和52年、昭和53年の３回旭光学㈱女子が３位になった事、平成４年から平成５年の２年間日産自動車㈱男子が日本リーグ２部で活躍した事であります。その他ご紹介したい多くの実績がありますが割愛させて頂き、詳細については別添各種大会結果を参照願います。

【課題・その他について】

実業団連盟は多くの皆様に支えられ今日に至っておりますが、これまでの歩みを振り返りますと、それなりに精一杯頑張ってまいりましたが、まだまだ、県協会や加盟クラブの付託に応えられない状況であります。特に、現在実業団連盟が担っている一般社会人関係事業につきましては、実業団連盟単独では充分な対応ができない状況になっております。

これらの事業を実施するには、県協会が直接担われるか、レディース連盟、教職員連盟、実業団連盟の３連盟の役員が協力して担うか、のいずれかにより対応することが、栃木県の社会人の発展により寄与するものと考えております。

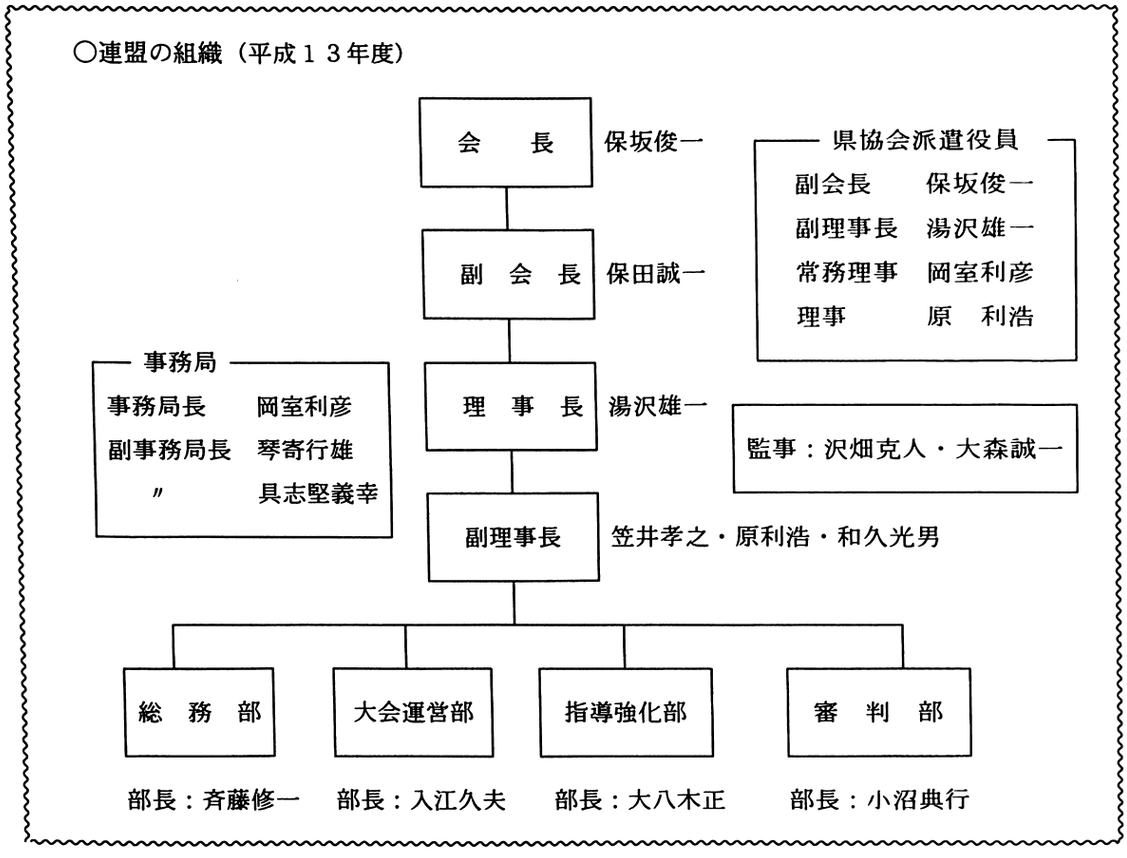
また、近年、選手の減少特に女子選手の減少は大きな課題であり、県協会の指導の下、抜本的な対応策を早急に実施する必要があると思われます

最後に、実業団連盟の理事長及び県協会副理事長の［illegible］土隆康氏が平成12年８月14日逝去いたしました

三上氏は実業団連盟発足時から連盟の発展に尽力され、栃木県実業団連盟は、まさに三上氏に支えられてきたと言っても過言ではありません。我々は三上氏の選手としての輝かしい実績、役員としての功績、バドミントンに対する情熱を忘れず、三上氏の人生と共に歩んできた実業団連盟を末永く発展させていく事をお誓いすると共に、三上氏のご冥福を心からお祈り申し上げたいと思います。

栃木県バドミントン協会が50周年を迎え、記念誌を発行することは誠におめでたい事であり、今後とも栃木県のバドミントンが、県協会を中心に益々発展することを願ってやみません。

続いて、連盟の歩みを記録した「連盟年表」と連盟を構成する主なクラブの紹介を掲載します。なお、全てのクラブの紹介は、紙面の制約から困難なため、最近、全日本実業団バドミントン選手権大会に出場したクラブのみ、各代表者からいただいた原稿をそのまま掲載させていただきます。



栃木県実業団バドミントン連盟年表

設立：昭和47年10月１日　日本実業団連盟加盟：昭和46年４月

年次	事項
昭和46年	○第21回全日本実業団大会(鹿児島大会)に栃木県として初出場(富士重工宇都宮)
昭和47年	○第22回全日本実業団大会(茂原大会)に男女各１チームが出場、女子は初出場(旭光学) この大会で初出場の旭光学栃木がベスト８入りし全国の注目を浴びる ○旭光学栃木のベスト８入りを期に連盟発足の機運一気に高まる ○栃木県実業団バドミントン連盟設立 初代会長に富永静吾(旭光学常務)、初代理事長に永山孝(富士重工)、事務局長に小塙宏之(旭光学)就任(10月１日) ○栃木県実業団バドミントン連盟への勧誘に奔走
昭和48年	○第23回全日本実業団大会(石岡大会)に男女各１チームが出場(旭光学栃木女子ベスト８) ○第１回栃木県実業団バドミントン選手権大会(団体、個人)を開催
昭和49年	○第24回全日本実業団大会(松阪大会)に男２、女１チームが出場(旭光学栃木女子ベスト８、いすず自動車栃木男子初出場)
昭和50年	○第25回全日本実業団大会(高岡大会)に男４、女２チームが出場 (女子団体で旭光学栃木３位、女子個複で藤井、沼能組(旭光学)３位) (男子：アイワ栃木、河内町役場　女子：日産自動車栃木初出場)
昭和51年	○第26回全日本実業団大会(藤沢大会)に男５、女２チームが出場 最多チーム(計７チーム)の出場となった(旭光学栃木男子初出場) ○第20回カナダオープンバドミントン大会へ藤井、沼能組(旭光学)が出場し複３位入賞
昭和52年	○第27回全日本実業団大会(大阪京都大会)に男３、女２チームが出場(栃木県庁男子初出場) 女子旭光学栃木がベスト４に返り咲く
昭和53年	○第28回全日本実業団大会(東京都大会)に男４、女２チームが出場 女子旭光学栃木２年連続ベスト４に入る
昭和54年	○第29回全日本実業団大会(岡山大会)に男４、女２チームが出場
昭和55年	○第30回全日本実業団大会(新居浜大会)に男２、女２チームが出場
昭和56年	○第31回全日本実業団大会(愛知県大会)に男３、女２チームが出場 男子30歳単で三上(富士重工)ベスト８に入る
昭和57年	○第32回全日本実業団大会(東京都大会)に男４、女３チームが出場 この年初めて女子が３チーム出場となる
昭和58年	○役員改選が行われる 二代目会長に保坂俊一(関東自動車)、副会長に保田誠一(宇都宮市役所)、理事長に永山隆(富士重工)、事務局長に三上隆康(富士重工)が就任(４月１日) ○全日本実業団大会の個人戦廃止に伴い、栃木県実業団大会も個人戦を団体戦と切り離し実施時期を別に設定し行うこととなる ○第33回全日本実業団大会(札幌大会)に男２、女１チームが出場
昭和59年	○第34回全日本実業団大会(大阪大会)に男２、女１チームが出場(日産自動車女子ベスト16) ○全日本シニア大会が初めて開催され、本県からも８人を派遣

昭和60年	○第35回全日本実業団大会(藤沢大会)に男２、女１チームが出場(日産自動車女子ベスト16)
	○関東シニア大会が初めて開催され、本県からも５人を派遣
昭和61年	○第36回全日本実業団大会(京都大会)に男３、女１チームが出場(日産自動車女子ベスト16)
	○選手強化を目的に栃木県社会人リーグ戦を初めて開催(年２回)
昭和62年	○第37回全日本実業団大会(名古屋大会)に男３、女１チームが出場
昭和63年	○第38回全日本実業団大会(金沢大会)に男３、女１チームが出場
平成元年	○第39回全日本実業団大会(岡山大会)に男３、女１チームが出場
平成２年	○第40回全日本実業団大会(神戸大会)に男３、女２チームが出場(富士通小山女子初出場)
平成３年	○第41回全日本実業団大会(仙台大会)に男３、女１チームが出場(日産自動車栃木男子ベスト16)
	○男子日産自動車栃木が日本リーグ(２部)に挑戦(入れ替え戦に勝利)し見事念願達成
平成４年	○第42回全日本実業団大会(広島大会)に男２、女１チームが出場(日産自動車女子ベスト16)
平成５年	○第43回全日本実業団大会(高岡大会)に男３、女３チームが出場(栃木県庁女子初出場)
	○男子日産自動車栃木が日本リーグ(２部)から降格(入れ替え戦で敗退)
平成６年	○第44回全日本実業団大会(福岡大会)に男２、女１チームが出場
平成７年	○連盟の組織強化と事業運営の効率化を目的に、大幅な組織改編(総務部・大会運営部・指導強化部・審判部を設置)を実施。役員改選も行われ、理事長に三上隆康(富士重工)、事務局長に湯沢雄一(栃木県庁)が就任
	○第45回全日本実業団大会(札幌大会)に男３、女１チームが出場
平成８年	○第46回全日本実業団大会(東京大会)に男３チームが出場、女子チームの出場途切れる
平成９年	○栃木県シニア大会を初めて開催(これに合わせ実業団個人戦のシニアの部は廃止)
	○栃木県社会人リーグ戦が前年で20回を数えたのを期に、大会形式を選手強化を目的としたクラス別からチームランキング制に変更
	○第47回全日本実業団大会(八代大会)に男３チームが出場
平成10年	○第48回全日本実業団大会(名古屋大会)に男３チームが出場役員改選が行われ、事務局長に岡室利彦(松下電器)が就任
平成11年	○第49回全日本実業団大会(京都大会)に男３チームが出場
平成12年	○第50回全日本実業団大会(東京大会)に男５チームが出場
平成13年	○理事長の三上隆康氏(富士重工)が死去、副理事長の笠井孝之(日産)が理事長代行となる
	○役員改選が行われ、理事長に湯沢雄一(県庁)が就任
	○第51回全日本実業団大会(松山大会)に男３チームが出場

富士重工バドミントン部の歩み

富士重工㈱宇都宮製作所　吉　田　伸　也



富士重工バドミントン部は、昭和38年に部として誕生しました。

その当時の部員は20名ほどいたらしいがほとんど初心者だったらしく、部費も集まらず苦労していたようです。

その後、昭和45年に群馬製作所から転勤してきた故三上隆康（当時21歳）によって富士重工バドミントン部が変わってきます。

昭和46年には全日本実業団選手権大会へ出場できるレベルになり、昭和53年を除く昭和56年までに10回の団体出場と、個人11回連続出場を果たしました。

それらを境に、メンバーの中に引退するものも出てきて、私が入社した平成２年には、主力メンバーといえば、故三上さん、田中さん（昭和46年入社）のみで、中級者が数人いるという、なんとなくバドミントンサークルという感じでした。

それから、毎年若い部員が２～３人ずつ入部してきて盛り上がってきますが、なかなか結果の出ない日々がつづきました。

私自身、平成７年に３年間の出向に行くという不運もあり、一時バドミントンから離れなければならなくなり、後のことは後輩に託すことになりました。

それから３年後、県内の実業団県予選において団体３位になり、15年ぶり15回目の全日本実業団（第48回大会名古屋にて）へのキップを手にすることが出来ました。私も出向先が名古屋だったため、彼等の勇姿を一目見ようと応援に駆けつけました。私も11月には元の製作所に戻ることができ、49回京都、50回東京大会（県予選18年ぶり優勝）へ出場し、全国大会の興奮を味わうことが出来ました。しかし、全国大会の壁は厚く思うような成績があげられていません。この悔しさをバネに、より一層の努力をしていきます。

松下電器産業㈱バドミントン部の歩み

松下電器栃木部長　岡　室　利　彦



栃木県バドミントン協会50周年、おめでとうございます。松下電器栃木のバドミントン部の歴史は古く、昭和42年に宇都宮市の平出工業団地内にテレビの生産工場として進出すると同時に、数名のバトミントン愛好者によるサークル活動がスタートしたと諸先輩より受け聞いている。当時は女子部員が主力で、男子部員が２～３名であった。当社には、昭和25年に第一回全国社内大会（運動会）が開催され、昭和34年にはバドミントン競技が採用され会社の体育部活動として承認を得た活動を行っていた。以来、社内のバドミントン人口は年々増加し、33事業対抗の250名余りの選手が参加するまでになった。このような社内環境の中で我がチームは、昭和51年の第26回全国社内大会より女子が、優勝５回、準優勝が５回、３位が３回と活躍をし、男子は平成３年の第42回大会より準優勝を３回収める活躍をした。女子選手のピークは２回有り、昭和57年に第32回全日本実業団大会（東京都立川市）に出場し１回戦敗退した。平成５年に第43回全日本実業団大会（富山県高岡市）に出場し、２回戦進出を果たし、このメンバーは、「部長：中山、監督：阿久津、選手：景山・河又・羽山・長谷川・永島・新倉・長南・平出、マネージャー：松永」です。

私が、この宇都宮に赴任したのは、昭和57年に新工場が同じ敷地内に増設され、複写機を生産するようになってから１年後の昭和58年のことでした。それまでは、大阪府門真市内の生産技術研究所に所属し、全日本実業団大会には「松下電器・大阪」の選手として活躍し、社内のバドミントン連盟理事と大阪府実業団バドミントン連盟理事の活動を行っていた。また、赴任２年前までは千葉県に居住しスポーツ指導員とし地域活動を行っていた。

新工場は、女子社員が大半のテレビ生産と違い、複写機は大型の精密機械のため、男子社員が多く必要となり、新工場の立ち上げとともに新入社員の採用が有り、各運動部（バドミントン、陸上、卓球、バスケット、バレー、サッカー、弓道、等々）に優秀（インターハイ出場、等）な選手が必然的に集まった。バドミントン部男子は、昭和60年に「渡辺・呉井・福田・吉田」が入社し、実業団県予選で３位に入賞したが、会社側の理解が得られなく全日本実業団大会には出場することができなかった。翌年には必ず出場することを誓い、バドミントン部部長を「所属上司の開発部の宮野部長」にお願いし、会社側との交渉を優位に進め、また当時栃木県実業団連盟の三上事務局長（故三上理事長）の尽力を頂き、１年間の活動結果、昭和61年の「松本・黒須（旧性：安達）・加藤・高橋」が入社した年には「松下電器・栃木」男子チームとして第36回全日本実業団「京都市」大会に出場することができた。大会結果は２回戦敗退と初出場にしては好成績を収めた。これ以降連続して全日本大会の切符を手中に収める常連チームとなった。昭和63年の第38回大会でベスト16入りをかけ富士通（岩手）と対戦し１：３で敗退し、ベスト32と大健闘をした。メンバーは「部長：宮野、監督：岡室、選手：斉藤・呉井・松本・黒須・加藤・高橋・佐々木」です。第39回大会ではベスト62、以降は２回戦敗退と振るわなかった。これをピークとして年々高齢化が進みまた、選手が結婚生活と職場での職務安定化を求め、体力維持ができなくなった事と、社会情勢から企業でのクラブ活動が一時的に休止し、存続の危機を迎え全日本大会の連続出場を断念しなければいけない状態に成った。我が社の各クラブ活動においても、当初は優秀な成績を収めてはいたものの、厳しい情報化時代を乗り越えなければならない環境下では、求心力のないクラブは次第と衰退していった。その中でバドミントン部は、この波に負けることなく、私の大阪での経験と本社とのつながりを活かし２代目の権田部長と阿部副部長と伴

に精力的に宇都宮の地においても会社側との交渉を行った。そして活動目標と方針を明確化し、地道に活動月報を会社側に提出しクラブ存続の理解を深めていった。クラブ内では部員の親睦を深めると共にモラル向上に努め結束を固めた。

テレビ生産工場内では、黒須主将が精力的に男・女部員のまとめ役を担った。次第に社内、社外（県大会・全日本実業団・全日本社会人）の各大会で上位入賞する活動実績を積み上げることができ、強固なクラブ活動の基盤を作り上げた。この基盤を元に、今では選手交代が有るものの平成12年の第50回全日本実業団東京大会では、ヨネックスに３回戦敗退となったが、出場回数は14回目を数えるに至った。全日本社会人大会では松本がシングルスでベスト32入りした。現在のチームは、「部長：岡室、監督：黒須、主将：松本、選手：小篠・野口・加藤・谷口・山口・大山・杉山・（役員も選手を兼ねた）の全国大会メンバーと、初心者クラス、ＯＢ選手」で構成されており20名余りで活動を行っている。練習嫌いなＯＢ・ＯＧも飲み会には子供と一緒に必ず参加し親睦を深めている。クラブ活動の１つとして社内で従業員家族を対象にバドミントン教室を開催し小学生、夫婦等20名余りの参加者の指導を行っている。地域活動としては、何名かの部員で栃木県実業団連盟の常任理事（事務局長・大会運営）としての活動と、栃木県体育協会に指導員登録し小学生の指導を行っています。

最後に、栃木県実業団が２年後の30周年目を目指し躍進すると共に、栃木県協会50周年を心よりお祝い申し上げ、ますますの発展に寄与して行きたいと思います。

日本リーグ出場の思い出

日産自動車　入　江　久　夫



栃木県バドミントン協会設立50周年おめでとうございます。設立50周年にあたり、日本リーグ２部出場を振り返りたいと思います。

日本リーグを語る前に、全日本実業団大会を語らなければなりません。実業団大会は、ベスト16を目標に挑んできました。その様な中、第41回仙台大会。ベスト16入りで、以前負けている山陽国策パルプと対戦し３－０で勝利を収め、念願のベスト16を果たす事が出来ました。その後、トヨタ自動車と対戦しましたが惨敗し、ベスト８の壁の大きさを痛感しました。このベスト16をきっかけに日本リーグ２部の話が持ち上がりました。日本リーグは、予選、入れ替え戦が行われますが、運良くストレートで日本リーグ２部入りが決定しました。

第14回日本リーグ２部の大会は兵庫県宝塚市で、８チームのリーグ戦を２複１単の形式で行いました。初出場という緊張感もあり、初日は昨年度上位のＮＴＴ東北、豊田工機に惨敗でした。２日目は３試合。緊張感も解けいよいよ実力発揮かと思われましたが、ＪＲ北海道、ジャスコに負けてしまいました。しかし、十條製紙伏木戦では勝算ありとみて、ダブルス２つを勝つ作戦で戦い、これが見事に功を奏し、２－１で初勝利を挙げる事ができました。最終日もこの勢いで、山陽国策パルプ、大和製衡に勝ち、３勝４敗で初出場ながら単独５位になる事ができました。

２年目は残念ながら日本リーグで全敗を喫し、入れ替え戦でＹＫＫ九州と対戦し負けてしまい、２年で日本リーグから去りました。しかし、あの日本リーグの大舞台でプレーをして、５位になれた事を誇りに思っています。

最後に、今後はチームの若返りを図り、「あの感動をもう一度」の意気込みで頑張っていきたいと思います。

栃木県庁バドミントンクラブ

部長　小　島　秀　雄



私たち「栃木県庁バドミントンクラブ」は県庁職員と外郭団体等職員により構成された職域のクラブです。クラブとしての発足は28年前（昭和48年）で、神奈川県藤沢市で開催された第１回関東地区都県庁バドミントン大会に出場するにあたり、県内各地域で活動していた選手が栃木県庁バドミントンクラブとしてまとまり大会に出場し、以降定期的に練習をするようになりました。

関東地区都県庁大会は関東・山梨の１都７県庁による団体戦方式の交流試合であり、我がクラブは３年連続優勝を含め通算５回の優勝、２位５回、３位４回と常時上位の成績を収めています。

また、栃木県庁バドミントンクラブは実業団チームとして昭和52年度の大阪・京都大会を皮切りに全日本実業団選手権大会に出場しており、記念すべき平成12年度第50回東京大会に通算20回目の出場を果たしました。過去にはベスト16を目前に惜敗した経験もあります。また、平成２年度の神戸大会では優勝したＮＴＴ東京と対戦したこともありますし、平成５年度の高岡大会においては記念すべく男女アベック出場を果たしました。全国大会のメンバーとしては湯沢、古沢、鈴木（旧性粕谷）の三鉄人を筆頭に池田、原、和久、琴寄、高橋、小島、そして若手として柿沼、篠原、青柳が現役を継続しており、また、女子は小島（旧性岡田）、小野寺、大島（旧性森田）、大塚の４人が全国大会に出場しましたが、現在は育児等もあって練習もままならず、実業団大会への参加はお預けとなっています。

現在のクラブの状況を紹介しますと、クラブ員男女併せて30数名で活動をしています。メンバーは元国体選手やインターハイ経験者、社会人になって競技を開始しながら実業団大会やシニアの大会で県チャンピオンのタイトルを獲得した鉄人等を筆頭に、経験者（上級者）から初心者まで幅広いレベル・幅広い年齢で構成されています。活動状況としては定期練習、夏期合宿、クラブ内シングルス戦といったバドミントンのみならず、ゴルフ、ハイキング等各種レクリエーションも実施しています。

クラブの課題としては、クラブ員の高齢化が進んでおり、選手より役員として活躍する人が多くなってきたのが現状であり、女性部員と、若手男性部員の確保が望まれているところです。

また、県バドミントン界の発展のために協会や実業団連盟の役員にも多数名を連ね、時には初中級者の講師を務めるなど、少しでも社会還元ができればと考えています。

最後にクラブとしての活動は毎週木曜日の夜と土曜日の午前中に、県庁西側にあります「ニューみくら」体育館で練習していますので、気軽に練習に参加しに来てください。

本田技研栃木

具志堅　義　幸



昭和61年、本田技研の開発部門が、埼玉県和光からテストコースがある栃木県に移ってきた。翌年体育館が完成し、和光で続いていた所内のスポーツ大会が開催され、種目の一つとしてバドミントン競技が行われた。和光バドミントン部員が栃木に移転してこなかったため、それまで好成績を納めることができなかった者も上位入賞し気分を良くしたこともあって、新たなメンバーでクラブを作り、年一回の所内大会だけでなく継続的に対外活動をしていこうという事になった。そこで、さっそく総務課に相談したところ、きちんと公的大会に出場するなど対外活動をすればよいとのことで、藤田裕一を部長に、あっというまにバドミントン部ができてしまった。約10名でスタートした。

すぐに対外活動をしようと宇都宮市内の情報を集めたところ、市民大会が開催されることがわかり、とりあえず中間のクラスにエントリーして実力を測ってみることにした。しかし、大会には実業団上位チームや高校トップクラスも出場しており、これまで大した実績もなかった者の集団であった我々は、そのレベルの高さに驚かされるとともに、上位進出もできなかった。ところが、本田技研から初めての参加ということで主催者側で話題になったらしく、会場にて県にも登録して各種大会に参加していかないかと誘われた。負けたまますごすごと引き下げるのも悔しいものである。結果にめげずどんどんやろうと盛り上がり、県にもチーム登録をした。

しばらくは練習も精力的に行われ、実力向上をめざして頑張っていた甲斐もあって、一時は、県リーグ戦順位も上がるなど成果が得られた。しかし、その後仕事が忙しく練習時間が取れないという状況が続き、県リーグ戦でも下位に転落するなどして、チーム全体に向上心が薄れてきているのが感じられるようになってしまった。練習に参加する者が減り、大会出場回数も激減して、クラブ消滅の危機が訪れた。

平成元年宇都宮工業高校出身の鈴木孝治が入社しクラブに入った。一人突出した存在であったため、チーム内に刺激をもたらした。続いて平成四年、埼玉狭山チームの今野が転勤により入部、チームは二枚看板を持つことになり、この体勢が数年続いた。

平成９年には埼玉県和光から宇都宮工業高校出身の稲村茂が転勤して戻ってきたことから、ついに実業団一部登録を果たし、県代表をかけてリーグ戦を戦うことになった。しかし、選手層の薄さは明白で、かろうじて一勝したものの総合成績は５チーム中最下位の成績で終わった。翌平成10年も最下位であったが11年には宇都宮南高校出身の村本和彦が入り、埼玉県狭山より宮越通康が転勤により入部し４位に入った。12年は千葉より野村将司、埼玉県和光より馬場一郎が入り、悩みだった選手層の薄さも改善されやっと全日本実業団選手権出場を果たした。本選では一回戦２－３で惜しくも敗れたものの、今後への手応えをつかんだと言える。

現在藤田裕一部長のもと部員は15名になり、初級者から上級者まで幅広いメンバーを持つに至った。発足当時のメンバーはほとんど活動を休止してしまったが、うまく入れ替わりができたと思う。クラブを支えてくれた発足当時のメンバーにここにお礼を申し上げるとともに、さらに高い目標に向かって活動していきたい。



栃木県レディースバドミントン連盟

板　口　千代子

はじめに

栃木県レディースバドミントン連盟も、諸先輩のご尽力のお蔭で、平成12年には20周年を迎えることができました。名称も全国の改名に伴い、平成13年に家庭婦人連盟からレディース連盟とし、21年目から又新しい一歩を踏み出しました。

バドミントン競技は、皆さんご存知のように、年齢や性別等、各々の体力に合わせてできる親しみやすいスポーツです。でも一歩足を踏み入れると、その運動量の多さと技の奥の深さに驚かされますが、その激しさと小気味よいリズムに魅了され、20年も30年もラケットを握り、羽根を追いかけている方たちがたくさん居ます。

又各地区の指導者として、青少年健全育成に係わり活躍している方や各地区の運営に尽力されている方もたくさん居ます。

家事、育児、仕事との両立を巧みにこなし健康づくりに仲間づくりにいい汗を流し、県内ばかりではなく、全国にもバドミントンの枠を越えていい出会いを広げています。

平成16年夏には、全日本レディースバドミントン選手権大会の栃木開催が決まっています。家庭や地域の原動力となっている私達レディースの底力を精一杯発揮して、全国各地のバドミントンの仲間を迎えたいと思っています。

「栃木県レディース連盟の歩み」

－時は流れて－

足　立　サカエ

原稿を書くにあたり、30年史をひもといてみた。現日本バドミントン協会専務理事の遠井稔男先生のお若いころのお写真と栄光。その先生のご指導のもとで鍛えられた真岡女子高校のＯＧの方々が現ＭＭＣのメンバーである。

栃木県での家庭婦人連盟（現・レディース連盟）の発足は、遠井先生が30年史に述べておられるように、最初にＭＭＣありきではなかった。

「盛んなクラブ活動、高校時代に活躍した経験者が結婚し、家庭的にも育児にも余裕ができて、ふと昔のバドミントンをやってみようとスタートする例が多いが、どうも本県は異なるようだ。しかし県体や市教、県体育協会などで催したバドミントン教室の出身者でグループを結成……。」つまり、社会体育活動が家庭婦人連盟結成のスタートであった。

折しも当時、日本は高度経済成長のまっただ中にあり、家庭内での婦人の役割も少しずつながら変わりつつあった。従来、女性は家の中で夫に仕え、子供の世話をすること、つまり良妻賢母が鏡とされてきた我が国の風潮の中では、奥さんが、母親が自分自身の楽しみを求めることは歓迎されざることであった。しかし、時代の変化とともに、母親が、奥さんが一人の人間として生き生きと生きることが、家庭内の人間関係をむしろ、活性化するものという考えの助長によって、女性が家庭から外へとむかって行く時代を迎えたのである。その時代において我が県にも昭和56年６月に栃木県家庭婦人バドミントン連盟が産声を上げたのである。（現・レディースバドミントン連盟）当時加盟クラブ数は

15団体、会員数は258名であった。初代理事長の速水朝子氏の30年史を再び読み返してみると、時の流れの速さにびっくりさせられるものである。そして、感嘆すべきことは創設時のメンバーの幾人かが、今なおやめることなくバドミントンの魅力に取りつかれ、コートの中でシャトルを追っているのである。ここにその事例の一つを紹介したいと思う。

ーわたしのバドミントンー

福　田　シズエ

わたしがバドミントンと出会ったのは、子供が小学生のころ、ＰＴＡの球技大会の時でした。ラケットを握った事もないわたしでしたが、なにもできなくても参加してくれるだけでいいからという言葉につられて、借りたラケットで始めたのがきっかけでした。

それから間もなく、戸祭町にある県体育館のスポーツ教室から発足して２年目という家庭婦人クラブ、「県体エースクラブ」に入部しました。そのころは、バドミントンを始めて１、２年という人達がほとんどでしたので、とけこみ易かったのでしょうか、すぐにその魔力というか魅力に取りつかれて20数年間があっという間に過ぎ、今では、わたしの生活の大きなスペースを占めております。

その間、県内の大会はもとより、北は北海道から南は沖縄まで、関東大会、全国大会、スポレク大会、オープン大会等、クラブの仲間たちに連れられて、一緒に参加させて頂きました。それに忘れられない思い出は、宇都宮市がニュージーランドのマヌカウ市と姉妹都市になった記念行事として、いくつかのスポーツ団体の交流の募集があったときに、バドミントン仲間と思い切って参加したことです。ホームステイをしながら現地の人達との交流試合を楽しんだり、いろいろな所を見学したりして、帰路はハワイ経由という、わたしにとってはとても豪華な経験でした。

この永い年月の間には、たくさんの楽しいことがありましたが、時には「やめてしまおう…」とか、「やめなければ…」等悩んだこともありました。けれどもなによりもバドミントンが好きだったことと、それにもまして素晴らしいバド仲間に恵まれたから続けて来られたと思います。

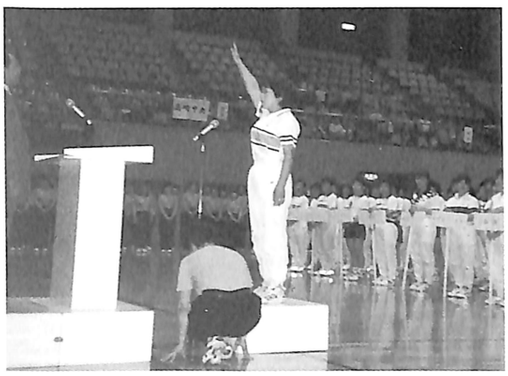
いまは、「継続は力なり」「出会いは人生の宝物」という言葉をしみじみと実感しております。

これからも微力でありますが、初心者がバドミントンを楽しく続けられるように手助けをしながら、自分流のバドミントン生活をエンジョイしていきたいと思っています。

現在、栃木県バドミントン協会の下部団体の一つとして、更に関東レディース連盟への加入により、一都七県持ち回りの関東大会も二度ほど本県で行われた。平成３年（1991年）、第５回大会を開催するにあたって、前荒井理事長を中心とした運営と実施－お仕着せの組織の中で動くのではなく試行錯誤しながらも自分たちで広告を取り、プログラムを作り、大会当日他県からお客様を迎える準備－は組織の中で動くことがどれ程の困難さを伴うものであるか実感させられたものである。なぜなら、バドミントンは日本の伝統的羽根つきイメージも重なり、学生時代スポーツ経験のない者でも手軽に気楽に入門できるスポーツの一つである。このようにして会員になった者は又、家婦連（家庭婦人連盟）発足当時職業をもった者も少なく、主婦とは家庭の中の女王様、一国一城の主（ご主人をさておいて）と揶揄されていた私達家庭婦人にとってPlayすることもさることながら、皆で協力し、何かをなし遂げることは容易ではなかった。であるから、無事その役目が終了したときの喜びは何にも勝るものであった、初めての体験であったと言っても過言ではないであろう。そして、平成11年（1999年）、板山理事長のもと二度目の開催では、栃木県の特産物の一つである益子焼で、シャトルをかたどった箸置

きを作成し（もちろん、市販のものでなく素人である私達連盟部員の正真正銘Hand- Madeである）、参加者全員にお土産としてお持ち帰りいただいたという主婦としての細やかな気配りで、大いに、同じスポーツを楽しむ者同士の地域を越えた連帯感を深めた次第である。





今年（2001年）現在、板口理事長のもと副理事長４名、会計２名、監査２名の役員に、各クラブの代表である理事32名（クラブ数32，会員数502名）が年２回、12月の理事会、３月の総会をもち、年間の事業計画を検討し、上意下達式ではない、各クラブの声が運営に反映できる意見の交換会議を開いている。その年間事業の各大会も、担当クラブを決め、役員を補佐してもらい、自分たちの楽しみは自分たちで作るという原則のもとに行っている。少ない予算の中で体育館を確保し、シャトルを購入し、会員の技術向上を計ることは大変なことではあるが、そこは私達、家庭内の大蔵大臣であるプロの実力を生かしきっていると自負している。そうした状況の中で、今家庭婦人連盟には前述したＭＭＣ（真岡女子高ＯＧクラブ）を頂点とし、家庭婦人になって初めてラケットを握った人達がよい意味でのライバル関係により、ＭＭＣを目標に練習に励むことが結果的に連盟全体の技術の向上につながっている。

創立当初、家族に「バドの練習に行ってきます。ごめんね。」との声も時代の流れとともに変化し、今日では週１プレーヤーどころか、週８プレーヤーも出現する程、未経験者も技術の向上に励み、その意気込みは、現役の高校生に負けずとも劣らないものがある。

特に本県の特徴である社会教育活動からバドミントンを生涯スポーツとする成果として見事に花を開いたのが以下に記す偉業である。

1　第３回全日本家庭婦人バドミントン都道府県対抗競技会（昭和61年・1986年）
　　準優勝　栃木県選抜チーム
2　第10回関東家庭婦人バドミントン大会（平成８年・1996年）
　　準優勝　栃の葉レディース
3　第14回関東レディースバドミントン大会（平成12年・2000年）
　　優　勝　県体エース
4　第18回全日本レディースバドミントン選手権大会・クラブ対抗（平成12年・2000年）
　　ベスト８　栃の葉レディース

以下、その喜びを各大会参加者に語ってもらう。

－全国大会準優勝の思い出－

県体エース　轟　木　多恵子

第三回全日本家庭婦人バドミントン都道府県対抗競技会が、昭和61年５月２日から４日、台東リバーサイドスポーツセンター体育館で行われた。栃木県は予選リーグを３勝１敗で勝ち上り、４日の決勝トーナメントへと進んだ。この日は折しも「国際スポーツフェア85春」の期間中で、その為決勝トーナメントは東京代々木第２体育館で行われることになった。私

は第１回、第２回大会に続いての参加でしたが、会場に一歩足を踏み入れた瞬間、目に飛び込んで来たのがいつものフロアではなく、緑一色に真っ白のラインが引いてあるゴムマットのコートでした。第２体育館といえば、私にはスポーツ観戦の場でしかなかったのに、自分がこのコートの上でプレーするのだと思った時、喜びと不安が入り交じって落ち着かなくドキドキしたことが思い出されます。



いよいよ試合が開始され、１回戦東京Ｂ、２回戦愛知、決勝で東京Ａ（予選リーグで同じブロックだった）と再び対決、２対１で敗退、２位に終わりました。この試合で私達のペアが勝てば優勝できたのに、今振り返っても悔しさと申し訳ない気持で一杯です。

素晴らしいメンバーの一員として加えて頂き、一生に一度の感激を味わうことができて感謝しています。愛知県との試合で石川・塚原組がすごい接戦で勝ったときには、皆で肩を抱き合って涙し、また表彰式で銀メダルを肩にかけて頂いたときにはジーンとしたこと等、今でも鮮明に思い出されます。

これからも健康維持のために大好きなバドミントンを続けたいと思っています。

－関東大会優勝－

県体エース　柴　田　暁　子



クラブ対抗全国大会への切符を求めて、群馬県前橋市民体育館のコートに立っていた。まず予選リーグ突破を目標に頑張ろうとチームの誰もが思っていた。

“ラブオール　プレイ”緊張とプレッシャーが最高に達した瞬間。会場の熱気と張り詰めた異様な雰囲気に飲み込まれないよう相手を見据えた。ラケットを握る手に思わず力が入り、手に汗がにじんできた。最後まで諦めずシャトルを追い、粘り強く戦うことだけを考えた。持てる力を出し切ろう。途中何度か楽になりたいと思った。その度に「集中ね、頑張れ。」とペアから声がかかった。体力を振り絞り、再度気合いを入れ直した。“ヤッター”歓声が沸き起こり、仲間が駆け寄って来た。

“関東大会優勝”運だけでは勝ち進めない。最高のチームワークと、持ち前のねばり強さで勝ち取った勝利だと信じている。

続く全国大会では“ベスト16”。千葉まで駆けつけてくれた仲間の声援を受け、過去最高の成績を残すことが出来た。良き仲間に巡り会い、支えられて、最高の舞台に立つことが出来た。

素晴らしい感動と喜びをありがとう。

―全日本レディス大会“ベスト８”入りを果たして―

栃の葉レディース　石　川　澄　子

クラブ創設は昭和54年、栃の葉国体を翌年に控え、市のスポーツ教室も多種目開かれ始めた年でした。家庭婦人も生涯スポーツをと目覚め、特にバドミントン教室は、募集人数以上で抽選するほどの人気の種目でした。私達のクラブにも教室を終了した人達が入部し、年を重ねるにつれて部員も増え、現在34名を数えるに至っています。

初心者が、集中的に基本打法、フットワーク、パターン練習、ノックと息を切らしながら励んだ頃が懐かしく思い出されます。あれからもう20年も過ぎ、経験者、未経験者とも関東大会、東日本大会、全日本大会へと参加し、団体、個人とも良い成績を収め、特に平成12年度全日本レディース大会ではクラブ対抗の部で予選リーグを１位で通過、決勝トーナメントに駒を進め、念願の「ベスト８」入りを果たすことができ、日頃の努力の成果が出せたことに、部員一同喜びを感じる一瞬でした。これも部員全員の協力があってのことと思っております。以下、選手の感想を記します。

1　膝の故障で何年か悔しい思いをして来たけれど、チームのみんなに励まされての結果が「ベスト８」。その上、団体戦になくてはならないチームワークなど、忘れていたものが取り戻せた２日間でした。　鈴木芳枝

2　目標「優勝」、体力・気力を振り絞って夢を追い続けたい。　平野孝子

3　栃の葉レディースに入部してから３年目、初の全国大会出場です。夢の大舞台に立ち無我夢中で戦いましたが、十分な実力も発揮できないまま悔しさだけが胸に残りました。96、97、99年と出場したものの自分で納得のいく成績を残すことが出来ませんでした。大会独特の雰囲気に飲まれてしまったこと、練習不足を痛感し、大会後の反省点を振り返りながら、基礎トレーニング、練習メニュー等の見直しを図り、県外の試合に多数参加し、チーム強化に励んで来ました。その努力が2000年の「ベスト８」という過去最高の結果につながったのだと思います。この喜びを胸に今後更に練習を積み重ね、大きな目標である全国制覇に向かいチーム一同頑張って行きたいと思います。　木村理恵子

4　全国大会過去最高の「ベスト８」の喜びを胸に『成せば成る』の精神で日々練習を重ね、優勝を狙いたい。　岡室さと子

5　バドミントンの奥深さを感じ、益々この競技が好きになりました。　鈴木あゆみ

6　プレッシャーの連続で、自分のプレーもよくわからず夢中でした。来年は余裕のあるプレーが出来るように頑張りたいです。　栗原國江

7　開会式がたいへん素晴らしかったことや、ゲームの内容や雰囲気など感心することばかりで、とても良い経験をすることが出来ました。　滝　由美子

8　いつも応援でついて行きます。今年の千葉大会は８位、前回まではリーグ突破が目標だったのに……。これからが楽しみです。　小松早代子

9　我が栃の葉レディースも選手の努力がみのり、前回よりも今回と成績も上がり、全国トップレベルの試合も多数見ることが出来、私自身も楽しい千葉大会でした。　中家和子

以　上

先日、全日本リーグ戦の開幕戦という大きな大会が、栃木県で開催（2000年11月25、26日・宇都宮市体育館）され、その中には、栃木県出身選手が７名ほど含まれていた　彼らのような優秀な選手は我々バドミントンを行う者にとって憧れであり、大きな目標となるものであるが、そういう優秀な選手の育成に家庭婦人も寄与するものである　つまり、Playすることによる自己充実と同時に、夫を

コート内に誘い込み一緒に汗をかき、結果、夫婦関係の円満を図ると共に、幼い頃からコートに立つ両親を見て育った子供達が、やがて自分たちもいつの間にかラケットを握り、練習に勤しむようになるものである。これは、バドミントン人口の底辺を拡大し、多くのプレーヤーが育ち、結果的には技術の向上につながるということになる。私達は、潜在しているプレーヤーを発掘する仕掛人でもあり普及員でもある。このような家庭婦人県連盟での役割を含む組織を、今後更なる向上につなげるために、そして初代理事長　速水朝子氏、前理事長　荒井美恵子氏のご苦労を無にすることなきよう、県体育協会のご助力をお願いし、しかし依存した組織でなく、自分たちの足でしっかり着実に前進させていきたいものである。

21世紀を迎えて、人々の意識も変わりつつある。家婦連のメンバーも例外ではなく、特に各大会でのDクラス出場者の微細ではあるが減少が見られる。個人で趣味としてスポーツを楽しむ風潮の昨今、組織の中での人間関係はわずらわしいという若い世代の人達をどう取り込んで行くかという問題。さらに、主婦も積極的に社会参加する時代へとの変貌の中で、どのように会員増を図るかという問題。また、地域的なかたより（現在宇都宮市内のチーム数19に対し、宇都宮市以外の市町村に在籍するチーム数13と少ないこと）、特に大会が開催される場所により、距離的な制約により、出場者の少ない県西、県北のメンバーの増加を全県というレベルからどのように考えていくか等々の諸問題が、今後レディース連に課せられた課題である。

クラブ紹介

☆明保野バドミントンクラブ　S63年10月発足

週２回２時間、保田コーチ指導の元で練習に励んでいます。バドミントンを通して、部員相互の親睦を深め、いつまでも若さと健康を保ちたいと願っている部員一同です。

☆足利シャトルエース　S59年４月発足

バドミントンが大好きで気の合った仲間が集い、週２回練習しています。中央のレベルに追いつけ追い越せと常に目標を高く持ち、日々精神しています。

☆あじさい　S57年７月発足

毎日のトレーニングに力を入れて、ひとつひとつの動作に時間をかけ、いつまでも楽しくプレーできるように、体力維持と健康を考えながら週２回練習し、深睦を深めています。

☆あすなろクラブ　S55年６月発足

部員の顔ぶれも変わりながら、現在11名で練習しています。練習後の食事会、たまの飲み会、レクリエーション等楽しいことはいっぱいです。大会参加を励みに長く続けていきたいと思います。

☆あひるクラブ　S58年発足

真岡市のバドミントン教室に参加したメンバーで発足。ストレスを発散し、健康と体力の維持を目的として週２回練習に励んでいます。

☆ＳＫＣ（元スマッシュ河内）　S56年４月発足

メンバーのほとんどが初心者から始めた主婦ですが「試合にまさる練習はなし」という言葉に習って、試合を経験しながらの上達を目指し、週２回練習しています。

☆MMC　S49年発足

真女ＯＧママさんクラブとして発足。メンバーは学生時代から豊富な試合経験を積む顔触が揃い、県内外、全国大会にと活躍しています。週１回の練習にも全員揃う事は難しく、練習不足を痛感。まずはケガがなくをモットーに気持ちよい汗を流しています。

☆小山アイリス　H６年３月発足

経験者が少ないため、試行錯誤を重ねながら、和気あいあい楽しみながら、毎週月曜日練習に励んでいます

☆小山アルバトロス　　S62年発足

小学校ＰＴＡのバドミントンクラブの仲間が集まり、現在家庭婦人は44名。午前、午後、夜の部と、それぞれの時間にバドミントンを楽しんでいます。

☆小山チエリーズ　　S56年４月発足

小山市ママバドミントン愛好会として発足して20年。老？若、それぞれ強くなりたい、長く楽しみたいを目標に練習に励んでいます。

☆桜花　　Ｈ７年４月発足

幼稚園のＰＴＡサークルから発足。まだ始めたばかりと思い続けて早や５年。試合でひとつでも多く勝てる様、部員相互の親睦を深められる様、活動していきたいと思います。

☆さつきシャトル　　S62年９月発足

雀宮体育館の開館のときに、幼稚園の保護者で作られたクラブ。涌井コーチの指導のもと、各自が目標を持って、自主練も含め週３回の練習に励んでいます。

☆カトレア　　S58年４月発足

市主催の第１回バドミントン講習会の受講生で発足。クラブ名はメンバーをイメージして名付けられたとか。早くから連盟にも加入し、試合も積極的に参加しています。

☆鹿沼コスモス　　S59年発足

市主催の初心者教室がきっかけとなり、10名程度で結成。うち数名は現在も要として、新しいメンバーを育てながら活動しています。

☆きりんくらぶ　　Ｈ９年４月発足

キリンビール工場の体育館をお借りして、気の合う仲間が楽しくかつ目標を持って、毎週火･木･土曜日と練習に励んでいます。

☆県体エース　　S47年発足

発足27年と県下で最も古いクラブです。指導者もなく、経験者も少ないクラブですが、体力と根情、団結力をもって、クラブ対抗戦関東大会、全国大会と数多く出場しています。週２回それぞれに思いを込めて良い汗を流しています。

☆シャトルクラブ　　S55年11月発足

市の講習会を機に45名程の部員で結成。伝統を引き継ぐ現在の私達は少人数ながら、週２回練習に励んでいます。

☆スマイル　　発足年不明

ストレス解消にいいし……なんていう理由で始めたのですが、今では週３回の超ハードなスポコンクラブに変身。『上手い人に追いつけ！追いこせ！』と今日もスポコンスマイルで頑張っています。

☆栃木市レディース　　S59年10月発足

体育館の講座終了者から発足。今でこそ３面のコートを使用して練習していますが、クラブの存続が危ない時期もありました。30代から60代まで巾広い部員で楽しく練習しています。

☆栃の葉レディース　　S54年７月発足

クラブ創設はS54年栃の葉国体を翌年に控え、生涯スポーツとしても目覚めはじめた時でした。長い間予選落ちのクラブ対抗戦も年を重ねるごとに関東大会準優勝、全日本ベスト８と過去最高の結果を出すことができました。また経験者の全国大会へも多くの代表選手を送り出しています。

☆ピカソクラブ　　S62年９月発足

町のバドミントン教室からクラブを創設して、個性あふれるメンバーが多かった事からピカソと名づけました。いつまでも若く、明るく、元気をモットーに、週３回の練習に汗を流しています。

☆ファイタークラブ　S56年10月発足

週２回の練習と部員との交流は、健康面だけでなく、精神的にも多いにプラスになっており、単なる趣味の域を越えたものとなっています　現在部員数も増える傾向にあり、益々活気あふれる楽しいクラブになりたいと願っています

☆ふたばクラブ　　S49年5月発足

28年目を迎える伝統あるクラブです。年令層も30代から70代と厚く、鈴木芳枝コーチのもと、練習に汗を流しています。バドミントンを楽しみながら、体力面、精神面で自分づくりが出来るクラブです。

☆フレッシュシャトル　　H元年発足

市の講習を受けた人達が集まり発足。当初は部員数も40名以上と賑やかだった様ですが、現在は15名で活動しています。楽しいバドミントンをモットーとして汗を流し、良き妻、やさしい母親、そして輝いた女性としての糧を得ています。

☆ブラックエンジェルス　　H11年3月発足

当初、女性4～5名でのスタートでしたが、現在のコーチのご支援をいただき、今では男子部員も増え、楽しくプレーすることをモットーに頑張っています。

☆ペパーミント　　S60年発足

市の講習会を経て、初心者ばかりでスタートしたクラブです。当初は週1回、楽しく遊ぶ感じの練習でしたが、現在は部員数も増え週2回の練習も少しきびしく、楽しくストレス解消しながら頑張っています。

☆ＰＯＰクラブ　　S62年発足

週2回の練習に30代～50代の主婦が集い、バドミントンを楽しんでいます。

☆マーマレード上三川　　H9年6月発足

今から4年前に何とか育児から退出できた数人の人達で作られたチームです。平均年令は39才と比較的若いかけだしチームですが、練習、試合の参加数を増やし、チーム全体に力をつけていきたいと思います。

☆マロンクラブ　　H6年発足

バドミントン教室を通じて知り合った人達が中心となり、初心者のクラブとしてスタートしました。バドミントンの枠を越え、ソフトバレー、バレーボール、合宿ｅｔｃ、子供達を含め、楽しさが先行してしまうクラブです。少人数ではありますが一致団結し、ランクアップを目指します。

☆ミディークラブ　　S60年9発足

創立15周年を迎え、部員は22名。週2回の練習を基本としています。H5年から8年間関東大会に出場していますが､年々メンバーの年齢が上がり､部員全体の底上げを計っていくことが課題です。

☆陽東クラブ　　S58年4月発足

陽東地区の体協バドミントン部の女性が連盟に加入するという形で発足。体協に属するクラブなので老若男女入り混じって練習しており、ベテラン先輩の多彩なプレーに刺激を受けています。

☆レピシエ　　H9年6月発足

我が子の通う幼稚園で知り合った仲良しママ6人で始まり、発足から僅か3年、スポーツ好きのハッスルママ達もハードなバドミントンに青色吐息。それでも公式試合での上位入賞を狙い、週1回欠かさず練習に励んでいます。

栃木県教職員バドミントン連盟

○はじめに

栃木県教職員バドミントン連盟は、日本教職員バドミントン連盟の発足当初から連盟に加盟し、主に全日本教職員大会への参加を目的として活動を続けている。

日本教職員連盟は、「正しい指導の体系を確立するための指導者同志の研修及び競技力向上の場」とすることを目的に、全日本教職員選手権大会・研修会・総会等の年間行事を実施している。本県においてもこれらの趣旨に賛同し、毎年、日本教職員連盟への団体登録と個人登録を行っている。

○日本教職員連盟への登録

〔団体登録〕

日本教職員連盟への登録に際しては、栃木県教職員連盟として役員（会長１名・理事長１名・評議員１名・事務局１名）を選出し、団体登録している。

現在、全国では43都道府県が日本教職員連盟に登録している。（平成12年度）

〔個人登録〕

日本教職員連盟主催の大会・研修会等に参加するにあたり、個人登録が必要となる。本県においては中体連・高体連専門部の先生方を中心に、日本教職員連盟への登録と主催行事への参加を呼びかけており、毎年、20名～30名の御協力を得て、個人登録をしている。しかし、ここ数年は全日本教職員選手権大会に参加する先生方がほとんどいない等、日本教職員連盟主催行事への参加がなくなるとともに、連盟への登録も減少傾向にある。

平成12年度の個人登録をみると、

・日本連盟の登録数－679名

・栃木県の登録数－24名

であり、全国的にみても、年々減少しているのが現状である。

栃木県教職員連盟としては、「指導者としての資質の向上と指導法・技術の研鑽を積む場である」ことをもう一度確認し、個人会員登録の減少傾向に歯止めをかけたいところである。

○日本教職員連盟の主催行事

〔全日本教職員選手権大会の開催〕

日本連盟の主要行事として毎年１回、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）開催県の近県で８月中旬に開催している。

平成13年度には第40回を迎える伝統ある大会であり、福岡県において開催が予定されている。

大会参加資格は「日本バドミントン協会および日本教職員バドミントン連盟に登録した者」となっており、現在、下記の21種目で実施されている。

・団体戦：男子、女子、男子成壮年

・個人戦：一般　男子・女子　単・複

30歳以上　男子・女子　単・複

40歳以上　男子・女子　単・複

50歳以上　男子　単・複

60歳以上　男子　単・複

65歳以上　男子　単・複

なお、個人戦一般の各種目でそれぞれ２位以内にランクされた者には、当該年度の全日本総合選手権大会への出場権が与えられており、一般の部においては非常のレベルの高い試合が繰り広げられている。年齢別の部においては、かつての名選手も出場して覇を競い合いながら、全国の友人との親睦を深める等和気あいあいとした雰囲気の中で熱戦を展開している。

本県における大会参加者数は、登録数と同様に年々減少している。過去５年間の参加者数は下記

のとおりである。

第35回大会（平成８年度）　９名
第36回大会（平成９年度）　５名
第37回大会（平成10年度）　１名
第38回大会（平成11年度）　０名
第39回大会（平成12年度）　１名

また、39回を数える大会の歴史の中で、本県選手の活躍はめざましいものがあり、第11回大会（1972年）の一般男子単で優勝した森田昇氏をはじめ、団体戦・個人戦で多数の上位入賞を果たしている。

〔研修会の開催〕

例年、全日本教職員選手権大会の開会式前日に、大会の参加者を対象とした「研修会」を実施している。「ルールの解説」や「指導法について」等、バドミントンの指導に携わる者としては非常に参考になるものとなっており、有意義な内容である。

大会前日の開催ということもあって、参加を見合わせる選手が多いようであるが、是非とも参加したい会議である。

〔表彰〕

「日本教職員バドミントン連盟の発展のために顕著な業績のある個人および団体の名誉を表彰する」ことを目的に、毎年１回、全日本教職員選手権大会の際に実施している。

「表彰は教職員バドミントンの普及振興に功労のあったものに功労賞を、技能記録等の優秀なものに技能賞を授与する」として、表彰基準に基づき選考している。

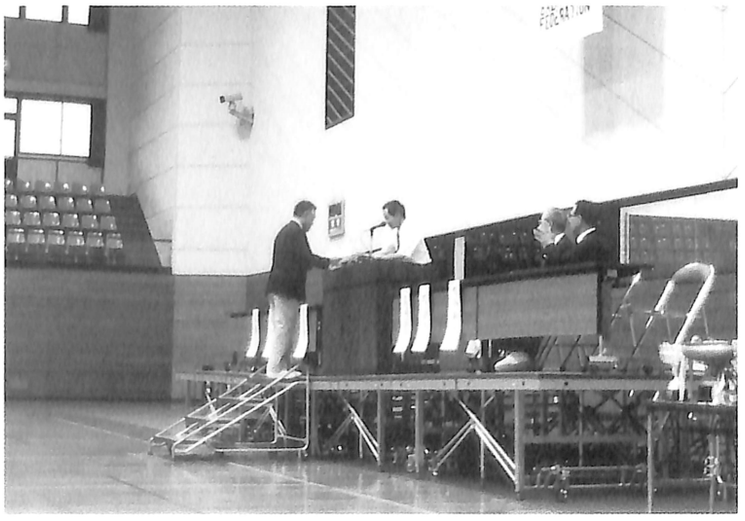
本県関係では、第31回大会（1992年・熊本市）の折に、「栃木県教職員バドミントン連盟の発展に大きく寄与した」として功労賞を受賞した近藤満氏をはじめ、功労賞・技能賞それぞれに受賞者を輩出している。

○栃木県教職員連盟の現況

全日本教職員選手権大会における数多い実績を有し、日本教職員連盟にも登録を継続している本県であるが、県連盟主催の事業は特に実施していない。今後の展望として、県教職員連盟の発展のために、次の事項を推進したい考えである。

1. 連盟登録数・大会参加者数の増加。
2. 県連盟主催事業の実施。
   （総会、研修会、大会等）
3. 県内外の他団体への協力と交流。

（文責：大島正志）



栃木県高体連バドミントン専門部の歩み

高体連委員長　舘　野　政　男

栃木県高等学校体育連盟バドミントン専門部の発足以来の歩みについては、栃木県バドミントン協会30周年記念誌に詳しく記載されているので、ここでは省略させていただき昭和58年以降の活動等について概観してみたい。先ず昭和57年以前の三大会の優勝をあげると、

○関東高等学校バドミントン大会

第７回大会～第16回大会	真岡女子高　10年連続優勝
第17回大会	真岡農業高（女子）（現真岡北陵高）
第22回大会	真岡女子高
第24回大会	真岡農業高（男子）（現真岡北陵高）
第25回・27回・28回大会	小山城南高
第25回・26回大会	今市高校（男子）

○全国高等学校総合体育大会バドミントン競技会

第16回・21回大会	真岡女子高
第30回大会	今市高校（男子）

○国民体育大会

第18回山口大会	真岡女子高
第19回新潟大会	真岡女子高

となり、たいへん輝かしい成績を残していることが、改めて確認できる。また高体連専門部の発展のためご指導ご尽力を頂いた部長・委員長を、昭和58年よりあげてみると、

	専門部長	（学　校　名）	委　員　長
昭和58年	徳　田　有　基	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
59年	中　村　公　彦	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
60年	中　村　公　彦	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
61年	大　兼　和　夫	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
62年	大　兼　和　夫	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
63年	大　兼　和　夫	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
平成１年	黒　崎　俊　男	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
２年	黒　崎　俊　男	（小山城南高校長）	遠　井　稔　男
３年	大根田　全　衛	（宇都宮南高校長）	武　井　祥　子
４年	大根田　全　衛	（宇都宮南高校長）	武　井　祥　子
５年	遠　井　稔　男	（小山城南高校長）	武　井　祥　子
６年	遠　井　稔　男	（小山城南高校長）	別　井　　晃
７年	遠　井　稔　男	（小山城南高校長）	森　田　　昇
８年	吉　田　幸　雄	（宇都宮南高校長）	森　田　　昇
９年	吉　田　幸　雄	（宇都宮南高校長）	森　田　　昇
10年	森　田　忠　夫	（小山城南高校長）	舘　野　政　男
11年	森　田　忠　夫	（小山城南高校長）	舘　野　政　男
12年	森　田　忠　夫	（小山城南高校長）	舘　野　政　男

ということである。歴代諸氏の人力に、更なる敬意を表したい。

現在は専門部長のご指導のもと北部・中部・南部の委員長・各地区専門委員17名、そして各学校顧問の先生方のご協力で運営している。

県内の大会では、県総体・全国総体予選・県新人の三大会を高体連主催の大会として実施してきた。その上部大会が関東大会であり、全国総体・選抜大会である。

関東大会では、通算参加校をみると男子では平成12年度45回大会中作新学院の37回を筆頭に宇工高33回、石橋25回、真工高22回、真北陵・宇南高15回、今市13回をはじめ18校の学校が参加している。

女子では真岡女子42回、小山城南30回、文星女子23回、作新学院15回、石橋・今市・宇女高・宇中女・宇南高14回、真北陵10回他18校が参加している。

特筆することは、平成10年度に表彰を受けた、連続40回出場の真岡女子校である。成績面では、第31回大会で小山城南が優勝し、第30回・33回・34回・37回準優勝、宇工高も第33回大会準優勝、作新学院においては第45回・46回大会連続３位に入賞している。

全国総体では、第35回・36回大会小山城南高が団体で３位、個人戦で木住野が３位に入賞し、第38回大会では作新学院の佐賀が準優勝を収めている。

全国選抜大会では、平成10年度垣内・岡野組が準優勝した。第55回富山国体関東ブロック予選では少年男子関野・斎藤（作新）田村（宇南高）が埼玉・東京を破り一位で通過し、本大会に出場した。

選手強化については、８月初旬・12月下旬に行われる中・高合同合宿、１月初旬・３月中旬に行われる高校生強化、特に３月に行われる強化は関東の強化校を集めての練習会を行っている。又強化の一貫として日本バドミントン協会が主催しているマレーシア遠征や台北遠征に積極的に参加させている。

部活動離れが進むなか、バドミントンについては会員数・加盟校が、時流に反し増加傾向を示している。各学校顧問の先生・関係諸氏に対し感謝の気持ちを率直に表したい。そして高体連が今後ますます発展するように、責任感を持ち、気をひきしめて頑張っていく所存である。



高校生男子の合宿風景



大会開会式で委員長の
挨拶を聞く高校生達

中体連の歩み

中体連委員長　篠　原　　隆

栃木県中学校体育連盟バドミントン専門部の発足以来の歩みについては、30周年記念誌に詳しく記載されているので、ここではその後の活動について述べることにする。

まず、大会関係では、昭和61年に第16回全国中学校バドミントン大会を、昭和63年と平成８年には、それぞれ第19回・第27回関東中学校バドミントン大会を、全て真岡市総合体育館を大会会場として開催した。これら３つの大会運営については、佐伯・久野・高橋の３名の先生方には特にご尽力いただいた。

県内の大会では、春の関東大会県予選会、夏の総合体育大会、秋の新人大会の３つを中体連主催の大会として実施してきた。また、昭和63年の第７回全日本ジュニアオリンピックカップバドミントン大会に新たに「中学新人の部」が設けられたのを機会に、平成２年から、ジュニアの県予選会を実施するようになった。第１回大会は、わずか４コートの栃木西中学校の体育館で実施したが、翌年から真岡中学校（６面）へと会場を移し、そして現在では、真岡市総合体育館と武道体育館（計16面）を使用して行う大会へと規模を拡大していった。

また、中学生の競技力向上のため、秋から春にかけて新たに２つの大会を開催するようになった。まず、平成５年から、ラケットショップ「グリップ」のご協力をいただき、３月に県内中学生によるオープンバドミントン大会（地区予選会を実施しない・個人戦のみ）を開催するようになった。尚この大会は、平成13年には県中学生春季バドミントン選手権大会として県協会主催の大会となった。さらに平成10年からは、12月に県協会主催の県中学生冬季バドミントン選手権大会が開催されるようになった。これは前述の春季大会とは異なり、秋の県新人大会に出場した選手（地区予選を勝ち抜いた選手）が、もう一度新人大会とは違った組み合わせで試合を行うものである。さらにこの大会では、各地区の１年生の代表選手による「１年生シングルス」を実施し、１年生の選手強化も行っている。

選手強化については、８月の関東大会直前と冬休みの12月にそれぞれ２泊３日の日程で強化合宿を実施してきた。会場は、今市のスポーツセンターを使用したこともあるが、大部分は真岡市総合体育館と松屋旅館を使用して行っている。加えて、昭和61年の全国大会栃木県開催のための選手強化として、３月及び５月のゴールデンウィークにも強化合宿を行うようになった。さらに、平成11年度からはより継続的な選手強化を目指し、日帰りの強化練習会を年に４回実施している。

また、関東地区の選手強化としては、昭和60年から冬休みに２泊３日で合宿を行ってきた。第１・２回は茨城県の筑波大学で、第３・４回は群馬県前橋市で実施した。その後、各都県の選手強化に直接結び付けるものとするために、関東大会開催年の１月に１都７県が持ち回りで強化合宿を実施することになった。そして、平成８年には栃木県の真岡市総合体育館を会場として、藤野先生が強化指導の中心となって合宿を行った。この強化合宿が一回りした平成９年からは「関東中学生オープンバドミントン大会」と形を変えて実施することとなった。これは、せっかく１都７県の精鋭が集まるのであるから、選手により多くの試合をさせたいという考えからである。

今まで、中学生はバドミントン協会に正式に加盟していなかったが、平成12年度から日本協会と栃木県協会に会員登録料を支払い正式に加盟することとなった。そして、日本協会の主催する全日本中学生バドミントン大会が平成13年３月に開かれることになった。これは中体連主催の大会とは異なり、都道府県対抗の団体戦のみ、しかも男女混合チームによる試合を行うものである。この大会は、平成15年３月に栃木県で開催される予定である。



栃木県小学生バドミントン連盟の設立

栃木県小学生バドミントン連盟
理事長兼事務局、上戸祭監督　赤　羽　右　次

栃木県小学生バドミントン連盟が設立されて、早や3.5年を経過いたしました。

平成７年度までは、宇都宮市小学生バドミントン指導者連絡協議会として各種大会を、各々スポーツ少年団が、２年交替の持ち回りとして運営しておりました。

私達の上戸祭小学校が当番校として各種大会を運営する時は、宇都宮地区のみ10チームでした。

当番校として２年間全責任を任されて、過去を振り返りながらチーム内で問題点を少しづつ解決し、試行錯誤のすえ責任範囲を分担してやりやすい体制をつくりました。

２年間の役目を終了して、次期当番校に事務引き継ぎをすすめようとしたところ、当番校になると保護者の負担が大変なため、子供にバドミントンをやめさせようとしていることを聞きまして、私は、好きなバドミントンを「子供達にやめさせることはいけない」と思い、次期当番校の方達と相談して事務的なことをお手伝いしてバドミントンを続けさせてあげたいと思い、お手伝いを致しました。

（このことが、連盟の事務局をやることになり、県外・県内の連絡網の窓口として連盟の下足番として、もれのないよう連盟のまとめ役を引き受けることになりました。）

次期当番校となる団は、部員数が少ないため、保護者の数も少ない。どこのチームにおいても兄妹・姉弟・姉妹とかで、さらに人数が少ない……ということで、持ち回りでは、とても各種大会を運営することができません。

大会要項の発送、会場の予約、本部席・審判員の配置、抽選会、参加費の徴収、プログラムの作成等、更に、関東・全国大会の出場者の手続を行うことなどで、持ち回りでは運営ができなくなりました。

これらを打開するため、宇都宮地区全体で何回となく全体会議を開き、持ち回りを廃止して全体で運営しようということになりました。

私は、かねがね小学生連盟を設立することを前提に規約を作成しておりました。

全体会議の開催時には、運営方法に検討をかさねてまいりました。連盟として発足は、平成10年です。

当時、関東地区では、埼玉県・千葉県だけが連盟を設立していました。

当時の栃木県バドミントン協会の理事長別井晃先生に相談して、規約（案）を栃木県バドミントン協会の役員会に配布していただき認定を受けました。それが４年前です。

協会の認定を受ける前に、第６回全国小学生バドミントン選手権大会（関東地区予選会）を開催いたしました。

別井晃先生には、全面的に大会運営をお願いし、大会は無事開催されました。

ここ数年の間に次から次と各都道府県で小学生連盟が設立され、ますます小学生の全国大会が増えてきました。

夏休みに、高校野球の甲子園大会と同様な大会「若葉カップ」があり、「第１回全国小学生都道府県対抗戦（団体）」、更には、昨年夏「第１回全国ＡＢＣ大会（学年別）」が栃木県が開催されたことは、まだ記憶に新しいのではないでしょうか。

当番校（持ち回り）から連盟になるまでの過程には、並み並みならぬ協力と団結力がなければ設立には至らなかったと思います。

連盟の発足前のチーム数は、宇都宮地区10チームでありましたが連盟が設立されてからはチーム数も21チームとなり、大会も種目により２日間会場をとらないと大会を終了できない状況です。

連盟の設立に当たっては、栃木県内の市町村すべての小学校へバドミントンの「誘い」と「県内大会」や「関東・全国大会」の結果報告を発送いたしました。このことは３年間送り続けています。

また、市町村から問い合わせ頂いたところに出向き、その年の栃木県小学生の活躍された資料をも

とに説明してまいりました。

チーム作りの構成や指導者の派遣、または、運営資金等をどのように活用して、個人負担は月平均どのくらい掛かるか。また、練習は週何日位進めたらよろしいか。などなど……学校の先生と相談して勧誘を進めてまいりまして、各市町村から加入していただきました。

現在では、足利・小山・石橋・上三川・益子・上河内・鹿沼・今市・河内が連盟発足と同時に加入されております。

県全体で、男女併せて平成13年10月現在294名の登録数です。

登録人数が多くなると試合数も増え、種目も学年別の大会を開催するようになって学年別の指導内容が変わり各学年の体力にあった技術、ルール、マナーを、低学年から教えることにより知識及び技術が向上するものと確信しています。

反面、学年別大会が多くなることは、嬉しいのですが県内の会場が10面のコートであるため、コート数が不足して同一会場では大会が終了されない状況です。１日で試合を消化しないと本部役員、指導者、保護者、会場使用など負担がふえます。

連盟の組織をささえているのは、何といっても各チームより選出された方々のチームワークで、本部席に詰めっ切りで競技運営をしていることが、子供と保護者のふれあいの場として浸透しているのではないでしょうか。

加盟団体が増え充実した団体にするため、指導者の連携と情報交換をモットーに仲間意識の向上を図り、県全体でまとまりのある連盟を、指導者全員で魅力ある子供を育成してゆくように、試合を通じて技術アップを計りたいとも思います。

お互いに指導者育成を計りながら魅力ある団体にして行きましょう。



県小学生大会　女子ダブルス決勝　熱戦に男子もコートの周囲へ
（県運動公園・トレーニングセンター）

大会を顧みる

昭和61年度第16回
全国中学校バドミントン大会の思い出



前日本中体連部長
佐　伯　一　之

「昭和61年度第16回全国中学校バドミントン大会の開催は関東ブロックとする。」昭和57年度全国中学校体育連盟全国評議員会での決定でした。

その後、県中体連においては、２競技の本県開催に向けて話し合いが進み、競技運営の実績からバスケットボールを、競技運営と競技実績からバドミントンの２競技が決定されました。

大阪での第14回大会・北海道登別市での第15回大会の運営を専門部役員と参加チーム監督が分担視察し、大会に備えました。関東大会のようにしっかりしたマニュアルの無かった全中の運営でしたが、決定とともに始めたマニュアル作成も順調に進み、全国中体連５者会議もスムーズにクリヤーし、本番を迎えることが出来ました。この間、開催に全面的にご協力下さった菊池真岡市長、ノウハウをご教授下さった遠井会長（当時理事長)、そして昼夜を問わず熱心に準備･運営を頂いた専門部の皆様方には心より感謝いたします。同時に、高体連及び社会人連盟・レディス連盟の皆様方にも大会期間中暑い中精一杯ご協力頂き感謝申し上げます。

さて、大会結果等については記録集におまかせすることにし大会を振り返ってみると、真岡市開催決定を受けて、ぜひ真岡市内２校（真岡中・真岡東中）の参加を期待していたところ、同年開催の関東大会にて県代表真岡中が全中代表権を獲得したため、県予選３位の真岡東中が地元代表として参加できるようになったことを関係者皆で喜んだことを思い出します。

大会は猛暑の中で行なわれましたが、さしたるトラブルもなく、また、競技においても６種別（男女団体・単・複）中３種別に準優勝することができ、当初の目的である運営と成績の両部門で満足な結果を残すことができました。地元栃木県代表の大活躍、その後の日本女子バドミントン界をリードした、宮村(熊本)、水井(大阪)両選手のハイレベルな熱戦等もあり、大会は大きな盛り上がりのなか終了することができました。

大会終了後の松田屋での反省会には、ヨーロッパ視察に出かけられていた岩崎純三先生（当時会長）からも祝福とねぎらいのお電話を頂き、楽しい語らいの場が持てたことを思い出します。全体反省会終了後、会場を宿舎に戻し、二次会を開いた時のビールかけの寒さとうれしさは今になっても忘れることはありません。

その後県中体連理事会・総会の席上、バドミントン専門部に対する運営・成績両面における高い評価があったことを併せて記しておきたいと思います。そして、皆が一つになって懸命に努力することが、何よりも成功の近道であることをしっかりと学んだ大会でもあったことを書き添えて筆を措かせていただきます。

全国小学生ＡＢＣバドミントン大会を顧みて

栃木県小学生バドミントン連盟
事務局　赤　羽　右　次

平成12年度全国小学生ＡＢＣバドミントン大会は、栃木県で第１回大会として８月26日(土)・27日(日)開催されました。

日本バドミントン協会遠井稔男専務理事兼栃木県バドミントン協会会長が、21世紀の日本を背負うジュニア選手を育成しようと、今年からスタートした全国小学生ＡＢＣバドミントン大会であります。

予選を勝ち抜いた各都道府県の代表（男子Ａ40名・Ｂ39名・Ｃ27名）・(女子Ａ42名・Ｂ37名・Ｃ34名）計219名が宇都宮市に集い、元気いっぱい熱戦を繰り広げました。

試合形式はシングルで、５・６年をＡ、３・４年をＢ、１・２年をＣと３つに分け、まずは各クラスごとに３～４人ずつ７～10の予選リーグを実施。続いてその上位と下位によるトーナメント戦が行われ、栄えあるチャンピオンが計６人誕生しました。

高学年はもちろん１・２年の戦いでも大人顔負けのラケットさばきが披露され、会場はおおいに沸いたものでした。

大会は、大成功に終了いたしましたが、この大会を開催するに当たり栃木県バドミントン協会が、全面的に支援してくださいまして有り難うございました。

この大会を通して、栃木県のバドミントン協会や各種団体連盟が一層まとまりがでたような感じがいたしました。

この大会が企画された時点では、大会要項及び試合形式、並びに１・２年生の競技規則が決定されない、その上北海道地区は夏休みの期間が短いため、大会期間をくり上げざるをえず、日程の変更が余儀なくされた状況でした。

また、小学生連盟が主管して全体の運営に当たるために、大会に対するスタッフ部門を編成するのにどのような内容で、第１回の議題を各小学生連盟のクラブ監督に大会の内容と運営を浸透し納得していただけるか、判っていただけるまで説明しましたが、この説明に大変苦労いたしました。打ち合わせ事項の内容と役割分担と役員の依頼は荷が重く、スタッフ編成に事務局は、県内の大会も行われますので県小学生連盟事務局と別に設けなければならないし、更に、関東ブロック競技別交流大会の関東大会をＡＢＣ大会の１ヶ月前に開催しなければならないのですが、専門部も別に設けなければならないので、私としては、スタッフ部門には、慎重に各々大会の人事を配置する必要がありましたので、１ヶ月以内に関東大会・全国大会と相次ぐ大会を設けるのは大変な作業でした。

大会を成功させるため、身近な人の方が協力していただけるだろうと判断した私は、スタッフをすべて上戸祭小バドミントン部の保護者で編成いたしました。

式典部は、大会当日の受付（選手）・来賓接待（祝辞）と各都道府県の代表者及び日本バドミントン協会役員の接待など。

競技部は、故　上隆康氏に、過去に実業団で実績のある方をとお願いして細かい点まで進行していただきました。

上氏には抽選・審判団の配置・審判団の時間編成などと調整しながら、たえず努力をおしまずに頑張っていただきましたが、大会を間近にしていながら大会を見ずに、この世をさりました。大変お世話になり、有り難うございました。謹んでお悔やみ申し上げます

この様な出来事があったために、更に、実業団が団結力を高めてこの全国大会のために県バドミントン協会との一層の協力体制に力を注いでいただいたのではないでしょうか、大変お世話になりました。

また、レディス連盟の方々、ご協力有り難う御座いました。

更に、高体連のご協力、有り難う御座いました。

ジュニア育成に、今後は県全体として素質と体力のある選手の発掘と強化に特に力を入れてもらいたいと考えます。

将来日本バドミントン界を担う選手に大きな期待を寄せて頂きたいと思います。

終わりに、この大会の開催にあたって、ご指導・ご協力をいただきました関係の皆さんに心からの感謝を申し上げます。有り難う御座いました。

ちょっと にゅーすな おはなし

かねてから、指導法や審判技術・競技規則等、若手ながら(失礼)よく研究してこられ、最近では、宇都宮南高校でのバドミントン部員の指導で、頭角をあらわしてきた遠井　努先生は、今、開かれているヨネックスオープン・ジャパンにおいて通訳として活躍中であることをご存じの方が何人おられることでしょうか？

日ごろの彼は、協会の仕事も、高体連の仕事も、協力的に、且つ積極的にこなしている。

昨年12月に開かれた関東シニア大会では、競技委員長を補佐しながら、大会全体を掌握していこうとする姿に成長を感じたのは編集子一人ではあるまい。そんな彼に、過日宇都宮南高校を尋ね、インタビューをしたところ、照れながら答えてくれた。ヨネックスオープン・ジャパンでの通訳の一件は、1996年日パが国際審判員を募集したことに端を発する。

彼は、今後のことを考えたすえ、応募した。そして、翌年のヨネックスオープンの際行われたテストを受けたけれど、失敗したのだそうだ。(他人事のように淡々と話す) 1998年6月、マレーシアのクアラルンプールでおこなわれたテストに、日本から唯一人15ケ国、20人に混じって受験し、見事に合格した。ＡＢＣ(アジアバドミントン連盟)認定の国際審判員の誕生である。(拍手) ちなみにこのランクの審判員は、国内に15名おられるそうである。

自信をもった彼は、昨年8月、マニラで行われたテストにチャレンジし、12ケ国、19人の中から合格した5人のうちの1人となったのである。ＡＢＣ公認のレフェリーである。

しかし、彼はこの結果に満足せずに、更に困難なＩＢＦ(International Badminton Federation)の認定から公認の審判員のテストにチャレンジしたいと静かに話してくれた。国内にはＩＢＦ公認審判員が4名おられるそうで、5人目を狙って居るとのこと。

最後に「判定に不服で、選手に詰め寄られたことが有りますが、其のようなときに適切に対応できるよう、もう少し語学力を高めたい」とあくまでもひたむきな彼の態度に、甘いマスクとは裏腹な頼もしさを感じながらインタビューを終わった。　　文責　Ｋ

全国中学校大会に参加して

新世紀に向けて

宇都宮市立鬼怒中学校　黄　倉　　英

全国中学生体育大会in熊本（８月22日～23日）

僕は、関東予選３位でこの全中に臨みました。大会前、組み合わせを見た時に僕の中で目標がはっきりしました。それは全国大会で６年生の時に一度負けている地元熊本の河口君の所まで行く事です。勝ち負けにこだわるより悔いのない試合をしようと思い大会まで努力をしました。

地元中学生によるすばらしい歓迎セレモニーが終わり、いよいよ試合が始まりました。全国大会という事で、一試合目は緊張して思う様に動けませんでしたが、どうにか勝つ事ができました。そして僕は目標であった河口君の所まで行く事ができました。

試合は午後４時30分頃から始まりました。１セットの途中まで、声援があちこちで聞こえました。河口君が１本取ると声援がおこり、ミスするとため息がもれ、お互いに白熱した試合を展開していました。そして気がついたら体育館の中で試合をしているのは、僕達２人だけでした。１セット（12－15で負け）２セット（15－６で勝ち）向かえた３セット、９－７からスマッシュの打ち合いでお互い１歩もゆずりませんでした。だけど僕はここからが勝負だと思い、一気に勝負をかけました。最後（15－13）で勝つ事が出来ました。これでベスト８、もう一つ勝つ気で翌日試合に望みましたがセットカウント１－２で負けてしましました。この大会で僕は、技術的には全国でも通用すると感じましたが、接ったり、勝ったりしていると気持ちが安心してしまい、ついミスをしたりあせったりして負けてしまう事も経験しました。これからの練習において、自分の欠点を少なくして精神面においてもきたえようと思いました。

全日本ジュニア大会in大府（９月22日～24日）

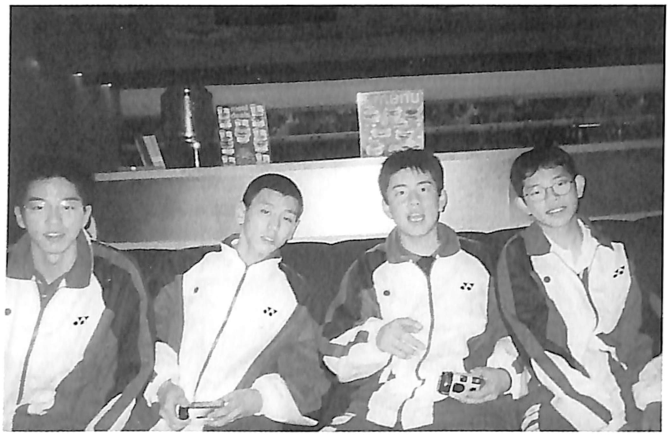
去年、この大会で僕はベスト16だったので、今年はその上のベスト８を目標にしていました。試合が始まり１回戦から５回戦まで１日で消化し、僕の試合が終わったのは午後の８時頃でした。今日は体も思う様に動かず、待ち時間が長いと緊張の糸が切れてしまう感じがしました。そして長い１日が終わり目標であったベスト８までは、どうにか勝つ事ができホッとしました。

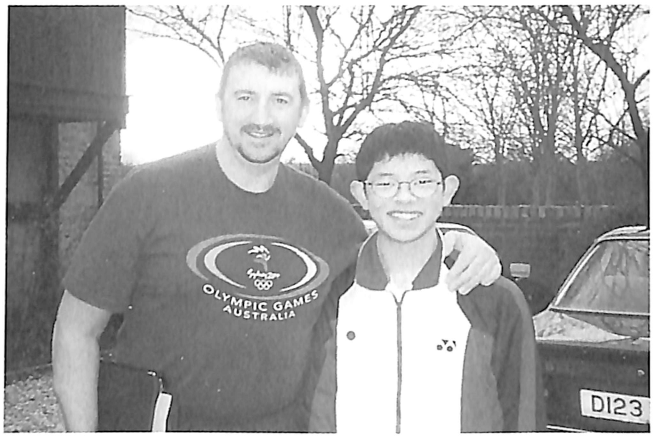
準決勝では石川県の山口君との戦いでした。初めからシャトルのコントロールができず、コートサイドに出したり、ネットにかけたりと良い所が１つもなく自滅してしまい、相手に勝ちを譲ってしまいました。自分でも情けなく悔いの残る試合をしてしまいました。今後の課題は精神的に弱い面を強化していくことだと思います。練習のあらゆる場面や生活面において、自分で考え、行動することによって、この課題を解決していこうと思っています。また、どんなに自分の体調やリズムが悪くても何とか勝てるように自分で気分を盛り上げ常に自分の力が発揮できるようにトレーニングを積んでいこうと思います。

日英バドミントン交流大会（12月27日～１月４日）

全日本ジュニアの大会で幸いにも４位に入賞することができ、海外遠征という機会を得る事ができました。日本からは僕を含めた男子６人と女子６人、引率の先生３人の計15名で出発しました。僕は海外遠征という大イベントは初めての事だったので、不安と期待で胸がいっぱいでした。僕はイギリスで１試合でも多く勝ちたいという欲望にかられ、毎日の練習にも自然と気合いが入り、充実した日々を過ごすことができました。

12月27日正午、飛行機に乗りイギリスに向けて出発しました。12時間という長旅の末、同じ27日の午後５時頃、バドミントンセンターに着き、その日は疲れて寝てしまいました。２日目から日英合同





練習が始まり、午前中は基礎練習で午後は試合と、毎日練習に明け暮れました。

地元イングランドチームとの団体戦で4試合を行いチームとしては全勝で、僕はダブルス、シングルスをまぜて6勝2敗でした。2敗したのはダブルスでした。負けた原因は、相手が楽に返球できる所にせめてしまい逆に打ち込まれる事が多かったことです。ダブルスの時は、相手に下で取らせ、上向きの羽を打たせる工夫をしてラリーを続けられる様にしたいです。

最終日は個人戦を行い、シングルスでは川口君、早川君に続き3位でした。ダブルスでは地元のダニエルと組んで3位でした。

この遠征を通して、ダブルスではサーブレシーブを前でとびついて打てる様になりました。ゲーム運びがスムーズにできるようになり、僕にとって実りの多い遠征になりました。また機会があったらぜひ参加したいと思います。今年は中学生最後の年なので全力で戦えるように常日頃から全国を頭に入れて頑張って行きたいと思います。



昭和63年度　全中団体準優勝、女子複3位 斉藤・大久保

鬼怒中　大久保　弘　美

私は数年前現役を引退し、17年間に渡るバドミントン競技人生に終止符を打ちました。その間多くの人々に出会い、それぞれが思い出深いのですが、私の鬼怒中学時代を語る時、当時の顧問でいらした神長先生との出会いを抜きにしては、全国大会という舞台を語ることはできません。当時の私は、"勝負"という意識をそれ程強く持っていた訳ではありませんでした。それよりも負けては怒られ、勝っても怒られ、どうしたら先生にプレーを褒めてもらえるのだろう、とばかり考えていました。平日はもとより、週末も一日中練習し、精一杯頑張りましたが、先生には一度も褒められたことはありませんでした。しかし、それもいつしか県大会、関東大会へと進み、いつの間にか全国大会への決勝へと勝ち上がることができました。団体決勝戦、相手は宮城県の強豪でした。第一ダブルスに出場しましたが、緊張から思い通りにいかず、一球一球に集中することだけを心がけていました。今では内容をよく思い出せませんが、何とか勝ちほっとしたのを覚えています。今度は何を怒られるのだろう、



第18回　全国中学校バドミントン大会（岩手県営体育館）
後列右から2人目

と先生のもとへ駆け寄りましたが、その時初めて先生は無言で握手をして下さいました。私にとっては、最高の“褒め言葉”でした。残念ながら優勝はできませんでしたが、その握手は今でも鮮明に覚えています。その後、きつい練習があってもこの時を思い出し、今の自分があるのだと思います。数年後社会人となり、引退まで宮城県でプレーをしていたのも何か不思議なものを感じます。最後に多くの先生方にはバドミントンを通じて大変お世話になりとても感謝しています。



平成９年度　全中団体優勝、男子複優勝
関野・会沢

旭中　関　野　有　起

村岡先生と野間先生のご指導と、保護者の手厚いバックアップ、そしてチームメイトに恵まれて、全中大会で団体とダブルスの二冠を達成することができました。

当時、旭中バドミントン部は３年生が２人だけで団体で勝つには厳しい状況でした。しかし、チームの雰囲気はとても良く普段も一緒に遊んでいる程の仲の良さでした。唯一の３年生である会沢君と僕がチームを引張って練習してきました。毎日、夜９時過ぎまでシャトルを追って、時には自主的に朝練もやっていました。卒業生の先輩達が練習相手になってくれたり、県外の強豪校と練習試合をしたりと常に上のレベルの相手とやりしのぎを削ってきました。それで力がつき全国で戦える自信になったのだと思います。

全中では、会沢君とのダブルスは最初から優勝を狙っていましたが、団体戦は、やはり３年が２人ということでベスト８くらいが目標だと会沢君と話していました。しかし、ベスト８まで勝ち残ると、勢いに乗り一気に決勝まで勝ち進みました。決勝の相手は、北海道の広陵中で、前年３位のメンバーがそのまま残り、一番の優勝候補といわれていました。負けてもともとだから楽しくやろうと皆で話し試合に臨みました。オーダーは、第１ダブルスに関野／斉藤悠組、シングルスに会沢真之介と真正面からぶつかりました。試合は同時に始まり、僕達は最初、相手のスピードに翻弄されてリードされましたが、相手の球にも慣れてきて逆転で第１ゲームを取りました。コートチェンジの時に、今まで気づかなかった全中の決勝の舞台に立っているという喜びが沸いてきました。第２ゲームになると楽しんで試合を進められました。先にシングルスの会沢君が、全国３位の強敵早坂君に２－０で勝ち優勝にリーチをかけました。あとは自分達が勝てば優勝なので、応援に後押しされて最後まで勢いを持続させて優勝を決めました。優勝の瞬間皆で飛び上がって喜びました。会場に来ていたお世話になった方々におめでとうといわれてとても感動したことを覚えています。ダブルスは、１回戦から全てストレート勝ちで決勝まで進み、相手は団体戦同様、北海道の広陵中ペアでした。団体戦で勝っているから気持ち的にも余裕があり、決勝もストレートで勝ち２冠を獲得しました。大会が終わり宇都宮に帰ると学校の先生方や保護者の皆様、バドミントン関係者の歓迎にびっくりしました。本当に皆さんのおかげで優勝できたのだと心から思い、今でも感謝しています。

あの日から３年が経ち、改めてその価値の重さを感じています。“全中優勝”という肩書きができて98年、99年とナショナルジュニアに入り、台湾遠征や強化合宿などに参加し、これからにつながる貴重な経験を積むことができました。

作新学院に入学してからは、村上先生、遠藤先生の指導のもと、中学までにはなかったウェイトトレーニングや有酸素運動などと、さらに上のレベルにいく為の練習を積んできました。今年の全日本ジュニアでベスト８に入り、シングルスでの自信もついてきました。

これからは、大学に進学して早く大学のレベルに到達して、大学でまた日本一を目指したいです。そして将来は、日本を代表する選手として活躍したい。

記　　録

本県関係　表彰者

(財)日本バドミントン協会 表彰

1．特別功労賞

昭和55年	松本　弘充
平成元年	遠井　稔男

2. 功労者

昭和37年	松本　弘充
〃 40年	小柴　　貢
〃 51年	富川　　昇
〃 53年	遠井　稔男
〃 60年	岩崎　純三

3. 顕讃賞

昭和54年	小林　　茂
〃	別井　保男
〃 62年	近藤　　満
平成元年	保田　誠一
〃 2年	村岡　欽也
〃 5年	荒井美恵子
〃 9年	武井　祥子
〃 9年	石川　澄子
〃 10年	塚原　紀子
〃 11年	保坂　俊一
〃	別井　　晃
〃 12年	三富　美晴
〃	大島喜代子
〃 13年	三上　隆康
〃	赤羽　右次

(財)日本体育協会 表彰

国民体育大会特別功労賞

平成元年	遠井　稔男

藍綬褒章受章

平成12年	遠井　稔男

ＩＢＦ功労賞

国際バドミントン連盟

平成13年	遠井　稔男

栃木県総合バドミントン選手権大会

年度	大会回数	日時	場所	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複	混合
27	1	11月23日	総体	富沢（電々） 松本（宇商）	富沢（東電） 加藤川俣（作新） 片山	大沢（松原） 小森（松原）	大沢（宇ク） 森浜崎 小山田（　）	
28	2	〃	〃	瀬田（宇商） 富沢（東電）	兼崎（宇商） 瀬田 富沢（宇ク） 松本	大沢（松原） 大野（松原）	大沢（松原） 船戸 大野（松原） 床井	
29	3	〃	〃	富沢（東電） 片山（宇ク）	富沢（東電） 中山（宇ク） 片山（宇ク） 松本	大沢（宇ク） 中村（宇ク）	大沢（宇ク） 中村 鈴木（宇ク） 池山	
30	4	11月20日	〃	西宮（宇大） 若松（作新）	西宮（宇大） 沢畑 加藤（宇商） 中山	飯塚（宇女商） 川口（松原）	大沢（松原） 川口 飯塚（宇女商） 阿部	
31	5	12月23日	〃	阿部（石高） 小川（宇工）	稲葉（石高） 阿部 菊地（宇大） 植竹	桜井（松原） 石川（石高）	橋本（宇女高） 麦島 滝沢（作新） 高橋	
32	6	11月16日 17日	〃	保田（宇市役所） 河原井（法大）	猪瀬（石高OB） 中沢 河原井（法大） 保坂	池間（宇女商） 大橋（作新）	高橋（宇女商） 池間 森（宇女高） 植木	
33	7	11月23日	〃	河原井（法友） 神林（法友）	河原井（法友） 神林 保田（オール工業） 森田	池間（宇女商） 矢古宇（作新）	矢古宇（作新） 高橋 池間（宇女商） 佐藤	
34	8	12月6日	〃	田中（日体大） 遠井（日体OB）	田中（日体ク） 遠井 保田 森田利（宮スマッシュ）	池間（日体大） 上野（真女）	国崎（真女） 上野 池間（宇女商OB） 佐藤	
35	9	11月23日 27日	〃	田中（日体大） 遠山（宇工定OB）	遠井（日体OB） 中田 遠山（宇工定） 森田	国崎（真女） 小勝（真女）	田谷（真女） 上野 国崎（真女） 大島	
36	10	11月23日	〃	遠山（宇工定OB） 遠井（日体OB）	遠井（日体OB） 中田 鈴木（宇商OB） 岡本	小勝（真女） 河崎（真女）	小勝（真女） 河崎 石川（真女） 小川	
37	11	11月18日	〃	遠山（宇工OB） 森田（利）（宇工OB）	森田利（宇工OB） 遠山 保田（宇工OB） 森田	小川（真女） 黒崎（真女）	小川（真女） 塩山 小出（真女） 松本昭	
38	12	〃	〃	遠山（富士重工） 森田（市役所）	森田（市役所） 遠山（富士重工） 遠井（真女教） 田中（大谷中教）	前沢（真女） 松本（真女）	前沢（真女） 松本 鯨 武田	

年度	大会回数	日時	場所	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複	混合
39	13	9月27日 10月4日	県体	遠山（富士重工） 森田利（市役所）	森田（市役所） 遠山（富士重工） 別井斎藤（宇工）	植木（真女） 大島コ（真女）	植木（真女） 大島コ 上野石崎（真女）	
40	14	11月21日 23日	〃	斉藤（日体大） 三富（宇工）	遠山（フラッシュ） 森田 別井斉藤（日体大）	石崎（真女） 上野明（真女）	上野（真女） 石崎 吉田大関（〃）	遠井上野（真女） 河原井植木（関東バス）
41	15	11月20日 23日	〃	斉藤（日体大） 別井（日体大）	森田（市役所） 遠山（富士重工） 別井斉藤（日体大）	太田（真女） 沖杉（真女）	松本前沢（真女OB） 太田沖杉（真女）	遠井松本（真女） 三富高野（日大）（宇女OG）
42	16	11月23日 26日	〃	別井（日体大） 斉藤三富（日大） 斉藤（日体大）	別井斉藤（日体大） 三富森田（日大）（日体大）	田仲（真女） 松本（真女）	印波櫛毛（真女） 田仲枝（〃）	
43	17	11月23日 24日	県体	森田（日体大） 三富（日大）	別井斉藤（日体大） 谷畑柳沢（真農）	清水（真女） 石崎（〃）	清水藤田（真女） 豊田橋本（〃）	
44	18	11月16日 23日	〃	森田（日体大） 別井（今高教）	森田（日体大） 森田（市役所） 三村横山（真工）	石崎（真女） 阿久津（〃）	阿久津池田（真女） 望月藤井（真女）	
45	19	11月22日 23日	〃	森田（日体大） 高橋（真農）	森田（日体大） 森田（市役所） 別井（今高教） 斉藤（今中教）	藤井（真女） 小林（真女） 小林（〃）	藤井小林（真女） 大貫池田（〃）	別井大島（今高） 佐伯釜井（宇大OB）
46	20	11月21日 22日	〃	森田（盲学校） 別井（今高教）	別井（今高教） 斉藤（今中教） 三上黄倉（富士重工UDC）	藤井（真女） 小林（山川工）	藤田大貫（旭光学） 小林（山川工） 望月（日海）	遠井藤井（真女） 三上（富士重工） 日向野（真女）
47	21	11月23日 26日	〃	森田（盲学校） 阿部（栃高OB）	別井森田（教員） 久野（日海） 三富（下都賀病院）	沼能（真女） 高瀬（今市）	橋本藤田（真女OG） 沼能仁平（真女）	別井高瀬（今市） 三村（神鋼） 大貫（旭光学）
48	22	11月23日	〃	森田（教員） 黄倉（UDC）	別井森田（教員） 黄倉斉藤（UDC）	藤井（旭光学） 日向野（真女）	青木増山（旭光学） 大貫竹田（旭光学）	三富沼能 別井石岡
49	23	11月23日 24日	〃	阿部（千葉大） 森田（教員）	館野高橋（日体大） 別井森田（教員）	藤井（旭光学） 沼能（旭光学）	青木増山（旭光学） 藤井沼能（旭光学）	三上沼能 粕谷青木
50	24	11月21日 23日	〃	阿部（千葉大） 大島（ヤクルト）	別井森田（教員） 三上（富士重工） 三村（神戸製鋼）	藤井（旭光学） 日向野（日体大）	青木増山（旭光学） 藤井沼能（旭光学）	高野藤井 吉岡白滝

年度	大会回数	日時	会場	男子		女子		混合複
				個人戦		個人戦		
				単	複	単	複	
51	25	11月21日 23日	県体	黄倉(シンガー日鋼) 三上(富士重工)	別井(教員) 森田 三富(栃木ク) 阿部	沼能(旭光学) 枝(真女)	藤井(旭光学) 沼能 青木(旭光学) 増山	高野・横山 藤井・仁平
52	26	10月9日 10日	小城体 県体	高橋(大内中教) 黄倉(シンガー日鋼)	館野(教員ク) 高橋 村上(日体大) 鯨	沼能(旭光学) 日向野(旭光学)	沼能(旭光学) 日向野 藤井(旭光学) 増山	粕谷・高野 沼能・藤井
53	27	10月7日 10日	県体	工藤(今市スポーツ) 粕谷(県庁)	三村(神戸製鋼) 工藤(今市スポ) 粕谷(県庁) 高野(開拓連)	上野(真女) 日向野(旭光学)	沼能(旭光学) 日山 日向野(旭光学) 増山	
54	28	11月23日 25日	〃	工藤(教員ク) 高橋(教員ク)	工藤(教員ク) 高橋 館野(教員ク) 村上	日山(旭光学) 大嶌(小城教)	日向野(旭光学) 日山 上野(〃) 海賀	工藤(県体) 大嶌(小城教) 粕谷(県庁) 日山(旭光学)
55	29	11月22日 23日	〃	大島(今高) 工藤(教員)	大島(今高) 大堀 戸村(宇南) 加藤	大嶌(今スポ) 平間(城南)	上野(旭光学) 海賀 大嶌(今市スポ) 金田	工藤・村上 大嶌・金田
56	30	11月23日 25日	〃	工藤(教員) 関根(日体大)	関根(日体大) 久郷(法大) 館野(教員) 高橋	大嶌(今スポ) 平間(城南)	上野(旭光学) 海賀 平間(城南) 猪瀬	工藤・大嶌 遠井・平間
57	31	11月23日	県綜合運動公園	工藤(教員) 大堀(日体大)	工藤(教員) 大石 大島(日体大) 大堀	小貫(城南) 三沢(城南)	三沢(城南) 岡崎 根本(城南) 須藤	
58	32	11月23日 24日	県体育館 トレセン	大堀(日体大) 大島(日体大)	大島(日体大) 大堀(教員ク) 工藤 人見(人見ク)	小貫(城南) 須藤(城南)	根本(城南) 須藤 木住野(城南) 小貫	
59	33	11月23日 25日	トレセン	大八木(日産) 工藤(今高教)	池田(県庁) 原 大八木(日産) 青柳	平間(日体大) 小貫(日産)	平間(日体大) 高橋 小貫(日産) 須藤	戸村(中大) 平間(日体大) 村上(教員) 小島(フコク)
60	34	11月23日 26日	県体育館 真岡市体	大堀(豊岡中教) 人見(人見ク)	大堀(豊中教) 金子(今市高) 入江(日産) 入江	小貫(日産) 渡辺(城南)	安藤(真女OG) 三富 武井(日産) 光田	
61	35	11月22日 23日	県体育館	大堀均(今市高) 大堀円(豊岡中教)	大堀(今高) 大堀(豊中教) 工藤(今高教) 大島	平間(教員) 三富(真女OG)	安藤(真女OG) 三富 小島(フコク) 平間(教員)	大島(教員) 平間 白石(栃ク) 三富
62	36	11月20日 23日	県体育館	大堀円(豊岡中教) 大八木(日産)	大堀(豊中教) 工藤(今高教) 戸村(マスキン) 加藤(自営)	平間(足南高教) 仲山(小山城南)	平間(教員) 小島(フコク) 川村(城南) 仲山	入江(日産) 須藤 白石(栃ク) 三富

年度	大会回数	日時	会場	男子		女子		混合複
				個人戦		個人戦		
				単	複	単	複	
63	37	11月23日	宇都宮市体育館	大森（教員ク） 大堀（教員ク）	池田（県庁） 原 松本 安達（松下）	平間（教員ク） 西野（日産）	安藤 三富（真女OG） 高橋 平間（教員ク）	入江（日産） 斎藤（日産） 大八木（日産） 安藤（益子）
平成元年	38	11月23日 26日	県体育館	工藤（栃の葉） 大島（栃の葉）	笠井 入江（日産） 池田（県庁） 高橋	平間（栃の葉） 大塚（専修大）	鈴木 大塚（専大） 平間（栃の葉） 小野里（日産）	
2	39	11月23日 25日	県体育館	大島（栃の葉） 大八木（日産）	大島 大森（栃の葉） 工藤 大堀（栃の葉）	平間（栃の葉） 大久保（小山城南）	大久保 塩田（城南） 平間（栃の葉） 庭野（真岡市）	
3	40	11月24日 12月1日	県体育館	大森（栃の葉） 入江（日産）	大島 大堀（栃の葉） 山口 松本（松下）	小野寺（小山城南） 塩田（小山城南）	大久保 塩田（城南） 小野寺 鈴木（城南）	
4	41	11月22日 23日	県体育館	大島（栃の葉） 大森（栃の葉）	大島 大森（栃の葉） 小口 真壁（宇工）	木村（小山城南） 町田（小山城南）	木村（城南） 半田（日産） 小貫 大島（栃の葉）	
5	42	11月21日 23日	トレセン	大森（栃の葉） 大島（栃の葉）	大島 大森（栃の葉） 笠井 大八木（日産）	関田（スマイル） 関（宇南高）	関田（スマイル） 高岩（専大） 小野里 青柳（日産）	
6	43	11月22日 23日	県体育館	大森（栃の葉） 舘野（宇南高）	入江（日産） 鈴木 白石（栃木ク） 藤田（昭和ア）	関田（城南OG） 入江（城南OG）	関田（城南OG） 入江 影山 青柳（日産）	
7	44	11月25日 26日	トレセン	大森（栃の葉） 上野（宇南高）	入江（日産） 上野 河合 為永（トライ東）	長瀬（宇南高） 池田（宇南高）	長瀬 長瀬（宇南） 羽石 岩崎（真女）	
8	45	1月23日 24日	トレセン	大森（栃の葉） 山口（松下）	白石（栃木ク） 藤田（昭和ア） 入江 上野（日産）	谷（真岡女） 青柳（日産）	塚原 簗（城南OG） 三富（栃木ク） 鈴木（栃の葉レ）	
9	46	11月23日 24日	県体育館	黄倉（作新） 鈴木（宇南高）	郷間 武田（重工） 入江 笠井（日産）	羽石（真岡女） 新井（真岡女）	鈴木 ウーペイ（栃木ク） 富田 中広（城南）	
10	47	11月22日 23日	県体育館	黄倉（作新） 郷間（富士重工）	垣内 岡野（作新） 郷間（重工） 武田（バスター）	小林（真岡女） 山口（真岡女）	岩崎 谷（真女OG） 入江 五十嵐（日産）	
11	48	11月14日 21日	県体育館	黄倉（作新） 関野（作新）	関野 斎藤（作新） 垣内 岡野（作新）	広瀬（真岡女） 吉田（宇南高）	吉田 西口（宇南） 広瀬 渡辺（真女）	
12	49	11月11日 12日	雀宮体トレセン	関野（作新） 斎藤（作新）	江連 関野（作新） 山田 郷間（バスター）	手塚（真岡女） 永井（文星女）	大塚 中広（栃木ク） 古橋 岩崎（バスター）	

国民体育大会栃木県出場選手一覧

年度	大会名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	会大本成績
27	第7回宮城県 （東北大学体育館）	監大沢渉郎 富沢五守篤 加藤山充 片本弘	森富子 倉好子 小博子 高田節子			
28	第8回香川県 （善通寺体育館）	監松本弘充 富沢五郎篤実行 片山畑芳敏 沢西葛	森富子 倉好子 小博子 中本スミ子	兼崎敏男 瀬田三郎 中山充 加藤彰	大沢真佐代 船戸ヨシイ 大野昌代 菊地弘子	
29	第9回北海道 （札幌市）	監大沢渉郎 富沢五篤 片山山三 中昌				
30	第10回神奈川県 （神奈川県体育館鶴見女体育館）	監松本弘充 片山篤 中昌三 兼崎俊男				
31	第11回兵庫県 （神戸YMCA生田中学）	監松本弘充 保坂俊一 兼崎俊男 若井保				
32	第12回静岡県 （富士市体育館富士高講堂）	監松本弘充 保田誠一 稲葉文男 平野満喜夫				
33	第13回富山県 （高岡女高体育館南星中体育館）	監松本弘充 遠井稔男 平野満喜男 保田誠一				
34	第14回東京都 （足立区体育館）	監松本弘充 保田誠一 中沢悦三 平野満喜男				
35	第15回熊本県 （菊地市体育館）	監松本弘充 中沢悦三 森田利一 保田誠一				
36	第16回秋田県 （象潟町中体育館）	監松本弘充 中沢悦三 花田皓 遠山雅己			監遠井稔男 河崎和子 石井綾子 小勝紀子	
37	第17回岡山県 （倉敷青陵高体育館）	監松本弘充 保田誠一 森田利雅 遠山雅己			監遠井稔男 塩山貴子 小川智子 黒崎栄子	
38	第18回山口県 （下関市体育館）	監富川昇 遠山雅己 森田利一 加藤進			監遠井稔男 前沢和子 松本昭子 小出千代子	高校女子1位
39	第19回新潟県 （三条高体育館）	監松本弘充 保田誠一 森田利雅 遠山雅己			監遠井稔男子 植木タカヨ 大島コ初枝 武田初枝	高校女子1位
40	第20回岐阜県 （富田学園体育館）	監松本弘充 森田利雅一 遠山雅己雄 伊沢征			監遠井稔男 上野明美子 石崎喜代子 吉田サト子	高校女子3位
41	第21回大分県 （日田林工高体育館）	監松本弘充 森田利一 遠山雅己 畜山満			監遠井稔男子 太田節子 吉田啓子 沖杉久子	

年度	大会名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	本大会成績
42	第22回埼玉県 （越ケ谷市立体育館）	監富川昇一 森田利己三 遠山雅勇 田中勇三			監遠井稔男 田仲美津江 枝加代子 印波和子	高校女子 3位
43	第23回福井県 （勝山合同体育館）	監松本弘充 山梨昭男 田中勇三 川上喜久			監遠井稔男 豊田敏子 清水シズエ 藤田千代子	
44	第24回長崎県 （諫早市立体育館諫早高体育館）	監松本弘充 霜山弘満 柳沢一 谷畑清			監遠井稔男 望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子	高校女子 3位
45	第25回岩手県 （釜石製鉄健康保険組合体育館）	監松本弘充 森田上一 川上隆久 三上康	監柳田睦子 松本昭子 石崎喜代子 望月しずか		監遠井稔男 藤井幸子 小林敏枝 池田静江	高校女子 2位 一般女子 3位
46	第26回和歌山県 （湯浅中体育館耐久高体育館）	監富川昇 霜山満 三上康 久野雄	教員男子 監近藤満 別井晃 斉藤佶 森田昇			
47	第27回鹿児島県 太陽国体 （南高校体育館）	監近藤満 三富美晴 三上隆康 久野行雄	教員男子 監遠井稔男 別井晃 斉藤佶 森田昇			教員男子 2位
48	第28回千葉県 若潮国体 （茂原高体育館）	監富川昇 三上隆康 三富美晴 久野行雄			監遠井稔男 日向野藤枝 増山直子 青木恵津子	
49	第29回茨城県 水と緑のまごころ国体 （石岡小体育館　石岡二高体育館）	監富川昇 三上隆康 三村由岐男 黄倉隆夫			監別井晃 大嶌和代 金田里子 篠崎朱美	
50	第30回三重県 たくましくあすをひらこう三重国体 （松阪高体育館）	監保田誠一 三上隆康 三村由岐男 黄倉隆夫	監小塙宏人 藤井由美子 沼能久子 青木恵津子	監篠崎一夫 市村匡 鶴見富美雄 水野谷厚		
51	第31回佐賀県 若楠国体 （牛津中体育館牛津高体育館）	監遠井稔男 三上隆康 大島清 粕谷武				
52	第32回青森県 あすなろ国体 （浪岡町民体育館）	監霜山哲 黄倉隆夫 大島清 高野茂		監別井晃 角田光永 久根俊明 関根忠	監森田昇 添野としみ 上野加代子 岩崎のり子	少年男子 2位
53	第33回長野県 やまびこ国体 （塩尻市立体育館）	監霜山哲 三村由岐男 粕谷武 工藤吉彦	監小塙宏人 沼能久子 日山裕子 日向野藤枝		監森田昇 上野加代子 高田康子 海賀里美	成年女子 3位 少年女子 2位
54	第34回宮崎県 日本のふるさと宮崎国体 （西都市民体育館）	監館野男 工藤政彦 高橋吉義 村上正一	監小塙宏人 日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	監別井晃 馬場良浩 小野口正志 大島正志		少年男子 3位 成年女子 1位
55	第35回栃木県 栃の葉国体 （真岡市総合体育館）	監森田昇 工藤吉彦 高橋正義 大石裕之	監小塙宏人 日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	監別井晃 大島正志 大堀円樹 戸村正樹	監遠井稔男 高橋アキ子 湯沢紀子 平間真由美	少年男子 2位
56	第36回滋賀県 びわ湖国体 （皇子山体育館）		監森田昇 大嶌和代子 山沢賀里美 海	監村上幸一雄 加藤義誠 大塚忠 手	監遠井稔男 平間真由美 猪瀬美津枝 鈴木京子	
57	第37回島根県 くにびき国体 （大東町民体育館）		監森田昇 大嶌和代子 上野加代子 海賀里美		監遠井稔男 三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗	少年女子 3位

○印は本大会へ出場

年度	大会名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	本大会成績
58	第38回群馬県 あかぎ国体 （桐生市民体育館）	○工藤（教員） ○大石（教員） 村上（教員） 人見（自営） 工藤（教員） ○原（県庁）	植竹 荒川（旭光学） 高田 大島（日産） 大島（日産） 武井（日産）	橋本 青砥（作新） 熊倉 小林（宇工） 戸村（宇南） 橋本（作新）	○須藤 ○根本（小城） 南川 笠倉（真女） ○小貫（小城） 根本（小城）	少年女子 4位
59	第39回奈良県 わかくさ国体 （中央体育館）	工藤（教員） 人見（人見ク） 三上（重工） 本田（人見ク） 工藤（教員） 大八木（日産）	小貫 須藤（日産） 大島 ○石川（日産） ○小貫（日産） ○須藤（日産）	越後 中山（作新） 入江 呉井（真工） 大堀（宇南） 越後（作新）	関田 川村（小城） 本間 南雲（真女） 木住野（小城） 本間（真女）	
60	第40回鳥取県 わかとり国体 （由良育英高体育館）	大島 大堀（教員） 原 池田（県庁） 大堀（教員） 大島（教員）	小貫 須藤（日産） 石川 光田（日産） 小貫（日産） 石川（日産）	加藤 安達（宇工） 大堀 ○金子（今工） ○大堀（今工） ○加藤（宇工）	関 古宇田（小城） 渡辺 坂本（小城） 木住野（小城） 渡辺（小城）	
61	第41回山梨県 かいじ国体 （勝沼町民体育館）	○工藤 ○大島（教員） 戸村 加藤（マスキン） ○大堀（教員） 大島（教員）	高橋 平間（教員） 光田 須藤（日産） 平間（教員） 三富（真女OG）	斎藤 佐賀（作新） 大堀 廻谷（今高） 大堀（今高） 佐賀（作新）	○黒須 ○川村（小城） 鈴木 武井（小城） ○庭野（真女） 川村（小城）	
62	第42回沖縄県 海邦国体 （西崎総合体育館）	○工藤 ○大島（教員） 戸村 加藤（マスキン） ○大堀（教員） 大島（教員）	平間 小島（教員）（フコク生命） 安藤 三富（真女OG） 平間（教員） 三富（真女OG）	斎藤 佐賀（作新） 小篠 和田（今工） 佐賀（作新） 斎藤（作新）	○川村 ○仲山（小城） 鈴木 武井（小城） 川村（小城） ○鈴木（小城）	少年女子 4位
63	第43回京都府 京都国体 （西山公園体育館）	工藤 大島（教員） 松本 安達（松下） 大堀（教員） 大島（教員）	平間 高橋（教員） 安藤 三富（真女OG） 平間（教員） 三富（真女OG）	小篠 和田（宇工） 佐藤 村越（作新） 和田（宇工） 野口（宇工）	仲山 柳（小城） 市村 天川（真女） 仲山（小城） 柳（小城）	
平成元年	第44回北海道 はまなす国体 （日本工学院北海道専門学校体育館）	工藤 大堀（教員） 大島 大森（松下） 大堀（教員） 大島（教員）	黒須 斎藤（日産） 海老原 小野里（日産） 平間（教員） 斎藤（日産）	曽篠 山崎（宇工） 山口 高松（宇工） 高松（宇工） 曽篠（宇工）	高岩 和田幸（小城） 和田典 高橋（小城） 高岩（小城） 和田典（小城）	
2	第45回福岡県 とびうめ国体 （農業者トレーニングセンター）	工藤 大堀（教員） 笠井 入江（日産） 大森（教員） 大島（教員）	平間 庭野（教員）（真岡市） 小貫 黒須（日産） 平間（教員） 小貫（日産）	山口 山崎（宇工） 大山 南木（宇工） 山崎（宇工） 山口（宇工）	江連 塚原（小城） 大森 渡辺（小城） 木村（小城） 大森（小城）	
3	第46回石川県 石川国体 （総合スポーツセンター）	工藤 大堀（教員） 笠井 入江（日産） 大森（教員） 大八木（日産）	小貫 黒須（日産） 小野里 大森（日産） 小貫（日産） 黒須（日産）	森島 磯部（宇南） 金田・ 石島（作新） 金田（宇工） 橋本（作新）	大久保 塩田（小城） 鈴木 渡辺（小城） 小野寺（小城） 渡辺（小城）	
4	第47回山形県 びにばな国体 （新庄市体育館）	大島（教員） 松本（松下） 白石（柳木クラブ） 藤田（昭和アミ） 大島（教員） 大森（教員）	小貫 渡辺（日産）（教員） 大森 青柳（日産） 小貫（日産） 渡辺（教員）	村本 磯部（宇南） 金田 稲見（宇工） 村本（宇南） 金田（宇工）	長井 古橋（宇南） 杉本 菊地（宇南） 木村（小城） 長井（宇南）	
5	第48回香川県・徳島県 東四国国体 （坂出市立体育館）	笠井 大八木（日産） 大島 大森（教員） 大森 教員	大森 青柳（日産） 大森（教員） 長谷川（松下）	金田 真壁（宇工） 西田 舘野（宇南） 斎藤（宇工） 金田（宇工）	長井 古橋（宇南） 杉本 菊地（宇南） 長井（宇南） 町田（小城）	

年度	大会名	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	本大会成績
6	第49回愛知県 わかしゃち国体 （大府市民体育館）	入江　鈴木（日産） 笠井　大八木（日産） 大八木（日産） 大森（教員）	関田　入江（栃木クラブ） 青柳　影山（日産） 関田（栃木クラブ） 青柳（日産）	西田　舘野（宇南） 鈴木　吉沢（宇南） 舘野（宇南） 鈴木（宇南）	関　小宅（宇南） 神尾　野口（宇南） 関（宇南） 篠崎（小城）	
7	第50回福島県 ふくしま国体 （中央体育館）	斎藤　江連（ヨネックス） 鈴木　南木（本田） 大森（教員） 江連（ヨネックス）	関田　塚原（城南OG） 鈴木　坂口（トライ東）（尚美学園） 塚原（城南OG） 青柳（日産）	上野　藤原（宇南） 川島　郷間（宇工） 川島（宇工） 吉沢（宇南）	海老沼　海老沼（小城） 金田　諏訪（小城） 渡辺（宇南） 田中（小城）	
8	第51回広島県 ひろしま国体 （三原リージョンプラザ）	斎藤　江連（ヨネックス） 笠井　大八木（日産） 大森（教員） 笠井（日産）	○関田　○塚原（城南OG） 野口　関（淑徳短大） ○長井（専修大） 関（淑徳短大）	藤本　増山（作新） 上野　石川（宇南） 藤原（宇南） 重田（作新）	長瀬由　長瀬麻（宇南） 田谷　谷（真女） 杉山（宇南） 富田（小城）	
9	第52回大阪府 なみはや国体 （大東市民体育館）	斎藤　江連（ヨネックス） 松本　黒須（松下電器） 大森（教員） 斎藤（ヨネックス）	簗　青柳（栃の葉） 志尾　志尾（USBC） 長井（専修大） 青柳（日産）	村山　古谷（作新） 鈴木　市川（宇南） 鈴木（宇南） 古谷（作新）	富田　長山（小城） 須田　中広（小城） 杉山（宇南） 富田（小城）	
10	第53回神奈川県 かながわ・ゆめ国体 （大和スポーツセンター 体育会館）	斎藤　江連（ヨネックス） 郷間　武田（富士重工） 斎藤（ヨネックス） 江連（ヨネックス）	ウーペイ塚原（栃木クラブ） 市村　高島（バスターズ） 市村（バスターズ） 岩崎（宇都宮大）	垣内　岡野（作新） 鈴木　市川（作新） 黄倉（作新） 鈴木（宇南）	新井　羽石（真女） 伊沢　水橋（小城） 新井（真女） 羽石（真女）	
11	第54回熊本県 くまもと未来国体 （八代市総合体育館）	斎藤　江連（ヨネックス）（自営） 磯部　村本（バスターズ）（本田） 斎藤（ヨネックス） 荻原（今市クラブ）	岩崎　谷（バスターズ）（日体大） 梅沢　木村（アグレシオ足利） 谷（日体大） 倉持（アグレシオ足利）	垣内　岡野（作新） 黄倉　高宮（作新） 関野ゆ（作新） 黄倉（作新）	山口　中田（真女） 松本　川畑（宇南） 小林（真女） 池田（宇南）	
12	第55回富山県 2000年とやま国体 （高岡市民体育館）	垣内（日大）　岡野（金沢学院大） 古谷（日大）　江連（自営） 黄倉（淑徳大） 村本（本田技研）	新井　谷（日体大） 古橋　岩崎（バスターズ） 新井（日体大） 古橋（バスターズ）	関野　斎藤（作新） 別井　高宮（作新） 関野（作新） 斎藤（作新）	広瀬　黒子（真女） 吉田　西口（宇南） 広瀬（真女） 手塚（真女）	
13	第56回宮城県 新世紀・みやぎ国体 （塩竈市体育館）					
14	第57回高知県 よさこい高知国体 （南国市立スポーツ センター）					

栃木県オープンバドミントン選手権大会（団体戦３複）

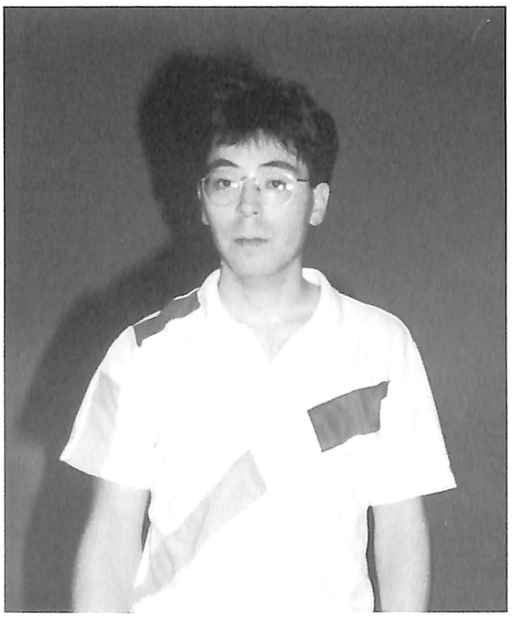
回数	年月日	会場	種別	優勝	準優勝	第３位	第３位
1	58. 1／30	トレセン体	男子 女子				
2	59. 1／28	県体育館	男子 女子				
3	60. 1／29	県体育館	男子 女子				
4	60.12／8	トレセン体	男子 女子				
5	62. 1／28	県体育館	男子 女子				
6	63. 1／31	県体育館	男子 女子	宇工高 小山城南高	作新高 真女高	日産A 真岡大谷台	松下事務機 県体エース
7	平1.1／22	トレセン体	男子 女子				
8	2. 1／28	県体育館	男子 女子	日産A 小山城南A	作新高 小山城南B	プーナクラブ 小山城南C	宇都宮市役所 小山城南D
9	3. 1／27	県体育館	男子 女子	日産 小山城南A	作新高 小山城南B	宇工高 清原中	県庁 真女高
10	4. 1／26	県体育館	男子 女子	日産 小山城南A	栃木クラブ 小山城南B	作新高 真女高	真岡工高 宇中女高
11	5. 1／31	県体育館	男子 女子	栃木クラブ 小山城南A	日産 小山城南B	宇工高 今市高	富士重工 真女高
12	5.12／28	県体育館	男子 女子	栃の葉ク 小山城南A	日産 小山城南B	栃木クラブ 小山城南C	KBC 小山城南D
13	6.12／23	県体育館	男子 女子	日産 小山城南A	宇南高 栃の葉ク	宇都宮大 小山城南B	宇工高 真女高A
14	8. 2／17	トレセン体	男子 女子	日産 小山城南	KBC UMC	ワイオミング ミディクラブ	宇北高 真女高
15	9. 2／16	県体育館	男子 女子	日産 真女高	ワイオミング 小山城南	松下電器 DNT那須	KBC ふくろう
16	10. 2／15	県体育館	男子 女子	ワイオミングA 栃の葉ク	富士重工 真女高B	KBC 真女高A	作新高A 小山城南
17	11. 2／14	県体育館	男子 女子	作新高A 栃の葉レディス	宇南高OB 真女高A	富士重工 真女高B	MBC アグレシオン足利
18	12. 2／13	県体育館	男子 女子	日産 真女高B	作新高A 栃の葉レディス	宇南高OB 真女高C	MBC 真女高A
19	13. 2／11	トレセン体	男子 女子	本田&富士重工 真女高Blue	日産 宇南高	作新大 上三川ママレード	宇南高OB 栃の葉レディスA

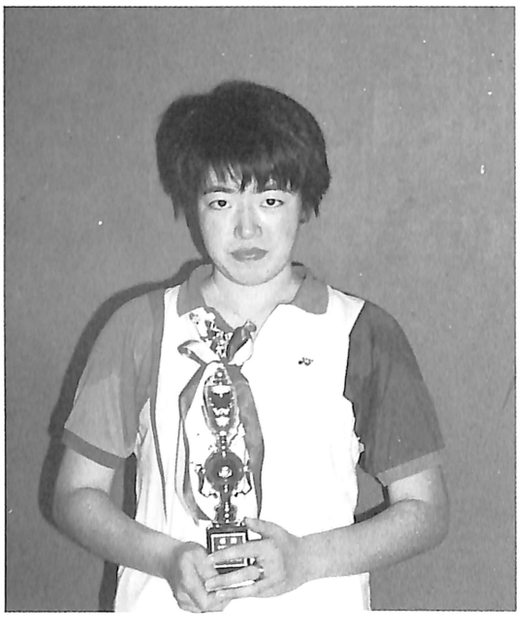
県下高校学年別大会

年度	回数	学年	男子単	女子単
51	1	1	1.文　挟(今高)　2.石　川(真農)	1.小野口(今高)　2.上　野(真女)
		2	1.久　郷(今高)　2.角　田(今高)	1.岩　崎(城南)　2.藤　田(真農)
52	2	1	1.馬　場(今高)　2.小野口(今高)	1.浜　野(真女)　2.田　中(城南)
		2	1.石　川(真農)　2.阿久津(真工)	1.浅　香(真女)　2.海　賀(真女)
53	3	1	1.大　堀(今高)　2.大　島(今高)	1.高　橋(城南)　2.湯　沢(城南)
		2	1.馬　場(今高)　2.高　橋(今高)	1.植　竹(城南)　2.酒　井(城南)
54	4	1	1.荒　川(石高)　2.加　藤(宇南)	1.平　間(城南)　2.猪　瀬(城南)
		2	1.大　島(今高)　2.大　堀(今高)	1.高　橋(城南)　2.湯　沢(城南)
55	5	1	1.大　森(今高)　2.手　塚(作新)	1.三　沢(城南)　2.鈴　木(城南)
		2	1.加　藤(宇南)　2.荒　川(石高)	1.猪　瀬(城南)　2.伊　藤(城南)
56	6	1	1.戸　村(宇南)　2.大　嶋(今高)	1.小　貫(城南)　2.塩　田(今高)
		2	1.手　塚(作新)　2.大　森(今高)	1.岡　崎(城南)　2.三　沢(城南)
57	7	1	1.上吉原(今高)　2.柴　田(今高)	1.佐　藤(作新)　2.本　間(真女)
		2	1.戸　村(宇南)　2.小　林(宇工)	1.根　本(城南)　2.須　藤(城南)
58	8	1	1.大　堀(今高)　2.加　藤(宇工)	1.木住野(城南)　2.　関　(城南)
		2	1.越　後(作新)　2.金　子(今高)	1.佐　藤(作新)　2.松　本(作新)
59	9	1	1.大　堀(今高)　2.小　堀(作新)	1.　関　(作新)　2.橋　本(城南)
		2	1.加　藤(宇工)　2.安　達(宇工)	1.木住野(城南)　2.渡　辺(城南)
60	10	1	1.斎　藤(作新)　2.佐　賀(作新)	1.黒　須(城南)　2.川　村(城南)
		2	1.大　堀(今高)　2.小　堀(作新)	1.庭　野(真女)　2.川　村(城南)
61	11	1	1.小　篠(宇工)　2.和　田(宇工)	1.仲　山(城南)　2.大　塚(城南)
		2	1.佐　賀(作新)　2.平　野(宇工)	1.鈴　木(城南)　2.小　出(城南)
62	12	1	1.高　松(宇工)　2.大　藤(今高)	1.和田幸(城南)　2.和田典(城南)
		2	1.和　田(宇工)　2.佐　藤(作新)	1.仲　山(城南)　2.大　塚(城南)
63	13	1	1.山　口(宇工)　2.大　屋(宇北)	1.木　村(城南)　2.大　森(城南)
		2	1.山　崎(宇工)　2.曽　篠(宇工)	1.和田幸(城南)　2.和田典(城南)
平成元	14	1	1.橋　本(作新)　2.菊　地(宇工)	1.大久保(城南)　2.塩　田(城南)
		2	1.山　口(宇工)　2.大　屋(宇北)	1.塚　原(城南)　2.木　村(城南)
2	15	1単	1.磯　部(宇南)　2.川　島(宇工)	1.奥　沢(宇南)　2.村　上(城南)
		2単	1.長谷川(宇南)　2.　星　(作新)	1.長谷川(宇南)　2.渡　辺(城南)
		1複	1.川島・杉山(宇工)　2.酒井・滝沢(足学)	1.奥沢・田村(宇南)　2.梅沢・石川(足学)
単複を実施		2複	1.橋本・館野(作新)　2.上野・菊地(宇工)	1.斎藤・長谷川(宇南)　2.小野寺・渡辺(城南)

年度	回数	学年	男　　子	女　　子
3	16	1単	1.斎　藤(宇工)　2.真　壁(宇工)	1.大　門(宇南)　2.古　橋(宇南)
		2単	1.川　島(宇工)　2.杉　山(宇工)	1.奥　沢(宇南)　2.田　村(宇南)
		1複	1.小口·真壁(宇工)　2.金田·斎藤(宇工)	1.阿部·山本(宇南)　2.梶山·橋本(真女)
		2複	1.川島·杉山(宇工)　2.篠原·飯塚(作新)	1.奥沢·田村(宇南)　2.浦·村上(城南)
4	17	1単	1.館野(宇南)　2.水川(宇南)	1.板口美(城南)　2.小宅(宇南)
		2単	1.金田(宇工)　2.小口(宇工)	1.長井(宇南)　2.古橋(宇南)
		1複	1.館野·西田(宇南)　2.水川·森(宇南)	1.荒井·板口(城南)　2.小宅·関(宇南)
		2複	1.小口·真壁(宇工)　2.金田·稲見(宇工)	1.長井·古橋(宇南)　2.杉本·菊地(宇南)
5	18	1単	1.　2.	1.金田(城南)　2.野口(城南)
		2単	1.　2.	1.関(宇南)　2.菊地(城南)
		1複	1.川島·菊地(宇工)　2.吉沢·鈴木(宇南)	1.山崎·野口(宇南)　2.金田·海老沼(城南)
		2複	1.館野·西田(宇南)　2.水川·森(宇南)	1.小宅·関(宇南)　2.豊田·斎藤(真女)
6	19	1単	1.上　野(宇南)　2.橋　本(宇工)	1.上　野(宇南)　2.羽　石(真女)
		2単	1.川　島(宇工)　2.鈴　木(宇南)	1.渡　辺(城南)　2.諏　訪(城南)
		1複	1.高橋·藤原(宇南)　2.上野·石川(宇南)	1.上野·猪瀬(宇南)　2.岩崎·羽石(真女)
		2複	1.吉沢·鈴木(宇南)　2.川島·菊地(宇工)	1.金田·諏訪(城南)　2.海老沼·海老沼(城南)
7	20	1単	1.　2.	1.杉　山(宇南)　2.長瀬由(宇南)
		2単	1.　2.	1.羽　石(真女)　2.岩　崎(真女)
		1複	1.　2.	1.長瀬·長瀬(宇南)　2.杉山·池田(宇南)
		2複	1.　2.	1.岩崎·羽石(真女)　2.高原·坂巻(城南)
8	21	1単	1.古　谷(作新)　2.鈴　木(宇南)	1.伊　沢(城南)　2.坂　本(城南)
		2単	1.大　塚(作新)　2.村　山(作新)	1.杉　山(宇南)　2.長瀬由(宇南)
		1複	1.鈴木·市川(作新)　2.渡辺·古谷(作新)	1.菅谷·鈴木(宇南)　2.上野·船木(文星)
		2複	1.西口·村山(作新)　2.石坂·大塚(作新)	1.長瀬由·長瀬麻(宇南)　2.須田·長山(城南)
9	22	1単	1.黄　倉(作新)　2.垣　内(作新)	1.渡　辺(宇南)　2.上　野(真女)
		2単	1.鈴　木(宇南)　2.古　谷(作新)	1.新　井(真女)　2.羽　石(真女)
		1複	1.関野·高宮(作新)　2.青木·森本(作新)	1.渡辺·池田(宇南)　2.山口·中田(真女)
		2複	1.鈴木·市川(作新)　2.鈴木·大島(宇南)	1.上野·高野(文星)　2.船木·松下(文星)
10	23	1単	1.関　野(作新)　2.八　木(石橋)	1.吉　田(宇南)　2.吉田由(宇女)
		2単	1.黄　倉(作新)　2.垣　内(作新)	1.池　田(宇南)　2.上　野(真女)
		1複	1.岡崎·星宮(宇高)　2.青木·伊沢(作新)	1.吉田·西口(宇南)　2.野口·渡辺(真女)
		2複	1.垣内·岡野(作新)　2.青木·森本(作新)	1.山口·中田(真女)　2.平出·大塚(作新)

年度	回数	学年	男　子　単	女　子　単
11	24	1単	1.斎　藤(作新)　2.関　谷(宇南)	1.永　井(文星)　2.桐　原(真女)
		2単	1.関　野(作新)　2.別　井(作新)	1.黒　須(真女)　2.広　瀬(真女)
		1複	1.関谷・田村(宇南)　2.北島・栗原(宇南)	1.永井・田崎(文星)　2.増山・横山(作新)
		2複	1.別井・山本(作新)　2.青木・伊沢(作新)	1.森山・倉持(城南)　2.広瀬・渡辺(真女)
12	25	1単	1.佐藤孝(作新)　2.太　田(宇高)	1.池　田(宇南)　2.小　室(真女)
		2単	1.斎　藤(作新)　2.関　谷(宇南)	1.中　島(真女)　2.桐　原(真女)
		1複	1.伏谷・蓼沼(宇高)　2.須田・半沢学(真高)	1.池田・松本(宇南)　2.石井・本田(真女)
		2複	1.関谷・田村(宇南)　2.寺本・杉山(作新)	1.松本・兼子(城南)　2.桐原・中島(真女)





平成5年度　第42回県総合バドミントン選手権大会
男女シングルスのチャンピオン

県混合ダブルス・バドミントン選手権大会

回数	期　日	順位	一般高校の部A	一般高校の部B	一般高校の部C	親 子 の 部	中学生の部
1	H5.8.22	①	田中・関田（スマイル）	鈴木・生田目（ARC）	鈴木・鈴木（シャープ）	大島・大島（フクロウ）	阿久津・岡田留（清原）
		②	金田・大塚（宇工城南）	加藤・有馬（宇工城南）	斎藤・高橋（明保）	田村・吉田（雀宮）	鴨志田・岡田英（清原）
2	H6.8.21 記録なし						
3	H7.8.20 県体育館	①	松本・塚原（松下）	相良・坂本（KBC）	吉沢・古谷（宇北）	岡室・岡室（戸祭台）	鈴木・渡辺（清原）
		②	橋本・関田（城南）	松島・高原（作新城南）	具志堅・蛯沢（ARC）	三上・三上（雀宮）	菊地・高野（清原）
		③	星野・金田（作新城南）	野口・岩崎（宇工真女）	高林・丸山（宇北）	中里・中里（　　）	佐々木・佐藤（清原）
		③	川島・近藤（宇工真女）	荒井・須田（作新城南）	猪瀬・伊東（マロン）		磯山・長谷川（清原）
4	H8.8.18 県体育館	①	館野・長山（城南）	栗山・木村（清原）	福田・志尾（US）	田中・山城（雀宮）	春原・松本（鬼怒）
		②	中村・鈴木（栃の葉）	大島・田城（US）	高崎・小山（トラ）	三上・三上（雀宮）	市村・吉田（鬼怒）
		③	黒木・中里（鹿沼）	小堀・中広（城南）	郷間・粕谷（北）	佐藤・佐藤（河内）	吉沢・菅谷（清原）
		③	郷間・岩崎（真女）	斎藤・志尾（US）	中林・小林（MB）	箕輪・箕輪（河内）	長沢・阿部（清原）
5	H9.8.17 県体育館	①	郷間・　簗　（重工真女）	鈴木・生田目（US）	福田・福田（星が丘）	大八木・秋山（上三川）	佐藤・手塚（鬼怒）
		②	武田・岩崎（重工真女）	上野・笹井（壬生）	阿部・白上（黒磯）	三上・三上（雀宮）	直井・水井（鬼怒）
		③	中村・鈴木（アルファ）	中川・日野沢（フク）	中林・小林（MBC）	大島・大島（上三川）	田村・鈴木（J）
		③	黒木・中里（鹿沼）	近藤・天川（US）	伊藤・石下（小山三）	箕輪・箕輪（河内）	星宮・岡田（清原）
6	H10.8.6 県体育館	①	中村・鈴木（アルファ）	鈴木・生田目（US）	荻原・早川（US）	井上・屋代（JBS）	岩井・蓼沼（古里）
		②	黒木・中里（鹿沼）	近藤・天川（US）	中村・志尾（US）	星宮・三五（清原）	清祐・兼子（岩舟）
		③	今野・塚原（バスタ）	岡　・木村（KBC）	中根・中根（本田）	吉沢・吉沢（城東）	釜井・鈴木（古里）
		③	渡辺・鈴木（作新城南）	大島・田代（US）	別井・黒子（鹿沼）	塚田・塚田（城東）	内木場・手塚（古里）
7	H11.8.8 トレセン	1	江連・高岩（小山）	藤田・中広（栃木ク）	綱谷・小林（MBC）	井上・原田（河内）	佐藤・高橋（上河内）
		2	山田・山田（バスタ）	白石・国分（栃木ク）	横倉・横山（作新宇南）	大島・大島（上三川）	蓼沼・荒木（古里）
		3	中村・石岡（栃の葉）	星野・飯田（バスタ）	丸山・藤田（NTC）	伊沢・伊沢（上三川）	鹿沼・大沢（桑）
		3	黄倉・井上（作新城南）	田中・吉田（宇南）	猪瀬・猪瀬（MBC）	吉沢・吉沢（城東）	佐藤・箕輪（古里）
8	H12.8.20 トレセン	1	別井・倉持（作新城南）	倉井・中広（どんまい）	岡室・岡室（栃の葉）	大島・大島（小山）	大森・荻原（清原）
		2	市川・広瀬（本田真女）	関谷・老沼（宇南）	斎藤・池田（宇南）	小沼・多田出（河内）	紺野・　星　（上三川）
		3	高島・古田山（どんまい）	高橋・大島（本田真女）	佐藤・武井（宇南城南）	荻原・荻原（MTC）	小倉・海老原（上三川）
		3	山本・井上（作新城南）	吉田・木村（栃の葉）	大島・田代（US）	大森・大森（今市）	中村・竹本（雀宮）

栃木県実業団バドミントン選手権大会（団体戦）

（男女１部は兼全日本実業団大会予選会）

No 1

年度	回数	区　分	優　勝	準優勝	3　位	本大会出場・結果	場　所
57	9	男子１部	日産自動車	富士重工	栃木県庁	男：富士重工、栃木県庁、日産自動車、河内町役場	東京都立川市
		男子２部	日産自動車	栃木クラブ	マイルド		
		女子１部	旭　光　学	日産自動車	松下電器	女：旭光学、日産自動車、松下電器	
58	10	男子１部	日産自動車	富士重工	栃木県庁	男：富士重工、日産自動車、	北海道札幌市
		男子２部	栃木クラブ	勇志クラブ	マイルド		
		女子１部	日産自動車	旭光学	松下電器	女：日産自動車	
		女子２部	勇志クラブＢ	勇志クラブＡ	マイルド		
59	11	男子１部	日産自動車	栃木県庁	富士重工	男：日産自動車（ベスト32）、栃木県庁	大阪府大阪市
		男子２部	勇志クラブ	人見クラブ	日産自動車Ｂ		
		女子１部	日産自動車	松下電器	マイルド	女：日産自動車（ベスト16）	
60	12	男子１部	栃木県庁Ａ	日産自動車	松下電器Ａ	男：日産自動車、栃木県庁、松下電器	神奈川県藤沢市
		男子２部	栃木県庁Ｂ	松下電器Ｂ			
		女子１部	日産自動車	勇志クラブ	松下電器	女：日産自動車（ベスト16）	
		女子２部					
61	13	男子１部	日産自動車Ａ	栃木県庁Ａ	松下電器Ａ	男：日産自動車、栃木県庁、松下電器	京都府京都市
		男子２部	プーナクラブ	松下電器Ｂ	Ｋ　Ｂ　Ｃ		
		男子３部	富士重工	鹿　沼　Ｃ	マイルド、キリン		
		女子１部	日産自動車			女：日産自動車（ベスト16）	
		女子２部	栃木県庁	人見クラブ	松下電器		
62	14	男子１部	日産自動車Ａ	松下電器	栃木県庁Ａ	男：日産自動車、栃木県庁、松下電器	愛知県名古屋市
		男子２部	河内クラブ	日産自動車Ｂ	鹿沼クラブ		
		男子３部	富士重工	栃木県庁Ｂ	マイルド		
		女子１部	日産自動車			女：日産自動車（ベスト32）	
		女子２部	真岡大谷台	県体エース	ＵＳＢＣ		
63	15	男子１部	栃木県庁	日産自動車Ａ	松下電器	男：日産自動車、栃木県庁（ベスト32）、松下電器（ベスト32）	石川県金沢市
		男子２部	日産自動車Ｂ	勇　志　Ａ	勇　志　Ｂ		
		男子３部	マイルド	フクロウＡ			
		女子１部	日産自動車	富士通小山		女：日産自動車	
		女子２部	県体エース	フクロウＣ	鹿沼クラブ		
元	16	男子１部	日産自動車Ａ	栃木県庁	松下電器Ａ	男：日産自動車、栃木県庁、松下電器	岡山県岡山市
		男子２部	日産自動車Ｂ	日産自動車Ｃ	松下電器Ｂ		
		男子３部	鹿沼クラブ	新田クラブ	富士重工		
		女子１部	日産自動車	松下電器		女：日産自動車	
		女子２部	新田クラブ	ＵＳＢＣ	フクロウ		
2	17	男子１部	日産自動車	松下電器	栃木県庁Ａ	男：日産自動車、栃木県庁、松下電器	兵庫県神戸市
		男子２部	宇都宮市役所	栃木県庁Ｂ	ＵＳＢＣ－Ａ		
		男子３部	シャープ栃木	富士重工Ｂ	陽東クラブ		
		女子１部	日産自動車	富士通小山	松下電器	女：日産自動車、富士通小山（初出場）	
		女子２部	ＵＳＢＣ	陽東クラブ	シャトルＣ		
3	18	男子１部	日産自動車Ａ	栃木県庁	松下電器	男：日産自動車（ベスト16）、松下電器、栃木県庁	宮城県仙台市
		男子２部	河　内　町	日産自動車Ｂ	ＵＳＢＣ－Ａ		
		男子３部	小　松	Ｄ　Ｎ　Ｔ	シャープ、USBC		
		女子１部	日産自動車			女：日産自動車	
		女子２部	ＵＳＢＣ	フクロウ	Ａ　Ｒ　Ｃ		

年度	回数	区　分	優　　勝	準 優 勝	3　位	本大会出場・結果	場　所
4	19	男子１部	日産自動車Ａ	松下電器	栃木県庁	男：日産自動車（ベスト32）、栃木県庁	広島県広島市
		男子２部	Ｋ　Ｂ　Ｃ	日産自動車Ｂ	フクロウＡ		
		男子３部	チャンピオン	Ｄ　Ｎ　Ｔ	フクロウＢ		
		女子１部	日産自動車Ａ	松下電器		女：日産自動車（ベスト16）	
		女子２部	フクロウＡ	ＵＳＢＣ	松下電器Ｂ		
5	20	男子１部	日産自動車	栃木県庁	松下電器	男：日産自動車（ベスト32）、栃木県庁、松下電器	富山県高岡市
		男子２部	河内町Ａ	ＵＳＢＣ	鹿沼フクロウ		
		男子３部	河内町Ｂ	シャープ	東電栃木	女：日産自動車（ベスト32）、栃木県庁(初出場)、松下電器	
		女子１部	日産自動車	松下電器			
6	21	男子１部	日産自動車Ａ	松下電器	栃木県庁	男：日産自動車、松下電器	福岡県福岡市
		男子２部	Ｋ　Ｂ　Ｃ	日産自動車Ｂ	Ｎ　Ｏ　Ｂ	女：日産自動車（ベスト32）	
		男子３部	Ｎ　Ｄ　Ｔ	ＡＲＣ－Ｂ	Ｓ　Ｂ　Ｃ		
		女子１部	日産自動車	松下電器	バスターズ		
7	22	男子１部	日産自動車Ａ	松下電器	栃木県庁	男：日産自動車、松下電器、栃木県庁	北海道札幌市
		男子２部	Ｋ　Ｂ　Ｃ	ＵＳＢＣ	日産自動車Ｂ	女：日産自動車	
		男子２部	東京電力	本田技研	富士重工Ｂ		
		女子１部	日産自動車				
8	23	男子１部	日産自動車	松下電器	栃木県庁Ａ	男：日産自動車（ベスト32）、栃木県庁、松下電器	東京都
		男子２部	栃木県庁Ｂ	バスターズ	チャンピオン		
		男子３部	松原ＢＣ	富士重工Ｂ	宇都宮市役所		
9	24	男子１部	日産自動車	松下電器	富士重工Ａ	男：日産自動車、松下電器（ベスト32）、栃木県庁	熊本県八代市
		男子２部	バスターズ	栃木県庁Ｂ	Ｍ　Ｂ　Ｃ		
		男子３部	グリップ	大日本塗料	鹿沼Ｃ、フクロウ		
		女子２部	ＵＳＢＣ	大日本塗料	チャンピオン		
10	25	男子１部	日産自動車	松下電器	富士重工	男：日産自動車、松下電器、富士重工	愛知県名古屋市
		男子２部	Ｋ　Ｂ　Ｃ	バスターズＡ	三菱、バスターズＢ		
		男子３部	チャンピオン	Ｇ　Ｋ　Ｃ	城東クラブ		
11	26	男子１部	日産自動車	富士重工Ｂ	松下電器	男：日産自動車、松下電器、富士重工	京都府長岡京市
		男子２部	バスターズＢ	チャンピオン	USBC、バスターズＡ		
		男子３部	ＵＳＥＣ	城東クラブ	鹿沼クラブ		
		女子２部	Ｋ　Ｂ　Ｃ	ＵＳＢＣ	Ｍ　Ｂ　Ｃ		
12	27	男子１部	富士重工	日産自動車	栃木県庁、松下電器	男：日産自動車、松下電器、富士重工、本田技研研究所、栃木県庁	東京都
		男子２部	本田技研研究所	ＵＳＢＣ	バスターズＡ、Ｂ		
		男子３部	ＭＢＣ－Ａ	Ｓ　Ｇ　Ｃ	城東Ｂ、鹿沼		
		女子２部	ＫＢＣ－Ａ	ＵＳＢＣ	チャンピオン		
		女子３部	Ｓ　Ｇ　Ｃ	城東－Ｂ	ＭＢＣ－Ｂ		
13	28	男子１部	富士重工	日産自動車	栃木県庁	男：日産自動車、富士重工、本田技研研究所	松山市
		男子２部	バスターズ	栃木県庁Ｂ	チャンピオン・MBC		
		男子３部	Ｙ　Ｙ　Ｃ	鹿沼クラブ	城東クラブ		

栃木県実業団バドミントン選手権大会（個人戦）

（57年度については男女１部が全日本実業団バドミントン選手権大会予選会を兼ねる）

年度	回数	区分	ダブルス 優勝	ダブルス 準優勝	ダブルス 3位	シングルス 優勝	シングルス 準優勝	シングルス 3位
57	9	男子１部	三上・田中（富士重工）	大塚・大八木（日産）	池田・和久（県庁）／川上・山崎（富士重工）	古沢（県庁）	人見（人見ガラス）	大八木（日産）／山崎（重工）
		男子２部	塚原・佐山（栃木ク）	藤野・佐藤（栃木ク）	鈴木・藤平（松下電子）／篠原・中里（鹿沼）	阿久津（マイルド）	大滝（神戸製鋼）	
		女子１部	上野・海賀（旭化学）	高田・石川（日産）	有野・早川（松下電器）／石浜・杉山（松下電器）	海賀（旭化学）	上野（旭化学）	石川（日産）／高田（日産）
58	10	男子１部	笠井・田上（日産）	和久・原（県庁）	古沢・鈴木（県庁）	人見（人見ガラス）	大八木（日産）	原（県庁）
		男子２部	阿久津・稲村（勇志ク）	篠原・中沢（鹿沼）	米山・千島（小松）	橋本（松下）	朝妻（松下）	斉藤（日産）
		女子１部	石川ゐ・武井（日産）	石川ゐ・大高（日産）	有野・神山（松下・小松）	石川ゐ（日産）	稲川（勇志ク）	石川ゐ（日産）
59	11	男子１部	池田・原（県庁）	大八木・入江（日産）	本田・人見（人見ガラス）／阿久津・大口（勇志ク）			
		男子２部	米山・伊藤（鹿沼ク）	篠崎・高野（勇志ク）	千島・薮並（小山ク）／金田・中里（鹿沼ク）		（記録 不明）	
		男子シニア	鈴木・古沢（県庁）	三上・田中（富士重工）	川田・斉藤（日産・河内町役場）			
		女子１部	小貫・須藤（日産）	米田・石川（日産）	竹井・大高（日産）			
		女子２部	安藤・桜井（真女ＯＧ）	吉村・前出（勇志ク）				
60	12	男子１部	入江・入江（日産）	池田・原（県庁）	吉田・為永（プーナＣ）	大八木（日産）	笠井（日産）	為永（プーナＣ）
		男子２部	佐藤・植木（宇市役所）	室元・山崎（松下事務器）	千島・橋本（小松）	佐藤（宇市役所）	朝妻（松下）	菊地（日産）
		男子３部	多田・池沢（鹿沼ク）	迫田・青柳（富士重工）	板橋・佐藤（小松）			
		女子１部	三富・安藤（真女ＯＧ）	大橋・稲川（勇志ク）	須藤・光田（日産）	光田（日産）	三富（真女OG）	大高（日産）
		女子２部	郷間・鈴木（プーナＣ）	大垣・仲畠（宇市役所）	沼子・石島（松下事務器）			
61	13	男子１部	大八木・入江ゐ（日産）	笠井・入江ゐ（日産）	松本・安達（松下）	大八木（日産）	安達（松下）	松本（松下）
		男子２部	池沢・句田（鹿沼ク）	米山・中里（鹿沼ク）	米山・千島（小松）	菊地（日産）	雨甲斐（日産）	高橋（松下）
		男子３部	篠原・石井（宇市役所）	岡室・芝野（松下）	古場・新垣（鹿沼ク）	松野（キリンビール）	淀川（松下）	鈴木（松原ホーム）
		女子１部	郷間・武田（プーナＣ）	生田目・田村（人見ク）	藤田・槻（人見ク）	小宮（重工）	佐藤（松下）	槻（人見ク）
62	14	男子１部	笠井・入江ゐ（日産）	松本・安達（松下）	池田・和久（県庁）	大八木（日産）	笠井（日産）	安達（松下）
		男子２部	藤田・渡辺（小松）	河合・大滝（勇志・マイルド）	朝妻・中原（松下ＴＶ）	朝妻（USBC）	福田（松下TV）	高野（県庁）
		男子３部	薄井・鈴木（勇志ク）	古場・小倉（フクロウＣ）	平出・坂本（ＫＢＣ）	飯村（重工）	薄井（勇志ク）	波多野（USBC）
		男子シニア	橋本・斉藤（ＫＢＣ）	古沢・鈴木（県庁）	三上・田中（富士重工）	古沢（県庁）	鈴木（県庁）	橋本（ＫＢＣ）
		女子１部	海老原・須藤（日産）	黒須・西野（日産）	三富・安藤（栃木ク・益子ク）	三富（栃木ク）	安藤（益子ク）	西野（日産）
		女子２部	小沼・半田（ＫＢＣ）	横田・松本（松下ＴＶ）	廣沢・稲見（ＵＳＢＣ）	佐藤（USBC）	伊澤（USBC）	石島（松下）
63	15	男子１部	松本・安達（松下）	笠井・入江（日産）	池田・原（県庁）／戸村・加藤（マスキン）	笠井（日産）	松本（松下）	為永（勇志ク）
		男子２部	鈴木・小玉（優勝堂）	岡室・斉藤（松下）	高野・菱沼（県庁）／平出・和田（ＫＢＣ）	斉藤（日産）女子	阿久津（市役所）	千島（小松）／西野（日産）女子
		男子３部	江連・永島（翼ク）	多田・米山（鹿沼ク）	菊井・上野（益子町ク）／金田・早乙女（鹿沼ク）	永島（翼ク）	中山（小松）	鈴木（フクロウ）／菊井（益子町ク）
		男子シニア	古沢・鈴木（県庁）	橋本・斉藤（ＫＢＣ）	三上・田中（富士重工）	田中（重工）	鈴木（県庁）	三上（重工）
		女子１部	安藤・三宮（益子町ク）	斉藤・黒須（日産）	海老原・西野（日産）			
		女子２部	三上・南木（栃の葉レディース）	鈴木・佐藤（ＵＳＢＣ）	淀川・佐藤（ＵＳＢＣ）／小野・舘野（優勝堂）	鈴木（USBC）	鈴木（大昌電子）	佐藤（USBC）
元	16	男子１部	笠井・入江（日産）	田上・大八木（日産）	飯田・海老原（日産）	大八木（日産）	笠井（日産）	入江（日産）
		男子２部	鎌田・鈴木（優勝堂）	半田・小玉（優勝堂）	岡室・高橋／佐藤・鶴見（松下／新田ク）	鈴木（USBC）	千島（小松）	高島（日産）／高野（県庁）
		男子３部	石井・星野（宇市役所）	高橋・大草（松原ホームズ）	池田・多田／笹沼・脇家（鹿沼ク／県体エース）	飯村（重工）	波多野（USBC）	盛迫田（新田ク／重工）
		男子シニア	三上・田中（富士重工）	西村・佐藤（河内町）	林・篠原（勇志ク）	朝妻（USBC）	西村（河内町）	斉藤（河内町）
		女子１部	斉藤・黒須（日産）	光田・小野里（日産）	武井・大森（富士通）	斉藤（日産）	黒須（日産）	小野里（日産）
		女子２部	吉田・福田（県体エース）	三上・涌井（栃の葉レディース）		鈴木（シャープ）	廣沢（USBC）	高橋（USBC）
		女子３部	舘野・鈴木（ＵＳＢＣ）	廣澤・佐藤（ＵＳＢＣ）	大橋・若林（宇市役所）			

年度	回数	区分	ダブルス 優勝	ダブルス 準優勝	ダブルス 3位	シングルス 優勝	シングルス 準優勝	シングルス 3位
2	17	男子1部	田上・大八木（日産）	白石・藤田（栃木ク）	原・池田（県庁）	大八木（日産）	松本（松下）	海老原（日産）
		男子2部	波多野・鈴木（USBC）	朝妻・岩佐（USBC）	佐々木・柏木（ARC） / 高島・久禮（日産）	柏木（ARC）	鶴見（日産OB）	千島：岩佐（小松小山）：（USBC）
		男子3部	盛・林（日産OB）	伊藤・高橋（鹿沼ク）	小倉・五辺（フクロウC） / 細部・厚海（鹿沼ク）	相沢（USBC）	斉藤（日産OB）	松久：波多野（大昌電子）：（USBC）
		男子シニア	飯岡・佐藤（河内町）	三上・田中（富士重工）	鈴木・古沢（県庁）	三上（重工）	田中（重工）	佐藤（河内町）
		女子1部				黒須（日産）	光田（日産）	小野里（日産）
		女子2部	浦井・三上（栃の葉レディース）	大橋・長谷川（フクロウC）	廣澤・早川（USBC）	廣澤（USBC）	鈴木（シャープ）	早川：阿久津（USBC）：（ARC）
		女子3部	高橋・小川（松下）	相沢・岡室（ARC）	鈴木・高橋（キリンビール）			
3	18	男子1部	笠井・大江、（日産）	和久・原（県庁）	白石・藤田（栃木ク）			
		男子2部	米山・金田（鹿沼ク）	鈴木・三上（富士重工）	新井・沢畑（富士重工） / 伊藤・小倉（フクロウC）			
		男子3部	林・盛（日産）	福田・松久（大昌電子）	伊藤・森高（鹿沼ク） / 豊岡・高橋（富士重工）		（記録 不明）	
		男子シニア	斉藤・畑山（ARC）	篠崎・渡辺（勇志ク）	西村・佐藤（KBC）			
		女子1部	小貫・小野里（日産）	黒須・大森（日産）	阿久津・日山（ARC・フクロウC）			
		女子2部	廣澤・渡辺（USBC）	大貫・岡室（ARC）	新倉・河又（松下）			
		女子3部	若桝・大塚（KBC）	松永・飯坂（ARC）	鈴木・仙波（フクロウC）			
4	19	男子1部	笠井・大八木（日産）	黒須・山口（松下）	吉田・柏木（富士重工）	松本（松下）	前田（グリップ）	柏木（重工）
		男子2部	大島・池沢（フクロウ・鹿沼ク）	古場・鈴木（鹿沼ク）	厚海・森高（鹿沼ク） / 鈴木・相沢（富士重工）	阿部（USBC）	富橋（グリップ）	相沢：谷口（重工）：（松下）
		男子3部	寺内・沢畑（栃木ク）	鈴木・壁田（シャープ）	中川・野呂（勇志ク） / 若菜・田村（ビクター小山・栃木ク）	星野（勇志ク）	鈴木（シャープ）	岸：伊藤（DNT）：（DNT）
		男子シニア	斉藤・畠山（ARC）	田中・富橋（重工・グリップ）	朝妻・鈴木（USBC）	大島（フクロウ）	朝妻（USBC）	畠山（ARC）
		女子1部	大森・青柳（日産）	小貫・小野里（日産）	大橋・中里（フクロウC）	大森（日産）	青柳（日産）	小貫（日産）
		女子2部	廣澤・早川（USBC）	石崎・坂本（フクロウC）	岡田・小野寺（県庁）	蛭田（DNT）	森田（県庁）	廣澤：早川（USBC）：（USBC）
		女子3部	鈴木・蛭田（シャープ）	羽山・秋川（松下）	平出・松永（松下） / 鈴木・船橋（フクロウC）			
5	20	男子1部	笠井・大八木（日産）	白石・藤田（栃木ク）	松本・黒須（松下）	大八木（日産）	笠井（日産）	松本（松下）
		男子2部	浜野・森島（益子町ク）	古場・岡（鹿沼ク）	君島・江面（翼クラブ）	萩原（USBC）	相沢（トライ松原）	谷口（松下）
		男子3部	寺内・田村（栃木ク）	石田・松村（翼クラブ）	石井・阿久津（宇市役所） / 山本・桜井（翼クラブ）	岡（鹿沼ク）	小山（翼ク）	橋本：横井（重工）：（重工）
		男子シニア	佐藤・織田（KBC）	斉藤・畠山（ARC）	岡室・相良（松下・KBC）	古沢（県庁）	大島（フクロウ）	朝妻（USBC）
		女子1部	大森・青柳（日産）	関田・小野里（栃木ク・日産）	永島・長谷川（松下）	青柳（日産）	大森（日産）	小野里（日産）
		女子2部	柏木・高橋（ARC）	坂本・田村（勇志ク）	岡室・大貫（KBC）	早川（USBC）	坂本（勇志ク）	樋口（トライ松原）
6	21	男子1部	入江・鈴木（日産）	笠井・大八木（日産）	白石・藤田（栃木ク）	大八木（日産）	笠井（日産）	入江（日産）
		男子2部	石田・松村（菱自動車）	伊藤・島岡（DNT那須）	植木・鈴木（宇市役所） / 半土野・赤川（ARC）	星野（勇志ク）	谷口（松下）	小山（菱自動車）
		男子3部				高野（USBC）	大幡（益子町ク）	伊藤：吉村（DNT那須）：（ARC）
		男子シニア	佐藤・織田（KBC）	朝妻・鈴木（USBC）	西村・岡室（KBC・松下）	相良（KBC）	古沢（県庁）	朝妻（USBC）
		女子1部	影山・吉柳（日産）	永島・長谷川（松下）		青柳（日産）	影山（日産）	
		女子2部	舘野・早川（USBC）	坂本・津田（勇志ク）	渡辺・鈴木（SBC）	坂本（勇志ク）	鈴木（USBC）	
7	22	男子1部	入江・土野（日産）	白石・藤田（栃木ク・昭和アルミ）	南木・鈴木（NTT・本田）	笠井（日産）	山口（松下）	入江（日産）
		男子2部	宇田・前原（チャンピオン）	追分・早野（富士重工）	松久・江田（YOS）	宇田（チャンピオン）	岡（KBC）	柿沼（県庁）
		男子3部	小松・小林（菱自動車）	福田・小山（菱自動車）	後藤・佐藤 / 大島・柴山（シャトル21） / （菱自動車）	高橋（重工）	吉村（菱）	落合（ARC）
		男子シニア	鈴木・斉藤（県庁・ARC）	朝妻・高野（USBC）	土・田中（富士重工）	岡室（松下）	古柳（日産女子）	高野（USBC）
		女子2部	早川・生田目（USBC）	本沢・八木沢（チャンピオン）	藤田・伊藤（チャンピオン）	生田目（USBC）	本沢（チャンピオン）	込山（ARC）

年度	回数	区分	ダブルス				シングルス			
			優勝	準優勝	3位		優勝	準優勝	3位	
8	23	男子1部	鈴木・南木（NTT・本田）	大八木・海老原（日産）	山口・大山（松下）	斉藤・稲見（重工）	萩原（日光市役所）	笠井（日産）	大八木（日産）	前田（中央建物）
		男子2部	富山・倉井（栃木ク）	厚海・岡（USBC）	古場・細部（鹿沼ク）	峯岸・相沢（MBC）	岡（USEC）	峯岸（MBC）	岡村（バスターズ）	高野（USEC）
		男子3部	荒巻・中村（USEC）	志尾・志尾（USEC）	高野・大山（USBC）	森山・平野（USBC）	高島（MBC）	吉村（ARC）	黒浜（鹿沼ク）	
		女子1部					青柳（日産）			
		女子2部	小川・早川（USBC）	増山・加藤（鹿沼ク）	前原・斉藤（鹿沼ク）					
9	24	男子1部	松本・黒須（松下）	小島・青柳（県庁）	山口・南木（松下・NTT）	鈴木・郷間（富士重工）	郷間（重工）	大八木（日産）	山口（松下）	萩原（日光市役所）
		男子2部	岡室・小沼（松下・KBC）	松久・江田（YO'S）	富橋・岡（GRIP・USEC）	峯岸・相沢（MBC）	近藤（USEC）	峯岸（MBC）	高野（USEC）	岡室（松下）
		男子3部	岡田・黒浜（鹿沼ク）	細部・小林（鹿沼ク）	青木・赤平（MBC）		山口（チャンピオン）	黒須（鹿沼ク）	吉村（MBC）	
		女子1部	市村・飯田（バスターズ）	朝妻・天川（USBC）	青柳・鶴見（日産）					
		女子2部	小川・早川（USBC）	坪山・高山（MBC）	阿久津・古池（MBC）					
		女子3部	佐藤・坂本（MBC）	石井・木村（MBC）	高瀬・加藤（鹿沼ク）					
10	25	男子1部	武田・山田（バスターズ）	笠井・海老原（日産）	松本・黒須（松下）	山口・南木（松下・NTT）	郷間（重工）	萩原（今市ク）	笠井（日産）	大八木（日産）
		男子2部	朝妻・鈴木（USBC）	斉藤・小沼（KBC）	星野・岡村（バスターズ）	岡田・黒浜（鹿沼ク）	峯岸（MBC）	岡室（松下）	朝妻（USBC）	相沢（MBC）
		男子3部	小竹・荒巻（USEC）	中村・福田（USEC）	森山・平野（USBC）	藤田・田村（宇市役所）	小林（城東ク）	星野（鹿沼ク）	黒浜（鹿沼ク）	青木（MBC）
		女子1部	木村・鈴木（栃の葉レディース）	飯田・天川（バスターズ・USEC）	岩本・増川（県体エース）					
		女子2部	清本・坂本（USBC）	朝妻・村瀬（USBC）	吉口・中原（県体エース）					
		女子3部	岡室・栗原（栃の葉レディース）	小川・早川（USBC）	池田・淀川（USBC）					
11	26	男子1部	郷間・石坂（富士重工）	入江・鈴木（日産）	田野・水川（グリップ・バスターズ）	柏木・武田（バスターズ）	萩原（日光市役所）	郷間（重工）	笠井（日産）	村本（本田）
		男子2部	馬場・稲田（チャンピオン）	人見・窪田（チャンピオン）	松田・具志堅（本田）	岡室・小沼（松下・KBC）	人見（チャンピオン）	馬場（チャンピオン）	稲田（チャンピオン）	柴田（今市ク）
		男子3部	南木・網谷（MBC）	藤田・田村（宇市役所）	半上野・小林（城東ク）		小林（城東ク）	沢畑（栃木ク）	猪瀬（MBC）	
		女子1部	木村・福田（栃の葉レディース）							
		女子2部	村瀬・坂本（フクロウ）	南木・高沼（MBC）	日高・大垣（MBC）					
12	27	男子1部	宮越・村本（本田技研）	郷間・石坂（富士重工）	柏木・武田（バスターズ）	芝田・小堀（栃木クラブ）	郷間（重工）	笠井（日産）	入江（日産）	青柳（県庁）
		男子2部	岡室・小沼（松下・KBC）	岡・網谷（MBC）	松久・江田（江田製作所）	岡田・黒浜（鹿沼ク）	稲田（チャンピオン）	岡（MBC）	岡室（松下）	柴田（今市ク）
		男子3部					南木（MBC）	富橋（グリップ）	秋山（MBC）	高嶋（MBC）
		女子1部	笠井・天川（USBC）	古橋・武田（バスターズ）	村瀬・清本（USBC）					

栃木県社会人バドミントン選手権大会

（男女１部は兼全日本社会人大会予選会）

年度	回数	場所	区分	ダブルス			シングルス		
				優勝	準優勝	3位	優勝	準優勝	3位
57	9	宇都宮市旭町体育館	男子１部	三上・田中（富士重工）	大塚・大八木（日産）	和久・池田（県庁）	人見（人見ク）	大八木（日産）	田中（富士重工）
			男子２部	藤野・佐山（栃木ク）	沢畑・三富（栃木ク）	田中・奈良部（栃木硬石）	藤野（栃木ク）	佐山（栃木ク）	大滝（神戸）
			女子１部	上野・海賀（旭光学）	山沢・植竹（旭光学）	荒川・猪瀬（旭光学）	大嶌（教員ク）	上野（旭光学）	海賀（旭光学）
			女子２部	半田・橋本（河内町）	稲葉・川上（鹿沼ク）		半田（河内町）	細川（栃木硬石）	
58	10	日産体育館	男子１部	工藤・大石（教員ク）	大八木・青柳（日産）	池田・原（県庁）	原（県庁）	池田（県庁）	三上（富士重工）
			男子２部	稲村・林（勇志ク）	金田・中里（鹿沼ク）	米山・千島（小松）	川田（日産）	斉藤（日産）	米山（小松）
			女子１部	山沢・植竹（旭光学）	高田・大島（日産）	山口・石川（日産）	大島（日産）	荒川（旭光学）	植竹（旭光学）
			女子２部	神山・岩崎（小松）	稲川・大武（勇志ク）	福田・渡辺（勇志ク）			
59	11	県トレセン 宇都宮市体育館	男子１部	工藤・人見（教員・人見）	大八木・青柳（日産）	原・和久（県庁）	工藤（教員ク）	人見（人見ク）	大八木（日産）
			男子２部	永山・田中（小山ク）	鈴木・河合（プーナ）	渡辺・千島（松下）	斉藤（松下）	稲村（勇志ク）	田中（小山ク）
			女子１部	小貫・須藤（日産）	大島・石川（日産）	大高・光田（日産）	小貫（日産）	石川（日産）	須藤（日産）
			女子２部	福田・吉田（県体エース）	八木・荒井（県体エース）	小宮・甫坂（富士重工）	大武（勇志ク）	稲川（勇志ク）	田中（小山ク）
60	12	雀宮体育館 日産体育館	男子１部	大島・大堀（教育ク）	戸村・枝野（マスキン・宮一）	笠井・田上（日産）	大島（教員ク）	大堀（教員ク）	大八木（日産）
			男子２部	山崎・渡辺（松下事務機）	中沢・吉田（松下テレビ）	三浦・高橋（勇志ク）	斉藤（日産）	朝妻（松下テレビ）	呉井（松下事務機）
			男子シニア	三上・田中（富士重工）	鈴木・古沢（県庁）	橋本・斉藤（河内町）	湯沢（県庁）	三上（富士重工）	田中（富士重工）
			女子１部	小貫・須藤（日産）	安藤・三富（真女ＯＧ）	石川・光田（日産）	小貫（日産）	光田（日産）	石川（日産）
			女子２部	福田・吉村（勇志ク）	小宮・中三川（富士重工）	若目田・片山（野崎ク）	吉村（勇志ク）	大武（勇志ク）	福田（勇志ク）
61	13	県体育館 日産体育館	男子１部	大島・大堀（教育ク）	池田・原（県庁）	入江・入江（日産）	大堀（教員ク）	大堀（教員ク）	笠井（日産）
			男子２部	山内・藤野（栃木ク）	橋本・熊倉（小松）	斉藤・天甲斐（日産）	新山（日産）	天甲斐（日産）	菊地（日産）
			男子３部	仲畠・阿久津（宇市役所）	星野・高橋（鹿沼ク）	梅沢・松野（キリンビール）	星野（鹿沼ク）	小林（マイルド）	迫田（富士重工）
			男子シニア	三上・田中（富士重工）	古沢・鈴木（県庁）	米山・田中（小松）	鈴木（県庁）	田中（富士重工）	古沢（県庁）
			女子１部	須藤・光田（日産）	安藤・三富（真女ＯＧ）	大高・武井（日産）	米田（日産）	岡部（松下テレビ）	稲川（勇志ク）
			女子２部	田中・伏木（栃木ク）	片山・若目田（人見ク）	田村・大金（人見ク）	槻（人見ク）	若目田（人見ク）	大金（人見ク）
			女子３部	仲畠・大垣（宇市役所）	鈴木・鉢村（キリンビール）	石島・青木（松下事務機）			
62	14	県体育館	男子１部	大島・大堀（教育ク）	池田・原（県庁）	和久・琴寄（県庁）	大八木（日産）	大堀（栃教ク）	飯田（日産）
			男子２部	半田・鎌田（青少年ホーム）	大島・文挟（今市ク）	千島・藤田（小松）	米山（鹿沼ク）	朝妻（松下テレビ）	呉井（松下事務機）
			男子３部	小島・松沼（県庁）	高野・池田（県庁）	若菜・海老沼（小松）	福田（松下テレビ）	高野（県庁）	小島（県庁）
			男子シニア	三上・田中（富士重工）	古沢・鈴木（県庁）	斉藤・橋本（ＫＢＣ）	鈴木（県庁）	古沢（県庁）	橋本（ＫＢＣ）
			女子１部	小島・半間（フコク生命・栃教ク）	三富・高橋（栃木ク・栃教ク）	光田・須藤（日産）	半間（栃教ク）	三富（栃木ク）	光田（日産）
			女子２部	斉藤・福田（県体エース）	大武・篠崎（勇志ク）	横田・中村（松下テレビ）	槻（人見ク）	大武（勇志ク）	郡司（人見ク）
			女子３部	馬淵・菊地（カトレア）	安納・柴田（県体エース）	小島・柳田（シャトル）			
63	15	県トレセン 日産体育館	男子１部	大島・大森（教育ク）	工藤・大堀（栃教ク）	池田・原（県庁）	大森（栃教ク）	松本（松下電器）	琴寄（県庁）
			男子２部	松本・藤野（栃木ク）	千島・米山（小松）	半田・鈴木（優勝堂）	高野・池田（県庁）	大幡（益子町ク）	阿久津（宇市役所）	千島（小松）	高根沢（人見ク）
			男子３部	飯村・迫田（富士重工）	小林・鬼沢（マイルド）	杉本・山崎（本田技研）	山本・上野（キリンビール）	小林（マイルド）	飯村（富士重工）	波多野（USBC）	鈴木（シャープ）
			男子シニア	三上・田中（富士重工）	湯沢・鈴木（県庁）	相良・和田（ＫＢＣ）		鈴木（県庁）	田中（富士重工）	三上（富士重工）	
			女子１部	半間・高橋（栃教ク）	安藤・三富（益子・栃木ク）	黒須・西野（日産）		半間（栃教ク）	三富（栃木ク）	黒須（日産）	
			女子２部	三上・南木（栃の葉レディース）	古沢・田中（栃木ク）	松本・谷本（富士通）	菅又・鈴木（キリンビール）	古宇田（USBC）	廣澤（USBC）	松本（富士通）	

年度	回数	場所	区分	ダブルス				シングルス			
				優勝	準優勝	3位		優勝	準優勝	3位	
元	16	日産体育館	男子1部	大島・大森（教育ク）	工藤・大堀（栃教ク）	笠井・入江（日産）		大堀（栃教ク）	大森（栃教ク）	安達（松下電器）	
			男子2部	小玉・鈴木（優勝堂）	篠原・河合（勇志ク）	徳澄・大島（日産）	佐藤・鶴見（日産OB）	千島（小松）	坂入（松下電子）	菱沼（県庁）	鈴木（宇市役所）
			男子3部	古場・鈴木（フクロウ）	石井・篠原（宇市役所）	飯村・迫田（富士重工）	金田・中里（鹿沼ク）	星野（鹿沼ク）	福田（大昌電子）	飯村（富士重工）	中山（小松ベアリング）
			男子シニア	古沢・鈴木（県庁）	三上・田中（富士重工）	斉藤・飯岡（KBC）		鈴木（県庁）	古沢（県庁）	田中（富士重工）	
			女子1部	海老原・小野里（日産）	斉藤・黒須（日産）	武井・大森（富士通）		平間（栃教ク）	斉藤（日産）	黒須（日産）	
			女子2部	鈴木・鈴木（USBC）	宗村・中川（大谷台）						
			女子3部	渡辺・大橋（フクロウ）	廣澤・佐藤（USBC）	淀川・高栖（USBC）		佐藤（USBC）	廣澤（USBC）	山田（松下電器）	
2	17	県体育館 日産体育館	男子1部	大島・工藤（栃の葉ク）	松本・安達（松下電器）	笠井・入江（日産）		大八木（日産）	笠井（日産）	入江（日産）	
			男子2部	千島・藤田（小松・昭和アルミ）	鈴木・波多野（USBC）	米山・星野（鹿沼ク）	佐藤・今野（日産OB）	神谷（シャープ）	野木（富士重工）	今野（日産OB）	福田（大昌電子）
			男子3部	高橋・迫田（富士重工）	淀川・平井（USBC）	藤田・山崎（本田技研）	杉本・平戸（本田技研）	飯村（富士重工）	加藤（シャープ）	杉本（本田技研）	マディ（日産）
			男子シニア	古沢・鈴木（県庁）	飯岡・相良（KBC）	三上・田中（富士重工）		古沢（県庁）	岡室（県庁）	三上（富士重工）	
			女子1部	平野・庭野（栃の葉ク・真岡市）	斉藤・黒須（日産）	武井・大森（富士通）		平間（栃教ク）	庭野（真岡市役所）	光田（日産）	
			女子2部	廣澤・鈴木（USBC）	大島・内藤（新田ク）	館野・福田（USBC）	佐藤・早川（USBC）				
3	18	日産体育館	男子1部	池田・原（県庁）	大八木・鈴木（日産）	笠井・入江（日産）			記録不明		
			男子2部	鈴木・萩原（USBC）	（田崎・脇家）（陽東ク）	鈴木・飯村（富士重工）	朝妻・岩佐（USBC）				
			男子3部	君・伊藤（DNT）	上野・若菜（大平ク）	半上野・新屋敷（ARC）	厚海・細部（鹿沼ク）				
			男子シニア	三上・田中（富士重工）	飯岡・斉藤（KBC）	斉藤・畠山（ARC）	湯沢・和久（県庁）				
			女子1部	斉藤・黒須（日産）	小野里・大森（日産）	阿久津・星（ARC・プーナ）					
			女子2部	石川・鈴木（栃の葉レディース）	長谷川・中里（フクロウ）	吉口・福田（陽東ク）	福田・福田（KBC）				
			女子3部	平島・柏崎（あすなろ）	上野・松永（ARC）	鈴木・石崎（フクロウ）	高柳・館野（ARC）				
4	19	日産体育館	男子1部	笠井・鈴木（日産）	池田・原（県庁）	白石・藤田（栃木ク・昭和アルミ）		大八木（日産）	大森（栃教ク）	安達（松下電器）	
			男子2部	阿部・萩原（USBC）	伊藤・小倉（フクロウ）	森高・高橋（鹿沼ク）	岡室・谷口（松下電器）	萩原（USBC）	阿部（USBC）	鈴木（富士重工）	
			男子3部	沢畑・若月（富士通）	伊藤・厚海（鹿沼ク）	小関・本橋（USBC）	岸・大島（DNT）	本橋（USBC）	寺内（西片病院）	大島（DNT）	飯村（富士重工）
			男子シニア	湯沢・鈴木（県庁）	朝妻・鈴木（USBC）	斉藤・畠山（ARC）		相良（KBC）	三上（富士重工）	西村（KBC）	
			女子1部	小貫・渡辺（日産・栃木の葉ク）	黒須・小野里（日産）	大森・青柳（日産）		小貫（日産）	大森（日産）	長谷川（松下電器）	
			女子2部	廣澤・鈴木（USBC）	新倉・河又（松下電器）	渡辺・石崎（フクロウ）	高橋・羽山（松下電器）	鈴木（USBC）	蛭田（DNT）	中田（フクロウ）	廣澤（USBC）
			女子3部	福田・渡辺（USBC）	大塚・早川（USBC）	高橋・小川（あすなろ）	高山・有野（あすなろ）	森田（県庁）	高松（フクロウ）	田中（県庁）	岡室（ARC）
5	20	上三川体育館	男子1部	笠井・大八木（日産）	大森・大島（栃の葉ク）	吉田・柏木（富士重工）		大森（栃の葉ク）	松本（松下電器）	笠井（日産）	
			男子2部	小関・萩原（USBC）	伊藤・小倉（フクロウ）	池沢・古場（鹿沼ク）	桜井・斉藤（富士重工）	鈴木（富士重工）	斉藤（富士重工）	萩原（USBC）	阿部（USBC）
			男子3部	厚海・森高（鹿沼ク）	金田・平野（USBC）	鈴木・壁田（シャープ・清原）	鈴木・沢畑（富士通）	阿久津（宇市役所）	鈴木（シャープ）	小林（ARC）	柳沢（本田技研）
			男子シニア	相良・織田（KBC）	斉藤・畠山（ARC）	朝妻・鈴木（USBC）		古沢（県庁）	朝妻（USBC）	西村（KBC）	
			女子1部	川村・関田（栃木ク）	小貫・大森（日産）	小野里・青柳（日産）		大森（日産）	青柳（日産）	長谷川（松下電器）	
			女子2部	早川・渡辺（USBC）	新倉・河又（松下電器）	鈴木・坂本（フクロウ）	淀川・池田（USBC）	渡辺（USBC）	早川（USBC）	大塚（県庁）	坂本（フクロウ）
6	21	日産体育館	男子1部	斉藤・江連（ヨネックス）	笠井・大八木（日産）	松本・黒須（松下電器）		大八木（日産）	笠井（日産）	大森（栃の葉ク）	
			男子2部	小倉・黒木（フクロウ）	鈴木・平井（USBC）	西村・館野（KBC）	古場・高橋（鹿沼ク）	星野（MBC）	谷口（松下電器）	桜井（富士重工）	
			男子3部	野澤・市塙（勇志ク）	斉藤・古谷（東京電力）	植木・阿久津（宇市役所）	岸・大島（DNT）	岸（DNT）	大島（DNT）	高崎（DNT）	横井（富士重工）
			男子シニア	相良・織田（KBC）	湯沢・鈴木（県庁）	小沼・岡室（KBC・松下電器）		古沢（県庁）	大島（フクロウ）	湯沢（県庁）	
			女子1部	影山・青柳（日産）	関田・大森（スマイル・日産）	日野沢・中里（フクロウ）		関田（スマイル）	大江（日産OG）	影山（日産）	
			女子2部	鈴木・石崎（フクロウ）	長南・松永（松下電器）			蔵本（MBC）	坂本（勇志ク）	込山（トライ松原）	
			女子3部	館野・池田（USBC）	野口・滝沢（トライ松原）	小熊・床井（勇志ク）	早川・淀川（USBC）				

年度	回数	場所	区分	ダブルス				シングルス			
				優勝	準優勝	3位		優勝	準優勝	3位	
7	22	県体育館 日産体育館	男子1部	斉藤・江連 (ヨネックス)	松本・黒須 (松下電器)	入江・上野 (日産)		萩原 (栃の葉ク)	大森 (栃の葉ク)	為永 (トライ東)	
			男子2部	松久・江田 (YOS)	西村・館野 (KBC)	小松・小山 (三菱自動車)		栗山 (ARC)	奥備 (栃木ク)	高野 (USBC)	
			男子3部	小島・古谷 (東京電力)	岸・大島 (DNT)	小枝・福田 (三菱自動車)	斉藤・鈴木 (東京電力)	伊藤 (DNT)	小森谷 (SBC)	岸 (DNT)	
			男子シニア	相良・小沼 (KBC)	織田・岡室 (KBC・松下電器)	湯沢・鈴木 (県庁)		古沢 (県庁)	朝妻 (USBC)	湯沢 (県庁)	
			女子1部	関田・塚原 (城南OG)	影山・青柳 (日産)	福田・生田目 (KBC・USBC)		塚原 (城南OG)	青柳 (日産)	影山 (日産)	
			女子2部	大塚・大塚 (県庁)	小川・早川 (USBC)	神山・柄沢 (富士重工)		八木沢 (DNT)	神山 (富士重工)	鈴木 (SBC)	
8	23	県トレセン	男子1部	笠井・大八木 (日産)	松本・黒須 (松下電器)	鈴木・南木 (本田技研・NTT)		大森 (栃の葉ク)	松本 (松下電器)	山口 (松下電器)	
			男子2部	高松・山島 (フクロウ)	宇田・南 (チャンピオン)	岸・大島 (DNT)	小島・古谷 (東京電力)	田野 (バスターズ)	小山 (三菱自動車)	本橋 (松原ホーム)	柿沼 (県庁)
			男子3部	峯岸・中林 (MBC)	岡田・黒浜 (鹿沼ク)	森山・山崎 (USBC)	小野寺・春山 (松原ホーム)	阿久津 (宇市役所)	小松 (三菱自動車)	春山 (松原ホーム)	小野寺 (松原ホーム)
			男子シニア	朝妻・鈴木 (USBC)	織田・小沼 (KBC)	三上・田中 (富士重工)		古沢 (県庁)	朝妻 (USBC)	岡室 (松下電器)	
			女子1・2部	関田・塚原 (城南OG)	市村・高島 (バスターズ)	八木澤・阿久津 (DNT)		塚原 (城南OG)	関田 (城南OG)	青柳 (日産)	市村 (バスターズ)
			女子3部	滝沢・高崎 (松原ホーム)	野呂・小林 (バスターズ)	稲野辺・樋口 (松原ホーム)					
9	24	県トレセン	男子1部	斉藤・江連 (栃の葉ク)	山口・大山 (松下電器)	白石・藤田 (栃木ク・昭和アルミ)		大森 (栃の葉ク)	斉藤 (栃の葉ク)	江連 (栃の葉ク)	
			男子2部	中川・森島 (フクロウ)	高野・鈴木 (USBC)	五十嵐・佐藤 (栃木ク)	湯沢・松沼 (県庁)	中川 三菱自動車	高木 (鹿沼ク)	高野 (USBC)	峯岸 (MBC)
			男子3部	西村・福田 (KBC)	小野寺・戸嶋 (雀羽朋)	小松・小林 (三菱自動車)	猪瀬・小堀 (MBC)	小松 光精自動車	青木 (MBC)	黒浜 (鹿沼ク)	猪瀬 (MBC)
			女子1部	天川・生田目 (USBC)	塚原・小野寺 (栃の葉ク)	市村・高島 (バスターズ)		塚原 (栃の葉ク)	青柳 (日産)	市村 (バスターズ)	
			女子2部	大塚・大塚 (県庁)	小林・阿久津 (MBC)	小川・早川 (USBC)					
10	25	県トレセン	男子1部	佐藤・江連 (栃の葉ク)	白石・藤田 (栃木ク・昭和アルミ)	松本・田嶋 (アグレシオン足利)		江連 (栃の葉ク)	斉藤 (栃の葉ク)	萩原 日光市役所	
			男子2部	朝妻・鈴木 (USBC)	岡・栗山 (USBC)	大井・小枝 (三菱自動車)	古場・石川 (鹿沼区)	朝妻 (USBC)	中林 (MBC)	湯沢 (県庁)	相沢 (MBC)
			男子3部	岡田・細部 (鹿沼ク)	岡田・黒浜 (鹿沼ク)	小林・古谷 (東京電力)	石井・阿久津 (宇市役所)	加藤 (MBC)	具志堅 (本田技研)	小林 (城東ク)	植木 (宇市役所)
			女子1部	市村・鈴木 (バスターズ)	梅沢・木村 (アグレシオン足利)	高島・阿部 (バスターズ)		市村 (バスターズ)	阿部 (バスターズ)	高島 (バスターズ)	
			女子2部	志尾・志尾 (USEC)	朝妻・池田 (USBC)	前原・渡辺 (鹿沼ク)					
11	26	清原体育館 県トレセン	男子1部	斉藤・萩原 (ヨネックス・今市ク)	入江・鈴木 (日産)	田嶋・上岡 (アグレシオン足利)		郷間 (富士重工)	斉藤 (ヨネックス)	萩原 (今市ク)	
			男子2部	峯岸・八木澤 (MBC)	星野・中川 (バスターズ)	林・岡村 (バスターズ)	渡辺・田崎 (バスターズ)	峯岸 (MBC)	相沢 (MBC)	柴田 (今市ク)	大島 (フクロウ)
			男子3部	相沢・猪瀬 (MBC)	秋山・小野 (MBC)	網谷・南木 (MBC)	青木・高嶋 (MBC)	猪瀬 (MBC)	青柳 (富士重工)	吉村 (MBC)	秋山 (MBC)
			女子1部	梅沢・木村 (アグレシオン足利)	森・倉持 (アグレシオン足利)	伊藤・古橋 (バスターズ)					
			女子2部	村瀬・朝妻 (USBC)	坂本・大垣 (USBC)	南木・高沼 (MBC)					
12	27	河内町体育館 県トレセン	男子1部	斉藤・江連 (小山ク)	松本・田嶋 (松下・アグレシオン)	入江・鈴木 (日産)		村本 (本田技研)	萩原 (今市ク)	郷間 (富士重工)	
			男子2部	網谷・池田 (MBC)	厚海・細部 (鹿沼ク)	岡・南木 (MBC)	岡室・小沼 (松下・KBC)	鈴木 (USEC)	岡 (MBC)	相沢 (MBC)	岡室 (松下電器)
			男子3部	小林・石川 (鹿沼ク)	秋山・野口 (MBC)	小野里・青木 (MBC)		斉藤 (江田製作所)	南木 (MBC)	黒浜 (鹿沼ク)	
			女子1部	木村・倉持 (アグレシオン足利)	木村・福田 (栃の葉レディース)	村瀬・清本 (USBC)		木村 (アグレシオン足利)	倉持 (アグレシオン足利)	長 (江田製作所)	
			女子2部	笠井・大川 (USBC)	藤村・篠崎 (あひる)	高山・高橋 (あすなろ)	増田・生田目 (USBC)				
			女子3部	野中・大塚 (県庁)	早川・辻 (USBC)	山崎・黒崎 (MBC)					
13	28	日産体育館 県トレセン	男子1部	入江・鈴木 (日産自動車)	郷間・山田 (富士重工)	石坂・増山 (富士重工・グリップ)	田野・武田 (グリップ・バスターズ)	村本 (本田技研)	萩原 (今市ク)	郷間 (富士重工)	
			男子2部	小菅・高木 (YYC)	野村・福本 (本田技研)	斉藤・谷野 (江田製作所)	鈴木・近藤 (USBC)	岡 (MBC)	岡室 (松下電器)	柴田 (江田製作所)	斉藤 (江田製作所)
			男子3部	古田・南木 (MBC)	川村・柳原 (江田製作所)	広田・佐々木 (城東ク)	足立・鈴木 (USEC)	柿沼 (USEC)	黒浜 (鹿沼ク)	谷野 (江田製作所)	高嶋 (鹿沼ク)
			女子1部	長山・中広 (栃木ク)	笠井・大川 (USBC)	古橋・岩崎 (バスターズ)		岩崎 (バスターズ)	長 (江田製作所)		
			女子2部	篠崎・藤村 (あひる)	清本・村瀬 (USBC)	南木・高沼 (MBC)	大垣・阿部 (MBC)	赤羽 (USEC)	高橋 (バスターズ)	神長 (バスターズ)	
			女子3部	斉藤・小林 (USEC)	金敷・淀川 (USBC)	加藤・村上 (鹿沼ク)					

栃木県シニアバドミントン選手権大会

年度	回数	区分	ダブルス				シングルス			
			優勝	準優勝	3位		優勝	準優勝	3位	
平成9年度	1回	男子30歳以上	笠井 孝之 入江 久夫	池田 勝浩 原 利浩	河合 隆充 為永 明彦	朝妻 清 鈴木 哲男	笠井 孝之	為永 明彦	海老原正美	大八木 正
		男子40歳以上	佐藤 武男 植木 和男	小沼 典行 西村 幹夫	織田 利夫 岡室 利彦	相場 初男 原 正一	佐藤 武男	岡室 利彦	相良 定夫	湯沢 雄一
		男子50歳以上	米須 清一 沢畑 克人	半上野秀樹 小林 栄二	佐々木 敏 広田 誠		沢畑 克人	米須 清一	小林 栄二	高嶋 政男
		女子30歳以上	福田 典子 福田 芳子	押久保圭子 堀江 圭子	保園 光子 飯田 一美	坂本 由美 高橋美樹子	福田 芳子	村瀬千佐美	近藤 淳子	
		女子40歳以上	坂口千代子 三富 久子	増川 美子 岩本 悦子	吉口 千恵 木下まさ子	谷藤 和子 梅原 政江	谷藤 和子	田城佳枝美		
平成10年度	2回	男子30歳以上	笠井 孝之 入江 久夫	池田 勝浩 高橋 安則	鈴木 孝治 稲村 茂	鈴木 哲男 萩原 芳幸	大八木 正	笠井 孝之	為永 明彦	高橋 安則
		男子40歳以上	織田 利夫 斉藤 茂夫	岡室 利彦 小沼 典行	湯沢 雄一 原 正一	西村 幹夫 大島 清	大島 清	古沢 元治	斉藤 茂夫	岡室 利彦
		男子50歳以上	米須 清一 沢畑 克人	半上野秀樹 富橋 末治	石川 嘉昭 岩本 秀雄	佐々木 敏 広田 誠	西村 幹夫	小林 栄二	遠藤 秀雄	
		女子30歳以上	福田 典子 福田 芳子	保園 光子 堀江 佳子	福田 直子 飯田 一美	坂本 由美 高橋美樹子				
		女子40歳以上	福田 信子 木村理恵子	増川 美子 岩本 悦子	高山 道子 田村 幸子	坂口千代子 鈴木 芳枝				
		女子50歳以上	石川 澄子 吉口 千恵	加藤 幸子 杉本 光子	中家 和子 晴山 里子					
平成11年度	3回	男子30歳以上	笠井 孝之 入江 久夫	白石 敏弘 藤田 秀和	河合 隆充 為永 明彦	鈴木 哲男 萩原 芳幸	大森 誠一	原 利浩	渡辺 勝浩	星野 裕則
		男子40歳以上	織田 利夫 斉藤 茂夫	岡室 利彦 小沼 典行	山田 博幸 原 正一	斉藤 実 中村 正樹	山田 博幸	人見 佳克	大島 清	原 正一
		男子50歳以上	沢畑 克人 井口 保	半上野秀樹 富橋 末治	岩本 秀雄 佐々木 敏		沢畑 克人	小林 栄二	富橋 末治	
		女子30歳以上	福田 芳子 福田 典子	吉沢由紀子 坂本 邦江	村瀬千佐子 坂本 訓代	保園 光子 堀江 圭子				
		女子40歳以上	木村理恵子 小桧山理恵子	増川 美子 岩本 悦子	有野美樹子 高山 道子					
平成12年度	4回	男子30歳以上	白石 敏弘 藤田 秀和	小堀 雅之 田中 匡	宮越 通康 今野 直人	鈴木 哲男 萩原 芳幸	大森 誠一	松本 誠	星野 裕則	
		男子40歳以上	朝妻 清 稲村 茂	山田 博幸 原 正一	岡室 利彦 小沼 典行	石塚 正男 島田 正志	岡室 利彦	原 正一	山田 博幸	
		男子50歳以上	脇屋 重夫 千木楽 孝	井口 保 沢畑 克人	富橋 末治 松田大吉郎	古場 一生 佐藤 力男	湯沢 雄一	井口 保	松田大吉郎	
		男子55歳以上					富橋 末治	沢畑 克人	高嶋 政男	
		女子30歳以上	木村理恵子 福田 信子	保園 光子 堀江 圭子	笠井美知恵 加藤ゆみこ					
平成13年度	5回	男子30歳以上	白石 敏弘 藤田 秀和	芝田 英男 青砥 博英	鈴木 哲男 荻原 芳幸	松本 誠 黒須 昌芳	大森 誠一	大八木 正	松本 誠	海老原正美
		男子40歳以上	池田 勝浩 和久 光男	朝妻 清 稲村 茂	織田 利夫 斎藤 茂夫	岡室 利彦 小沼 典行	笠井 孝之	渡辺 勝浩	佐藤 武男	
		男子50歳以上	湯沢 雄一 西村 幹夫	沢畑 克人 井口 保	岩本 秀夫 田中 英男	脇屋 重夫 千木楽 孝	沢畑 克人	古場 一生	湯沢 雄一	
		男子55歳以上	佐藤 力男 米須 清一	富橋 末治 神林 忠一	石川 嘉昭 新屋敷淳一		富橋 末治	小林 栄二	米須 清一	
		女子30歳以上	笠井美知恵 天川恵美子	福田 典子 堀江 圭子	鈴木 由美 保園 光子	篠崎 悦子 藤村 明子				
		女子40歳以上	木村理恵子 福田 典子	福田 信子 押久保圭子	清本 訓代 岡田 伸子	村瀬千佐美 岡室さと子				

注　H13年度は、全日本シニアバドミントン選手権大会予選会兼栃木県シニアバドミントン選手権大会として実施

栃木県社会人バドミントンリーグ

年度			昭和61年度		昭和62年度		昭和63年度	平成元年度	
回数			1	2	3	4	5	6	7
場所					県体	日産上三川勤体	河内町	河内町	日産上三川勤体
クラス別順位	A	1	栃木県庁A	栃木県庁A	教員クラブ	教員クラブ	教員クラブ	日産A	松下電器A
		2	教員クラブ	日産A	栃木県庁A	日産A	日産A	栃木県庁A	日産A
		3	日産A	松下事務A	河内クラブA	栃木県庁A	栃木県庁A	松下電器A	栃木県庁A
		4	松下事務A	教員クラブ	栃木クラブA	松下事務A	栃木クラブA		富士通A
	B	1	人見クラブ	河内クラブA	河内クラブB	勇志クラブA	松下電器	日産B	河内クラブ
		2	河内クラブA	栃木クラブ	勇志クラブA	日産B	河内クラブA	栃木県庁B	栃木県庁B
		3	富士重工A	人見クラブ	宇市役所	河内クラブB	日産B	翼クラブ	日産B
		4	日産B	日産B	人見クラブA	人見クラブA	優勝堂	河内クラブ	翼クラブ
	C	1	宇市役所	小松A	小松	小松	翼クラブ	富士重工A	フクロウA
		2	鹿沼クラブA	宇市役所	マイルドA	栃木クラブA	富士重工A	宇市役所	本田技研
		3	野崎クラブ	野崎クラブ	鹿沼クラブA	宇市役所	宇市役所	USBC－A	富士重工A
		4	小松A	鹿沼クラブA	フクロウA	松下事務B	人見クラブ	マイルド	宇市役所
	D	1	松下事務B	松下事務B	県庁B	鹿沼クラブ	マイルド	フクロウA	益子クラブ
		2	富士重工B	栃木県庁B	マイルドB	日産C	県庁B	本田技研	USBC－A
		3	小松B	小松B	富士重工	栃木県庁B	フクロウA	シャープA	鹿沼クラブA
		4	県庁B	富士重工B	フクロウB	マイルドA	キリンビール	キリンビール	フクロウB
	E	1	鹿沼クラブB	ツバサ	勇志クラブB	フクロウA	本田技研	富士通小山	松原ホーム
		2	河内クラブB	河内クラブB	栃木クラブB	栃木クラブB	USBC－A	愛好会A	富士重工B
		3	小松C	鹿沼クラブB	人見クラブB	マイルドB	愛好会	USBC－B	富士通B
		4	県庁C	県庁C	フクロウC	USBC－A	富士重工B	大昌電子	鹿沼クラブB
		5						富士重工B	
	F	1				富士重工	河内クラブB	松下電器B	シャープ
		2				益子クラブ	富士通小山	愛好会B	USBC－B
		3				富士通	USBC－B	フクロウB	松下電器B
		4				フクロウB	フクロウB	シャープB	フクロウC
		5						USBC－C	
	G	1				人見クラブB			
		2				USBC－B			
		3				栃木クラブC			
		4				フクロウC			

年度			平成2年度		平成3年度	平成4年度		平成5年度	
回数			8	9	10	11	12	13	14
場所			河内町	河内町	河内町	河内町 日産	河内町	日産 上三川勤体	日産 上三川勤体
クラス別順位	A	1	日産A	日産A	日産A	松下電器A	松下電器A	栃の葉クラブ	日産A
		2	松下電器A	栃木県庁	栃木県庁A	栃木県庁A	教員クラブ	松下電器A	栃の葉クラブ
		3	栃木県庁A	松下電器	松下電器A	日産A	日産A	栃木県庁A	松下電器
		4	富士通	富士通	富士重工A		栃木県庁A	日産A	河内クラブA
	B	1	日産B	富士重工	ARC－A	河内クラブA	富士重工A	河内クラブと	日産B
		2	河内クラブ	河内クラブA	河内クラブA	日産B	河内クラブA	日産B	富士重工A
		3	USBC－A	ARC－A	松下電器B	松下電器B	グリップ	松下電器B	フクロウA
		4	翼クラブ	USBC－A	日産B	ARC－A	益子町クラブA	富士重工A	勇志クラブ
	C	1	富士重工	鹿沼クラブA	フクロウA	グリップ	Ⅰ-1日産Bと	フクロウ	ARC－A
		2	マイルド	益子クラブ	翼クラブ	富士重工A	USBC-A	翼クラブA	USBC
		3	鹿沼クラブ	本田技研	鹿沼クラブ	翼クラブ	Ⅰ-3ARC-A	チャンピオンA	コマツオヤマク
		4	本田技研	宇市役所	河内クラブB	栃木クラブ	Ⅱ-1フクロウA	宇市役所	
		5			USBC－A		Ⅱ-2宇市役所		
		6					Ⅱ-3益子B		
	D	1	ARC－A	フクロウA	益子町クラブ	日産C	Ⅰ-1DNT-A	USBC	河内クラブB
		2	益子町クラブ	鹿沼クラブB	ARC－B	USBC-A	Ⅰ-2松下B	益子町クラブ	DNT－A
		3	松下電器B	河内クラブB	DNT那須	チャンピオンA	Ⅰ-3ARC-B	松下電器C	フクロウB
		4	USBC－B	USBC－B	本田技研	マイルドB	Ⅱ-1清原クラブ	トライ松原A	ARC－B
		5					Ⅱ-2シャープ		
		6					Ⅱ-3ARC-C		
	E	1	大昌電子	シャープ	USBC－B	チャンピオンB	Ⅰ-1松下C	大昌電子A	本田技研
		2	大日本塗料	DNT那須	ARC－C	ARC－B	Ⅰ-2DNT-B	DNT－A	鹿沼クラブ
		3	シャープ	ARC－B	大昌電子	松下電器C	Ⅰ-3本田技研	栃木県庁B	高根沢A
		4	フクロウ	大昌電子	富士重工B	本田技研	Ⅱ-1USBC-B		ARC－C
		5			松下電器C		Ⅱ-2河内B		DNT－B
							Ⅱ-3フクロウB		
	F	1	ARC－B	USBC－C	キリンビール	DNT－A	ARC－D	チャンピオンB	
		2	USBC－C	フクロウB	USBC－C	河内クラブ	栃木県庁B	本田技研	
		3	松下電器C	キリンビール	フクロウB	USBC－B	DNT－Cと	翼クラブA	
		4	松原ホーム	ARC－C	ARC－D	翼クラブB	トライ松原		
		5			栃木県庁B		富士重工B		
	G	1				松下電器D		高根沢A	
		2				ARC－C		マイルド	
		3				栃木県庁B		松下電器D	
		4				チャンピオンC			
	H	1				マイルドB		シャープ	
		2				トライ松原		TEPCO	
		3				DNT－B		DNT－B	
		4				富士重工B			
	I	1						チャンピオンC	
		2						翼クラブC	
		3						トライ松原B	
	J	1						DNT C	
		2						富士重工B	
		3						高根沢B	

年度			平成6年度		平成7年度	平成8年度
回数			15	16	18	20
場所			日産 上三川勤体	日産	河内町 日産	日産 上三川勤体
クラス別順位	A	1	日産A	日産	河内町	富士重工
		2	松下電器A	栃木県庁	富士重工A	日産自動車
		3	栃木県庁Aと	KBC－A	栃木県庁A	松下電器
		4	富士重工A	富士重工	日産A	県庁A
		5	教員・グリップ	松下電器		
	B	1	河内クラブA	チャンピオン	バスターズB	フクロウ
		2	日産B	大日本塗料A	グリップ	バスターズA
		3	フクロウA	宇市役所	栃木県庁B	県庁B
		4	ARC－A	大昌電子	富士重工B	鹿沼クラブA
	C	1	鹿沼クラブA	KBC－B	バスターズA	USBC
		2	河内クラブB	清原クラブ	シャトル21	KBC
		3	栃木県庁B	T-BAK'S	三菱自動車	東京電力
		4	松下電器B	大日本塗料B		バスターズB
	D	1	SBC－A			MBC－A
		2	トライ松原			三菱自動車
		3	ARC－B			USEC
		4	フクロウB			清原クラブ
	E	1	翼クラブ			DNT－A
		2	鹿沼クラブB			雀羽朋クラブ
		3	高根沢A			T-BAK'S
		4	大日本塗料			鹿沼クラブ-B
	F	1	清原クラブ			MBC－B
		2	東京電力			GKC
		3	高根沢B			DNT－B
		4	SBC－B			雀羽朋クラブ-B

第17回・19回については記録不明

栃木県社会人バドミントンリーグ

（ランキング制後）

年度		平成9年度		平成10年度		平成11年度	
回数		21	22	23	24	25	26
場所		河内町トレセン	県体宇都宮勤労者	トレセン鹿沼	河内町鹿沼	県体鹿沼	県体トレセン
男子ランキング	1	松下電器	日産	バスターズB	バスターズB	日産	富士重工A
	2	日産	松下電器	富士重工	松下電器	バスターズB	日産
	3	富士重工	バスターズB	松下電器	KBC	富士重工A	今市クラブ
	4	バスターズB	富士重工	KBC－A	日産	今市クラブ	本田技研
	5	栃木県庁A	栃木県庁A	日産	富士重工	松下電器	松下電器
	6	バスターズA	栃木県庁B	バスターズA	バスターズA	本田技研	バスターズB
	7	KBC－A	バスターズA	栃木県庁B	栃木県庁A	バスターズA	栃木県庁A
	8	栃木県庁B	KBC－A	栃木県庁A	本田技研	栃木県庁A	チャンピオンA
	9	本田技研	USBC	本田技研	栃木県庁B	MBC－A	USEC－A
	10	USBC	USEC－A	USEC－A	MBC－A	チャンピオンA	MBC－A
	11	宇市役所	本田技研	USBC	USBC	USBC	バスターズA
	12	USEC－A	フクロウA	MBC－A	チャンピオンA	栃木県庁B	栃木県庁B
	13	MBC－A	宇市役所	フクロウA	USEC－A	USEC－A	KBC
	14	三菱自動車	MBC－A	チャンピオンA	宇市役所	KBC	三菱自動車A
	15	鹿沼クラブA	鹿沼クラブA	鹿沼クラブA	三菱自動車	グリップ	グリップ
	16	フクロウA	三菱自動車	宇市役所	城東クラブA	富士重工B	USBC
	17	MBC－B	フクロウB	三菱自動車	チャンピオンB	三菱自動車A	チャンピオンB
	18	KBC－B	MBC－B	城東クラブA	フクロウA	フクロウ	富士重工B
	19	東京電力	GKC	GKC	鹿沼クラブA	宇市役所	MBC－B
	20	フクロウB	城東クラブA	MBC－B	GKC	チャンピオンB	宇市役所
	21		東京電力	チャンピオンB	USEC－B	チャンピオンA	フクロウ
	22		城東クラブB	フクロウB	SGC	GKC	城東クラブA
	23		鹿沼クラブB	USEC－B	鹿沼クラブB	鹿沼クラブA	SGC
	24		USEC－B	鹿沼クラブB	MBC－B	SGC	雀羽朋クラブ
	25			城東クラブB	鹿沼クラブC	MBC－B	USEC－B
	26			鹿沼クラブC	城東クラブB	USEC－B	GKC
	27			東京電力	チャンピオンC	鹿沼クラブC	鹿沼クラブA
	28			チャンピオンC	雀羽朋クラブ	鹿沼クラブB	鹿沼クラブC
	29			SGC		チャンピオンC	城東クラブB
	30			雀羽朋クラブ		雀羽朋クラブ	鹿沼クラブB
	31					三菱自動車B	チャンピオンC
	32					城東クラブB	三菱自動車B
女子クラス別順位 A	1	河内クラブ	バスターズ	バスターズ	KBC	バスターズ	栃の葉レディA
	2	混成チーム	KBC	KBC－A	バスターズ	チャンピオンA	チャンピオン
	3	バスターズ		MBC・県庁	チャンピオン		県体エースA
	4	栃の葉レディース					
B	1	MBC－B	USEC	チャンピオン	USBC	MBC	栃の葉レディB
	2	MBC－A	鹿沼クラブ	鹿沼クラブ	県体エース	チャンピオンC	MBC
	3	USEC－A	MBC	USEC	栃の葉レディース	チャンピオンB	県体エースB
	1	USEC－B		GKC	鹿沼クラブ		
				鹿沼クラブ			

（ランキング制後）

年度			平成12年度		平成13年度
回数			27	28	29
場所			県体トレセン	県体トレセン	清原トレセン
男子ランキング		1	富士重工A	富士重工A	日産自動車
		2	今市クラブ	本田技研	本田技研
		3	本田技研	今市クラブ	富士重工A
		4	チャンピオンA	日産自動車	バスターズ
		5	松下電器	チャンピオンA	今市クラブ
		6	日産自動車	バスターズ	USEC－A
		7	バスターズ	栃木県庁A	チャンピオンA
		8	栃木県庁A	USEC－A	栃木県庁B
		9	MBC－A	MBC－A	栃木県庁A
		10	USEC－A	松下電器	MBC－A
		11	栃木県庁B	栃木県庁B	グリップ
		12	三菱自動車A	三菱自動車A	江田製作所
		13	USBC	グリップ	三菱自動車A
		14	KBC	KBC	松下・KBC
		15	ワイオミング	USBC	ワイオミング
		16	グリップ	江田製作所	SGC
		17	MBC－B	ワイオミング	雀羽朋クラブ
		18	江田製作所	SGC	MBC－B
		19	富士重工B	MBC－B	チャンピオンB
		20	チャンピオンB	チャンピオンB	宇市役所
		21	城東クラブA	城東クラブA	フクロウA
		22	宇市役所	雀羽朋クラブ	鹿沼クラブB
		23	SGC	宇市役所	城東クラブA
		24	雀羽朋クラブ	富士重工B	城東クラブB
		25	YYC	鹿沼クラブB	USEC－B
		26	フクロウ	YYC	チャンピオンC
		27	鹿沼クラブB	USEC－B	YYC
		28	城東クラブB	城東クラブB	鹿沼クラブA
		29	USEC－B	フクロウ	県庁－C
		30	鹿沼クラブA	鹿沼クラブA	フクロウB
		31	県庁－C	県庁－C	
		32			
女子クラス別順位	A	1	KBC	バスターズ	バスターズ
		2	USBC	MBC	江田製作所
		3	バスターズ	チャンピオン	チャンピオン
		4	チャンピオンA		
	B	1	MBC	江田製作所	KBC
		2	YYC	YYC	MBC
		3	県庁	USEC	USEC
		1	チャンピオンB		
			USEC		

全日本社会人バドミントン選手権大会派遣結果

（ベスト32以上のみ）

年度	回	場所	種目	結果	選手名
57	25	群馬県	男子S	ベスト32	工藤吉彦
			女子S	ベスト32	大嶌和代
			女子D	ベスト16	上野・海賀
			混合D	ベスト8	工藤・大嶌
			混合D	ベスト16	人見・山沢
			男子30以上D	ベスト16	古沢・近
			男子30以上D	ベスト16	三上・田中
			男子30以上S	ベスト8	三上隆康
			男子30以上S	ベスト16	近則夫
58	26	奈良県	女子D	ベスト32	荒川・植竹
			男子30以上D	ベスト16	古沢・近
59	27	鳥取県	女子S	ベスト32	小貫早苗
60	28	山梨県	女子S	ベスト32	小貫早苗
			男子D	ベスト32	工藤・原
			男子D	ベスト16	大島・大堀
			女子D	ベスト32	小貫・須藤
61	29	沖縄県	男子S	ベスト16	大堀・円
			男子D	ベスト32	大島・大堀
62	30	京都府	混合D	ベスト16	大島・平間
63	31	北海道	男子D	ベスト16	大島・大森
			混合D	ベスト32	入江・黒須
			混合D	ベスト16	大島・平間
元	32	福岡県	混合D	ベスト32	入江・斉藤
			混合D	ベスト8	大島・平間
3	34	山形県	男子D	ベスト32	入江・笠井
6	37	福島県	男子D	ベスト32	斉藤・石橋（他県）
8	39	大阪府	男子D	ベスト32	鈴木・南木

全日本シニアバドミントン選手権大会派遣結果

年　度	回数	場　所	区　分	ダブルス	シングルス
昭和59年度	1回	埼玉県上尾市	男子30歳以上	三上、田中(ベスト8) 斉藤、橋本(一回戦) 湯沢、吉沢(二回戦)	湯沢雄一(二回戦) 田中　勇(一回戦) 橋本初男(一回戦) 三上隆康(一回戦) 斉藤幸夫(一回戦) 古沢元浩(二回戦)
			男子40才以上	桜井、小館(一回戦)	桜井　貢(一回戦)
昭和60年度	2回	埼玉県上尾市	男子30歳以上	羽石、高野(一回戦) 湯沢、餐庭(一回戦) 和田、室元(一回戦) 斉藤、橋本(二回戦) 吉沢、湯沢(二回戦) 三上、田中(二回戦)	斉藤(一回戦) 吉沢(二回戦) 室元(二回戦) 三上(二回戦) 餐庭(二回戦) 和田(三回戦) 湯沢(三回戦) 橋本(三回戦) 田中(三回戦) 鈴木(三回戦)
			男子40才以上	桜井、小館(一回戦)	
			女子30歳以上	安堂、三富(ベスト4)	
昭和61年度	3回	愛媛県松山市	女子50歳以上	鈴木、　原　(一回戦)	
昭和62年度	4回	東京都立川市	男子30歳以上	鈴木、吉沢(三回戦)	鈴木(三回戦:ベスト16)
			女子40才以上	石川、渡辺(東京)(ベスト4)	
昭和63年度	5回	香川県坂出市	男子30歳以上	和田、相良(一回戦) 鈴木、斉藤(一回戦)	相良定夫(二回戦) 斉藤幸夫(一回戦) 和田典行(一回戦) 鈴木　武(三回戦)
平成元年度	6回	愛知県大阪府	男子30歳以上	古沢、鈴木(二回戦) 鈴木、和田(二回戦) 橋本、斉藤(二回戦) 西村、佐藤(二回戦)	鈴木　　(一回戦) 斉藤幸夫(一回戦) 和田典行(一回戦) 古沢元浩(二回戦) 佐藤武男(二回戦) 橋本初男(二回戦) 鈴木　武(三回戦)
			男子40才以上		西村幹夫(三回戦)
平成2年度	7回	京都府長岡京市	男子30歳以上	湯沢、鈴木(三回戦:ベスト16)	鈴木　武(二回戦)
			男子40才以上		西村幹夫(一回戦) 湯沢雄一(三回戦:ベスト16)
平成3年度	8回	広島県広島市	－	－	－
平成4年度	9回	宮城県石巻市	男子30歳以上	原、高橋(四回戦:ベスト16)	和久(三回戦)
			男子40才以上		湯沢(三回戦) 古沢(ベスト8)
平成5年度	10回	東京都町田市	男子30歳以上	鈴木、高橋(一回戦) 岡室、相良(二回戦) 佐藤、為永(二回戦)	為永(一回戦) 高橋(一回戦) 岡室(二回戦) 相良(二回戦) 佐藤(二回戦) 大八木(ベスト16)
			男子40才以上	小林、半上野(一回戦)	湯沢(二回戦) 吉沢(二回戦)
			男子50歳以上		小林(二回戦)
平成6年度	11回	埼玉県上尾市	男子30歳以上	湯沢、鈴木(一回戦) 原、高橋(二回戦)	鈴木　武(一回戦) 高橋安則(二回戦) 原　利浩(三回戦)
			男子40才以上		湯沢雄一(二回戦) 古沢元浩(三回戦)
			女子30歳以上	福田、福田(三回戦)	
平成7年度	12回	大阪府大阪市	男子30歳以上		為永明彦(三回戦)
			男子40才以上	湯沢、鈴木(一回戦)	鈴木　武(一回戦)
			男子50歳以上	半上野、桜井(二回戦)	
			男子60歳以上		吉村　弘(ベスト4)
平成8年度	13回	愛媛県松山市	男子60歳以上		吉村　弘(ベスト8)
平成9年度	14回	福岡県福岡市	男子40才以上		相場初男(一回戦) 原　正一(三回戦)
			男子60歳以上	吉村、上野(東京)(一回戦)	吉村　弘(一回戦)
平成10年度	15回	石川県金沢市	男子30歳以上	朝妻、鈴木(一回戦) 鈴木、具志堅(二回戦)	
			男子60歳以上	吉村、上野(東京)(二回戦)	吉村　弘(二回戦:ベスト8
			女子30歳以上	早川、坂本(二回戦)	

年　度	回数	場　所	区　分	ダブルス	シングルス
平成11年度	16回	福島県福島市	男子30歳以上	鈴木、萩原(一回戦) 鈴木、具志堅(一回戦) 白石、藤田(二回戦) 為永、河合(三回戦) 小堀、青砥(三回戦)	為永明彦(二回戦)
			男子40歳以上	青木、古場(一回戦) 岡室、小沼(二回戦) 原、　山田(二回戦)	原　正一(二回戦) 岡室利彦(二回戦) 山田博幸(三回戦)
			男子50歳以上	沢畑、米須(二回戦) 佐々木、松田(二回戦)	米須清一(一回戦) 沢畑克人(一回戦) 松田大吉郎(一回戦)
			男子60歳以上	吉村、上田(東京)(一回戦)	吉村　弘(二回戦)
			女子30歳以上	福田、福田(一回戦) 早川、坂本(二回戦)	
平成12年度	17回	徳島県徳島市、鳴門市、松茂町	男子30歳以上	稲村、鈴木(一回戦) 江連、江連(棄権) 宮越、今野(二回戦)	具志堅義幸(二回戦)
			男子40歳以上	原、　山田(一回戦)	山田博幸(一回戦) 原　正一(一回戦)
			男子50歳以上		湯沢雄一(一回戦)
			男子65歳以上	上田、吉村(二回戦、第三位)	吉村　弘(二回戦、第三位)
平成13年度	18回	神奈川県小田原市、南足柄市、大井町	男子30歳以上	大八木、海老原(一回戦) 芝田、青砥(一回戦) 白石、藤田(二回戦) 松本、小畑(二回戦)	芝田英世(一回戦) 海老原正美(一回戦) 青砥博英(一回戦) 大八木正(一回戦) 白石敏弘(一回戦)
			男子40歳以上	笠井、和久(一回戦) 岡室、小沼(棄権) 渡辺、稲村(一回戦)	和久光男(二回戦) 笠井孝之(六回戦、第三位)
			男子50歳以上	湯沢、西村(一回戦) 沢畑、井口(一回戦)	西村幹夫(一回戦) 沢畑克人(一回戦) 井口　保(一回戦) 古場一生(一回戦) 湯沢雄一(一回戦)
			男子65歳以上	吉村、上田(二回戦、第三位)	吉村　弘(二回戦、ベスト8)
			女子40歳以上	押久保、福田(二回戦)	
			混合40歳以上	岡室、岡室(二回戦)	

一部記録不明のため未掲載記録あり

関東シニアバドミントン選手権大会派遣結果

年　度	回数	場　　所	区　　分	ダブルス	シングルス
昭和60年度	1回	群馬県伊勢崎市	男子30歳以上	湯沢、和田(一回戦) 古沢、鈴木(一回戦) 斉藤、橋本(二回戦:ベスト16)	和田典行(一回戦) 斉藤幸夫(二回戦) 鈴木　武(三回戦:ベスト16) 湯沢雄一(三回戦:ベスト16) 古沢元浩(四回戦:ベスト8)
平成5年度	9回	栃木県宇都宮市	男子30歳以上	笠井、大八木（準優勝）	
			女子30歳以上	福田、大曽根(ベスト4)	
平成6年度	10回	山梨県甲府市	男子30歳以上	鈴木、高橋(二回戦) 相良、為永(二回戦)	相良定夫(二回戦) 高橋安則(三回戦) 為永明彦(ベスト8)
			男子40歳以上		湯沢雄一(三回戦) 古沢元浩(ベスト8)
			男子50歳以上	半上野、桜井(二回戦)	
			女子30歳以上	福田、福田(二回戦)	
平成7年度	11回	埼玉県越谷市	男子30歳以上	佐藤、相良(一回戦) 岡室、鈴木(一回戦) 為永、河合(ベスト8)	
			男子40歳以上	小沼、織田(二回戦)	
			女子30歳以上	福田、福田(三回戦)	
平成9年度	13回	茨城県鹿島市	男子30歳以上	野沢、田崎(二回戦) 高野、　岡（二回戦） 星野、野呂(二回戦) 朝妻、鈴木(三回戦) 河合、為永(三回戦)	為永明彦(一回戦)
			男子40歳以上	小沼、岡室(二回戦) 織田、佐藤(三回戦:ベスト16) 相良、斉藤(ベスト8)	岡室利彦(三回戦:ベスト16) 佐藤武男(ベスト4)
			男子50歳以上		吉村　弘(一回戦) 高嶋政男(一回戦)
平成11年度	15回	千葉県千葉市	男子30歳以上	河合、為永(三回戦) 鈴木、萩原(一回戦)	為永明彦(二回戦)
			男子40歳以上	原　、山田(一回戦) 岡室、斉藤(二回戦)	山田博幸(一回戦) 岡室利彦(二回戦) 原　正一(三回戦:ベスト16)
			男子50歳以上	広田、佐々木(一回戦) 半上野、富橋(一回戦) 沢畑、米須(二回戦:ベスト16)	米須清一(一回戦) 沢畑克人(二回戦)
			男子60歳以上	吉村、上田(東京) (三回戦:ベスト4)	
			女子30歳以上	小川、早川(一回戦) 清本、朝妻(一回戦) 福田、福田(二回戦) 坂本、増田(二回戦)	
平成12年度	16回	町田市	男子30歳以上	芝田、小堀（一回戦） 白石、藤田（一回戦）	為永明彦（　回戦）
			男子50歳以上	沢畑、井口（　回戦） 佐々木、古場（　回戦）	湯沢雄　（　回戦） 井口　保（　回戦） 沢畑克人（二回戦）
			男子60歳以上	上田（東京）・吉村（二回戦）	

年　度	回数	場　所	区　分	ダブルス	シングルス
平成13年度	17回	栃木県宇都宮市	男子30歳以上	松本・長野(二回戦) 江連・江連(東京)(二回戦) 河合・為永(二回戦) 鈴木・萩原(二回戦) 芝田・青砥(二回戦) 琴寄・松沼(二回戦) 田崎・小菅(三回戦) 星野・鈴木(三回戦) 松本・田中(三回戦) 藤井(埼玉)・宮越(三回戦) 白石・藤田(四回戦) 大八木・入江(六回戦:ベスト4)	小島秀雄(一回戦) 柏木　剛(一回戦) 星野裕則(一回戦) 大八木正(二回戦) 海老原正美(四回戦:ベスト8) 荻原清孝(四回戦:ベスト８) 大森誠一(四回戦:ベスト８) 松本　誠(五回戦:ベスト４)
			男子40歳以上	稲村・吉川(一回戦) 原・山田(二回戦) 渡辺・篠崎(三回戦:ベスト16) 岡室・小沼(三回戦:ベスト16) 池田・和久(四回戦:ベスト18) 笠井・原(五回戦:ベスト４)	為永明彦(一回戦) 渡辺勝浩(二回戦) 和久光男(二回戦) 山田博幸(二回戦) 原　正一(三回戦:ベスト８) 佐藤武男(三回戦:ベスト８) 笠井孝之(三回戦:ベスト８)
			男子50歳以上	古場・山越(一回戦) 脇家・千金楽(一回戦) 沢畑・井口(一回戦)	小林栄二(一回戦) 湯沢雄一(一回戦) 井口　保(二回戦) 沢畑克人(二回戦) 古場一生(二回戦)
			男子55歳以上	半上野、小林（一回戦）	
			男子60歳以上	吉村、上田(東京)(二回戦) 神林・伊藤(埼玉) (三回戦:ベスト16)	
			女子30歳以上	鈴木・鶴見(一回戦) 篠崎・藤村(一回戦) 加藤・入江(一回戦) 川久保・保園(一回戦) 石川・長原(二回戦) 羽鳥・笠井(二回戦) 大島・入江(二回戦) 堀江・鈴木(二回戦) 福田・福田(三回戦:ベスト16) 大塚・天川(五回戦:ベスト4)	大島真由美（二回戦）
			女子40歳以上	岡田・岡室(二回戦) 押久保・木村(三回戦:ベスト16)	
			女子50歳以上	鈴木・吉口(三回戦:ベスト8)	

昭和61年～平成４年及び８年、10年については記録不明

栃木新聞社杯県家庭婦人バドミントン大会

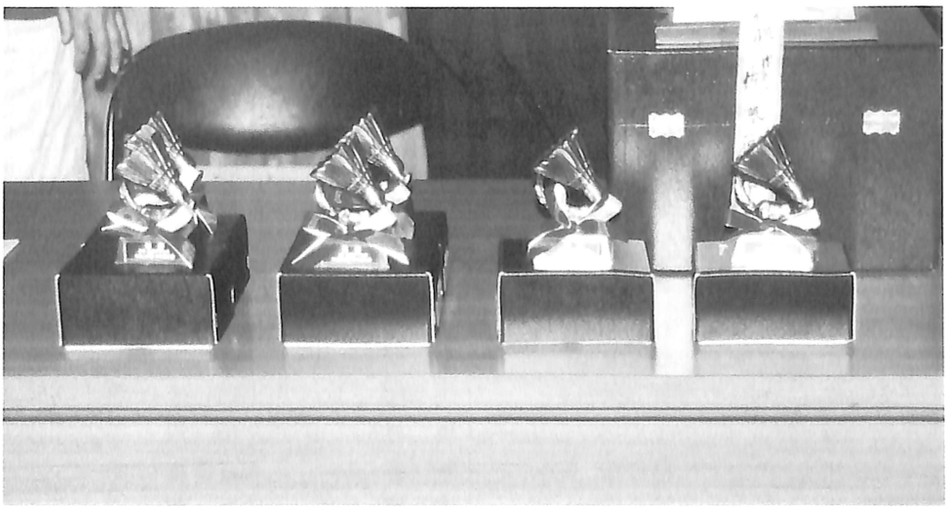
回数、期日、会場	順位＼ランク	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	シニアクラス
第1回	優勝	安藤 三富 MMC	上野 星野 カトレア	木下 山下 ミディ	福田 峰 大谷台	石川 大西 県体エース
S61.12.5	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	鈴木 浅倉 おやま	奥原 実川 ふたば	豊田 五十嵐 あひる	轟木 粂 県体エース、ふたば
宇都宮市	第3位	斎藤 福田 県体エース	池内 増山 トレセン	萩原 星野 足利プーナ	河内 毛塚 スマッシュ河内	松浦 高柳 小山チェリーズ、陽東
体育館	第3位	三沢 藤倉 ヘアピン、小山チェリーズ	稲葉 谷口 トレセン	戸祭 栢野 あひる	柿沼 湯沢 シャトルエース	
第2回	優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	谷口 平野 トレセン	癸生川 飯塚 トレセン	福田 森 あじさい	千野根 高柳 陽東、県体エース
S62.9.20	準優勝	斎藤 福田 県体エース	成瀬 田北 足利シャトルエース	増川 富山 県体エース	川上 阿部 シャトルエース	轟木 小丸 県体エース
宇都宮市	第3位	涌井 村田 栃の葉レディース	高木 内木 トレセン	菅原 菊地 カトレア	栗酢 柳岡 カトレア	粂 山口 ふたば
体育館	第3位	松井 内藤 大谷台	稲葉 池内 トレセン	釜井 大橋 晃宝	小川 湯沢 シャトルエース	
第3回	優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	高木 杉本 トレセン	川堀 藤田 鹿沼コスモス	今福 水沼 フレッシュシャトル	小丸 高柳 県体エース
S63.12.7	準優勝	涌井 村田 栃の葉レディース	上野 工藤 足利シャトルエース	秋葉 浅岡 県体エース	星野 川岸 足利シャトルエース	千場 大野 あすなろ
宇都宮市	第3位	福田 斎藤 県体エース	小田 田北 足利シャトルエース	樋山 須藤 ピカソ	長滝 菅谷 ウイングエース	羽石 依川 ファイター
体育館	第3位	青木 大沼 小山チェリーズ	小菅 菊地 ファイター	平野 永堀 あすなろ	森田 山形 ミディ	
第4回	優勝	押久保 福田 MMC	高橋 河西 県体エース	関口 小林 栃木レディース	島田 小林 足利シャトルエース	轟木 柳田 県体エース、シャトル
H元.11.29	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	癸生川 飯塚 トレセン	山口 薄葉 りんどう	村井 平川 小山チェリーズ	坂入 大野 トレセン、あすなろ
宇都宮市	第3位	吉口 福田 県体エース	久保田 稲葉 トレセン	小林 川岸 足利シャトルエース	菅原 酒井 小山チェリーズ	高柳 篠原 県体エース
体育館	第3位	鈴木 川久保 佐野バド	奥村 吉野 ファイター	肥後 吉高神 あじさい	大沢 大塚 ウイングエース	
第5回	優勝	鈴木 涌井 栃の葉レディース	柏崎 平島 あすなろ	阿久津 石塚 ファイター	福田 福井 フレッシュシャトル	小丸 大垣 県体エース、トレセン
H2.11.22	準優勝	桜井 大曽根 MMC	横山 柳田 あひる	田村 小林 栃の葉レディース、陽東	藤原 中迫 足利シャトルエース	高柳 轟木 県体エース
	第3位	吉口 福田 県体エース	浅倉 上村 小山チェリーズ	国井 篠原 県体エース	鈴木 大出 県体エース、鹿沼コスモス	柳田 中村 シャトル
	第3位	岩本 高橋 県体エース	磯 大関 小山チェリーズ	郡司 金子 トレセン	斎藤 比内 フレッシュシャトル	
第6回	優勝		浅倉 上村 小山チェリーズ			
H3						
記録不明						

回数、期日、会場	順位＼ランク	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	シニアクラス
第7回 中止	後援者の都合により開催中止 3年間のブランクの後、連盟独自の大会として「会長杯」と冠をつけて開催した。					
第1回会長杯 H7.5.11 宇都宮市 体育館	優勝	三富 押久保 MMC	小林 八木 足利シャトル	山田 渡辺 リリーズ	東 清本 マロン	小松 石川 栃の葉レディース
	準優勝	鈴木 涌井 栃の葉レディース	飯野 橋本 栃の葉レディース	宮窪 篠崎 栃の葉レディース	栗原 大竹 栃の葉レディース	高橋 高柳 県体エース
	第3位	福田(信) 青木 栃の葉レディース	柏崎 川堀 鹿沼コスモス	阿久津 玉川 あじさい	富田 渡部 ミディ	大垣 大塚 トレセン
	第3位	木村 平野 栃の葉レディース	岩井 関根 ふたば	平野 杉浦 栃の葉レディース	小池 福田 ピカソ	林 多田 鹿沼コスモス、県体エース
第2回 H8.5.15 宇都宮市 体育館	優勝	鈴木 福田(芳) 栃の葉レディース	河野 高橋 栃の葉レディース	渡辺 押久保 ピカソ	小島 野口 鹿沼コスモス	大垣 小島 トレセン
	準優勝	石川 福田(信) 栃の葉レディース	関根 金子 ふたば	福井 吉沢 スマッシュ河内	菊地 松沢 桜花	上野 平松 カトレア
	第3位	木村 平野 栃の葉レディース	関 桧山 あじさい	川田 後藤 あひる	塚田 吉永 ふたば	星 小島 ふたば
	第3位	高橋 増川 県体エース	小池 桧山 あじさい	有働 井水 ペパーミント	松平 萩原 さつきシャトル	
第3回 H9.5.15 宇都宮市 体育館	優勝	福田(信) 木村 栃の葉レディース	仲根 福井 ウィングス	石川 松沢 陽東	大貫 野中 鹿沼コスモス	福田 吉川 県体エース
	準優勝	石川 福田(信) 栃の葉レディース	滝 小桧山 ふたば	須田 佐藤 県体エース	村山 飯泉 ペパーミント	大垣 星野 カトレア
	第3位	飯田 堀江 MMC	川井 中村 ミディ	大谷 金敷 さつきシャトル	車谷 鈴木 カトレア	足立 小川 小山チェリーズ
	第3位	岩本 増川 県体エース	釜井 雨宮 フリー	伊東 久保 マロン	株本 大塚 トレセン	
第4回 H10.5.15 宇都宮市 体育館	優勝	鈴木 涌井 栃の葉レディース	小池 戸田 ピカソ	長原 前原 陽東	片柳 宮崎 小山アルバトロス	野沢 木村 足利シャトルエース
	準優勝	石川 福田(信) 栃の葉レディース	石塚 中原 県体エース	馬場 丸山 県体エース	後藤 鍛治 マロン	菊地 小菅 ファイター
	第3位	飯田 堀江 MMC	小池 関 あじさい	増田 宇賀神 明保野	藤田 池沢 県体エース	普津沢 柳田 シャトル
	第3位	岩本 木下 県体エース	三品 肥後 あじさい	磯貝 柳田 あひる	市村 玉田 明保野	
第5回 H11.4.22 宇都宮市 体育館	優勝	三富 [illegible]宮 MMC	村瀬 朝妻 フリー	染谷 桜井 きりん	菊地 坂本 ペパーミント	大関 浜田 小山チェリーズ
	準優勝	堀江 飯田 MMC	大内 中村 ミディ	大東 鈴木 カトレア	鉞 河内 ペパーミント	福田 吉川 県体エース
	第3位	福田(芳) 福田(典) 栃の葉レディース	荒井 柴田 県体エース	片柳 宮崎 小山アルバトロス	軽部 渡辺 明保野	杉本 山下 ミディ
	第3位	福田(信) 木村 栃の葉レディース	増田 宇賀神 明保野	吉田 佐々木 ペパーミント	清水 松崎 桜花	

回数、期日、会場	順位＼ランク	Ａ クラス	Ｂ クラス	Ｃ クラス	Ｄ クラス	シニアクラス
第６回	優　勝	福田(芳) 福田(典)　栃の葉レディース	阿　部 伊　藤　ペパーミント	大　島 宮　田　きりん	村　上 鈴　木　ペパーミント	
H12.5.11	準優勝	福田(信) 木　村　栃の葉レディース	鈴　木 増　田　明保野	松　本 文　山　小山チェリーズ	小　松 川　崎　ふたば	
宇都宮市	第３位	保　園 堀　江　ＭＭＣ	小　林 辻　ミディー	福　田 丸　山　ミディー	高　木 岡　崎　陽　東	
体育館	第３位	藤　村 篠　崎　あひる	荻　原 丸　山　さつきシャトル	松　崎 田　村　鹿沼コスモス	阿　部 神　長　ペパーミント	



県総合選手権大会　男子(左) 女子シングルスの本杯



県総合選手権大会のレプリカ
男女複優勝　４個　　単優勝　２個

下野新聞社杯県レディース大会

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	シニアクラス
第1回	優勝	鈴木 金子 ふたば	増渕 古口 ヘタッピーズ	柴田 内藤 大谷台	星野 菊地 カトレア	
S58.2.16	準優勝	荒井 吉口 県体エース	若林 柳田 シャトル	松井 山崎 大谷台	小野 荒井 県体エース	
小松製作所	第3位	轟木 松山 県体エース	三部 小丸 県体エース	鯉沼 早川 シャトル	多田 塚原 県体エース	
体育館	第3位	上野 福田 石井	太田 桧山 県体エース	山本 田中 小山バド	小林 山口 県体エース	
第2回	優勝	吉口 福田 県体エース	中尾 岩本 シャトル・あじさい	吉岡 鯉沼 桜	内塚 池内 ファミリーズ	
S58.12.7、14	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	星野 馬渕 カトレ県体エース	鈴木 塚原 県体エース	沼尾 内本 ヘタッピーズ	
県運動公園	第3位	藤沢 荒井 スローエース	柴田 大和 県体エース	小島 実川 ふたば	鈴木 中込 シャトル	
トレーニングセンター	第3位	轟木 松山 県体エース	館野 山口 ふたば	鈴木 渡辺 大谷台	小野崎 岩本 カトレア	
第3回	優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	熊野 玉田 大谷台	馬渕 岩本 カトレア	星野 安納 足利ファイターズ	
S59.11.15	準優勝	安藤 桜井 MMC	藤倉 福田 小山チェリーズ	飯田 谷村 足利ファイターズ	橋本 池淵 小山バド	
宇都宮市	第3位	足立 小川 小山チェリーズ	大垣 菅原 スローシャトル	吉野 羽石 ファイターズ	新谷 仲込 シャトルエース	
体育館	第3位	轟木 松山 県体エース	浅倉 鈴木 小山バド	松浦 松浦 小山チェリーズ	高野 加藤 あじさい	
第4回	優勝	安藤 三富 MMC	大塚 岩本 県体エース	黒須 神山 小山チェリーズ	栢野 戸祭 あひる	飯田 西角地 足利ファイターズ
S60.11.11	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	山崎 中川 大谷台	松浦 大沼 小山チェリーズ	癸生川 青木 トレセン	菅野 石田 ふたば
宇都宮市	第3位	荒井 斎藤 県体エース	鈴木 浅倉 おやま	小菅 菊地 ファイターズ	須藤 山城 コスモス	古井 谷田貝 スマッシュ河内
体育館	第3位	吉口 福田 県体エース	増山 平野 トレセン	小林 安部 小山チェリーズ	津布久 松島 小山チェリーズ	中村 松本 トレセン
第5回	優勝	安藤 押久保 MMC	大井 柴田 県体エース	野沢 成瀬 足利シャトルエース	釜井 大橋 晃宝	轟木 石川 県体エース
S61.11.12	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	池内 増山 トレセン	平石 羽倉 トレセン	熊倉 藤枝 コスモス	大西 手塚 県体エース
宇都宮市	第3位	桜井 涌井 MMC	小林 大沼 小山チェリーズ	池沢 青木 ヘアピン	田北 原 足利シャトルエース	粂 保田 ふたば
体育館	第3位	宗村 中川 大谷台	鈴木 浅倉 おやま	石塚 冨樫 あじさい	磯 保田 小山チェリーズ	
第6回	優勝	安藤 三富 MMC	青木 小林 小山チェリーズ	入江 奥村 ファイター	戸波 田辺 あじさい	大西 轟木 県体エース
S62.11.11	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	稲葉 池内 トレセン	新谷 大塚 シャトルエース	斎藤 高波 シャトル	手塚 高柳 県体エース
真岡市総合体育館	第3位	千野根 福田 陽東	内本 高木 トレセン	上野 藤枝 足利シャトルエース	石川 浅岡 県体エース	中村 池沢 シャトル・小山チェリーズ
	第3位	桜井 宮 MMC	大野 平島 あすなろ	赤羽根 筑井 クイーンズ	内海 荻原 県体エース	

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	シニアクラス
第7回	優勝	安藤 三富 MMC	木下 山下 ミディー	小松 大貫 栃の葉レディース	樋山 須藤 ピカソ	大西 小丸 県体エース
S63.11.9	準優勝	斎藤 福田 県体エース	癸生川 平塚 トレセン	中山 横山 あひる	小松 桧山 あじさい	大野 千葉 あすなろ
清原体育館	第3位	石川 鈴木 栃の葉レディース	稲葉 久保田 トレセン	和知 蜷沢 シャトルエース	藤田 川堀 鹿沼コスモス	高柳 手塚 県体エース
	第3位	藤倉 青木 小山チェリーズ	小菅 飯塚 ファイター	森 鈴木 あじさい	佐藤 本田 あじさい	
第8回	優勝	安藤 三富 MMC	榊原 福田 栃の葉レディース	柏崎 有野 石橋シャトラー	柏田 星 栃の葉レディース	高柳 轟木 県体エース
H元.10.19	準優勝	福田 藤平 MMC	浅倉 上村 小山チェリーズ	奈良田 田中 あひる	荒井 山下 鹿沼コスモス	小松 上野 栃の葉レディース・カトレア
宇都宮市	第3位	福田 荒井 県体エース	稲葉 久保田 トレセン	平野 岡田 栃の葉レディース	中村 加藤 シャトルエース	大塚 和知 シャトルエース
体育館	第3位	二宮 板口 MMC	依田 奥村 ファイター	内海 中島 県体エース	石坂 和田 ピカソ	
第9回	優勝	安藤 三富 MMC	森 福本 あじさい	内藤 小菅 大谷台	田代 小川 POP	大野 千葉 あすなろ
H2.10.17	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	平野 岡田 栃の葉レディース	興水 関谷 明保野	奥原 飯塚 鹿沼コスモス	高柳 上野 県体エース・カトレア
宇都宮市	第3位	涌井 村田 栃の葉レディース	須藤 石坂 ピカソ	水沼 遠藤 フレッシュシャトル	飯田 吉沢 POP	小松 坂入 栃の葉レディース・トレセン
体育館	第3位	福田 八木 県体エース	坪山 平島 あすなろ	知久 谷藤 小山チェリーズ	渡辺 木下 明保野	
第10回	優勝	二宮 福田 MMC				
H3	以下記録なし					
会場不明						
第11回	優勝	三富 押久保 MMC	大関 浜田 小山チェリーズ		木村 鈴木 ユセック	
H4	準優勝		須藤 保園 ピカソ			
	以下記録なし					
第12回	優勝	三富 押久保 MMC	木村 鈴木 ユセック		伊沢 野村 ピカソ	柳田 松山 シャトル
H5	以下記録なし					

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	シニアクラス
第13回	優勝	三富 福田 MMC	石川 スマッシュ 津田河内		藤沢 滝田 小山アイリス	小林 神谷 栃木レディース
H6.10.19	以下記録なし					大垣 トレセン、 小丸 県体エース
宇都宮市						
体育館						
第14回	優勝	三富 押久保 MMC	粕谷 増渕 フレッシュエース	東 清水 マロン	藤村 大本 あひる	浜田 大関 小山チェリーズ
H7.11.15	準優勝	石川 鈴木 栃の葉レディース	堀江 飯田 ピカソ	庄司 阿部 あすなろ	久保 伊東 マロン	小丸 県体エース、 大垣 トレセン
宇都宮市	第3位	木下 ミディ、 吉口 県体エース	河野 熊田 栃の葉レディース	木村 石川 フレッシュシャトル	名古屋 三富 さつきシャトル	安納 篠原 県体エース
体育館	第3位	岩本 増川 県体エース	石塚 郷間 ファイター	布村 松本 明保野	木村 宇賀神 明保野	金子 星 ふたば
第15回	優勝	三富 押久保 MMC	新井 川田 あひる	滝 小桧山 ふたば	薄井 猪野 ふたば	大垣 星野 トレセン、カトレア
H8.12.14	準優勝	石川 木村 栃の葉レディース	石塚 郷間 ファイター	坂本 荒井 県体エース	高野 岡 シャトル	轟木 県体エース、 柳田 シャトル
県体育館	第3位	保園 飯田 ピカソ	東 清水 マロン	大本 藤村 あひる	北村 前原 桜花	
	第3位	松村 斎藤 足利シャトルエース	村瀬 田城 カトレア	小島 斎藤 鹿沼コスモス	丸山 中村 ミディー	
第16回	優勝	三富 飯田 MMC	藤村 久保 あひる	吉永 鈴木 ふたば	磯貝 柳田 あひる	安納 押見 県体エース
H9.11.17.18	準優勝	木村 福田 栃の葉レディース	田城 相沢 カトレア	薄井 猪野 ふたば	市村 中田 小山アイリス	大垣 星野 トレセン、カトレア
県体育館	第3位	木下 岩本 県体エース	隅内 村瀬 カトレア	金子 鹿沼コス 野口 モス	藤田 尾嶋 県体エース	上野 菊地 カトレア
	第3位	涌井 鈴木 栃の葉レディース	東 清本 マロン	平山 鴨川 ペパーミント	久野 岡田 マロン	
第17回	優勝	三富 安藤 MMC	坂本 馬場 県体エース	田仲 小川 小山チェリーズ	河内 長山 足利シャトルエース	吉口 中原 県体エース
H10.10.20	準優勝	木村 福田 栃の葉レディース	中島 渡辺 小山チェリーズ	辻 淀川 ミディー	文山 松本 小山チェリーズ	杉本 山下 ミディー
県体育館	第3位	増川 岩本 県体エース	中村 大内 ミディー	相良 荒木 カトレア	真仁田 大高 小山チェリーズ	
	第3位	堀江 飯田 MMC	磯貝 柳田 あひる	蓬田 木村 きりん	山口 伊藤 桜花	
第18回	優勝	木村 福田 栃の葉レディース	東 清本 マロン	車谷 菊地 ファイター	黒崎 葭田 陽東	大関 藤倉 小山チェリーズ
H11.10.18.20	準優勝	福田 福田 栃の葉レディース	渡辺 押久保 ピカソ	門谷 木主 フリー	原 曾根 カトレア	大井 中原 県体エース
県体育館	第3位	涌井 吉沢 栃の葉レディース	田仲 小川 小山チェリーズ	大高 石島 栃の葉レディース	太田 小林 ピカソ	押見 安納 県体エース
	第3位	高橋 有野 あすなろ	坂本 菊地 ペパーミント	河内 鍼 ペパーミント	関口 柳沼 県体エース	

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス	シニアクラス
第19回	優勝	木村 福田(真) 栃の葉レディース	宇賀神 柴山 明保野	長山 小林 小山アルバトロス	遠藤 村田 スマイル	板口 恩田 MMC・あじさい
H13.2.14.16	準優勝	福田(信) 福田(方) 栃の葉レディース	小林 淀川 ミディー	大貫 野口 鹿沼コスモス	田崎 田代 桜花	金子 木下 ふたば・フリー
真岡市総	第3位	藤村 篠崎 あひる	片柳 宮崎 小山アルバトロス	石井 森 さつきシャトル	関口 佐藤 小山チェリーズ	大関 浜田 小山チェリーズ
合体育館	第3位	吉口 増川 県体エース	大東 荒木 カトレア	佐藤 藤田(ま) 県体エース	吉川 坂西 ファイター	

県家庭婦人バドミントン大会

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス
第1回 S51	優勝	塚原 印波 MMC	千野根 速水 県体エース	以下記録なし	
第2回 S52	優勝	塚原 福田 MMC	千野根 福田 県体エース	以下記録なし	
第3回 S53	優勝	塚原 印波 MMC	以下記録なし		
第4回 S54	優勝	永井 塚原 MMC	以下記録なし		
第5回 S55	優勝	安藤 福田 MMC	以下記録なし		
第6回 S56	優勝	塚原 安藤 MMC			
	準優勝	八木 吉口 県体エース	以下記録なし		
第7回 S57	優勝	塚原 板口 MMC	小室 立岩 県体エース	以下記録なし	
第8回	優勝	塚原 板口 MMC	若林 中村 シャトル	柴田 高須賀 県体エース	吉岡 鯉沼 TLC
S58	準優勝	福田 吉口 県体エース	古口 増渕 県体エース	押見 塚原 県体エース	
真岡市総合体育館	第3位	福田 石川 MMC, TLC	星野 馬渕 カトレア		
第9回	優勝	安藤 大島 MMC	平子 斎藤 県体エース	中尾 江連 シャトル	坂東 谷村 足利ファイターズ
S59.10.14.15	準優勝	石川 鈴木 TLC	大島 古口 ヘタッピーズ	多田 小林 県体エース	中島 大井 県体エース
東勤労者体育センター	第3位	荒井 福田 県体エース	大垣 菅原 スローシャトル	高山 塚原 県体エース	土野 寺林 あじさい
宇都宮市体育館	第3位	若林 柳田 シャトル	小室 桧山 県体エース	鈴木 大和 県体エース	高瀬 大森 おやま

回数、期日、会場	成績	A クラス	B クラス	C クラス	D クラス
第10回	優勝	塚原 大島 MMC	福田 藤倉 小山チェリーズ	小島 岡田 ふたばやしお	須藤 小城 コスモス
S60.10.20	準優勝	石川 鈴木 TLC	星野 馬渕 カトレア	奥田 山口 大谷台	間宵 石塚 あじさい
県運動公園トレー	第3位	斎藤 福田 県体エース	桧山 鈴木 県体エース	菊地 小菅 ファイター	熊倉 藤枝 コスモス
ニングセンター	第3位		鈴木 浅倉 おやま	大滝 片岡 大谷台	峰 岩佐 大谷台
第11回	優勝	安藤 三富 MMC	安納 鈴木 県体エース	普津沢 渡辺 シャトル	上野 田北 足利ファイターズ
S61.10.15	準優勝	涌井 押久保 TLC, MMC	大沼 小林 小山チェリーズ	成瀬・野沢 シャトルエース	田村 関 カトレア
宇都宮市	第3位	石川 鈴木 TLC	池内 岡田 トレセン	星 山口 ふたば	峰 福田 大谷台
体育館	第3位	木村 源田 足利シャトルエース	平島 増山 トレセン	平塚 杉本 トレセン	細谷 大野 ミディー
第12回	優勝	安藤 三富 MMC	鈴木 山口 大谷台	渡辺 高柳 県体エース	伊原 川田 鹿沼コスモス
S62.10.30	準優勝	石川 鈴木 TLC	神山 黒須 小山チェリーズ	田村 佐藤 カトレア	赤羽根 筑井 クィーンズ
宇都宮市	第3位	荒井 福田 県体エース	大沼 小林 小山チェリーズ	野口 箕輪 鹿沼コスモス	永掘 鈴木 あすなろ
体育館	第3位	吉口 斎藤 県体エース	久保田 羽倉 トレセン	小島 山口 ふたば	後藤 小林 足利シャトル
第13回	優勝	安藤 二宮 MMC	岡田 田村 カトレア	海老沼 斎藤 シャトル	小林 鈴木 陽東
S63.10.19	準優勝	石川 鈴木 TLC	木下 山下 ミディー	大塚 坂田 ファイター	横山 北岡 あひる
真岡市総合	第3位	涌井 村田 TLC	稲葉 久保田 トレセン	田辺 橋本 あじさい	林 柏崎 鹿沼コスモス
体育館	第3位	増川 大西 県体エース	菊地 小菅 ファイター	橋本 田中 ヘアピン	小島 前田 ふたば
第14回	優勝	二宮 押久保 MMC	小菅 菊地 ファイター	高橋 河西 県体エース	奈良田 田中 あひる
H1.9.26	準優勝	鈴木 涌井 TLC	小松 福田信 TLC	遠峰 柳田 あひる	神長 篠原 県体エース
真岡市総合	第3位	板口 藤平 MMC	浅倉 上村 小山チェリーズ	小川 高橋 あすなろ	茂串 上村 シャトルエース
体育館	第3位	村田 石川 TLC	榊原 岡田 TLC	林 柏崎 鹿沼コスモス	国井 篠崎 県体エース
第15回	優勝	二宮 押久保 MMC	癸生川 稲葉 トレセン	今福 安達 フレッシュシャトル	小菅 内藤 大谷台
H2.9.21	準優勝	板口 福田 MMC	渡辺 中島 県体エース	川上 山崎 あひる	粒良 鈴木 POP
真岡市総合	第3位	福田 岩本 県体エース	柏崎 有野 あすなろ	室井 人見 小山チェリーズ	松本 関谷 明保野
体育館	第3位	石川 鈴木 TLC	浅倉 上村 小山チェリーズ	大岡 金久保 大谷台	大高 加藤 トレセン

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス
第16回 H3	優勝	安藤 三富 MMC	内藤 小菅 大谷台	以下記録なし	
第17回 H4	優勝	福田 二宮 MMC	大関 浜田 小山チェリーズ	以下記録なし	
第18回 H5	優勝	福田 二宮 MMC	神山 黒須 小山チェリーズ	以下記録なし	
第19回	優勝	福田 二宮 MMC	浅川 鈴木 あじさい	滝口 佐藤 明保野	平野 菱沼 TLC
H6.9.14	準優勝	板口 押久保 MMC	田中 時枝 あひる	渡辺 佐藤 スマッシュ河内	込山 大豆生田 小山アイリス
真岡市総合体育館	第3位	涌井 福田(信) TLC	川井 小林 ミディー	関根 岩井 ふたば	滝 中村 ふたば
真岡市武道館	第3位	石川 鈴木 TLC	橋本 小松 TLC	戸野塚 原田 小山アイリス	浜田 渡辺 小山アイリス
第20回	優勝	福田 二宮 MMC	伊沢 高野 ピカソ	堀江 小池 ピカソ	有働 井水 ペパーミント
H7.9.14	準優勝	板口 押久保 MMC	高山 有野 あすなろ	近藤 仲根 スマッシュ河内	金子 斎藤 鹿沼コスモス
真岡市総合体育館	第3位	松村 白石 足利シャトルエース	大垣 湯沢 トレセン	小沼 飯田 ピカソ	坂本 佐藤 県体エース
真岡市武道館	第3位	岩本 増川 県体エース	大内 中村 ミディー	栗原 山元 TLC	石山 丸山 さつきシャトル
第21回	優勝	三富 飯田 MMC	山田 杉田 小山チェリーズ	戸田 小崎 ピカソ	松本 佐藤 県体エース
H8.9.13	準優勝	板口 押久保 MMC	川掘 柏崎 鹿沼コスモス	真壁 吉沢 あじさい	大谷 金敷 さつきシャトル
真岡市総合体育館	第3位	藤倉 大沼 小山チェリーズ	山田 相羽 ふたば	田城 村瀬 カトレア	日当 吉田 ペパーミント
真岡市武道館	第3位	木村・ 福田(信) TLC	郷間 宮窪 TLC	佐藤 小池 石橋スマイル	松崎 田村 鹿沼コスモス
第22回	優勝	木村 福田(信) TLC	金子 相羽 ふたば	松平 丸山 さつきシャトル	小林 長山 小山アルバトロス
H9.9.1	準優勝	堀江 飯田 MMC	大井 秋葉 県体エース	萩原 名古屋 さつきシャトル	宮田 福田 小山アルバトロス
真岡市総合体育館	第3位	岩本 増川 県体エース	桧山 吉沢 あじさい	五十嵐 長谷川 小山チェリーズ	近藤 柿沼 小山アルバトロス
真岡市武道館	第3位	板口 三富 MMC	戸田 久保 ピカソ、あじさい	水柿 比内 フレッシュシャトル	遠山 鶴見 ファイター
第23回	優勝	三富 宮 MMC	石川 長原 陽東	大野 菱沼 TLC	小川 田仲 小山チェリーズ
H10.9.17, 18	準優勝	飯田 黒須 MMC, フリー	熊田 吉沢 TLC, フリー	玉津 小笠原 あひる	菊池 石井 さつきシャトル
真岡市総合体育館	第3位	福田(信) 岡田 TLC	大井 柴田 県体エース	佐藤 柴山 明保野	砂川 中田 小山アイリス
真岡市武道館	第3位	板口 堀江 MMC	松沢 福田 陽東、県体エース	伊藤 鍛治 マロン	木主 門谷 ミディー

回数、期日、会場	成績	Aクラス	Bクラス	Cクラス	Dクラス
第24回	優勝	押久保 堀江 MMC	磯貝 柳田 あひる	菊池 坂本 ペパーミント	福田 初島 明保野
H11.9.16, 17	準優勝	三富 福田 MMC	大野 栗原 TLC	川崎 青木 マロン	
真岡市総合体育館	第3位	坂本 増川 県体エース	浜田 永山 小山チェリーズ	中田 中田 小山アイリス	田中 曾我 さつきシャトル
真岡市武道館	第3位	仲根 福井 きりん	宇賀神 増田 明保野	藤代 久永 きりん	南木 福田 スマッシュ河内
第25回	優勝	木村 福田芳 TLC	丸山 荻原 さつきシャトル	藤井 南木 SKC	鈴木 斎藤 小山チェリーズ
H12.9.13, 14	準優勝	藤村 篠崎 あひる	五十嵐 田仲 小山チェリーズ	山中 小川 県体エース	山崎 中村 SKC
真岡市総合体育館	第3位	福田 保園 MMC	川崎 青木 マロン	千野根 高木 陽東	山上 高橋 明保野・ふたば
真岡市武道館	第3位	福田信 村瀬 TLC	大関 浜田 小山チェリーズ	板橋 芳賀 きりん	

団体対抗大会

回数期日	級	優勝	準優勝	第3位	
1 H2.6.15,21	A B C D	小山チェリーズ			外　記録なし
2 H2.12.13	A B C D	県体エース			外　記録なし
3　H3 ⇩ 8　H7まで なし記録					
9 H7.2.16	A B C D	MMC フレッシュシャトル 小山アルバトロス 鹿沼コスモス	県体エース ピカソ1 ピカソ2 マロン	栃の葉レディース 小山チェリーズ 明保野 栃の葉レディース	 ミディ あすなろ リリーズ
10 H8.2.5,7	A B C D	MMC 栃の葉レディースA マロン 県体エース	県体エース 明保野A あじさい 小山アルバトロスB	ミディ ふたば シャトル 小山アルバトロスA	 あひる ふたば さつきシャトル
11 H9.2.13,14	A B C D	栃の葉レディース ふたば 小山アルバトロス ペパーミント	MMC 栃の葉レディース 明保野 小山アルバトロス	あひる あじさい 県体エース カトレア	 スマッシュ河内 マロン ふたば
12 H9.10.15,17	A B C D	MMC ミディ MMR さつきシャトル	栃の葉レディース マロン 明保野 マロン	県体エース さつきシャトル 栃の葉レディース ペパーミント	 鹿沼コスモス ペパーミント
13 H10.11.19,20	A B C D	MMC 陽東 小山アルバトロスA 明保野	栃の葉レディースA-2 ミディ 小山アルバトロスB ふたば	栃の葉レディースA-1 栃の葉レディース 大田原ペパーミント	 フレッシュシャトル
14 H11.11.16,17	A B C D	MMC マーマレード上三川 県体エース 明保野	足利シャトルズ 鹿沼コスモス POP マロン	栃の葉レディース2 明保野 小山アイリス さつきシャトル	 あじさいB
15 H12.11.16,17	A B C D	MMC 県体エース SKC スマイル	マーマレード上三川 栃の葉レディース マロン フレッシュシャトル	栃の葉レディース1 明保野 県体エース 桜花	栃の葉レディース3 鹿沼コスモス SKC

年齢別ダブルス大会

回数、期日	年齢別		優勝		準優勝		第3位			
第1回 H5			記録なし							
第2回	75才未満		知久 谷藤	小山チェリーズ	佐藤 渡辺	スマッシュ河内	三品 佐藤	あじさい	戸野塚 原田	小山アイリス
H6.6.14	75～85才		三富 福田	M M C	鈴木 涌井	栃の葉レディース	平野 木村	栃の葉レディース	山中 大沼	小山チェリーズ
県南体	85～95才		木村 斉藤	足利シャトルエース	上村 浅倉	小山チェリーズ	木下 大野	明保野	福田(信) 榊原	栃の葉レディース
	95才以上		福田 吉口	県体エース	小松 石川	栃の葉レディース	村井 笹谷	小山チェリーズ		
第3回	80才未満		保園 伊沢	ピカソ	川田 斉藤	足利シャトルエース	石川 坂本	栃の葉レディース	戸野塚 原田	小山アイリス
H7.6.14	80～85才		三富 板口	M M C	福田(信) 青木	栃の葉レディース	白石 小林	足利シャトルエース	橋本 星	栃の葉レディース
県南体	85～90才		涌井 鈴木	栃の葉レディース	岩本 増川	県体エース	松村 木村	足利シャトルエース		
	90～95才		木下 杉本	ミディ	福田 浅倉	小山チェリーズ	渡辺 須藤	小山チェリーズ	渡辺 野呂瀬	県体エース
	95才以上		大関 足立	小山チェリーズ	池沢 上村	小山アルバトロス	押尾 安納	県体エース	小林 神谷	栃木市レディース
第4回	A	80才未満	保園 飯田	ピカソ・MMC	田村 佐藤	カトレア				
H8.6.23	B	80～90才	板口 三富	M M C	岩本 増川	県体エース	平野 木村	栃の葉レディース		
県南体		90才以上	小島 釜井	明保野	大関 浜田	小山チェリーズ	田村 大貫	栃の葉レディース		
	C	80才未満	五十嵐 長谷川	小山チェリーズ	小林 宮崎	小山アルバトロス	松平 萩原	さつきシャトル		
	D	80才以上	末永 砂川	小山アイリス	池沢 市村	小山アルバトロス				
第5回	A	80才以下	足立 呉佩	小山チェリーズ	金沢 岡田	栃の葉レディース	園部 松島	小山アルバトロス	一条 青砥	小山アルバトロス
H9.7.13	B	81～89才	板口 三富	M M C	滝 木下	ふたば・ミディ				
県南体		90才以上	大関 磯	小山チェリーズ	岡室 大貫	栃の葉レディース	平野 田村	栃の葉レディース		
	C	80才以下	松平 丸山	さつきシャトル	小林 市村	小山アルバトロス	長谷川 五十嵐	小山チェリーズ	上原 酒井	小山アルバトロス
	D	81～89才	塚田 池田	ふたば	池沢 近藤	小山アルバトロス				

回数、期日	年齢別		優勝		準優勝		第3位			
第6回 H10.7.12 県南体	A	79才以下	岡田 福田(方)	栃の葉レディース	堀江 飯田	MMC	飯田 保園	ピカソ		
		80～89才	三富 押久保	MMC	相羽 小桧山	ふたば	永山 大関	小山チェリーズ		
	B	90才99才	増川 岩本	県体エース	金子 滝	ふたば				
		100才以上	石川 板口	栃の葉レディース・MMC	吉口 高橋	県体エース				
	C	79才以下	市村 小林	小山アルバトロス	菱沼 大野	栃の葉レディース	荒谷 寺内	県体エース		
	D	80～89才	松本 佐藤	県体エース	濱田 秋間	小山アイリス				
第6回 H10.7.12 県南体	A	79才以下	岡田 福田(方)	栃の葉レディース	堀江 飯田	MMC	飯田 保園	ピカソ		
		80～89才	三富 押久保	MMC	相羽 小桧山	ふたば	永山 大関	小山チェリーズ		
	B	90才99才	増川 岩本	県体エース	金子 滝	ふたば				
		100才以上	石川 板口	栃の葉レディース・MMC	吉口 高橋	県体エース				
	C	79才以下	市村 小林	小山アルバトロス	菱沼 大野	栃の葉レディース	荒谷 寺内	県体エース		
	D	80～89才	松本 佐藤	県体エース	濱田 秋間	小山アイリス				
第7回 H11.7.18 県南体	A	79才以下	福田(方) 岡田	栃の葉レディース	飯田 保園	MMC	村瀬 朝妻	フリー		
		80～89才	斉藤 松村	足利シャトルエース	宇賀神 増田	明保野	高野 小池	ピカソ		
	B	90才99才	木村 青木	栃の葉レディース	板口 三富	MMC				
		100才以上	石川 福田(信)	栃の葉レディース	吉口 木下	県体エース・ミディ	浜田 大関	小山チェリーズ		
	C	79才以下	市村 小林	小山アルバトロス	福田 富田	ミディ				
	D	80～89才	込山 中田	小山アイリス	池沢 佐藤	県体エース	中田 伊藤	小山アイリス		
第8回 H12.6.25	今年度からサンデー・レディース・バドミントン大会に名称変更									
	A		板口 三富	MMC	二宮 保園	MMC	阿部 伊藤	ペパーミント	福田(方) 岡田	栃の葉レディース
	B		菊地 坂本	ペパーミント	永山 小川	小山チェリーズ	金子 吉永	ふたば	淀川 小林	ミディ
	C		河内 長山	足利シャトルエース	福田 柴山	POP	大豆生田 波多野	小山アイリス	鈴木 村上	ペパーミント
	D		小口 麻生	スマイル	横山 細田	明保野	黒川 黒川	スマイル	田代 小島	フリー

クラブ対抗大会　兼全国・関東大会県予選会［1部］

回数･期日･会場	優勝	準優勝	第3位	第4位
0　61.4　トレセン	トレセンA	あすなろA	県体エース	大谷台
1　61.12　トレセン	県体エース	トレセン	あすなろ	カトレア
2　63.4　トレセン	大谷台	県体エース	あすなろ	
3　平成元3　市体	県体エース	トレセン	シャトル	
4　2.10　市体	トレセン	小山チェリーズ	県体エース	シャトル
5　3.	記録なし			
6　4.	小山チェリーズ	県体エース	トレセン	
7　5.	小山チェリーズ	県体エース	ミディー	あじさい
8　6.4　市体	ミディー	栃の葉レディース	県体エース	あじさい
9　7.3　清原	栃の葉レディース	ミディー	県体エース	あじさい
10　8.3　県体	県体エース	栃の葉レディース	ミディー	小山チェリーズ
11　9.3　県体	栃の葉レディース	県体エース	ミディー	小山チェリーズ
12　10.3　県体	県体エース	栃の葉レディース	ミディー	小山チェリーズ
13　11.3　市体	栃の葉レディース	県体エース	ミディー	小山チェリーズ
14　12.3　県体	栃の葉レディース	県体エース	小山チェリーズ	ミディー
15　13.3　県体	栃の葉レディース	小山チェリーズ	県体エース	ミディー

クラブ対抗大会［2部］

1　平9.3　県体	栃の葉レディース	小山チェリーズ		
2　10.3　県体	栃の葉レディース	県体エースA	さつきシャトル	
3　11.3　市体	鹿沼コスモス 栃の葉レディース		マロン ファイター	
4　12.3　県体	小山アイリス	栃の葉レディース	ファイター	県体エース
5　13.3　県体	小山アルバトロス	小山チェリーズ	栃の葉レディース	ファイター

【全日本教職員選手権大会入賞者一覧】

（本県関係）

第２回	(昭38)	女子単	３位	池間祥子
		女子複	２位	大島・永井
		混合複	２位	市川・永井
			３位	遠井・池間
第３回	(昭39)	女子単	３位	小勝紀子
		女子複	３位	小勝・武井
		混合複	優勝	佐藤・小勝
			２位	遠井・武井
第５回	(昭41)	女子複	２位	永井・前沢
第６回	(昭42)	女子団体	２位	
		30歳男子単	３位	遠井稔男
第８回	(昭44)	女子団体	３位	
第９回	(昭45)	女子団体	３位	
第10回	(昭46)	女子団体	３位	
		男子複	３位	別井・森田
第11回	(昭47)	女子団体	３位	
		男子単	優勝	森田昇
		男子複	２位	別井・森田
第12回	(昭48)	男子単	３位	森田昇
		混合複	３位	別井・大島
第14回	(昭50)	男子団体	３位	
第18回	(昭54)	女子単	２位	大嶌和代
		女子複	優勝	大嶌・金田
第19回	(昭55)	女子団体	優勝	
		女子単	優勝	大嶌和代
		女子複	３位	大嶌・金田
第20回	(昭56)	女子単	３位	大嶌和代
第24回	(昭60)	男子単	２位	大堀円
			３位	大島正志
第25回	(昭61)	男子団体	３位	
第26回	(昭62)	男子単	３位	大堀円
		女子複	３位	平間・高橋
		混合複	２位	大島・平間
第27回	(昭63)	女子単	３位	平間真由美
第28回	(平１)	女子単	３位	平間真由美
		混合複	２位	大島・平間
第29回	(平２)	男子単	３位	大堀円
		混合複	優勝	大島・平間

関東高校選手権大会県予選

年度	大会回数	男子 団体戦		女子 団体戦	
30	1	1作 新 2宇 商	3宇 工 4宇 工（定）	1松 原 2宇女商	3宇女高 4作 新
31	2	1小 川（宇 工） 2宇 梶（宇 工） 3河原井（作 新） 3神 林（石 高）	1山 田 河原井（作 新） 2小 川 宇 梶（宇 工） 3宗 野 池 田（宇 商） 3神 林 福 田（石 高）	1鈴 木（石 高） 2菊 地（作 新） 3斉 藤（松 原） 3高 橋（作 新）	1滝 沢 高 橋（作 新） 2保 田 関 根（松 原） 3橋 本 麦 島（宇女高） 3大 垣 永 沢（宇女高）
32	3	1山 田（作 新） 2星 野（宇 工） 3森 山（宇高定） 3岡 田（作 新）	1野 尻 小 川（宇 工） 2山 田 新 井（作 新） 3 平 館 野（宇商定） 3神 林 福 田（石 高）	1桜 井（中央女） 2大 橋（作 新） 3池 間（宇女商） 3斉 藤（宇女高）	1揚 石 桜 井（中央女） 2植 木 森（宇女高） 3大 橋 矢古宇（作 新） 4寺 内 菊 地（宇女高）
33	4	1宇 商A 2宇 工（定）	3作 新A 3石 高A	1宇女商A 2作 新A	3中央女 3作新B
34	5	1石 高 2作 新	3宇 工 3宇 商（定）	1真 女 2宇女商	3作 新 3中央女
35	6	1宇 工（定） 2石 高	3作 新 3宇 商	1真 女 2宇女商	3作 新 3石 高
36	7	1石 高 2宇 商	3宇工（定） 3作新	1真 女 2中央女	3宇女高 3宇女商
37	8	1作 新 2宇 商	3石 高 3宇 工（定）	1真 女 2石 高	3宇女商 3宇女高
38	9	1宇 工 2石 高（定）	3宇 工 3宇 商	1真 女 2宇女商	3中央女 3宇女高
39	10	1宇 工 2石 高	3真 農 3宇 商（定）	1真 女 2宇女商	3中央女 3宇女高
40	11	1宇 工 2真 農	3石 高 4宇 商	(推)真女 1宇女商 2石 高	3宇女高 4中央女
41	12	1宇 工 2作 新	3石 高 4真 工	(推)真 女 1小山城南 2石 高	3宇女商 4足 商
42	13	1作 新 3宇 工 5真 農 2石 高 4真 工 6栃 高		(推)真女 3足 女 5石 高 1宇女商 2中央女 4足 商 6小山城南	
43	14	1石 高 2真 工	3真 農 4作 新	(推)真女 1足 女 2宇女商	3宇女高 4小山城南
44	15	1真 工 2作 新	3真 農 4石 高	(推)真女 1足 女 2宇女商	3石 高 4真 農

		男子			女子		
年度	大会回数	団体戦			団体戦		
45	16	1真　工 2作　新	3石　高 4栃　高		(推)真女 1宇女商 2足　女	3真　農 4今　高	
46	17	1石　高 2宇　工	3作　新 4真　工		(推)真女 1真　農 2足　商	3今　高 4石　高	5宇女高 6足　女
47	18	1宇　工 2真　工	3石　高 4作　新		(推)真農 1真　女 2石　高	3今　高 4足　商	
48	19	1作　新 2真　工	3真　農 4栃　高		1真　女 2真　農	3今　高 4足　商	
49	20	1真　工 2作　新	3石　高 4真　農		1真　女 2真　農	3今　高 4宇女商	
50	21	1今　高 2真　農	3石　高 4真　工		1真　女 2小山城南	3真　農 4足　女	
51	22	1真　農 2今　高	3石　高 4真　工		1真　女 2小山城南	3真　農 4作　新	
52	23	1真　農 2今　高	3真　工 4宇　工		(推)真　女 1小山城南 2真　農	3足　商 4宇女商	
53	24	1今　高 2真　農	3真　工 4宇　工		1真　女 2今　高	3真　農 4小山城南	
54	25	(推)今高 1真　農 2作　新	3宇　南 4石　高	5宇　東 6宇　工	(推)真　女 1小山城南 2作　新	3中央女 4小山園芸	5宇女商 6真　農
55	26	(推)真農 1今　高 2宇　南	3石　高 4宇　東		(推)小山城南 1宇女商 2作　新	3足　商 4真　女	
56	27	(推)今高 1宇　南 2作　新	3石　高 4宇　工		1小山城南 2真　女	3宇女商 4真　農	
57	28	1作　新 2宇　工	3今　高 4宇　南		(推)小山城南 1真　女 2今　高	3益　高 4作　新	
58	29	1作　新 2宇　工	3今　高 4真　工		1小山城南 2真　女	3今　高 4作　新	5益　子
59	30	1作　新 2宇　工	3真　工 4今　高		1小山城南 2真　女	3作　新 4今　高	5益　子
60	31	1宇　工 2作　新	3今　高 4真　工		1小山城南 2真　女	3宇女高 1宇南高	

		男子			女子		
年度	大会回数	団体戦			団体戦		
61	32	1作　新	3宇　工		1小山城南	3今　高	5宇南高
		2真　工	4今　高		2真　女	4作　新	
62	33	1作　新	3真　工	5宇北高	1小山城南	3今　高	5宇中女
		2宇　工	4國學院栃木	6栃木高	2真　女	4足利学園	6宇女高
63	34	1宇　工	3今　高		1小山城南	3宇北高	
		2作　新	4宇北高		2真　女	4足利学園	
平成元年	35	1宇　工	3足利学園		1小山城南	3宇南高	
		2作　新	4真　工		2真　女	4足利学園	
2	36	1宇　工	3足利学園		1小山城南	3真　女	
		2宇南高	4作　新		2宇南高	4今　高	
3	37	1宇南高	3宇　工		1小山城南	3真　女	
		2作　新	4石橋高		2宇南高	4今　高	
4	38	1宇南高	3作　新		1宇南高	3真　女	
		2宇　工	4今　高		2小山城南	4今　高	
5	39	1宇　工	3今　高		1小山城南	3真　女	
		2宇南高	4足利学園		2宇南高	4宇　南	
6	40	1宇南高	3白鴎大足利	5今　高	1宇南高	3真　女	5那須拓陽
		2宇　工	4作　新		2小山城南	4益　高	
7	41	1宇　工	3宇南高	5足工高	1小山城南	3宇南高	5宇女商
		2作　新	4白鴎大足利	6小山南	2真　女	4那須拓陽	6宇女高
8	42	1宇南高	3宇　工		1宇南高	3小山城南	
		2作　新	4石橋高		2真　女	4宇女高	
9	43	1宇南高	3宇　工		1宇南高	3真　女	
		2作　新	4宇　高		2小山城南	4宇女高	
10	44	1作　新	3宇　高		1小山城南	3真　女	
		2宇南高	4宇　工		2宇南高	4文星女	
11	45	1作　新	3宇　高		1宇南高	3作　新	
		2宇南高	4宇北高		2真　女	4小山城南	
12	46	1作　新	3宇南高		1真　女	3宇南高	
		2宇　高	4真　高		2小山城南	4作　新	
13	47						

全国高校総合体育大会県予選会

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複	本大会の成績
28	4	1宇商A 2宇工B			1松原 2宇女商			
29	5	1宇工(定) 2宇商(定)			1松原 2宇女商			
30	6	1宇商(定) 2作新	1加藤(宇商) 2中山(宇商)	1加藤、中山(宇商) 2斉藤、佐藤(宇工定)	1宇女商 2作新	1飯塚(宇女商) 2川口(松原)	1飯塚、阿部(宇女商) 2中島、永沢(宇女高)	
31	7	1宇工(定) 2宇商	1保田(宇工定) 2稲葉(石高)	1小川、野尻(宇工) 2神林、福田(石高)	1作新 2足女	1滝沢(作新) 2高橋(作新)	1菊地、高松(宇女商) 2滝沢、高橋(作新)	
32	8	1宇工 2石橋	1星野(宇工) 2小川(宇工)	1福田、神林(石高) 2小川、野尻(宇工)	1宇女商 2宇中女	1大橋(作新) 2桜井(宇中女)	1植木、森(宇女) 2高橋、池間(宇女商)	
33	9	1作新 2宇工(定)	1森田(宇工定) 2二渡(作新)	1岡本、館野(宇商定) 2池田、平(宇商定)	1作新 2宇女商	1野中(作新) 2池間(宇女商)	1池間、佐藤(宇女商) 2野中、池島(作新)	
34	10	1宇工(定) 2宇工	1石河(石高) 2原田(石高)	1石河、原田(石高) 2川口、高橋(作新)	1真女 2宇女商	1上野(真女) 2田谷(真女)	1田谷、堀内(真女) 2上野、大島(真女)	
35	11	1宇工(定) 2石高	1遠山(宇工定) 2森田(宇工定)	1森田、遠山(宇工定) 2加藤、山口(石高)	1真女 2宇女商	1国崎(真女) 2田谷(真女)	1国崎、田谷(真女) 2上野、大島(真女)	
36	12	1石高 2宇商(定)	1加藤(石高) 2山口(石高)	1飯田、池田(宇商定) 2伊沢、青柳(石高)	1真女 2宇女商	1小勝(真女) 2藤沼(宇中女)	1小勝、市川(真女) 2河崎、石井(真女)	団……真女第3位
37	13	1作新 2宇商(定)	1山田(作新) 2上田(作新)	1山田、上田(作新) 2堀川、飯野(宇商定)	1真女 2石高	1小川(真女) 2黒崎(真女)	1小川、塩山(真女) 2斉藤、高橋(宇女商)	
38	14	1宇工 2石高	1別井(宇工) 2篠原(作新)	1別井、霜山(宇工) 2小菅、渡辺(石高)	1真女 2宇女商	1前沢(真女) 2松本(真女)	1前沢、松本(真女) 2小出、植木(真女)	
39	15	1宇工 2石高	1霜山(宇工) 2別井(宇工)	1別井、斉藤(宇工) 2霜山、村田(宇工)	1真女 2宇女商	1大島(真女) 2植木(真女)	1植木、大島(真女) 2上野、石崎(真女)	単……植木第4位 複…植木、大島第3位
40	16	1宇工 2真農	1三富(宇工) 2井上(石高)	1村田、三富(宇工) 2根本、井上(石高)	1真女 2石高	1上野(真女) 2石崎(真女)	1上野、石崎(真女) 2吉田、大関(真女)	団…真女優勝 単…石崎第4位 複…上野、石崎準優勝
41	17	1宇工 2石高	1森田(宇工) 2田中(石高)	1田中、田口(石高) 2森田、川上(宇工)	1真女 2宇女商	1太田(真女) 2黒須(石高)	1太田、沖杉(真女) 2前沢、吉田(真女)	団……真女第4位

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複	本大会の成績
42	18	1作新 2石高	1松本（作新） 2田口（石高）	1霜山、広瀬（宇工） 2手塚、田口（石高）	1真女 2宇女商	1田仲（真女） 2枝（真女）	1田仲、枝（真女） 2印波、櫛毛（真女）	団…真女第3位 複…田仲、枝準優勝
43	19	1石高 2	1海老原（石高） 2伊沢（石高）	1伊沢、山口（石高） 2海老原、田仲（石高）	1真女 2宇女商	1橋本（真女） 2豊田（真女）	1清水、藤田（真女） 2豊田、橋本（真女）	単…橋本豊田両者第3位 複…清水、藤田準優勝
44	20	1真工 2石高	1三村（真工） 2田仲（石高）	1田中、水田（石高） 2三村、横山（石高）	1真女 2宇女商	1阿久津（真女） 2石崎（真女）	1阿久津、助川（真女） 2望月、石崎（真女）	団…真女第3位 単…石崎準優勝
45	21	1真工 2作新	1高橋（真農） 2須見（石高）	1大島、斉藤（作新） 2大島、田中（作新）	1真女 2宇女商	1小林（真女） 2藤井（真女）	1藤井、小林（真女） 2大貫、池田（真女）	団…真女優勝
46	22	1作新 2真工	1阿部（栃高） 2笠野（石高）	1笠野、岩村（石高） 2森山、高島（宇工）	1真女 2真農	1藤井（真女） 2竹田（真農）	1藤井、沼能（真女） 2竹田、青柳（真農）	
47	23	1真工 2宇工	1石崎（真工） 2高島（宇工）	1石崎、粕谷（真工） 2田中、館野（石高）	1真女 2今高	1沼能（真女） 2上野（石高）	1沼尾、渡辺（今高） 2高瀬、石岡（今高）	単…沼能 第3位
48	24	1作新 2真農	1村上（作新） 2鈴木（作新）	1秋山、鈴木（作新） 2高野、芦野（真工）	1真女 2今高	1日向野（真女） 2青木（真女）	1日向野、石田（真女） 2増山、青木（真女）	団…真女第3位 複…日向野、石田第3位
49	25	1真農 2真工	1加藤（真工） 2鯨（作新）	1加藤、大塚（真工） 2仲野、野口（真工）	1真女 2小山城南	1篠崎（真女） 2青山（宇女商）	1古口、渡辺（真女） 2稲見、日下田（真農）	
50	26	1今高 2真農	1市村（真農） 2角田（今高）	1市村、鶴見（真農） 2伏木、水野谷（石高）	1真女 2小山城南	1山沢（真女） 2渡辺（真女）	1山沢、枝（真女） 2渡辺、古口（真女）	
51	27	1今高 2真農	1水野谷（石高） 2佐野（石高）	1大幡、高島（真農） 2角田、久郷（今高）	1真女 2小山城南	1枝（真女） 2山菅（真女）	1枝、海老原（真女） 2山菅、水沼（真女）	団…真女 第3位
52	28	1今高 2真工	1久郷（今高） 2角田（今高）	1角田、久郷（今高） 2関根、柳（真農）	1真女 2真農	1添野（真女） 2上野（真女）	1添野、高田（真女） 2上野、高田（真女）	
53	29	1真農 2今高	1石川（真農） 2小野口（今高）	1小野口、坂本（今高） 2馬場、高橋（今高）	1真女 2今高	1上野（真女） 2海賀（真女）	1上野、高田（真女） 2海賀、高田（真女）	複…上野、高田 第3位
54	30	1今高 2作新	1小野口（今高） 2馬場（今高）	1小野口、坂本（今高） 2大島、大堀（今高）	1小山城南 2真女	1高橋（城南） 2植竹（城南）	1植竹、日黒（城南） 2酒井、田中（城南）	団…今高優勝 単…馬場 準優勝
55	31	1今高 2宇南	1大島（今高） 2大堀（今高）	1大島、大堀（今高） 2戸村、加藤（宇南）	1小山城南 2宇女商	1高橋（城南） 2平間（城南）	1高橋、湯沢（城南） 2佐藤、有川（宇女商）	団…今高準優勝 単…大島第3位 複…大島、大堀 準優勝
56	32	1宇南 2今高	1加藤（宇南） 2村上（今高）	1手塚、木村（作新） 2青柳、入江（真工）	1小山城南 2真女	1平間（城南） 2猪瀬（城南）	1平間、猪瀬（城南） 2三沢、鈴木（城南）	
57	33	1作新 2宇工	1大森（今市） 2山崎（宇工）	1手塚、木村（作新） 2熊倉、田中（宇工）	1小山城南 2真女	1三沢（城南） 2岡崎（城南）	1三沢、岡崎（城南） 2根本、須藤（城南）	団…小山城南準優勝 複…三沢、岡崎3位

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複	本大会の成績
58	34	1作 新 2宇 工 3真 工 4今 高	1戸 村(宇南) 2青 砥(宇南) 3橋 本(作新) 4越 後(作新)	1橋本・青砥(作新) 2熊倉・小林(宇工) 3長野・野沢(真工) 4越後・中山(作新)	1小山城南 2真 女 3作 新 4今 高	1大 貫(小城) 2根 本(小城) 3塩 田(今市) 4須 藤(小城)	1根本・須藤(小城) 2南川・笠倉(真女) 3大貫・川村(小城) 4山口・小堀(小城)	団…小山城南 第3位 複…根本、須藤 準優勝
59	35	1作 新 2宇 工 3今 高 4真 工	1越 後(作新) 2大 堀(今市) 3渡 辺(作新) 4中 山(作新)	1越後・中山(作新) 2入江・呉井(真岡) 3田村・金子(今市) 4上野・芝野(真工)	1小山城南 2真 3今 市 4作 新	1木佳野(小城) 2小宇田(小城) 3本 間(真女) 4松 本(作新)	1関田・川村(小城) 2小堀・山口(小城) 3本間・南雲(真女) 4小宇田・関(小城)	団…作新 第5位 小山城南 第3位
60	36	1作 新 2宇 工 3今 高 4真 工	1大 堀(今市) 2加 藤(宇工) 3小 堀(作新) 4渡 辺(作新)	1加藤・足立(宇工) 2塩沢・平出(真工) 3金子・大堀(今市) 4小林・菊地(真農)	1小山城南 2真 女 3宇 南 4宇 女	1渡 辺(小城) 2木佳野(小城) 3小宇田(小城) 4関 (作新)	1小宇田・関(小城) 2渡辺・坂本(小城) 3庭野・高木(真女) 4吉沢・中村(真女)	団…小山城南 第5位 作新 第5位
61	37	1作 新 2宇 工 3今 高 4真 工	1大 堀(今市) 2小 堀(作新) 3佐 賀(作新) 4斎 藤(作新)	1斎藤・佐賀(作新) 2平野・江田(宇工) 3大堀・廻谷(今市) 4小関・佐藤(真工)	1小山城南 2真 女 3作 新 4今 市	1庭 野(真女) 2川 村(小城) 3小 出(真女) 4鈴 木(小城)	1黒須・川村(小城) 2庭野・高木(真女) 3鈴木・武井(小城) 4小出・西野(真女)	団…小山城南 第5位
62	38	1宇 工 2作 新 3真 工 4宇 北	1佐 賀(作新) 2平 野(作新) 3江 田(宇工) 4斎 藤(作新)	1斎藤・佐賀(作新) 2大塚・江連(作新) 3大堀・廻谷(宇工) 4平野・江田(宇工)	1小山城南 2真 女 3足 学 4今 市	1鈴 木(小城) 2川 村(小城) 3仲 山(小城) 4西 野(真女)	1川村・仲山(小城) 2鈴木・武井(小城) 3小出・西野(真女) 4萩野・大森(今市)	団…小山城南 第5位
63	39	1宇 工 2作 新 3足 学 4今 高	1和 田(宇工) 2野 口(宇工) 3橋 本(作新) 4小 篠(宇工)	1和田・小篠(宇工) 2佐藤・村越(作新) 3増元・鈴木(作新) 4加藤・小篠(宇工)	1小山城南 2真 女 3宇 北 4宇 中 女	1仲 山(小城) 2柳 (小城) 3天 川(真女) 4和 田(小城)	1仲山・大塚(小城) 2天川・市村(真女) 3和田・高岩(小城) 4小野里・冨田(小城)	単…仲山 第5位
平成元年	40	1宇 工 2宇 南 3真 工 4足 学	1小 篠(宇工) 2山 崎(宇工) 3大 屋(宇北) 4山 口(宇工)	1曽篠・山崎(宇工) 2橋本・山野井(作新) 3大河原・田中(足学) 4高松・山口(宇工)	1小山城南 2今 市 3足 学 4宇 北	1高 岩(小城) 2和田幸(小城) 3高 崎(小城) 4和田典(小城)	1高村・和田幸(小城) 2木村・梁 (小城) 3和田典・高橋(小城) 4江連・塚原(小城)	団…小山城南 第5位
2	41	1宇 工 2宇 南 3真 工 4足 学	1山 崎(宇工) 2山 口(宇工) 3大 屋(宇北) 4森 島(宇南)	1山口・山崎(宇工) 2大山・南木(宇工) 3丸山・山谷(足学) 4我妻・森島(宇南)	1小山城南 2宇 南 3真 女 4今 市	1木 村(小城) 2大 森(小城) 3大久保(小城) 4塚 原(小城)	1江連・塚原(小城) 2大森・渡辺(小城) 3斎藤・長谷川(宇南) 4小野寺・高橋(小城)	団…小山城南 第5位
3	42	1宇 南 2作 新 3石 橋 4宇 工	1長谷川(宇南) 2菊 地(宇工) 3森 島(宇南) 4橋 本(作新)	1森島・磯辺(宇南) 2菊地・上野(宇工) 3金田一・石島(作新) 4舘野・橋本(作新)	1小山城南 2宇 南 3今 市 4真 女	1大久保(小城) 2小野寺(小城) 3渡 辺(小城) 4塩 田(小城)	1大久保・塩田(小城) 2渡辺・鈴木(小城) 3小野寺・高橋(小城) 4斎藤・長谷川(宇南)	
4	43	1宇 南 2宇 工 3今 高 4作 新	1山 崎(宇工) 2山 口(宇工) 3大 屋(宇北) 4森 島(宇南)	1村本・磯部(宇南) 2金田・稲見(宇工) 3杉山・川島(宇工) 4五鶯・坂本(栃工)	1宇 南 2小山城南 3今 市 4真 女	1木 村(小城) 2長 井(宇南) 3古 橋(宇南) 4福 田(小城)	1杉本・菊地(宇南) 2長井・古橋(宇南) 3阿部・山本(宇南) 4斎藤・赤神(今市)	
5	44	1宇 工 2宇 南 3足 学 4作 新	1金 田(宇工) 2水 川(宇南) 3舘 野(宇南) 4真 壁(宇工)	1金田・真壁(宇工) 2西田・舘野(宇南) 3水川・森 (宇南) 4斎藤・古河(宇工)	1宇 南 2小山城南 3真 女 4今 市	1長 井(宇南) 2古 橋(宇南) 3福 田(小城) 4大 門(宇南)	1長井・古橋(宇南) 2杉本・菊地(宇南) 3阿部・山本(宇南) 4福田・町田(小城)	団…宇南男女 第5位
6	45	1宇 南 2宇 工 3作 新 4白鴎足	1真 壁(宇南) 2水 川(宇南) 3鈴 木(宇南) 4川 島(宇南)	1西田・舘野(宇南) 2水川・森 (宇南) 3梅山・福島(白鴎) 4山越・斎藤(今市)	1小山城南 2宇 南 3真 女 4那須拓陽	1関 (宇南) 2小 宅(宇南) 3坂 口(小城) 4大 竹(小城)	1小宅・関 (宇南) 2神尾・野口(宇南) 3斎藤・豊田(真女) 4篠崎・菊地(小城)	複…水川・森 第5位 小宅・関 第5位
7	46	1宇 南 2宇 工 3白鴎足 4作 新	1鈴 木(宇南) 2川 島(宇工) 3上 野(宇南) 4藤 原(宇南)	1鈴木・古沢(宇南) 2川島・郷間(宇工) 3鈴木・半田(白鴎) 4星野・亀井(作新)	1小山城南 2宇 南 3宇 女 商 4真 女	1諏 訪(小城) 2野 口(宇南) 3小 島(真女) 4金 田(小城)	1海老原・海老原 小城 2金田・諏訪(小城) 3松丸・近藤(真女) 4渡辺・黒須(小城)	
8	47	1宇 南 2作 新 3石 橋 4宇 工	1上 野(宇南) 2藤 原(宇南) 3高 橋(宇南) 4神 原(宇南)	1高橋・藤原(宇南) 2上野・石川(宇南) 3保坂・岩下(宇南) 4阿久津・神原(宇南)	1宇 南 2真 女 3宇 女 高 4小山城南	1長瀬由(宇南) 2杉 山(宇南) 3猪 瀬(宇南) 4岩 崎(真女)	1長瀬・長瀬 宇南 2須田・長山(小城) 3田谷・谷 (真女) 4羽石・岩崎(真女)	
9	48	1宇 南 2作 新 3宇 高 4宇 工	1神 原(宇南) 2鈴 木(宇南) 3村 山(作新) 4大 塚(作新)	1村山・古谷(作新) 2鈴木・市川(宇南) 3垣内・岡野(作新) 4大島・鈴木(宇南)	1宇 南 2小山城南 3宇 女 高 4真 女	1杉 山(宇南) 2谷 (真女) 3長瀬由(宇南) 4長瀬麻(宇南)	1長瀬・長瀬 宇南 2須田・長山 小城 3中宏・国分 小城 4杉本・渡辺 宇南	
10	49	1作 新 2宇 南 3真 工 4宇 高	1黄 倉(作新) 2鈴 木(宇南) 3古 谷(作新) 4田 中(作新)	1垣内・岡野(作新) 2鈴木・市川(作新) 3黄倉・関野(作新) 4大島・鈴木(宇南)	1小山城南 2宇 南 3文星女子 4真 女	1羽 石(真女) 2新 井(真女) 3伊 澤(小城) 4池 田(宇南)	1新井・羽石 真女 2上野・高野 文星 3伊澤・水橋 小城 4松本・川畑 宇南	団…作新 第5位

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複	本大会の成績
11	50	1作　新 2宇　南 3宇　北 4宇　高	1黄倉(宇南) 2鈴木(宇南) 3古谷(作新) 4田中(作新)	1垣内・岡野(作新) 2黄倉・高宮(作新) 3関野・関野(作新) 4青木・森本(作新)	1真　女 2宇　南 3作　新 4小山城南	1池田(宇南) 2小林(真女) 3中田(真女) 4山口(真女)	1吉田・西口(宇南) 2平出・大塚(宇南) 3山口・松本(真女) 4山口・小堀(宇南)	複…垣内、岡野 第5位
12	51	1作　新 2宇　南 3真　岡 4宇　高	1関野(作新) 2斎藤(作新) 3星宮(宇高) 4岡崎(宇高)	1関野・斎藤(作新) 2別井・山本(作新) 3関谷・田村(宇南) 4青木・伊澤(作新)	1真　女 2小山城南 3文星女子 4宇　南	1広瀬(真女) 2吉田(宇南) 3黒子(真女) 4森山(小城)	1吉田・西口(真女) 2手塚・安達(宇南) 3広瀬・渡辺(真女) 4黒子・小宮(小城)	
13	52							



平成5年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技開会式で合唱を聞く全国高体連バドミントン専門部の役員
（平成5年8月1日）



同上大会の委員長会議（8月1日）

全国高等学校総合体育大会バドミントン競技会　県予選・本大会結果

	男子		女子	
	県予選	全国総体	県予選	全国総体
昭和58年度	作新学院 宇都宮工業 真岡工業 今市	2回戦 作新 0 対 2 金沢市立工業	小山城南 真岡女子 作新学院 今市	準決勝 小城 1 対 2 千葉学園 （第3位）
	橋本・青砥（作新） 熊倉・小林（宇工） 長野・野沢（真工） 越後・中山（作新）	1回戦 熊倉・小林 対 西沢・黒木 0－2 （富島） 2回戦 橋本・青砥 対 上原・小田 1－2 （比叡山）	根本・須藤（小城） 南川・笠倉（真女） 大貫・川村（小城） 山口・小堀（小城）	1回戦 南川・笠倉 対 宮崎・山田 0－2 （四條畷） 準決勝 根本・須藤 対 鴻原・新木 0－2 （四條畷）
	戸村（宇南） 青砥（宇南） 橋本（作新） 越後（作新）	2回戦 青砥 対 本多 0－2 （東海） 3回戦 戸村 対 高橋 0－2 （柳井工）	大貫（小城） 根本（小城） 塩田（今市） 須藤（小城）	4回戦 根本 対 北本 0－2 （千葉学園） 大貫 対 篠崎 0－2 （港南台）
昭和59年度	作新学院 宇都宮工業 今市 真岡	準々決勝 作新 0 対 2 上尾	小山城南 真岡女子 今市 作新	準決勝 小城 1 対 2 上尾 （第3位） 3年連続
	越後・中山（作新） 入江・呉井（真岡） 田村・金子（今市） 上野・芝野（真工）	2回戦 入江・呉井 対 松本・谷 0－2 （比叡山） 準々決勝 越後・中山 対 荒木・宇田 0－2 （金沢市工）	関田・川村（小城） 小堀・山口（小城） 本間・南雲（真女） 小宇田・関（小城）	1回戦 小堀・山口 対 林・金田 0－2 （奈良一条） 4回戦 関田・川村 対 渡辺・青戸 1－2 （新潟清陵）
	越後（作新） 大堀（今市） 渡辺（作新） 中山（作新）	1回戦 大堀 対 近藤 1－2 （西条農） 3回戦 越後 対 荒木星 0－2 （金沢市工）	木住野（小城） 小宇田（小城） 本間（真女） 松本（作新）	1回戦 古宇田 対 白石 0－2 （八幡大附） 4回戦 木住野 対 今村 1－2 （四條畷）
昭和60年度	作新学院 宇都宮工業 今市 真岡工業	準々決勝 作新 0 対 2 金沢市工	小山城南 真岡女子 宇都宮南 宇都宮女子	準決勝 小城 1 対 2 比叡山 （第3位） 4年連続
	加藤・足立（宇工） 塩沢・平出（真工） 金子・大堀（今市） 小林・菊地（真農）	2回戦 加藤・足立 対 気谷・山本 0－2 （金沢市工） 塩沢・平出 対 片岡・磯田 0－2 （比叡山）	小宇田・関（小城） 渡辺・坂本（小城） 庭野・高木（真女） 吉沢・中村（真女）	3回戦 渡辺・坂本 対 近岸・西林 0－2 （山陽女子） 4回戦 小宇田・関 対 北浦・間芝 0－2 （比叡山）
	大堀（今市） 加藤（宇工） 小堀（作新） 渡辺（作新）	2回戦 加藤 対 田中 0－2 （柳井工） 3回戦 大堀 対 住吉 1－2 （伊藤商）	渡辺（小城） 木住野（小城） 小宇田（小城） 関（小城）	2回戦 渡辺 対 山口 1－2 （鶴嶋女子） 準々決勝 木住野 対 横手 1－2 （千葉学園）
昭和61年度	作新学院 宇都宮工業 今市 真岡工業	3回戦 作新 0 対 2 奈良一条	小山城南 真岡女子 作新学院 今市	準々決勝 小城 1 対 2 四條畷学園
	斎藤・佐賀（作新） 平野・江田（宇工） 大堀・廻谷（今市） 小関・佐藤（真工）	4回戦 平野・江田 対 城木・高山 0－2 （不二越工） 準々決勝 斎藤・佐賀 対 小本・中村 0－2 （九州学）	黒須・川村（小城） 庭野・高木（真女） 鈴木・武井（小城） 小出・西野（真女）	2回戦 黒須・川村 対 西村・紀井 1－2 （山陽女子） 庭野・高木 対 藤木・能沢 1－2 出雲商
	大堀（今市） 小堀（作新） 佐賀（作新） 斎藤（作新）	2回戦 小堀 対 内富 0－2 （柳井工） 準々決勝 大堀 対 小本 0－2 （九州学）	庭野（真女） 川村（小城） 小出（真女） 鈴木（小城）	2回戦 庭野 対 平間 0－2 （千葉学園） 川村 対 谷口 0－2 （高岡女子）

	男子		女子	
	県予選	全国総体	県予選	全国総体
昭和62年度	宇都宮工業 作新学院 真岡工業 宇都宮北	3回戦 宇工 0 対 3 弘前工業	小山城南 真岡女子 足利学園 今市	準々決勝 小城 1 対 3 千葉学園
	斎藤・佐賀（作新） 大塚・江連（作新） 小篠・和田（宇工） 平野・江田（宇工）	4回戦 大塚・江連 対 石井・関根 0－2 （越谷南） 準々決勝 斎藤・佐賀 対 藤本・村井 1－2 （札幌第一）	川村・仲山（小城） 鈴木・武井（小城） 小出・西野（真女） 荻野・大森（今市）	4回戦 鈴木・武井 対 南里・南里 0－2 （四條畷） 準々決勝 川村・仲山 対 江良・田畑 0－2（熊本中央女子）
	佐賀（作新） 平野（作新） 江田（宇工） 斎藤（作新）	4回戦 平野 対 渡辺 0－2 （花北商） 決勝 佐賀 対 渡辺 0－2 （花北商）	鈴木（小城） 川村（小城） 仲山（小城） 西野（真女）	3回戦 川村 対 稲熊 0－2 （愛知淑徳） 4回戦 鈴木 対 古田 0－2 （高松商）
昭和63年度	宇都宮工業 作新学院 足利学園 今市	3回戦 宇工 2 対 3 高岡工芸	小山城南 真岡女子 宇都宮北 宇都宮中央女子	2回戦 小城 2 対 3 金沢向陽
	和田・小篠（宇工） 佐藤・村越（作新） 増元・鈴木（作新） 加藤・小篠（宇工）	3回戦 佐藤・村越 対 荒木・陣内 0－2 （柏原） 4回戦 和田・小篠 対 渋谷・甲斐 0－2 （金沢松陵工）	仲山・大塚（小城） 天川・市村（真女） 和田・高岩（小城） 小野里・冨田（小城）	1回戦 天川・市村 対 山内・伊波 0－2 （糸満） 4回戦 仲山・大塚 対 藤本・佐々木 0－2（熊本中央女子）
	和田（宇工） 野口（宇工） 橋本（作新） 小篠（宇工）	1回戦 野口 対 村上 1－2 （足羽） 和田 対 鈴木 0－2 （日大山形）	仲山（小城） 柳（小城） 天川（真女） 和田（小城）	2回戦 柳 対 佐藤 0－2 （山陽女子） 準々決勝 仲山 対 山崎 1－2 （高岡女子）
平成元年度	宇都宮工業 宇都宮南 真岡工業 足利学園	2回戦 宇工 0 対 3 高松商業	小山城南 今市 足利学園 宇都宮北	準々決勝 小城 1 対 3 佐賀女子
	曽篠・山崎（宇工） 橋本・山野井（作新） 大河原・田中（足学） 高松・山口（宇工）	2回戦 橋本・山野井 対 山本・上杉 0－2 （西乙訓） 3回戦 曽篠・山崎 対 山松・田中 0－2 （金沢松陵工）	高岩・和田幸（小城） 木村・梁（小城） 和田典・高橋（小城） 江連・塚原（小城）	2回戦 木村・梁 対 鹿野・阿部 0－2（山形城北女子） 3回戦 高岩・和田 対 田村・赤尾 1－2 （昭和女子）
	曽篠（宇工） 山崎（宇工） 大屋（宇北） 山口（宇工）	1回戦 曽篠 対 仲田 1－2 （柏原） 2回戦 山崎 対 田上 0－2 （熊商大附）	高岩（小城） 和田幸（小城） 高崎（小城） 和田典（小城）	3回戦 和田 対 中野 1－2 （奈良一条） 4回戦 高岩 対 小泉 0－2 （園田学園）
平成2年度	宇都宮工業 宇都宮南 真岡工業 足利学園	1回戦 宇工 1 対 3 奈良一条	小山城南 宇都宮南 真岡女子 今市	準々決勝 小城 1 対 3 佐賀女子
	山口・山崎（宇工） 大山・南木（宇工） 丸山・山谷（足学） 我妻・森島（宇南）	3回戦 山口・山崎 対 本田・岡部 1－2 （熊商大附） 4回戦 大山・南木 対 大田・小川 0－2 （千葉敬愛）	江連・塚原（小城） 大森・渡辺（小城） 斎藤・長谷川（宇南） 小野寺・高橋（小城）	2回戦 大森・渡辺 対 岩田・岩田 0－2 （岐阜女商） 3回戦 江連・塚原 対 多田・安田 0－2 （金沢向陽）
	山崎（宇工） 山口（宇工） 大屋（宇北） 森島（宇南）	2回戦 山口 対 尾藤 0－2 （県岐阜商） 山崎 対 林 0－2 （瓊浦）	木村（小城） 大森（小城） 大久保（小城） 塚原（小城）	1回戦 大森 対 鬼塚 0－2 （佐賀女子） 3回戦 木村 対 松本 1－2 （九州国際）

	男子		女子	
	県予選	全国総体	県予選	全国総体
平成3年度	宇都宮南 作新学院 石橋 宇都宮工業 森島・磯辺（宇南）	2回戦 宇南 0 対 3 金沢二水	小山城南 宇都宮南 今市 真岡女子	3回戦 小城 2 対 3 旭川実業
	菊地・上野（宇工） 金田一・石島（作新） 舘野・橋本（作新）	1回戦 森島・磯辺 対 沢田・蒔苗 1－2 （東奥義塾） 3回戦 上野・菊地 対 佐藤・小笠原 1－2 （日大山形）	大久保・塩田（小城） 渡辺・鈴木（小城） 小野寺・高橋（小城） 斉藤・長谷川（宇南）	3回戦 渡辺・鈴木 対 下村・梅沢 1－2 （藤園女） 大久保・塩田 対 田中・田中 1－2 （滋賀女子）
	長谷川（宇南） 菊地（宇工） 森島（宇南） 橋本（作新）	1回戦 長谷川 対 石橋 0－2 （嬉野商） 菊地 対 三村 0－2 （北越）	大久保（小城） 小野寺（小城） 渡辺（小城） 塩田（小城）	2回戦 小野寺 対 下村 1－2 （藤園女子） 3回戦 大久保 対 山田 0－2 （聖ウルスラ）
平成4年度	宇都宮南 宇都宮工業 今市 作新学院	2回戦 宇南 0 対 3 宮城県工	宇都宮南 小山城南 今市 真岡女子	1回戦 宇南 1 対 3 滋賀女子
	村本・磯部（宇南） 金田・稲見（宇工） 杉山・川島（宇工） 五萬・坂本（栃工）	2回戦 金田・稲見 対 佐竹・西田 0－2 （札幌第一） 3回戦 村本・磯部 対 高本・藤本 1－2 （熊商大附）	杉本・菊地（宇南） 長井・古橋（宇南） 阿部・山本（宇南） 斎藤・赤神（今市）	1回戦 杉本・菊地 対 松田・高田 0－2 （金沢向陽） 3回戦 古橋・長井 対 山田・貴田 0－2（聖ウルスラ）
	金田（宇工） 村本（宇南） 磯辺（宇南） 野沢（宇南）	1回戦 金田 対 泉 0－2 （三田学園） 2回戦 村本 対 梅村 0－2 （伊勢工）	木村（小城） 長井（宇南） 古橋（宇南） 福田（小城）	2回戦 長井 対 中井 0－2 （高岡女子） 4回戦 木村 対 中山 0－2 （旭川実業）
平成5年度	宇都宮工業 宇都宮南 足利学園 作新学院	3回戦 宇工 0 対 3 金沢市工 準々決勝 宇南 1 対 3 上尾	宇都宮南 小山城南 真岡女子 今市	2回戦 小城 1 対 3 千葉学院 準々決勝 宇南 2 対 3 聖ウルスラ
	金田・真壁（宇工） 西田・舘野（宇南） 水川・森（宇南） 斎藤・古河（宇工）	2回戦 水川・森 対 鈴村・安藤 1－2 （岡崎城西） 西田・舘野 対 渡辺・伊藤 0－2 （旭川工） 斎藤・古河 対 多久島・杉岡 0－2 （比叡山） 4回戦 金田・真壁 対 吉川・薄 0－2（高松商）	長井・古橋（宇南） 杉本・菊地（宇南） 阿部・山本（宇南） 福田・町田（小城）	2回戦 阿部・山本 対 増茂・中山 0－2 （旭川実） 福田・町田 対 北島・田村 1－2 （旭川実） 菊地・杉本 対 久米・大城 0－2 （南風原） 4回戦 長井・古橋 対 秋武・吉武 0－2 （九州国際）
	金田（宇工） 水川（宇南） 舘野（宇南） 真壁（宇工）	2回戦 水川 対 田上 2－1 （熊商大附） 真壁 対 今野 0－2 （宮城県工） 3回戦 金田 対 佐野 1－2 （正強） 準々決勝 舘野 対 吉川 0－2 （高松商）	長井（宇南） 古橋（宇南） 福田（小城） 大門（宇南）	1回戦 大門 対 栗栖 0－2 （帆川学院） 2回戦 古橋 対 吉川 1－2 （信愛女子） 福田 対 櫻井 0－2 （金沢二水） 準々決勝 長井 対 秋武 1－2 （九州国際）

	男子		女子	
	県予選	全国総体	県予選	全国総体
平成7年度	宇都宮南 宇都宮工業 作新学院 白鴎足利	3回戦 宇南 2 対 3 熊本学園大付属	小山城南 宇都宮南 真岡女子 那須拓陽	2回戦 小城 1 対 3 比叡山
	西田・舘野（宇南） 水川・森（宇南） 梅山・福島（白鴎） 山越・斎藤（今市）	2回戦 西田・舘野 対 一宮・高木 0－2（札幌第一） 準々決勝 水川・森 対 清元・清元 0－2（上尾）	小宅・関（宇南） 神尾・野口（宇南） 斎藤・豊田（真女） 篠崎・菊地（小城）	2回戦 神尾・野口 対 長谷部・吉富 0－2（精華女子） 準々決勝 小宅 対 中村 1－2（佐賀女子）
	舘野（宇南） 水川（宇南） 鈴木（宇南） 川島（宇南）	3回戦 舘野 対 国井 1－2（北越） 4回戦 水川 対 後藤 0－2（宮城県工）	関（宇南） 小宅（宇南） 板口（小城） 大竹（小城）	1回戦 小宅 対 中村 1－2（奈良一条） 2回戦 関 対 渡辺 0－2（高田商）
平成8年度	宇都宮南 宇都宮工業 白鴎足利 作新学院	2回戦 宇南 0 対 3 高松商業	小山城南 宇都宮南 宇都宮女子商業 真岡女子	3回戦 小城 1 対 3 四天王寺
	鈴木・吉沢（宇南） 川島・郷間（宇工） 鈴木・半田（白鴎） 星野・亀井（作新）	2回戦 鈴木・吉沢 対 平野・山本 0－2（暁） 川島・郷間 対 山口・岡本 1－2（唐津工）	海老原・海老原（小城） 金田・諏訪（小城） 松丸・近藤（真女） 渡辺・黒須（小城）	2回戦 金田・諏訪 対 近藤・後藤 1－2（暁） 3回戦 海老原・海老原 対 竹下・松田 0－2（鶴鳴女子）
	鈴木（宇南） 川島（宇工） 上野（宇南） 藤原（宇南）	1回戦 川島 対 内田 1－2（瓊浦） 2回戦 鈴木 対 遠藤 1－2（鶴岡工）	諏訪（小城） 野口（宇南） 小島（真女） 金田（小城）	1回戦 野口 対 将野 0－2（滋賀女子） 3回戦 諏訪 対 山崎 0－2（昭和女子）
平成9年度	宇都宮南 作新学院 石橋 宇都宮工業	1回戦 宇南 1 対 3 暁	宇都宮南 真岡女子 宇都宮女子 小山城南	1回戦 宇南 0 対 3 四條畷
	高橋・藤原（宇南） 上野・石川（宇南） 保坂・岩下（宇南） 阿久津・神原（宇南）	2回戦 高橋・藤原 対 向井・渡辺 1－2（沼津学） 上野・石川 対 杉島・川口 0－2（比叡山）	長瀬・長瀬（宇南） 須田・長山（小城） 田谷・谷（真女） 羽石・岩崎（真女）	2回戦 長瀬・長瀬 対 岩部・大山 0－2（園田女子） 長山・須田 対 伴・工藤 0－2（札幌静修）
	上野（宇南） 藤原（宇南） 高橋（宇南） 神原（宇南）	1回戦 藤原 対 米川 0－2（柳井工） 2回戦 上野 対 福田 0－2（高松商）	長瀬由（宇南） 杉山（宇南） 猪瀬（宇南） 岩崎（真女）	1回戦 杉山 対 上宮 1－2（成安女子） 2回戦 長瀬 対 藤崎 1－2（仁愛女子）
平成9年度	宇都宮南 作新学院 宇都宮 宇都宮工業	1回戦 宇南 1 対 3 会津工業	宇都宮南 小山城南 宇都宮女子 真岡女子	1回戦 宇南 2 対 3 富山商業
	村山・古谷（作新） 鈴木・市川（宇南） 垣内・岡野（作新） 大島・鈴木（宇南）	1回戦 村山・古谷 対 小谷・小谷 0－2（鹿児島商） 2回戦 鈴木・市川 対 車・酒井 0－2（金沢市工）	長瀬・長瀬（宇南） 須田・長山（小城） 中宏・国分（小城） 杉山・渡辺（宇南）	2回戦 長瀬・長瀬 対 佐合・加藤 0－2（愛知淑徳） 須田・長山 対 加賀屋・播磨 0－2（横手）
	神原（宇南） 鈴木（宇南） 村山（作新） 大塚（作新）	1回戦 神原 対 阿保 1－2（東奥義塾） 2回戦 鈴木 対 伸尾 0－2（此花学院）	杉山（宇南） 谷（真女） 長瀬由（宇南） 長瀬麻（宇南）	1回戦 谷 対 荒木 0－2（九州女学） 4回戦 杉山 対 山本 0－2（精華女子）

	男子		女子	
	県予選	全国総体	県予選	全国総体
平成10年度	作新学院 宇都宮南 真岡工業 宇都宮 垣内・岡野（作新） 鈴木・市川（作新） 黄倉・関野（作新） 大島・鈴木（宇南） 黄倉（作新） 鈴木（宇南） 古谷（作新） 田中（作新）	準々決勝 作新 0 対 3 関東第一 2回戦 垣内・岡野 対 岩下・平出 0－2 （八代東） 4回戦 鈴木・市川 対 梅本・松本 1－2 （比叡山） 2回戦 黄倉 対 倉岡 0－2 （水島工） 鈴木 対 三上 0－2 （宮城県工）	小山城南 宇都宮南 文星女子 真岡女子 新井・羽石（真女） 上野・高野（文星） 伊澤・水橋（小城） 松本・川畑（宇南） 羽石（真女） 新井（真女） 伊澤（小城） 池田（宇南）	2回戦 小城 0 対 3 金沢向陽 2回戦 新井・羽石 対 渡辺・西城 0－2 （暁） 上野・高野 対 安成・恵良 0－2 （四天王寺） 1回戦 羽石 対 柴山 0－2 （熊本学） 新井 対 箱崎 0－2 （親和女）
平成11年度	作新学院 宇都宮南 宇都宮北 宇都宮 垣内・岡野 黄倉・高宮 関野・関野 青木・森本 黄倉（作新） 関野有（作新） 垣内（作新） 青木（作新）	3回戦 作新 1 対 3 比叡山 1回戦 黄倉・高宮 対 鈴木・伊深 0－2 （東北） 準々決勝 垣内・岡野 対 安村・今 1－2 （関東第一） 3回戦 黄倉 対 鈕 0－2 （青森山田） 関野 対 茂見 0－2 （八代東）	真岡女子 宇都宮南 作新学院 小山城南 吉田・西口（宇南） 平出・大塚（宇南） 山口・中田（真女） 川畑・松本（宇南） 池田（宇南） 小林（真女） 中田（真女） 山口（真女）	2回戦 真女 0 対 3 香川中央 1回戦 吉田・西口 対 金蔵・小磯 0－2 （鹿児島） 2回戦 平出・大塚 対 佐野・金上 0－2 （聖ウルスラ） 1回戦 小林 対 小椋 0－2 （四天王寺） 池田 対 西山 1－2 （長崎女子）
平成12年度	作新学院 宇都宮南 真岡 宇都宮 関野・斎藤（作新） 別井・山本（作新） 関谷・田村（宇南） 青木・伊澤（作新） 関野（作新） 斎藤（作新） 星宮（宇高） 岡崎（宇高）	3回戦 作新 0 対 3 高岡工芸 2回戦 別井・山本 対 劉・川口 0－2 （高岡工芸） 4回戦 関野・斎藤 対 早坂・石田 0－2（札幌第一） 4回戦 関野 対 川前 0－2 （柏原） 斎藤 対 新開 0－2 （此花学院）	真岡女子 小山城南 文星女子 宇都宮南 吉田・西口（宇南） 手塚・安達（真女） 広瀬・渡辺（真女） 黒子・小宮（真女） 広瀬（真女） 吉田（宇南） 黒子（真女） 森山（小城）	2回戦 真女 0 対 3 滋賀女子 2回戦 吉田・西口 対 大橋・後藤 0－2 （県岐阜商） 手塚・安達 対 赤尾・服部 0－2 （昭和女子） 2回戦 広瀬 対 阿部 0－2 （常磐木） 吉田 対 廣瀬 1－2 （青森山田）

県下高校新人バドミントン大会成績

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複
36	1	1 作新 2 宇商	1 山田（作新） 2 上田（作新）	1 山田（作新） 上田 2 堀川（宇商） 館野	1 真女 2 宇女商	1 小川（真女） 2 塩山（真女）	1 塩山（真女） 小川 2 黒崎（真女） 前沢
37	2	1 宇工 2 石高	1 篠原（作新） 2 別井（宇工）	1 篠原（作新） 小幡 2 鈴木（石高） 佐藤	1 真女 2 宇女商	1 前沢（真女） 2 小出（真女）	1 松本（真女） 前沢 2 小出（真女） 鈴木
38	3	1 宇工 2 石高	1 別井（宇工） 2 霜山（宇工）	1 別井（宇工） 三富 2 直井（宇商） 小宅	1 真女 2 宇女商	1 植木（真女） 2 大島（真女）	1 武田（真女） 大島 2 鯨（真女） 大塚
39	4	1 宇工 2 真農	1 村田（宇工） 2 根本（石高）	1 三富（宇工） 村田 2 根本（石高） 井上	1 真女 2 宇女商	1 上野（真女） 2 石崎（真女）	1 上野（真女） 石崎 2 増淵（石高） 野口
40	5	1 宇工 2 石高	1 森田（宇工） 2 松岡（宇工）	1 森田（宇工） 川上 2 福田（真農） 柳田	1 真女 2 宇女商	1 太田（真女） 2 黒須（石高）	1 太田（真女） 吉田 2 阿久津（宇女商） 安達
41	6	1 宇工 2 石高	1 田口（石高） 2 霜山（宇工）	1 田口（石高） 松本 2 広瀬（宇工） 霜山	1 真女 2 足女	1 田仲（真女） 2 江田（真女）	1 田仲（真女） 櫛毛 2 江田（真女） 印南
42	7	1 石高 2 真工	1 海老原（石高） 2 伊沢（石高）	1 伊沢（石高） 田口 2 海老原（石高） 田仲	1 真女 2 足女	1 豊田（真女） 2 橋本（真女）	1 清水（真女） 藤田 2 豊田（真女） 橋本
43	8	1 真工 2 石高	1 田仲（石高） 2 横山（真工）	1 三村山（真工） 横山 2 青柳（真農） 高橋	1 真女 2 石高	1 石崎（真女） 2 望月（真女）	1 石崎（久女） 望月 2 阿久津（真女） 助川
44	9	1 真工 2 作新	1 高橋（真農） 2 舘野（真工）	1 榎戸（真工） 羽石 2 舘野（真工） 細島	1 真女 2 宇女商	1 藤井（真女） 2 小林（真女）	1 小林（真女） 藤井 2 池田（真女） 大貫
45	10	1 真工 2 栃高	1 笠野（石高） 2 阿部（栃高）	1 阿部（栃高） 松本 2 笠野（石高） 飯村	1 宇女商 2 真女	1 藤井（真女） 2 須田（宇女商）	1 竹田（真農） 青柳 2 藤井（真女） 横山
46	11	1 真工 2 石高	1 石崎（真工） 2 高嶋（宇工）	1 石崎粕谷（真工） 2 田中館野（石高）	1 真女 2 今高	1 沼能（真女） 2 高瀬（今高）	1 沼能（真女） 小川 2 沼尾（今高） 渡辺
17	12	1 作新 2 真工	1 鈴木（作新） 2 村上（作新）	1 秋山（作新） 鈴木 2 大橋井（作新） 大岩	1 真農 2 真女	1 日向野（真女） 2 青木（水女）	1 青木（真女） 増山 2 石崎（真農） 黒川
18	13	1 真工 2 真農	1 鯨（作新） 2 加藤（真工）	1 加藤（真工） 大塚 2 野口（真工） 仲野	1 宇女商 2 今高	1 青山（宇女商） 2 篠崎（真女）	1 日下田（真農） 稲見 2 大嶌（今高） 金田

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複
49	14	1 石高 2 今高	1 市村（真農） 2 水野谷（石高）	1 市村（真農） 鶴見 2 上条（今高） 戸崎	1 真女 2 真農	1 山沢（真農） 2 渡辺（真女）	1 古口（真女） 渡辺 2 山沢（真女） 枝
50	15	1 石高 2 今高	1 水野谷（石高） 2 大幡（真農）	1 大幡（真農） 高島 2 水野谷（石高） 山崎	1 真女 2 小山城南	1 枝（真女） 2 水沼（真女）	1 枝 海老原（真女） 2 山菅 水沼（真女）
51	16	1 今高 2 真工	1 久郷（今高） 2 角田（今高）	1 久郷（今高） 角田 2 関根（真農） 柳	1 真女 2 真農	1 岩崎（城南） 2 藤田（真農）	1 添野（真女） 塩沢 2 山川（宇女商） 中川
52	17	1 今高 2 真農	1 馬場（今高） 2 永山（石高）	1 石川（真農） 大橋 2 小野口（今高） 坂本	1 真女 2 小山城南	1 上野（真女） 2 高田（真女）	1 上野（真女） 高田 2 海賀（真女） 高田
53	18	1 真農 2 作新	1 高橋（今高） 2 馬場（今高）	1 小野口（今高） 坂本 2 馬場（今高） 高橋	1 小山城南 2 真農	1 植竹（城南） 2 田中（城南）	1 植竹（城南） 目黒 2 高橋（城南） 湯沢
54	19	1 今高 2 宇南	1 大島（今高） 2 戸村（宇南）	1 大島（今高） 大堀 2 戸村（宇南） 加藤	1 小山城南 2 作新	1 高橋（城南） 2 平間（城南）	1 高橋（城南） 湯沢 2 有川（宇女商） 佐藤
55	20	1 石高 2 今高	1 手塚（作新） 2 大森（今高）	1 加藤（宇南） 田代 2 荒中（石高） 川里	1 小山城南 2 真女	1 平間（城南） 2 三沢（城南）	1 平間（城南） 猪瀬 2 伊藤（城南） 植竹
56	21	1 作新 2 宇南	1 手塚（作新） 2 大森（今高）	1 手塚（作新） 木村 2 武田上（今高） 村	1 小山城南 2 真女	1 鈴木（城南） 2 三沢（城南）	1 三沢（城南） 鈴木 2 岡崎（城南） 神山
57	22	1 作新 2 宇工	1 戸村（宇南） 2 小林（宇工）	1 橋本（作新） 青砥 2 熊倉（宇工） 斉藤	1 小山城南 2 真女	1 小貫（城南） 2 根本（城南）	1 根本（城南） 須藤 2 塩田（今高） 赤羽
58	23	1 作新 2 真工	1 越後（作新） 2 中山（作新）	1 越後（作新） 中山 2 上野（真工） 柴野	1 小城 2 真女	1 木住野（小城） 2 松本（作新）	1 関田（小城） 川村 2 小堀（小城） 山口
59	24	1 今市 2 作新	1 大堀（今市） 2 加藤（宇工）	1 加藤（宇工） 安達 2 田金（今市） 村子	1 小城 2 真女	1 木住野（小城） 2 古宇田（小城）	1 古宇田（小城） 関 2 渡辺（小城） 坂本
60	25	1 作新 2 宇工	1 大堀（今市） 2 斉藤（作新）	1 斉藤賀（作新） 佐 2 平野田（宇工） 江	1 真女 2 小城	1 庭野（真女） 2 川村（小城）	1 高木（真女） 庭野 2 黒須（小城） 川村
61	26	1 作新 2 宇工	1 大塚（作新） 2 佐賀（作新）	1 斉藤賀（作新） 佐 2 平野田（宇工） 江	1 小城 2 真女	1 川村（小城） 2 鈴木（小城）	1 川村（小城） 仲山 2 鈴木（小城） 武井
62	27	1 宇工 2 作新	1 和田（宇工） 2 小篠（宇工）	1 小篠田（宇工） 和 2 佐藤越（作新） 村	1 小城 2 真女	1 仲山（小城） 2 大塚（小城）	1 仲山（小城） 大塚 2 上野（小城） 柳

年度	大会回数	男子 団体戦	男子 個人戦 単	男子 個人戦 複	女子 団体戦	女子 個人戦 単	女子 個人戦 複
63	28	1 宇工 2 作新	1 橋本(作新) 2 曽篠(宇工)	1 曽篠 山崎(宇工) 2 橋本 山野井(作新)	1 小城 2 真女	1 和田幸(小城) 2 和田典(小城)	1 高岩 和田(小城) 2 小松 加藤(宇北)
平成元年	29	1 宇工 2 宇南	1 山口(宇工) 2 山崎(宇工)	1 山口 山崎(宇工) 2 清水 鈴木(真工)	1 小城 2 今市	1 木村(小城) 2 大森(小城)	1 大久保 塩田(小城) 2 木村 梁(小城)
2	30	1 宇南 2 作新	1 森島(宇南) 2 橋本(作新)	1 森島 磯部(宇南) 2 橋本 舘野(作新)	1 小城 2 宇南	1 大久保(小城) 2 塩田(小城)	1 大久保 塩田(小城) 2 斎藤 長谷川(宇南)
3	31	1 宇工 2 真工	1 村本(宇南) 2 磯部(宇南)	1 金田 稲見(宇工) 2 村本 磯部(宇南)	1 宇南 2 小城	1 長井(宇南) 2 奥沢(宇南)	1 奥沢 長井(宇南) 2 浦 村上(小城)
4	32	1 宇工 2 宇南	1 金田(宇工) 2 斎藤(宇工)	1 金田 稲見(宇工) 2 小口 真壁(宇工)	1 宇南 2 小城	1 長井(宇南) 2 古橋(宇南)	1 長井 古橋(宇南) 2 杉本 菊地(宇南)
5	33	1 宇南 2 宇工	1 水川(宇南) 2 舘野(宇南)	1 舘野 西田(宇南) 2 水川 森(宇南)	1 宇南 2 小城	1 関(宇南) 2 小宅(宇南)	1 小宅 関(宇南) 2 篠崎 菊地(小城)
6	34	1 宇南 2 作新	1 川島(宇工) 2 鈴木(宇南)	1 川島 郷間(宇工) 2 鈴木 吉沢(宇南)	1 小城 2 真女	1 渡辺(小城) 2 野口(宇南)	1 海老沼 海老沼(小城) 2 金田 諏訪(小城)
7	35	1 宇南 2 作新	1 上野(宇南) 2 藤原(宇南)	1 上野 石川(宇南) 2 高橋 藤原(宇南)	1 宇南 2 真女	1 杉山(宇南) 2 長瀬由(宇南)	1 長瀬由 長瀬麻(宇南) 2 杉山 上原(宇南)
8	23	1 作新 2 宇南	1 神原(宇南) 2 大塚(作新)	1 村山 古谷(作新) 2 大塚 西口(作新)	1 宇南 2 真女	1 長瀬由(宇南) 2 杉山(宇南)	1 長瀬由 長瀬麻(宇南) 2 谷 新井(真女)
9	24	1 作新 2 宇南	1 鈴木(宇南) 2 古谷(作新)	1 岡野 垣内(作新) 2 鈴木 市川(作新)	1 宇南 2 小城	1 羽石(真女) 2 新井(真女)	1 古宇田 関(宇南) 2 渡辺 坂本(真女)
10	25	1 作新 2 宇南	1 黄倉(作新) 2 岡野(作新)	1 垣内 岡野(作新) 2 黄倉 高宮(作新)	1 真女 2 宇南	1 小林(真女) 2 池田(宇南)	1 山口 中田(真女) 2 平出 大塚(作新)
11	26	1 作新 2 宇南	1 関野(作新) 2 斉藤(作新)	1 関野 斉藤(作新) 2 別井 山本(作新)	1 真女 2 宇南	1 広瀬(真女) 2 吉田(宇南)	1 井上 古田山(小城) 2 手塚 安達(真女)
12	27	1 作新 2 宇南	1 斉藤悠(作新) 2 寺本(作新)	1 斉藤悠 寺本(作新) 2 関谷 田村(宇南)	1 真女 2 宇南	1 手塚(真女) 2 中島(真女)	1 桐原 中島(真女) 2 手塚 安達(真女)

関東中学校バドミントン大会県予選会

		男子			女子		
年	回	団体戦	個人戦		団体戦	個人戦	
度			単	複		単	複
54	1	1今　市 2小山二			1今　市 2久下田		
55	2	1今　市 2小山二	1橋本（小山二） 2戸村（旭）	1田畑・佐藤（上三川） 2飯村・青砥（小山二）	1今　市 2真　岡	1根本（今　市） 2小貫（小山二）	1須藤・細井（今　市） 2直井・半田（附　属）
56	3	1今　市 2小山二	1越後（今　市） 2中山（小山二）	1江連・山中（小山二） 2柴田・石川（今　市）	1真岡東 2小山二	1佐藤（小山二） 2川村（小山二）	1南雲・鈴木（真岡東） 2祭原・小堀（小山二）
57	4	1今　市 2小山二	1尾崎（今　市） 2中村（陽　西）	1長田・田村（今　市） 2柴田・大堀（今　市）	1今　市 2小山二	1渡辺（今　市） 2吉沢（小山二）	1文挟・坂本（今　市） 2半田・工藤（附　属）
58	5	1小山二 2今　市	1榎本（小山二） 2大堀（今　市）	1小堀・杉原（小山二） 2斉藤・秋津（小山二）	1真岡東 2小山二	1広沢（真岡東） 2飯田（真岡東）	1岩間・庭野（真岡東） 2沼尾・笠本（今　市）
59	6	1小山二 2落　合	1平野（小山二） 2大塚（小山二）	1秋津・斉藤（小山二） 2江連・佐賀（小山二）	1小山二 2鬼　怒	1飯田（真岡東） 2川村（小山二）	1鈴木・本庄（小山二） 2君嶋・富山（一　条）
60	7	1上三川 2桑	1横関（小山二） 2神林（小山二）	1和田・小篠（桑） 2山口・吉原（桑）	1鬼　怒 2真　岡	1仲山（鬼　怒） 2柳　（真岡東）	1仲山・桜井（鬼　怒） 2天川・市村（真　岡）
61	8	1上三川 2桑	1磯部（旭） 2橋本（小山二）	1山口・曽篠（桑） 2山崎・山口（旭）	1鬼　怒 2上三川	1高村（鬼　怒） 2中村（一　条）	1加藤・平野（泉が丘） 2大塚・浅山（真　岡）
62	9	1旭 2桑	1山口（旭） 2川村（桑）	1斉藤・山崎（旭） 2大山・小林（桑）	1鬼　怒 2落　合	1塩田（鬼　怒） 2榎本（小山城南）	1大久保・斉藤（鬼怒） 2大森・江連（落　合）
63	10	1上三川 2桑	1星　（上三川） 2橋本（小山二）	1森嶋・内田（上三川） 2藤田・三浦（上三川）	1鬼　怒 2旭	1塩田（鬼　怒） 2斉藤（鬼　怒）	1大久保・長谷川（鬼怒） 2高嶋・山崎（旭）
1	11	1上三川 2旭	1磯部（旭） 2大野（上三川）	1川島・貝賀（上三川） 2杉山・比護（上三川）	1旭 2鬼　怒	1長井（旭） 2村井（鬼　怒）	1奥沢・山崎（旭） 2田村・鈴木（鬼　怒）
2	12	1上三川 2桑	1金田（上三川） 2金田（旭）	1小口・稲見（上三川） 2小峯・真壁（落　合）	1旭 2鬼　怒	1長井（旭） 2普津澤（陽北）	1柳田・鈴木（鬼　怒） 2阿部・山元（旭）
3	13	2小山城南	1水川（桑） 2石下（小山城南）	1松本・須田（上三川） 2舘野・西田（桑）	1旭 2鬼　怒	1関本（旭） 2普津澤（陽北）	1荒井・山崎（旭） 2小宅・青柳（鬼　怒）
4	14	1旭 2上三川	1川島（上三川） 2青柳（陽　北）	1青木・山田（旭） 2有田・星野（桑）	1旭 2泉が丘	1関本（旭） 2渡辺（清　原）	1長井・長縄（旭） 2山崎・野口（旭）
5	15	1上三川 2南河内	1渡辺（旭） 2上野（上三川）	1高橋・黒川（南河内） 2石川・尾崎（上三川）	1旭 2泉が丘	1長縄（旭） 2長瀬（泉が丘）	1長井・関　（旭） 2長瀬・松本（泉が丘）
6	16	1旭 2清　原	1野口（旭） 2西口（旭）	1北島・大塚（清　原） 2渡部・関野（旭）	1旭 2泉が丘	1杉山（鬼　怒） 2池田（旭）	1市村・関　（旭） 2長瀬・松本（泉が丘）
7	17	1旭 2上三川	1吉谷（旭） 2鈴木（清　原）	1鈴木・市川（上三川） 2渡辺・柳田（上三川）	1旭 2上三川	1渡辺（旭） 2池田（旭）	1菅谷・長縄（旭） 2坂本・村山（上三川）
8	18	1旭 2鬼　怒	1黄倉（鬼　怒） 2会澤（旭）	1垣内・関野（旭） 2金澤・関野（旭）	1鬼　怒 2旭	1石関（鬼　怒） 2山田（旭）	1長縄・池田（旭） 2松本・吉田（鬼　怒）
9	19	1旭 2清　原	1会澤（旭） 2八木（小山二）	1関野・斎藤（旭） 2星宮・金川（清　原）	1鬼　怒 2旭	1森　（旭） 2吉田（旭）	1山田・西口（旭） 2手塚・佐藤（鬼　怒）
10	20	1旭 2上三川	1志賀（旭） 2佐藤（鬼　怒）	1斎藤・五月女（旭） 2安良岡・横倉（小山城南）	1鬼　怒 2旭	1会澤（旭） 2安達（清　原）	1手塚・永井（鬼　怒） 2増山・老沼（旭）
11	21	1旭 2上三川	1佐藤（旭） 2太田（星が丘）	1角田・半澤（上三川） 2斎藤・福井（旭）	1南河内 2真岡西	1池田（旭） 2太田（星が丘）	1小室・桜井（南河内） 2石井・本田（真岡西）
12	22	1旭 2小山二	1黄倉（鬼　怒） 2平野（旭）	1倉田・酒井（旭） 2水沼・宮窪（旭）	1南河内 2雀　宮	1太田（星が丘） 2佐藤（上河内）	1布施・黒崎（清　原） 2逢田・横島（南河内）

全国中学校総合体育大会バドミントン競技県予選会

		男子			女子		
年	回	団体戦	個人戦		団体戦	個人戦	
度			単	複		単	複
35	1	1 上三川			1 上三川		
36	2	1 上三川			1 上三川		
37	3	1 上三川			1 上三川		
38	4	1 上三川			1 上三川		
39	5	1 上三川			1 上三川		
40	6	1 上三川			1 上三川		
41	7	1 上三川			1 上三川		
42	8	1 上三川			1 北高根沢		
43	9	1 上三川			1 上三川		
44	10	1 上三川			1 上三川		
45	11	1 上三川			1 本郷		
46	12	1 上三川			1 真岡		
47	13	1 本郷 2 上三川	1 市村（本郷） 2 上条（今市）	1 猪瀬・水野谷（上三川） 2 市村・野沢（本郷）	1 真岡 2 中村	1 鯨（上三川） 2 山沢（真岡）	1 椿・石川（中村） 2 横松・松本（中村）
48	14	1 上三川	1 猪瀬（上三川）	1 猪瀬・水野谷（上三川）	1 上三川	1 猪瀬（上三川）	1 枝・海老原（上三川）
49	15	1 今市 2 本郷	1 鈴木（今市） 2 角田（今市）	1 鈴木・久郷（今市） 2 角田・福田（今市）	1 中村 2 上三川	1 大島（中村） 2 横松（中村）	1 横松・大島（中村） 2 上野・猪瀬（上三川）
50	16	1 今市 2 本郷	1 藤田（本郷） 2 吉沢（上三川）	1 馬場・高橋（今市） 2 文挟・小林（今市）	1 小山二 2 上三川	1 佐藤（上三川） 2 平山（上三川）	1 高野・阿久津（今市） 2 平山・佐藤（小山二）
51	17	1 今市 2 本郷	1 馬場（今市） 2 高橋（今市）	1 小野口・坂本（今市） 2 高橋・馬場（今市）	1 大内 2 上三川	1 飯村（小山二） 2 石川（上三川）	1 山菅・大島（大内） 2 石川・斎藤（山前）
52	18	1 今市 2 上三川	1 大島（今市） 2 猪瀬（上三川）	1 猪瀬・上野（上三川） 2 田村・秋山（上三川）	1 今市 2 国本	不明	1 高橋・矢野（今市） 2 早川・湯沢（今市）
53	19	1 小山二 2 上三川	1 山中（小山二） 2 荒川（上三川）	1 荒川・加藤（上三川） 2 浜野・粕谷（上三川）	1 今市 2 真岡	1 平間（上三川） 2 猪瀬（上三川）	1 斉藤・出島（今市） 2 平間・橋本（上三川）
54	20	1 今市 2 小山二	1 大森（今市） 2 渡辺（上三川）	1 村上・手塚（今市） 2 武田・大森（今市）	1 今市 2 真岡	1 三沢（今市） 2 岡崎（小山二）	1 三沢・塚田（今市） 2 渡辺・砂川（今市）
55	21	1 今市 2 小山二	1 橋本（小山二） 2 大島（今市）	1 小松・石川（今市） 2 久郷・大島（今市）	1 今市 2 真岡	1 小貫（小山二） 2 根本（今市）	1 塩田・根本（今市） 2 須藤・細井（今市）
56	22	1 小山二 2 今市	1 中山（小山二） 2 越後（今市）	1 江連・山中（小山二） 2 公文・石戸（上三川）	1 真岡東 2 小山二	1 松本（真岡東） 2 佐藤（小山二）	1 南雲・鈴木（真岡東） 2 松本・飯塚（真岡東）
57	23	1 今市 2 鬼怒	1 尾崎（今市） 2 中村（陽西）	1 長田・田村（今市） 2 渡辺・生井（小山二）	1 今市 2 小山二	1 半田（附属） 2 坂本（今市）	1 文挟・坂本（今市） 2 藤沢・戸祭（久下田）
58	24	1 小山二 2 今市	1 大堀（今市） 2 榎本（小山二）	1 榎本・杉原（小山二） 2 大堀・福田（今市）	1 真岡東 2 小山二	1 広沢（真岡東） 2 庭野（真岡東）	1 広沢・飯田（真岡東） 2 若間・庭野（真岡東）
59	25	1 小山二 2 上三川	1 斎藤（小山二） 2 平野（小山二）	1 秋津・斎藤（小山二） 2 江連・佐賀（小山二）	1 真岡東 2 落合	1 川村（小山二） 2 飯田（真岡東）	1 飯田・小池（真岡東） 2 川村・竹井（小山二）
60	26	1 上三川 2 小山二	1 横関（小山二） 2 神林（小山二）	1 佐藤・村越（上三川） 2 和田・小篠（桑）	1 真岡東 2 鬼怒	1 柳（真岡東） 2 大塚（小山二）	1 仲山・桜井（鬼怒） 2 土屋・上野（真岡東）
61	27	1 旭 2 小山二	1 磯部（旭） 2 橋本（小山二）	1 上野・上野（上三川） 2 斉藤・大屋（旭）	1 鬼怒 2 真岡	1 高岡（鬼怒） 2 中村（一条）	1 小松・鈴木（鬼怒） 2 猪瀬・猪瀬（上三川）
62	28	1 旭 2 桑	1 川村（桑） 2 山口（旭）	1 斉藤・山崎（旭） 2 大屋・吾妻（旭）	1 落合 2 真岡	1 塩田（鬼怒） 2 高崎（小山二）	1 斉藤・大久保（鬼怒） 2 大森・江連（落合）
63	29	1 上三川 2 小山二	1 星（上三川） 2 橋本（小山二）	1 森嶋・三浦（上三川） 2 吉丸・金田（小山二）	1 鬼怒 2 旭	1 小野寺（上三川） 2 市村（旭）	1 塩田・長谷川（鬼怒） 2 高嶋・山崎（旭）
1	30	1 上三川 2 旭	1 磯部（旭） 2 大野（上三川）	1 川島・杉山（上三川） 2 川村・金田（旭）	1 旭 2 鬼怒	1 長井（旭） 2 村上（鬼怒）	1 奥沢・山崎（旭） 2 田村・鈴木（鬼怒）
2	31	1 落合 2 桑	1 金田（上三川） 2 金田（旭）	1 古口・稲見（上三川） 2 小峯・真壁（落合）	1 旭 2 鬼怒	1 長井（旭） 2 普津澤（陽北）	1 阿部・山本（旭） 2 柳田・鈴木（鬼怒）
3	32	1 桑 2 小城南	1 石下（小城南） 2 水川（桑）	1 下鳥・高嶋（小城南） 2 館野・西田（桑）	1 泉が丘 2 鬼怒	1 普津澤（陽北） 2 篠崎（泉が丘）	1 大塚・小宅（鬼怒） 2 関・南木（鬼怒）
4	33	1 旭 2 上三川	1 青柳（陽北） 2 川島（上三川）	1 青木・山田（旭） 2 有田・星野（桑）	1 旭 2 泉が丘	1 関本（旭） 2 金田（旭）	1 長井・長縄（旭） 2 小松・海老沼（泉が丘）
5	34	1 上三川 2 小城南	1 渡辺（旭） 2 橋本（栃東陽）	1 高橋・宝谷（南河内） 2 上野・石川（上三川）	1 旭 2 泉が丘	1 長縄（旭） 2 長瀬（泉が丘）	1 長井・関（旭） 2 高橋・上原（泉が丘）
6	35	1 清原 2 旭	1 雨宮（栃東陽） 2 野口（旭）	1 阿久津・鈴木（旭） 2 北島・大塚（清原）	1 旭 2 泉が丘	1 杉山（鬼怒） 2 長瀬（泉が丘）	1 市村・関（旭） 2 長瀬・松本（泉が丘）
7	36	1 上三川 2 清原	1 吉谷（旭） 2 鈴木（清原）	1 垣内・関野（旭） 2 鈴木・市川（上三川）	1 上三川 2 旭	1 渡辺（旭） 2 池田（旭）	1 菅谷・長縄（旭） 2 坂本・村山（上三川）
8	37	1 旭 2 鬼怒	1 黄倉（鬼怒） 2 会沢（旭）	1 垣内・関野（旭） 2 相沢・関野（旭）	1 鬼怒 2 旭	1 石関（鬼怒） 2 山田（旭）	1 長縄・池田（旭） 2 松本・吉田（鬼怒）
9	38	1 旭 2 上三川	1 志賀（旭） 2 八木（小山二）	1 会沢・関野（旭） 2 青木・大垣（栃東陽）	1 旭 2 真岡西	1 森（旭） 2 吉田（旭）	1 佐藤・手塚（鬼怒） 2 山田・西口（旭）
10	39	1 旭 2 清原	1 志賀（旭） 2 太田（星が丘）	1 斉藤・五月女（旭） 2 関谷・上野（清原）	1 鬼怒 2 旭	1 会沢（旭） 2 池田（旭）	1 手塚・永井（鬼怒） 2 桐原・中島（真岡西）
11	40	1 吉甲 2 上三川	1 太田（星が丘） 2 黄倉（旭）	1 須田・半沢（上三川） 2 菱沼・伏谷（吉甲）	1 南河内 2 真岡西	1 池田（旭） 2 太田（星が丘）	1 小室・桜井（南河内） 2 石井・本田（真岡西）
12	41	1 旭 2 小城南	1 黄倉（鬼怒） 2 平野（旭）	1 福井・斎藤（旭） 2 酒井・倉田（旭）	1 南河内 2 雀宮	1 太田（星が丘） 2 佐藤（上河内）	1 布施・黒崎（清原） 2 逢田・横島（南河内）

関東大会の成績　　全国大会の成績

年		
度		
35		
36		
37		
38		
39		
40		
41		
42		
43		
44		
45	男準優勝　女準優勝	
46	男３位　女準優勝	
47	男３位　女準優勝	
48	女３位	男２位
49	男準優勝　女優勝	
50	男優勝　女優勝	
51	男今市優勝　女大内３位 男単馬場優勝　高橋３位　男複小野口・坂本優勝	男２位
52	男今市優勝　上三川準優勝　女今市３位 男単大島優勝　男複上野・猪瀬優勝　女単湯沢３位　女複高橋・矢野３位	男２位
53	男上三川３位　女今市３位 男単加藤３位　男複芝田・山中準優勝　女複山川・縄田準優勝	男３位
54	男今市３位 男単大森３位　男複村上・手塚優勝　女単三沢優勝	男３位
55	女今市優勝　真岡３位 男単大島３位　男複小松・石川３位　女単根本優勝　小貫３位　女複細井・須藤優勝	女複須藤・細井３位
56	女真岡東準優勝 男単越後３位　男複柴田・石川優勝　江連・山中準優勝　女単松本準優勝　佐藤３位	男複柴田・石川３位
57	男単尾崎優勝	
58	女真岡東３位 男単榎本優勝　大堀準優勝	男単大堀優勝
59	男小山二３位 男複秋津・斎藤３位　佐賀・江連３位　女単飯田３位	男小山二準優勝 男複秋津・斎藤優勝
60	男上三川３位　女真岡東準優勝　鬼怒３位 女単柳３位　女複仲山・桜井準優勝	女鬼怒３位
61	男旭３位　女鬼怒３位　真岡３位 男単磯部優勝　女単高岡優勝　中村準優勝　女複猪瀬・猪瀬３位	女鬼怒準優勝 男単磯部準優勝　女複小松・鈴木準優勝
62	男旭３位　女落合３位 男単川村３位　女複大久保・斉藤優勝　大森・江連準優勝	男旭３位
63	男上三川３位　女鬼怒優勝　旭準優勝 男複森嶋・三浦３位　女複大久保・斉藤優勝　塩田・長谷川準優勝	女鬼怒準優勝 女複大久保・斉藤３位
1	男複川島・杉山３位　女複奥沢・山崎準優勝　柳田・古橋３位	
2	男落合３位　女鬼怒準優勝 男複小口・稲見３位　女単長井準優勝　女複柳田・鈴木準優勝　阿部・山本３位	女複柳田・鈴木３位
3	男桑準優勝 男複下島・高嶋３位　女単普津澤３位　女複大塚・小宅３位	男複下島・高嶋３位　女単普津澤３位
4	男旭準優勝　女旭３位 男単青柳３位　男複青木・山田優勝　女単関本優勝	男旭準優勝 男複青木・野口準優勝　女単関本３位
5	女単長縄準優勝	
6	男清原３位　旭３位 男複鈴木・阿久津３位	
7	男上三川３位 男複鈴木・市川３位　女単渡辺準優勝	
8	男鬼怒３位　女旭３位 男複加内・関野３位	
9	男旭準優勝　女旭３位 男複会沢・関野優勝　女複山田・西口３位	男旭優勝 男複会沢・関野優勝
10	男旭準優勝 男単志賀３位　女複手塚・永井３位	
11	女複小室・桜井３位	
12	男旭準優勝　女南河内準優勝 男単黄倉３位　男複福井・斎藤準優勝	男複福井・斎藤３位

新人中学校バドミントン大会

		男子			女子		
年	回	団体戦	個人戦		団体戦	個人戦	
度			単	複		単	複
47	1	1 上三川 2 今　市	1 猪瀬（上三川） 水野谷（上三川）	1 猪瀬・水野谷（上三川） 2 松本・佐　藤（上三川）	1 本　郷 2 上三川	1 森田（真　岡） 2 野寺（本　郷）	1 野寺・原　（本　郷） 2 佐藤・菅谷（大　内）
48	2	不明					
49	3	不明					
50	4	1 今　市 2 本　郷	1 馬場（今　市） 2 小野口（今市）	1 馬場・高橋（今　市） 2 小野口・赤羽（今市）	1 大　内 2 今　市	不明	不明
51	5	1 今　市 2 上三川	1 大島（今　市） 2 猪瀬（上三川）	1 猪瀬・不明（上三川） 2 大島・君島（今　市）	1 今　市 2 国　本	1 麦島（国　本） 2 鈴木（久下田）	1 早川・高橋（今　市） 2 麦島・森田（国　本）
52	6	1 上三川 2 小山二	1 荒川（上三川） 2 田代（上三川）	1 荒川・加藤（上三川） 2 山中・柴田（小山二）	1 上三川 2 今　市	1 平間（上三川） 2 斎藤（今　市）	不明
53	7	1 今　市 2 小山二	1 大森（今　市） 2 武田（今　市）	1 武田・村上（今　市） 2 大森・手塚（今　市）	1 今　市 2 小山二	1 三沢（今　市） 2 塚田（今　市）	1 壁田・大久保（久下田） 2 三沢・塚田（今　市）
54	8	1 今市 2 上三川	1 戸村（旭） 2 田畑（上三川）	1 藤沼・石川（寺　尾） 2 戸村・星野（旭）	1 今　市 2 真　岡	1 根本（今　市） 2 小貫（小山二）	1 根本・細井（今　市） 2 塩田・須藤（今　市）
55	9	1 小山二 2 今　市	1 越後（今　市） 2 中山（小山二）	1 越後・石川（今　市） 2 秋津・山中（小山二）	1 真　岡 2 小山二	1 松本（真　岡） 2 鈴木（真　岡）	1 南雲・松本（真　岡） 2 川村・佐藤（小山二）
56	10	1 今　市 2 上三川	1 尾崎（今　市） 2 柴田（今　市）	1 尾崎・柴田（今　市） 2 長田・田村（今　市）	1 今　市 2 附　属	1 渡辺（今　市） 2 吉沢（小山二）	1 坂本・文挟（今　市） 2 半田・工藤（附　属）
57	11	1 小山二 2 今　市	1 大堀（今　市） 2 榎本（小山二）	1 榎本・杉原（小山二） 2 大堀・福田（今　市）	1 真岡東 2 小山二	1 広沢（真岡東） 2 庭野（真岡東）	1 広沢・飯田（真岡東） 2 岩間・庭野（真岡東）
58	12	1 小山二 2 落　合	1 夏迫（落　合） 2 渡辺（今　市）	1 斉藤・秋津（小山二） 2 江連・佐賀（小山二）	1 真岡東 2 落　合	1 飯田（真岡東） 2 川村（小山二）	1 本庄・鈴木（小山二） 2 関　・小池（真岡東）
59	13	1 小山二 2 桑	1 佐藤（上三川） 2 神林（小山二）	1 増本・村越（上三川） 2 和田・小篠（桑）	1 鬼　怒 2 真岡東	1 安藤（鬼　怒） 2 土屋（真岡東）	1 仲山・桜井（鬼　怒） 2 上野・渡辺（真岡東）
60	14	1 小山二 2 桑	1 磯部（旭） 2 飯島（小山二）	1 高松・大久保（鬼怒） 2 曽篠・木村（桑）	1 泉が丘 2 鬼　怒	1 高岡（鬼　怒） 2 雫（旭）	1 小松・鈴木（鬼　怒） 2 和田・和田（市　貝）
61	15	1 旭 2 桑	1 山口（旭） 2 斉藤（旭）	1 大屋・山崎（旭） 2 鈴木・佐藤（上三川）	1 鬼　怒 2 落　合	1 中村（一　条） 2 鈴木（鬼　怒）	1 斉藤・大久保（鬼怒） 2 大森・江連（落　合）
62	16	1 上三川 2 小山二	1 橋本（小山二） 2 藤井（泉が丘）	1 森嶋・内田（上三川） 2 海老原・三浦（上三川）	1 鬼　怒 2 旭	1 市村（旭） 2 塩田（鬼　怒）	1 斉藤・大久保（鬼怒） 2 高島・山崎（旭）
63	17	1 小山二 2 旭	1 磯部（旭） 2 若林（清　原）	1 杉山・貝賀（上三川） 2 川村・金田（旭）	1 旭 2 鬼　怒	1 長井（旭） 2 村上（鬼　怒）	1 山崎・奥沢（旭） 2 田村・柳田（鬼　怒）
1	18	1 落　合 2 上三川	1 金田（旭） 2 金田（上三川）	1 小口・稲見（上三川） 2 三好・松浦（桑）	1 旭 2 鬼　怒	1 長井（旭） 2 鈴木（鬼　怒）	1 阿部・山本（旭） 2 古橋・柳田（鬼　怒）
2	19	2 小山城南	1 水川（桑） 2 石下（小山城南）	1 舘野・西田（桑） 2 下鳥・高島（小山城南）	1 鬼　怒 2 旭	1 普津澤（陽北） 2 関本（旭）	1 大塚・小宅（鬼　怒） 2 奥沢・海老沼（泉が丘）
3	20	1 上三川 2 桑	1 青柳（陽北） 2 川島（上三川）	1 青木・田嶋（旭） 2 鈴木・大島（上三川）	1 旭 2 真　岡	1 関本（旭） 2 海老沼（泉が丘）	1 小松・海老沼（泉が丘） 2 金田・野口（旭）
4	21	1 上三川 2 桑	1 渡辺（旭） 2 上野（上三川）	1 宝谷・保坂（南河内） 2 高橋・黒川（南河内）	1 泉が丘 2 旭	1 長縄（旭） 2 長井（旭）	1 長瀬・松本（泉が丘） 2 高橋・上原（泉が丘）
5	22	1 清　原 2 旭	1 神原（清　原） 2 西口（旭）	1 北島・大塚（清　原） 2 小林・塩原（旭）	1 泉が丘 2 旭	1 杉山（鬼　怒） 2 長瀬（泉が丘）	1 長瀬・松本（泉が丘） 2 市村・関　（旭）
6	23	1 上三川 2 旭	1 古谷（旭） 2 鈴木（清　原）	1 鈴木・市川（上三川） 2 渡辺・柳田（上三川）	1 旭 2 上三川	1 渡辺（旭） 2 樋口（陽　西）	1 菅谷・長縄（旭） 2 村山・坂本（上三川）
7	24	1 旭 2 鬼　怒	1 黄倉（鬼　怒） 2 岡崎（附　属）	1 金澤・会澤（旭） 2 相澤・関野（旭）	1 旭 2 鬼　怒	1 池田（旭） 2 石関（鬼　怒）	1 長縄・山田（旭） 2 坂本・佐藤（鬼　怒）
8	25	1 旭 2 桑	1 会澤（旭） 2 八木（小山二）	1 関野・斎藤（旭） 2 星宮・金川（清　原）	1 旭 2 真岡西	1 山田（旭） 2 吉田（鬼　怒）	1 西田・吉田（旭） 2 永井・手塚（鬼　怒）
9	26	1 旭 2 清　原	1 志賀（旭） 2 佐藤（小山二）	1 斎藤・五月女（旭） 2 北島・関谷（清　原）	1 旭 2 鬼　怒	1 手塚（鬼　怒） 2 会澤（旭）	1 斎藤・横山（旭） 2 増山・老沼（旭）
10	27	1 上三川 2 旭	1 佐藤（鬼　怒） 2 太田（星が丘）	1 須田・半澤（上三川） 2 半澤・角田（上三川）	1 南河内 2 真岡西	1 会澤（旭） 2 池田（旭）	1 太田・中里（星が丘） 2 小室・桜井（南河内）
11	28	1 旭 2 小山二	1 黄倉（鬼　怒） 2 佐藤（旭）	1 福井・斎藤（旭） 2 洒井・倉田（旭）	1 南河内 2 清　原	1 太田（星が丘） 2 佐藤（上河内）	1 蓬田・横島（南河内） 2 宇賀持・野口（南河内）
12	29	1 旭 2 鬼　怒	1 黄倉（鬼　怒） 2 中里（旭）	1 増渕・佐藤（旭） 2 羽石・山口（星が丘）	1 雀　宮 2 河　内	1 上（雀　宮） 2 佐藤（上河内）	1 菊地・相良（古　里） 2 竹本・舟山（雀　宮）

若葉カップ全国小学生バドミントン大会県予選会

回数	期　日	会　　場	成績	種目			
				男子団体	女子団体	男子ダブルス	女子ダブルス
12	H8.5.19	河内町 総合体育館	優勝	御幸小	上戸祭小A	吉新・太田(上戸祭)	会沢・菱沼(簗瀬)
			準優勝	上戸祭小	上戸祭小B	佐藤・松本(御幸)	松本・東山(上戸祭)
			3　位	今泉小	雀宮中央	片山・野村(上戸祭)	中里・三浦(上戸祭)
			3　位	簗瀬小	簗瀬小	石崎・酒井(簗瀬)	池田・渡辺(簗瀬)
13	H9.5.18	河内町 総合体育館	優　勝	簗瀬小A	上戸祭小A	酒井・福井(簗瀬)	中里・太田(上戸祭)
			準優勝	御幸小	上戸祭小B	水沼・倉田(簗瀬)	岡・一期崎(上戸祭)
			3　位	河内小	明保小	増渕・佐藤(簗瀬)	三浦・三浦(上戸祭)
			3　位	上戸祭小	雀宮南小	平野・坂本(簗瀬)	菱沼・土田(簗瀬)
14	H10.5.10	河内町 総合体育館	優　勝	簗瀬小	上戸祭小		
			準優勝	雀宮南小	河内町JBS		
			3　位	上戸祭小	雀宮南小		
15	H11.6.12	鹿沼 総合体育館 (フォレストアリーナ)	優　勝	上戸祭小	上戸祭小		
			準優勝	雀宮中央	河内町JBS		
			3　位	雀宮南小	簗瀬小		
			3　位	簗瀬小	雀宮南小		
16	H12.6.11	鹿沼 総合体育館 (フォレストアリーナ)	優　勝	雀宮南小	上戸祭小A		
			準優勝	簗瀬小A	簗瀬小A		
			3　位	上戸祭小B	明保小A		
			3　位	上戸祭小A	今泉小		

県小学生バドミントン大会

回数	期日	会場	順位	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
第14回	H8.8.10	県体育館	1位	佐藤(御幸)	太田・吉新(上戸祭)	松本(上戸祭)	会沢・菱沼(簗瀬)
			2位	黄倉(御幸)	佐藤・北嶋(今泉)	中里(上戸祭)	岡・太田(上戸祭)
			3位	佐藤(河内)	片山・野村(上戸祭)	安生(明保)	三上・山越(雀宮南)
			3位	石崎(雀中央)	福井・酒井(簗瀬)	加賀(今泉)	池田・渡辺(簗瀬)
第15回	H9.8.9	県体育館 6年	1位	浜津(河内)	酒井・福井(簗瀬)	杉本(明保)	中里・太田(上戸祭)
			2位	宮窪(簗瀬)	水沼・倉田(簗瀬)	中塚(御幸)	岡・一期崎(上戸祭)
			3位	富川(御幸)	平野・坂本(簗瀬)	箕輪(河内)	宇賀神・斉藤(上戸祭)
		5年	1位	黄倉(御幸)	増渕・佐藤(簗瀬)	佐藤(上河内)	小野・田中(明保)
			2位	寛座(御幸)	野村・中里(上戸祭)	木山(明保)	浪内・岡(上戸祭)
			3位	門谷(雀中央)	福富・中村(雀宮南)	東山(上戸祭)	竹本・荻谷(雀宮南)

回数	期日	会場	順位	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
第16回	H10.8.8	6年 県体育館 5年	1位	黄倉(御幸)	増渕・佐藤(簗瀬)	佐藤(上河内)	三上・舟山(雀宮南)
			2位	寛座(御幸)	中村・福富(雀宮南)	大塚(簗瀬)	一期崎・東山(上戸祭)
			3位	白幡(雀宮南)	若菜・永井(河内)	木山(明保)	菊地・大島(河内)
			1位	門谷(雀中央)	会沢・黒須(簗瀬)	屋代(河内)	相良・箕輪(河内)
			2位	中里(上戸祭)	羽石・山口(上戸祭)	小室(上戸祭)	増渕・水沼(簗瀬)
			3位	鈴木(雀中央)	福田・山口(上戸祭)	鈴木(明保)	浪内・石井(上戸祭)
第17回	H11.9.5	6年 県体育館 5年	1位	門谷(雀中央)	羽石・山口(上戸祭)	浪内(上戸祭)	相良・箕輪(河内町)
			2位	中里(上戸祭)	福田・山口(上戸祭)	川島(益子)	増渕・水沼(簗瀬)
			3位	会沢(簗瀬)	大塚・木村(雀中央)	屋代(河内町)	石井・小室(上戸祭)
			1位	松本(簗瀬)	田崎・田仲(城東)	佐藤(上河内)	高野・佐藤(益子)
			2位	高山(雀宮南)	斉藤・増渕(簗瀬)	石井(上戸祭)	菊地・斉藤(簗瀬
			3位	森島(上河内)	小堀・石井(簗瀬)	大門(明保)	大澤・高瀬(雀宮南)
第18回	H12.9.3	6年 5年 県運動公園トレーニングセンター 4年	1位	松本(簗瀬)	小堀・斉藤(簗瀬)	佐藤(上河内)	高根沢・石井(上戸祭)
			2位	森島(上河内BC)	竹山・石井(雀宮南)	佐藤(益子)	柳谷・黒子(上河内)
			3位	田崎(城東)	永井・柴山(河内JBS)	亀田(明保)	篠原・安納(雀中央)
			1位	増渕(簗瀬)	鷹箸・内堀(上戸祭)	矢野(上戸祭)	高瀬・福富(雀宮南)
			2位	瀬尾(益子JBC)	川島・川崎(城東)	高松(明保)	渡辺・鈴木(明保)
			3位	鈴木(上戸祭)	森山・曽我(雀宮南)	荻原(雀中央)	坂本・小森(簗瀬)
			1位	鈴木(上戸祭)	小池・大幡(益子)	原(益子)	橋本・堀江(益子)
			2位	富山(上戸祭)	瀬尾・上野(益子)	安藤(益子)	野村・谷口(益子)
			3位	大島(雀中央)	秋澤・秋澤(河内)	安納(雀中央)	西川・多田出(河内)

県スポーツ少年団交流大会
兼 関東地区スポーツ少年団交流大会県予選会

回数	期日	会場	順位	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
第1回	H9.5.25	県体育館	1位	上戸祭	男女混成チームによる団体戦		
			2位	雀宮南			
			3位	明保			
第2回	H10.5.24	県体育館	1位	上戸祭	男女混成チームによる団体戦		
			2位	簗瀬			
			3位	雀宮南			
第3回	H11.5.23	県体育館	1位	中里(上戸祭)	福田・山口(上戸祭)	川島(益子)	水沼・増渕(簗瀬)
			2位	松本(簗瀬)	羽石・山口(上戸祭)	小室(上戸祭)	浪内・石井(上戸祭)
			3位	吉澤(城東)	斉藤・増渕(簗瀬)	大越(上戸祭)	鈴木・丸山(上戸祭
			3位	石井(宇大附属)	石渡・大島(雀中央)	石塚(雀宮南)	高根沢・石井(上戸祭)
第4回	H12.5.28	県体育館	1位	松本(簗瀬)	田崎・田仲(城東)	石井(上戸祭)	高野・佐藤(益子)
			2位	高山(雀宮南)	竹山・石井(雀宮南)	金沢(今泉)	菊地・斉藤(簗瀬)
			3位	森島(上河内)	斉藤・小堀(簗瀬)	矢野(上戸祭)	黒子・佐藤(上河内)
			3位	増渕(簗瀬)	森山・曽我(雀宮南)	高根沢(上戸祭)	亀田・高松(明保)

回数	期日	会場	順位	男子シングルス	男子ダブルス	女子シングルス	女子ダブルス
第５回	H13.5.27	県体育館	１位	鈴木(上戸祭)	鷹箸・内掘(上戸祭)	石井(上戸祭)	矢野・蓮子(上戸祭)
			２位	鈴木(上戸祭)	堀江・瀬尾(益子)	高松(明保)	橋本・堀江(益子)
			３位	富山(上戸祭)	小池・大幡(益子)	水津(城東)	安藤・原(益子)
			３位	増渕(簗瀬)	田中・大島(雀中央)	大河原(雀宮南)	青柳・蓬田(上戸祭)

県小学生選抜ＡＢＣ大会

回数	期日	会場	成績	男子Ａ(５～６年生)	男子Ｂ(３～４年生)	男子Ｃ(１～２年生)
第１回	H12.5.7	河内町総合体育館	優　勝	田崎　　明(城東)	鈴木　智也(上戸祭)	上野　浩平(益子)
			準優勝	高山　裕紀(雀宮南)	富山　拓哉(上戸祭)	平野　拓真(城東)
			３　位	松本　広平(簗瀬)	小池　　毅(益子)	福田　和実(宇JB)
			３　位	増渕　典明(簗瀬)	大島　智彦(雀中央)	大幡　雄大(益子)
			成績	女子Ａ(５～６年)	女子Ｂ(３～４年生)	女子Ｃ(１～２年生)
			優　勝	佐藤奈緒美(益子)	安藤　千夏(益子)	畠田いづみ(宇JB)
			準優勝	石井　那実(上戸祭)	原　美沙子(益子)	坂本　真弓(河内)
			３　位	佐藤志緒理(上河内)	堀江真菜美(益子)	加藤　綾華(宇JB)
			３　位	亀田沙也加(明保)	橋本　未来(益子)	後藤　宏奈(宇JB)
第２回	H13.5.13	宇都宮市体育館	成績	男子Ａ(５～６年生)	男子Ｂ(３～４年生)	男子Ｃ(１～２年生)
			優　勝	鷹箸　拓也(上戸祭)	大島　智彦(雀中央)	竹澤　昇平(雀宮中央)
			準優勝	増渕　典明(簗瀬)	山口　夏生(上戸祭)	
			３　位	鈴木　孝祐(上戸祭)	瀬尾謙太郎(益子)	
			３　位	鈴木　智也(上戸祭)	大森　康平(今市)	
			成績	女子Ａ(５～６年)	女子Ｂ(３～４年生)	女子Ｃ(１～２年生)
			優　勝	石井　那実(上戸祭)	野村佳瑞美(益子)	法師人麻里(益子)
			準優勝	矢野智恵美(上戸祭)	谷口　有沙(益子)	飯村　早恵(益子)
			３　位	原　美沙子(益子)	福田　菜摘(上戸祭)	吉沢　麻衣(益子)
			３　位	高松ありさ(明保)	稲見　　梢(益子)	加藤　綾華(宇都宮JB)



県小学生大会の１コマ

参考資料

栃木県バドミントン協会規約

第一章　総　則

第１条　名　称　本会は、栃木県バドミントン協会（略称　栃バド協）と称する。

第２条　事務局　本会の事務局は、〒321－4306　真岡市台町2815　真岡女子高校内におく。

第二章　目的と事業

第３条　目　的　本会は、県内のバドミントン競技団体の中枢機関として、バドミントンの普及と発展を図り、各種の競技会に選手を派遣して研鑽を深め、体位の向上に寄与することを目的とする。

第４条　事　業　本会は、前条の目的を達成するために、下記の事業を行う。

（１）各種競技会への参加　（２）各種競技会の開催ならびに協力

（３）競技の指導及び普及　（４）競技に関する調査、研究、資料の収集

（５）その他必要な事業

第三章　会　則

第５条　資　格　本会の会員は、栃バド協を通じて日本協会に登録した者であること。

第６条　加　入　本会に加入を希望する者は、毎年４月に所定の手続きをしなければならない。（尚11月まで可）

第７条　脱　退　本会に加入後、第５条に該当する資格を失うか、年度をこえても登録を更新しないものは、本会を脱退したものとする。

第四章　役　員

第８条　役　員　本会に次の役員をおく。

名誉会長　若干名　会長　１名　副会長　若干名　理事長　１名

副理事長　若干名　常任理事　若干名　理事　若干名　事務局長　１名

監査　２名

第９条　任　務　会長は本会を代表する。副会長は会長を補佐する。理事長は、総会の議決に従い会務を執行する。副理事長は理事長を補佐する。常任理事は総務、会計、審判、強化、広報の各部の会務と実業団連盟、レディース連盟、教職員連盟、高体連、中体連、小学生連盟など各連盟と市町村協会の業務を分担する。監査は、会計を監査し、会計事務の処理に関して会計担当者に適切な助言を与える。

第10条　選　任　役員の選任は、総会において理事の中から互選する。

第11条　任　期　役員の任期は全て２年とする。但し、再任は妨げない。役員に欠員を生じ、補充の必要があって選任された役員の任期は、前任者の残余期間とする。

第五章　会　議

第12条　会　議　本会の運営は次の会議を経て行う。

（１）総会　（２）常任理事会　（３）委員会

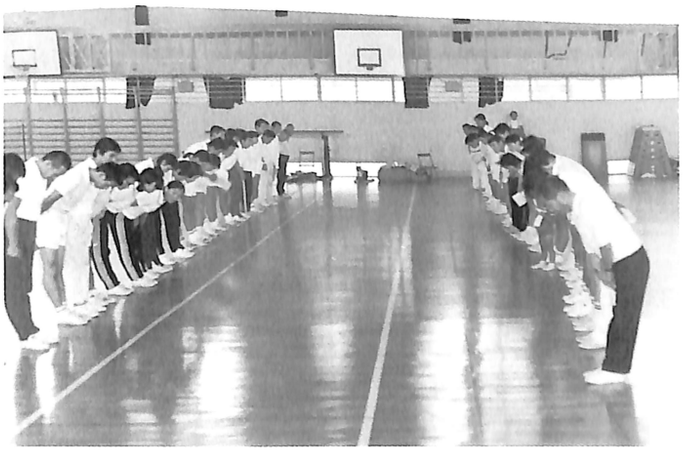
第13条　総　会　総会は定時総会と臨時総会とし、定時総会は毎年４月に会長が招集する。臨時総会は必要に応じて会長が招集する。

第14条　構　成　総会の構成員は、会長、副会長、理事長、副理事長、常任理事、理事、事務局長、各組織の代表とする。
第15条　議　決　議事は出席者の過半数をもって決し、賛否同数の際は会長の裁決とする。
第16条　議　題　総会においては次の諸項を審議又は議決する。
（１）事業報告及び会計決算　（２）事業計画及び会計予算　（３）役員の選出
（４）規約の改廃　（５）その他
第17条　理事会　会務の円滑な執行を図るため、必要に応じて理事長は常任理事会を開催することができる。又、常任理事又は理事が必要なときは、開催を理事長に要請することができる。
第18条　委員会　各委員会は必要に応じて、担当常任理事が招集する。

第六章　会　計
第19条　経　費　本会の経費は、加盟分担金、登録料、参加料、積立金、その他の収入をこれに当てる。それぞれの経費の金額は別に定める。
第20条　年　度　本会の会計年度は毎年４月１日に始まり、翌年３月31日をもって終る。

＊　付　則　本規約は昭和27年４月１日より施行する。
本規約は昭和51年４月１日より施行する。
本規約は平成８年４月１日より施行する。

第１回　群馬一栃木親善試合



両県選手団挨拶



群馬県上田敬次理事長ご挨拶

平成12～13年度　栃木県バドミントン協会役員

名誉会長	岩崎純三	321－4305	真岡市荒町1079－2
顧　問	小柴　貢	320－0051	宇都宮市上戸祭町578
会　長	遠井稔男	329－0611	上三川町上三川5116
副会長	保坂俊一	320－0046	宇都宮市西一の沢町365
同	近藤　満	320－0065	宇都宮市駒生町3363－5
同	野沢　巧	321－4511	二宮町高田1915－2
理事長	森田　昇	320－0851	宇都宮市鶴田町2153－7
副理事長	別井　晃	320－0051	宇都宮市上戸祭町160－2
同	大島喜代子	321－4345	真岡市寺内1219－3
同	舘野政男	321－4337	真岡市上高間木2－8－5
同	板口千代子	321－4325	真岡市田町1790－18
常務理事	武井祥子	321－0961	宇都宮市今泉新町366
同	篠原　隆	328－0003	栃木市大光寺町146－1
同	村上幸一	321－3235	宇都宮市鐺山町2095－2
同	小川民生	320－0072	宇都宮市若草4－18－19八雲ハイツ102
同	山崎早苗	321－0122	宇都宮市下反町町224－2
同	岡室利彦	320－0017	宇都宮市戸祭台24－9
同	戸村正樹	321－0934	宇都宮市簗瀬町3－3－12
同	福田シズエ	321－0904	宇都宮市陽東3－1－15
同	石川澄子	321－3235	宇都宮市鐺山町2375
理　事	赤羽右次	321－0345	宇都宮市大谷町126
同	小川　浩	320－0821	宇都宮市一条2－6－8
同	三富久子	328－0071	栃木市大町1－19
同	原　利浩	321－4102	益子町芦沼120
同	大森誠一	321－2335	今市市森友1612－12
同	大堀　円	321－2336	今市市荊沢540－237
同	荒井美恵子	320－0865	宇都宮市睦町14－4県住653
同	人見佳克	325－0052	黒磯市中央町5－29
同	福田哲夫	329－0611	上三川町上三川3395
同	相場初男	326－0061	足利市田島町209
同	神林忠一	323－0820	小山市西城南2－16－9
同	保田誠一	320－0851	宇都宮市鶴田町3431－36
同	羽石武士	321－4402	真岡市清水24－5
同	遠井　努	329－0611	上三川町上三川5116
同	和久茂仁	321－4361	真岡市並木町3－10福田記念病院副院長

加盟団体一覧

支部協会

宇都宮市協会	320－0863	宇都宮市操町2－20村岡方	028－636－2801
河内町協会	329－1104	河内郡河内町下岡本4457－6小沼方	028－673－5172
上河内町協会	321－0414	河内郡上河内町中里248－11佐藤方	028－674－3031
鹿沼市協会	322－0042	鹿沼市蓬莱町1410文挟方	0289－62－2223
上三川町協会	329－0611	河内郡上三川町上三川3395福田方	0285－56－6531
小山市協会	323－0820	小山市西城南2－16－9神林方	0285－27－2198
真岡市協会	321－4402	真岡市清水24－5羽石方	0285－82－0212
足利市協会	326－0061	足利市田島町209相場方	0284－42－5061
栃木クラブ	328－0071	栃木市大町1－19三富方	0282－22－1782
大田原市協会	325－0052	黒磯市中央町5－29人見方	0287－62－0413
日光市協会	321－1421	日光市所野1321－2大藤方	0288－54－2955休止中

実業団連盟

富士重工㈱宇都宮製作所	320－0834	宇都宮市陽南1－1－11	028－658－1111
松下電器産業㈱宇都宮映像工場	321－0905	宇都宮市平出工業団地2－2	028－661－1171
日産自動車㈱栃木工場	329－0617	上三川町上蒲生2500	0285－56－3123
栃木県庁	320－0027	宇都宮市塙田1－1－20	028－623－2323
本田技術研究所㈱栃木研究所	321－3321	芳賀町下高根沢4630	028－677－3311
宇都宮市役所	320－0818	宇都宮市旭1－1－5	028－632－2222

栃木県レディースバドミントン連盟

明保野(あけぼの)バドミントンクラブ	宇賀神享子	30名	明保野体育館		週２回
足利シャトルエース	木村美津子	12名	足利勤労身障者スポーツセンター		週２回
あじさいクラブ	玉川　君江	18名	宇都宮市体育館		週２回
あすなろクラブ	有野登代子	11名	姿川体育館		週１回
あひるクラブ	新井　孝子	13名	真岡市総合体育館		週２回
ＳＫＣ	藤井　洋子	23名	河内町総合体育館		週２回
ＭＭＣ	福田　直子	9名	真岡市武道館		週１回
小山アルバトロス	池沢　悦子	44名	県南体育館他	午前、午後、夜	週１回
桜　花	北村　里美	18名	清原体育館		
小山チェリーズ	浜田　千里	32名	県南体育館		週１回
小山アイリス	大森　文子	22名	県南体育館		週１回
さつきシャトル	神長乃里子	17名	雀宮体育館		週１回
鹿沼コスモス	金子　春恵	23名	東部公民館講堂		週２回
カトレア	原　　則子	22名	宇都宮市体育館		週１回
きりんくらぶ	仲根ゆかり	16名	キリンビール体育館(花岡)		週３回
県体エースクラブ	中原　幸子	40名	明保野体育館		週２回
シャトルクラブ	野尻　寿子	12名	東勤労青少年ホーム		週２回
スマイル	桑島　桂子	15名	石橋町立体育館		週３回
栃木市レディースクラブ	白石　由美	21名	栃木市体育館		

栃の葉レディースクラブ	石川　澄子	34名	トライ東	週２回
ふたばクラブ	吉永　知子	26名	宇都宮市体育館	週１回
ピカソクラブ	小沼富美子	22名	益子町総合体育館	週３回
ファイタークラブ	鶴見智都美	25名	トライ東	週２回
フレッシュシャトルクラブ	増渕　朝子	15名	清原体育館	週２回
マロンクラブ	久野かをる	15名	宇都宮市体育館	週１回
ミディークラブ	杉本　光子	22名	雀宮体育館	週２回
陽東クラブ	石川　優子	13名	陽東小体育館	
レピシェ	小島　光子	6名	雀宮小体育館	週

県内大学・短大関係

大学名	住所		電話番号
宇都宮大学	320－8505	宇都宮市峰町350	028－649－5009
足利工業大学	326－0845	足利市大前町268－1	0284－62－0605
自治医科大学	329－0431	南河内町薬師寺3311－1	0285－44－2111
獨協医科大学	321－0207	壬生町北小林880	0282－86－1111
作新学院大学	321－3236	宇都宮市竹下町908－4	028－667－7111
白鴎大学	323－0041	小山市大行寺1117	0285－24－4300
宇都宮短期大学	321－0346	宇都宮市下荒針町長坂3829	028－648－2331
宇都宮文星短大	320－0058	宇都宮市上戸祭4－8－15	028－625－3737
国学院大栃木短大	328－8588	栃木市平井町608	0282－22－5511
足利短期大学	326－0808	足利市本城3丁目2120	0284－21－8242
佐野国際情報短大	327－0821	佐野市高萩町973	0283－21－1200
小山工業高等専門学校	323－0806	小山市中久喜771	0285－22－3344

高等学校

高校名	住所		電話番号
宇都宮高等学校	320－0846	宇都宮市滝の原3－5－70	028－633－1426
宇都宮女子高校	320－0863	宇都宮市操町5－19	028－633－2315
宇都宮中央女子高校	320－0072	宇都宮市若草2丁目2－46	028－622－1766
宇都宮東高校	321－0912	宇都宮市石井町3360－1	028－656－1311
宇都宮北高校	321－0973	宇都宮市岩曽町606	028－663－1311
宇都宮南高校	321－0123	宇都宮市東谷町660－1	028－653－2081
宇都宮清陵高校	321－3236	宇都宮市竹下町908－3	028－667－6251
宇都宮白楊高校	321－0962	宇都宮市今泉町2021	028－661－1525
宇都宮工業高校	320－0842	宇都宮市京町9－25	028－633－0451
宇都宮商業高校	320－0014	宇都宮市大曽3丁目1－46	028－622－0488
文星女子高校	320－0048	宇都宮市北一の沢町24－35	028－621－8156
作新学院高等部	320－0047	宇都宮市一の沢1－1－41	028－648－1811
今市高等学校	321－1277	今市市千本木432	0288－22－0148
石橋高等学校	329－0511	石橋町石橋845	0285－53－2517
上三川高校	329－0524	上三川町多功994－4	0285－53－2367
小山城南高校	323－0825	小山市小山2728	0285－27－1245

小山高等学校	323－0028	小山市若木町2－8－51	0285－22－0236
小山南高校	329－0205	小山市間々田23－1	0285－45－2424
小山北桜高校	323－0802	小山市東山田448－29	0285－49－2932
栃木高等学校	328－0016	栃木市入舟町12－4	0282－22－2595
栃木工業高校	328－0063	栃木市岩出町129	0282－22－4138
栃木商業高校	328－0053	栃木市片柳町5－1－30	0282－22－0541
国学院大栃木高校	328－0054	栃木市平井町608	0282－22－5511
足利女子高校	326－0801	足利市有楽町836	0284－41－2171
足利高校	326－0808	足利市本城1丁目1629	0284－41－3573
足利商業高校	326－0846	足利市山下町2110	0284－62－2011
足利工業高校	326－0817	足利市西宮町2908－1	0284－21－1318
足利南高校	326－0334	足利市下渋垂町980	0284－72－3118
白鴎大足利高校	326－0053	足利市伊勢町4189	0284－41－1251
矢板東高校	329－2136	矢板市東町4－8	0287－43－1243
黒磯南高校	325－0026	黒磯市上厚崎747－2	0287－63－0373
大田原高校	324－0058	大田原市紫塚2651	0287－22－2042
大田原女子高校	324－0053	大田原市元町1－5－43	0287－22－2073
那須拓陽高校	329－2727	西那須野町永田町3－52	0287－36－1225
真岡女子高校	321－4306	真岡市台町2815	0285－82－2525
真岡高等学校	321－4331	真岡市白布ケ丘24－1	0285－82－3413
真岡北陵高校	321－4415	真岡市下籠谷396	0285－82－3415
真岡工業高校	321－4362	真岡市熊倉町4562	0285－82－3303
益子高等学校	321－4216	益子町塙2381－1	0285－72－5525
芳賀高等学校	321－3304	芳賀町祖母井1676	028－677－0120

中学校関係

中学名	住所		電話番号
宇都宮市立一条中学校	320－0321	宇都宮市一条1－4－7	028－633－0401
宇都宮市立星が丘中学校	320－0038	宇都宮市星が丘2－3－31	028－622－6542
宇都宮市立旭中学校	320－0816	宇都宮市天神1－1－42	028－634－9177
宇都宮市立泉が丘中学校	321－0952	宇都宮市泉が丘4－11－40	028－661－2508
宇都宮市立鬼怒中学校	321－0901	宇都宮市平出町3764－10	028－661－6337
宇都宮市立清原中学校	321－3235	宇都宮市鐺山町231	028－667－0101
宇都宮大学付属中学校	320－0041	宇都宮市松原1丁目7－38	028－622－2555
上三川町立上三川中学校	329－0611	上三川町上三川4279	0285－56－2045
上三川町立本郷中学校	329－0602	上三川町東汗520	0285－56－2136
南河内町立南河内中学校	329－0431	南河内町薬師寺986	0285－48－0010
河内町立古里中学校	329－1105	河内町中岡本3130	028－673－1815
今市市立今市中学校	321－1261	今市市今市1659	0288－22－0331
今市市立落合中学校	321－1107	今市市小代310	0288－27－0024
日光市立日光中学校	321－1436	日光市久次良町2096－1	0288－54－0452
日光市立中宮祠中学校	321－1661	日光市中宮祠2478	0288－55－0079
壬生町立壬生中学校	321－0214	壬生町壬生甲2770	0282－82－6690

栃木市立栃木東中学校	328－0031	栃木市日の出町1－11	0282－22－5678
栃木市立栃木西中学校	328－0053	栃木市片柳町12－15－40	0282－22－5711
栃木市立寺尾中学校	328－0205	栃木市鍋山町86－2	0282－31－0019
小山市立小山中学校	323－0005	小山市渋井779－1	0285－22－0168
小山市立小山第二中学校	323－0032	小山市天神町1－6－36	0285－22－0089
小山市立小山第三中学校	323－0811	小山市犬塚654	0285－25－5745
小山市立城南中学校	323－0829	小山市東城南1－22－9	0285－27－5800
小山市立桑中学校	323－0808	小山市出井1859	0285－22－0187
真岡市立真岡中学校	321－4306	真岡市台町4008	0285－82－5135
真岡市立真岡東中学校	321－4325	真岡市田町1256－18	0285－82－2535
真岡市立真岡西中学校	321－4336	真岡市西高間木531	0285－84－6223
真岡市立中村中学校	321－4351	真岡市中203	0285－82－2542
真岡市立大内中学校	321－4405	真岡市飯貝1159	0285－82－2541
真岡市立山前中学校	321－4321	真岡市小林784	0285－82－2540
二宮町立久下田中学校	321－4521	二宮町久下田1304	0285－74－0068
足利市立第三中学校	326－0026	足利市常盤町67	0284－41－3334
足利市立西中学校	326－0846	足利市山下町2539	0284－62－2230
足利市立協和中学校	326－0336	足利市百瀬町2017	0284－71－1618
足利市立毛野中学校	326－0015	足利市八椚町27	0284－91－0905
足利市立山辺中学校	326－0837	足利市西新井町3157	0284－71－3104

栃木県小学生バドミントン連盟

簗瀬クラブ	小菅　悟	321－0933	宇都宮市簗瀬町2359	028－635－0104
今泉クラブ	野口　友克	321－0954	宇都宮市元今泉1－8－10	028－633－6170
城東クラブ	増山　次男	321－0925	宇都宮市東簗瀬1－9－7	028－635－6473
雀宮中央クラブ	菅野　尚哉	321－0951	宇都宮市越戸2－7－4	028－663－0727
雀宮南クラブ	三上　緑	321－0145	宇都宮市茂原1－3－15	028－653－5294
御幸クラブ	鈴木　孝治	321－0983	宇都宮市御幸本町4635－12	028－661－5320
明保クラブ	高橋　秀行	321－0345	宇都宮市大谷町1426－5	028－652－2396
上戸祭クラブ	赤羽　右次	321－0345	宇都宮市大谷町126	028－652－2280
宇大附属クラブ	鈴木　博文	320－0038	宇都宮市星が丘1－8－15	028－650－0180
宇都宮ＪＢ	鈴木　芳男	321－0923	宇都宮市下栗町589	028－656－0096
河内ＪＢＳ	相良　定夫	329－1105	河内郡河内町中岡本290	028－673－2870
上河内ＪＢ	佐藤　武男	321－0414	河内郡上河内町中里248－11	028－674－3031
池の森ＢＣ	金子　勝次	322－0018	鹿沼市池の森171－5	0289－75－4772
今市ＢＣ	大森　誠一	321－2353	今市市森友1612－12	0288－22－1529
上三川ＢＳ	福田しずか	329－0611	河内郡上三川町上三川3395－1	0285－56－6531
益子ＪＢＣ	安藤由美子	321－4216	芳賀郡芳賀町塙1274－6	0285－72－9554
足利ＪＢＣ	相場　初男	326－0061	足利市田島町209	0284－42－5051
小俣ＪＢＣ	猪野　康浩	326－0843	足利市五十部町969－1	0284－21－6713
石橋ＪＢ	涌井江以子	329－0516	下都賀郡石橋町大光寺2－16－7	0285－52－0465

創立10周年記念表彰者

〔順不同　敬称略〕

1　設立功労者

堤　武雄	大沢　渉	長安寿夫
松本弘充	黒後梅男	相原豊次
富沢丑郎	斉藤民男	塚越正盛
池田喜重(故人)	古宮林平	

県立宇都宮商業高等学校（定）バドミントン部

県立宇都宮中央女子高等学校バドミントン部

2　運営発展功績者

小柴　貢	滝沢テル	後藤喜一郎
富川　昇	小林正和	保坂俊一
近藤　満	後藤弘治	船田　譲
葛西敏行	池山　栄	水沼義恵
森　富子	倉田好子	加藤　治
川俣正男	鈴木宣次	須田啓作

3　普及功績・優秀選手

遠井稔男	兼崎敏男	保田誠一
小森博子	中川　勇	大沢真佐代
池間祥子	片山　篤	河原井泉秀
小勝紀子	大島信子	国崎サク子

県立真岡女子高等学校バドミントン部

感謝状贈呈者

（順不同）

宮沢宏之　殿〔新日本スポーツ新聞社〕
村上忠治　殿〔ＫＫトヨタスポーツ社長〕
広田兼敏　殿〔日本バドミントン協会副会長〕
上田敬次　殿〔群馬県バドミントン協会理事長〕
伊沢三郎　殿〔全国高体連バドミントン専門部副部長〕
サンバタ株式会社　殿
オリンピア運動具ＫＫ　殿
法政大学バドミントン部　殿

10周年記念行事委員

実行委員長	松本弘充			
実行副委員長	富川　昇	保坂俊一		
委　員	池山　栄	後藤弘治	高橋　泰	
	近藤　満	兼崎敏男	加藤　治	
	小林正和	遠井稔男	岡本　武	
	鈴木秀男	岡本　彪		

◇昭和37年協会役員

顧問	堤　武雄			
	滝沢テル			
	長安寿夫			
	大沢　涉			
会長	小柴　貢			
副会長	後藤喜一郎			
理事長	松本弘充			
常任理事	富川　昇	小林正和	保坂俊一（代議員）	
	遠井稔男	加藤　治	保田誠一	
	川俣正男	鈴木寅次		
理事	近藤　満	後藤弘治	高橋　泰	
	松本光夫	大関篤英	杉山正実	
	平山道夫	岡本　彪	柳田睦子	
	和久井紀江	兼崎敏男		
監事	斉藤民男	池山　栄		

創立30周年記念表彰者

（順不同敬称略）

1　功労者

小柴　貢	松本弘充	別井保男	小林　茂
冨永静吾	富川　昇	近藤　満	保坂俊一
大沢　涉	斉藤　佶	塚原紀子	速水朝子
保田誠一			

2　優秀監督（全国優勝）

遠井稔男	小塙宏人	別井　晃	森田　昇

3　優秀選手（全国優勝者）

松本昭子	川又和子	小出千代子	大島喜代子
大森サト子	鈴木洋子	蜷川明美	鯨　敏枝
三上　緑	小林幸子	中野静江	堀　コヨ
植木タカ子	天満屋初代	大嶌和代	金田里子
日山裕子	二宮藤枝	平間真由美	三富久子
安藤由美子	森田　昇	工藤吉彦	馬場良浩
小野口　正	高橋安典	坂本幸夫	大島正志
大堀　円			

感謝状贈呈

（順不同）

上　田　敬　次　殿
増　田　保　夫　殿
村　山　幸　雄　殿
ヨネックス株式会社　殿
カワサキラケット株式会社　殿
株式会社ゴーセン　殿
メトロジャー株式会社　殿
ミセキネット製作所　殿
株式会社諸江製作所　殿
ラケットショップ元町　殿
長瀬ゴム工業株式会社　殿
株式会社ニッコー　殿

昭和57年度役員

名誉会長	小柴　貢	320－0051	宇都宮市上戸祭町578	028－621－1444
会長	岩崎　純三	321－4305	真岡市荒町1079－2	0285－82－2016
副会長	別井　保男	320－0051	宇都宮市上戸祭町317	028－624－6940
〃	小林　茂	320－0851	宇都宮市鶴田町3363	028－634－6858
〃	松本　弘充	321－0954	宇都宮市元今泉2－3－6	028－634－8571
〃	保坂　俊一	320－0046	宇都宮市西一の沢町365	028－648－1845
〃	徳田　有基	321－0963	宇都宮市南大通り4－2	028－637－3488
理事長	遠井　稔男	329－0611	上三川町上三川5116	0285－56－5428
副理事長	近藤　満	320－0065	宇都宮市駒生町3363－5	028－625－4862
〃	小塙　宏人	321－4104	益子町大沢786	0285－72－3857
常務理事	篠崎　一夫	321－0122	宇都宮市下反町町495	028－653－0008
〃	村岡　欽也	320－0864	宇都宮市住吉町15－7	028－636－2801
〃	永山　隆	320－0058	宇都宮市上戸祭町3011	028－624－7773
〃	石川　澄子	321－3235	宇都宮市鐺山町2375	028－661－3688
〃	塚原　紀子	321－4351	真岡市中862	0285－83－0479
〃	別井　晃	320－0058	宇都宮市上戸祭町160	028－625－1728
〃	斎藤　佶	321－1277	今市市千本木148	0288－22－5274
〃	岡村　恵吾	321－0962	宇都宮市今泉町1514	028－633－3073
〃	館野　政男	321－4307	真岡市西郷2585	0285－84－5524
監査	池山　栄	321－0962	宇都宮市今泉町894	028－621－5768
〃	武井　祥子	320－0816	宇都宮市天神1－2－15	028－636－0403

創立50周年記念表彰者

（順不同敬称略）

1　特別優秀選手賞

高岩住恵　　髙井恵美

2　優秀監督賞

野間　司

3　優秀選手賞

○旭中学校男子チーム

会澤真之助　関野有起　志賀学　斉藤悠太

五月女智　栗原芳明　斉藤恭介

○大島正志
大島真由美　組

4　功労賞

保坂俊一　近藤満　村岡欽也　保田誠一

永山隆　霜山哲　別井晃　大島喜代子

森田昇　三上隆康　佐伯一之　湯沢雄一

初谷幸子　荒井美恵子　足立サカエ　神林忠一

相場初男　福田哲夫　舘野政男　高橋正義

羽石武士　武井祥子　石川澄子　福田静江

板口千代子　神長信夫　村上幸一　山崎早苗

三富久子　小川民生　野沢巧　赤羽右次

増山次男　岡室利彦　大島正志　戸村正樹

5　特別功労賞（協会表彰）

遠井稔男

感謝状贈呈

（順不同）

小柴貢　殿

岩崎純三　殿

ヨネックス株式会社　殿

ゴーセン株式会社　殿

ニッコー株式会社　殿

ミズノ株式会社　殿

メトロレジャー産業株式会社　殿

ブリジストン株式会社　殿

編　集　後　記

平成11年12月に編集委員会を発足して以来、はや２年が経過しましたが、ようやく原稿がまとまり、校正も終えました。無躾な原稿依頼にも、快く応じてくださった執筆者の皆様には、厚くお礼申し上げます。有難うございました。30年誌のスタイルを踏襲し、やや大判にした50年誌ですが、30年誌のようにはまとめられませんでした。特に記録に空欄ができたことは、大変残念です。記念誌として一冊にまとめることの難しさを痛感いたします。ご協力いただきました各位に謝意を表しまして、編集後記といたします。

平成14年２月12日

編集委員

岡　室　利　彦（実連）	大八木　　正（実連）
恩　田　三江子（レディス連）	増　川　美　子（レディス連）
奥　備　健　太（高体連）	遠　井　　努（高体連）
大　牧　　裕（中体連）	石　川　典　明（中体連）
高根沢　和　彦（支部協会）	近　藤　　満（協会）

５０年誌　正誤表

p72　写真説明

平成4年8月7日 熊本市

全日本教職員大会で表彰された近藤　満

p84　2 功労者→功労賞 と訂正

p164 功労賞の終わりに 遠井　努 を加える

p164 感謝状贈呈

故)松 本 弘 充　　富 川　　昇 を加える

五十年誌

平成14年５月12日発行

発行者　栃木県バドミントン協会
会長　遠井　稔男

編集者　栃木県バドミントン協会
50年誌編集委員会

発行所　真岡市台町2815
（〒321－4306）
県立真岡女子高等学校内
大島喜代子　気付
電　話　0285(82)2525

印刷所　鈴木印刷株式会社
宇都宮市平出町3751－11
電　話　028(660)3555